

国土交通政策研究 第95号

**交通バリアフリーの地域社会に及ぼす
効果に関する調査研究**

2011年1月
国土交通省 国土交通政策研究所

はじめに

少子高齢化の急速な進行に伴い、高齢者、親、子どもの三世代の共生が可能なユニバーサルデザイン社会の構築が極めて重要な課題となっている。特に、超高齢社会を迎え高齢者の外出しやすい環境づくりや、少子化対策としての子育て環境の充実の観点からも小さな子どもを連れた場合でも外出しやすい環境づくりが重要となっている。このため、公共交通の分野では、鉄道駅等のバリアフリー化が鋭意進められているが、それらが高齢者及び子育て世代の交通・消費行動に及ぼす効果については、これまで実証的な検証がなされていない。

こうした状況を踏まえ、国土交通政策研究所では、平成 20～21 年度に鉄道駅等のバリアフリー化が「高齢者や子育て世代の公共交通の利用促進」や「移動の増加を通じた地域の活性化」といった効果に結びついているか否かを検証することとした。

平成 20 年度には、全国主要都市を対象にしたインターネット調査と東京都杉並区を対象とした公共交通利用に関する意識調査等を実施し、鉄道駅等のバリアフリー化が「公共交通の利用促進」や「地域の活性化」につながることを確認した。

その上で、平成 21 年度の本調査研究においては、東京都杉並区と地域特性が異なる地域（大阪府高槻市周辺）をケーススタディの対象地区とし、周辺住民等へのアンケート・聞き取り調査を実施し、鉄道駅等のバリアフリー化による効果検証を行った。検証結果では、地域特性が異なった場合でも「公共交通の利用促進」や「地域の活性化」につながることや、地域特性による特色を確認した。

本調査研究の実施に当たっては、高槻市、島本町、西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、近畿運輸局等の関係者の方々にご協力いただいた。小谷通泰氏（神戸大学大学院 教授）、羽原敬二氏（関西大学 教授）にご指導いただいた。ここに記して感謝の意を表したい。

また、この調査研究結果が、バリアフリー新法に基づく協議会等での議論に活用され、ユニバーサルデザイン社会の構築を検討する際の一助として活用していただければ幸いである。

2011 年 1 月

研究調整官 佐野 透

研究官 井上 延亮

研究官 加藤 隆重

交通バリアフリーの地域社会に及ぼす効果に関する調査研究

目次

はじめに

1.	調査概要	1
2.	調査研究フロー	2
3.	調査対象地区の概要	3
3.1	調査対象地区	3
3.2	調査対象地区の概況	6
3.3	駅及び駅周辺のバリアフリー化の状況	12
4.	調査対象地区におけるケーススタディ	16
4.1	調査概要（アンケート調査・ヒアリング調査）	16
4.2	調査結果（全体）	22
4.2.1	エレベーター・エスカレーターの利用特性	22
4.2.2	鉄道の利用促進効果	27
4.2.3	移動の増加を通じた地域の活性化効果	44
4.3	調査結果（地域分析）	46
4.3.1	高槻地域	46
4.3.2	富田地域	64
4.3.3	島本地域	69
5.	調査結果の活用	73
5.1	調査結果の活用方法	73
5.2	バリアフリー推進に活用できる調査結果	74
6.	まとめ	76
6.1	公共交通等のバリアフリー化による効果	76
6.2	ユニバーサルデザイン社会の構築に向けて	80

《資料編》

資料 1 : 鉄道路線図

資料 2 : バリアフリー基本構想

資料 3 : 鉄道駅及び周辺のバリアフリー化の状況

資料 4 : 高槻市営バス 路線の状況

資料 5 : 高槻市営バス 利用状況

資料 6 : 高槻市営バス ノンステップバス等の車両数の推移

資料 7 : 居住者調査 調査票

資料 8 : 居住者調査 団体別配布・回収状況

資料 9 : 駅乗客数検証

1. 調査概要

少子高齢化の急速な進行に伴い、高齢者、親、子どもの三世代の共生が可能なユニバーサルデザイン社会の構築が極めて重要な課題となっている。このため、公共交通の分野では、鉄道駅等のバリアフリー化が鋭意進められているが、それらが高齢者及び子育て世代の交通・消費行動に及ぼす効果については、これまで実証的な検証がなされていない。

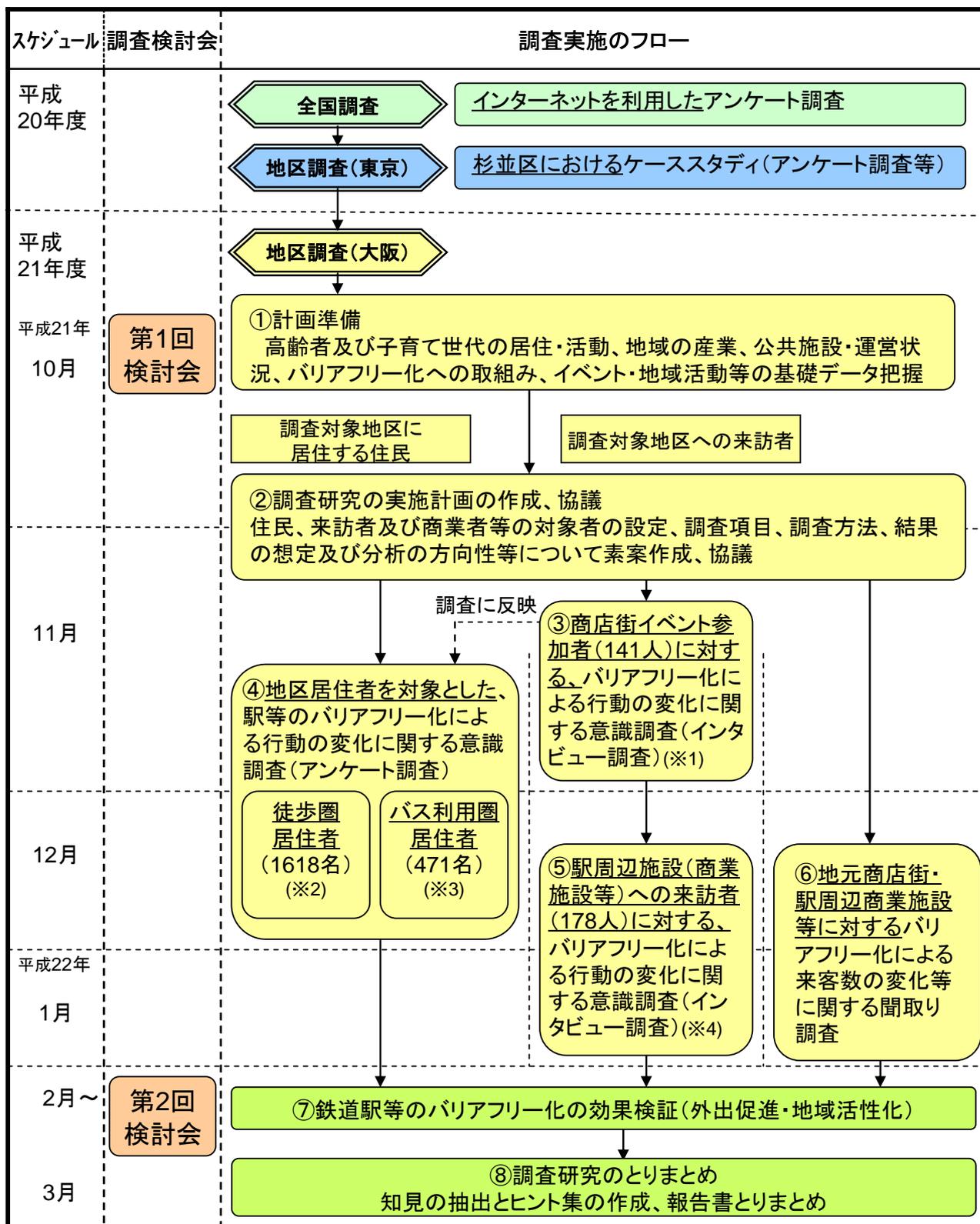
こうした状況を踏まえ、国土交通政策研究所では、平成 20～21 年度に鉄道駅等のバリアフリー化が「高齢者や子育て世代の公共交通の利用促進」や「移動の増加を通じた地域の活性化」といった効果に結びついているか否かを検証することとした。

平成 20 年度には、全国主要都市を対象にしたインターネット調査と東京都杉並区を対象とした公共交通利用に関する意識調査等を実施し、鉄道駅等のバリアフリー化が「公共交通の利用促進」や「移動の増加を通じた地域の活性化」につながることを確認した。

その上で、平成 21 年度の本調査研究においては、東京都杉並区と地域特性が異なる地域（大阪府高槻市周辺）をケーススタディの対象地区とし、周辺住民等へのアンケート・聞き取り調査を実施し、鉄道駅等のバリアフリー化による効果検証を行い、調査結果の取りまとめを行った。

2. 調査研究フロー

本調査研究は、平成 20 年度の全国調査、地区調査（首都圏）を踏まえ下記の流れで実施した。



(※1) 高齢者70人、子育て世代71人 (※3) 高齢者286人、子育て世代各185人
 (※2) 高齢者1090人、子育て世代528人 (※4) 高齢者107人、子育て世代71人

3. 調査対象地区の概要

3.1 調査対象地区

調査対象地区として、平成 20 年度の首都圏（東京都杉並区）のような都心とは地域特性が異なる関西圏の郊外の駅を選定した。また、関西圏は、首都圏と同様に①公共交通ネットワークの整備水準が格段に高いことから、高齢者及び子育て世代の公共交通利用の促進が多いに期待できること、②利用者数 5,000 人／日以上以上の鉄道駅が多数あることから、鉄道駅のバリアフリー化が進展していること、③今後、他の地域を上回るペースで高齢者の増加が見込まれることなども考慮した。

具体的には、大阪府高槻市・島本町内（図 3-1）の JR 西日本東海道本線の 3 駅（摂津富田、高槻、島本）及び阪急電鉄京都線の 3 駅（富田、高槻市、水無瀬）の周辺を調査対象地区（図 3-2）としている。



図 3-1 調査対象地区

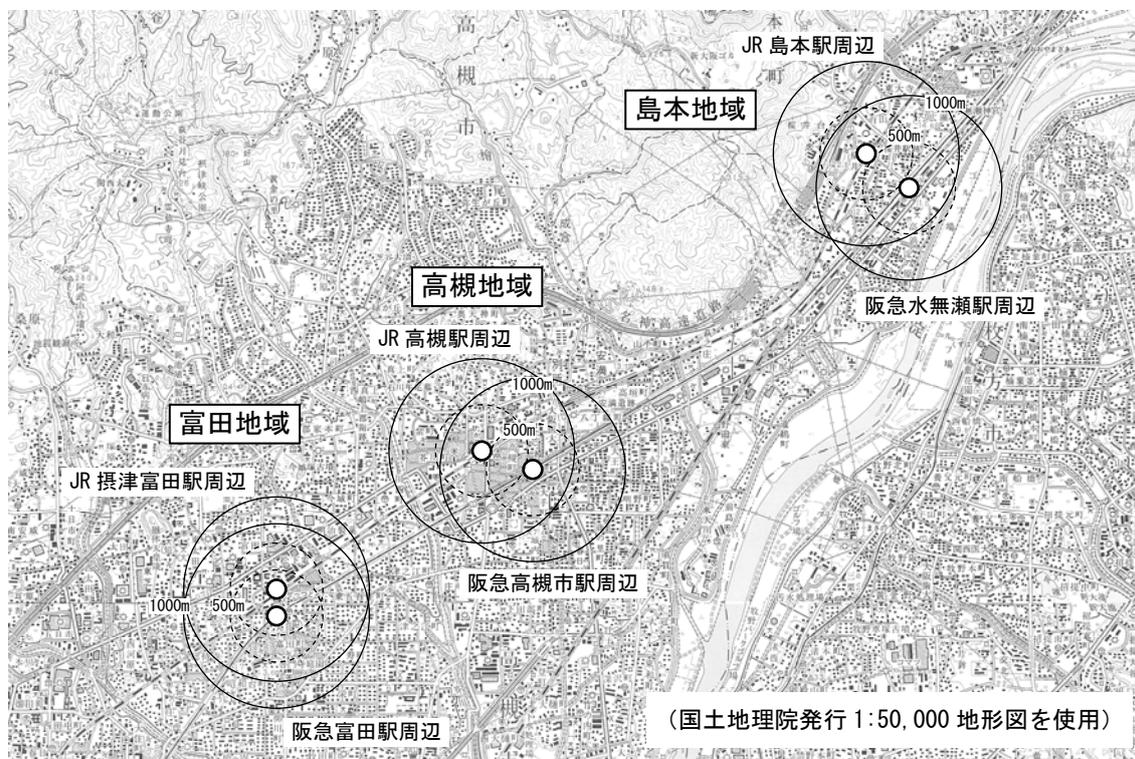


図 3-2 調査対象とした 3 地域（大阪府高槻市・島本町）

(当該地区を選定した理由)

- ・ JR 西日本と阪急電鉄の駅が非常に近接しており、かつ駅間周辺は商業施設や商店街等が多く、まちづくりの拠点となっていること
- ・ JR 高槻駅、JR 摂津富田駅、阪急高槻市駅、阪急富田駅はすでにバリアフリー設備が整備済みであること
- ・ JR 島本駅は、平成 20 年 3 月にバリアフリー化された駅として開業しており、また、阪急水無瀬駅は、平成 23 年 3 月にバリアフリー化を予定しており、バリアフリー化前後の比較が可能と思われること
- ・ 地元自治体や鉄道事業者等地域の関係者が積極的な協力姿勢を示していること

■調査対象とした 3 地域の特徴

① 富田地域

2 駅が近接し駅の利用性が高い地域であり、周辺住宅地の居住者中心の駅利用

- ・ JR 摂津富田駅、阪急富田駅周辺は住宅地が中心の土地利用であり、市街地は古くから寺内町として発達し、寺社や町屋、酒蔵等の多くの歴史資源が点在している。
- ・ JR と阪急の間には駅利用者や周辺住民が利用する地域商店街が立地している。
- ・ バリアフリー基本構想では重点整備地区に指定され、駅及び駅周辺の重点的なバリアフリー化が進められている。阪急富田駅では平成 20 年度に南口（コンコース外）のエレベーターが設置されたほか、JR 摂津富田駅では平成 21 年度にコンコース外のエレベーターの設置が予定されている。

②高槻地域

商業機能が集積する中心市街地であり、居住者・来訪者の多い駅利用

- ・ JR 高槻駅、阪急高槻市駅周辺の中心市街地は、駅周辺に松坂屋や西武、アクト・アモーレなどの大規模小売店舗や高槻センター街（商店街）などが立地し、北大阪地域でも有数の商業集積地となっており来訪者も多い。
- ・ 阪急京都線の高架化とともに幹線道路が整備され、市役所等の行政機能や生涯学習センター、総合市民交流センター、中央図書館等の文化機能の集積が進んでいるほか、大阪医科大学付属病院などの医療福祉施設も多数立地する。
- ・ JR 高槻駅周辺では、JR 高槻駅地区市街地再開発事業により、商業施設・住居棟からなる再開発ビルや西武百貨店と駅とを結ぶペDESTリアンデッキが平成 15 年度に整備された。
- ・ 市営バスと民営バス路線が発達し、JR 高槻駅の南北駅前広場にはバスロータリーがある。
- ・ バリアフリー基本構想では重点整備地区に指定され、駅及び駅周辺の重点的なバリアフリー化が進められている。JR 高槻駅南口では、ペDESTリアンデッキの再整備が計画され、平成 21 年度からエレベーターの設置等が予定されている。

③島本地域

新駅開業により利便性が向上した、周辺住宅地の居住者中心の駅利用

- ・ JR 島本駅、阪急水無瀬駅周辺は住宅地が中心の土地利用であり、JR と阪急の間や阪急水無瀬駅周辺に商業施設が点在している。そのほか、役場や歴史文化資料館などが立地している。
- ・ JR 島本駅は平成 20 年 3 月に開業した新駅であり、駅施設はバリアフリー新法の移動等円滑化基準に適合し、また東口に設置された駅前広場とあわせて一体的なバリアフリー化がなされている。
- ・ バリアフリー基本構想では重点整備地区に指定され、駅及び駅周辺の重点的なバリアフリー化が進められている。阪急水無瀬駅では、平成 22 年度にコンコース内のエレベーターの設置等のバリアフリー化が予定されている。
- ・ JR 島本駅の隣駅である JR 山崎駅の近くにサントリーの工場と JR 島本駅周辺にある史跡・水無瀬神宮のセットで観光に来る人がいるようである（歴史文化資料館へのヒアリングより）。

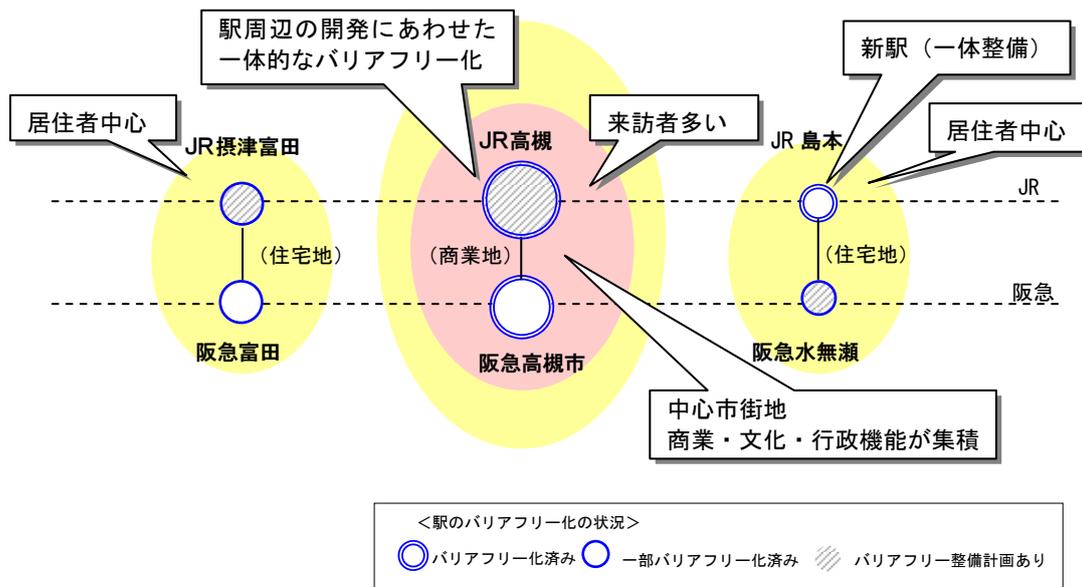


図 3-3 調査対象とした 3 地域の特徴

3.2 調査対象地区の概況

調査対象地区とした高槻市・島本町の概況を以下に整理した。

(1) 人口

平成 21 年度の人口は、高槻市では 358,718 人 (図 3-4)、島本町では 29,566 人 (図 3-5) である。

また、高齢化率 (65 歳以上の割合) は、高槻市で 22.5%、島本町で 20.2% であり、全国の 22.7% と比較すると、高槻市は全国並み、島本町は全国に比べて低い状況にある。なお、大阪府の高齢化率は 22.0% であり、全国に比べて低い。

また、平成 21 年度の総人口に占める子育て世代 (本調査では 20-40 代と定義する) の割合は、高槻市で 39.6%、島本町で 38.9% であり、全国の 38.5% と比較すると、高槻市は全国に比べて大きく、島本町は全国並みである。

※資料：高槻市 (住民基本台帳/H21.12 現在)、島本町 (住民基本台帳/H21.4 現在)

全国・大阪府 (人口推計年報/総務省/H21.10 現在)

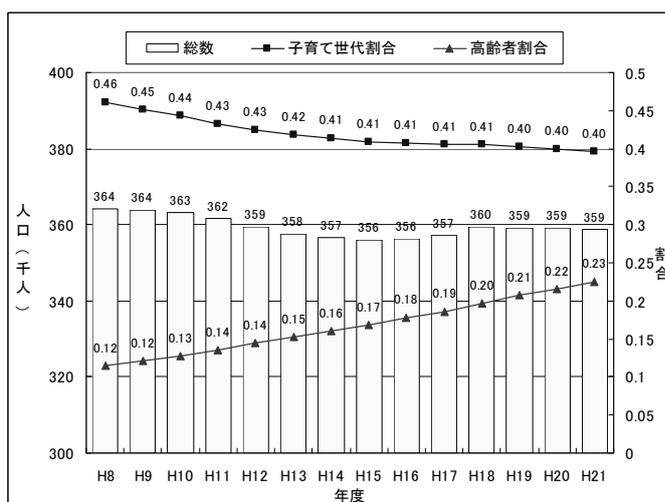


図 3-4 人口及び子育て・高齢者の推移 (高槻市)

(資料：住民基本台帳/各年 12 月末現在)

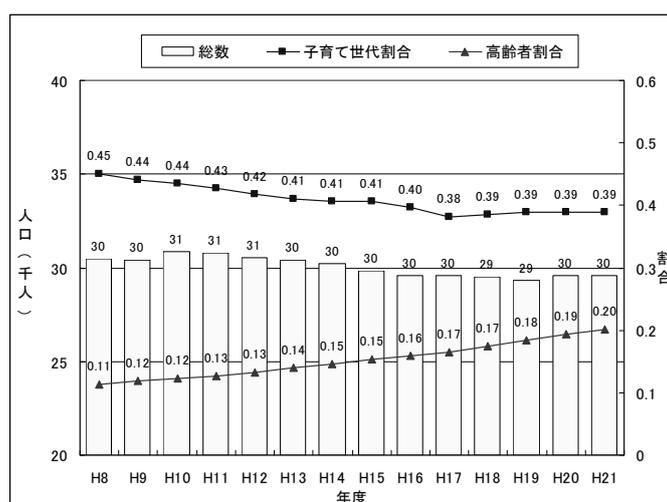


図 3-5 人口及び子育て・高齢者の推移 (島本町)

(資料：住民基本台帳/4 月 1 日現在)

(2) 交通特性

■鉄道乗客数¹

調査対象地区の各駅の平成10年度以降の過去10年間の乗客数は概ね横ばいであり、高槻地域では増減の変動が見られる(図3-6)。地域毎の乗客数は、平成20年度で高槻地域が約9.8(万人/日)、富田地域が約3.2(万人/日)、島本地域が約1.0(万人/日)である。高槻地域、富田地域ではJRの乗客数が阪急の約1.7倍程度であるが、島本地域では阪急がJRの約1.5倍の乗客数がある。

高槻市・島本町全体の鉄道乗客数(JR・阪急計、JR山崎駅、阪急上牧駅を含む)は、平成8年度以降減少を続けたが平成15年度に増加に転じている。平成20年度の乗客数は約147(千人/日)であり、平成10年度の約95.2%となっている。

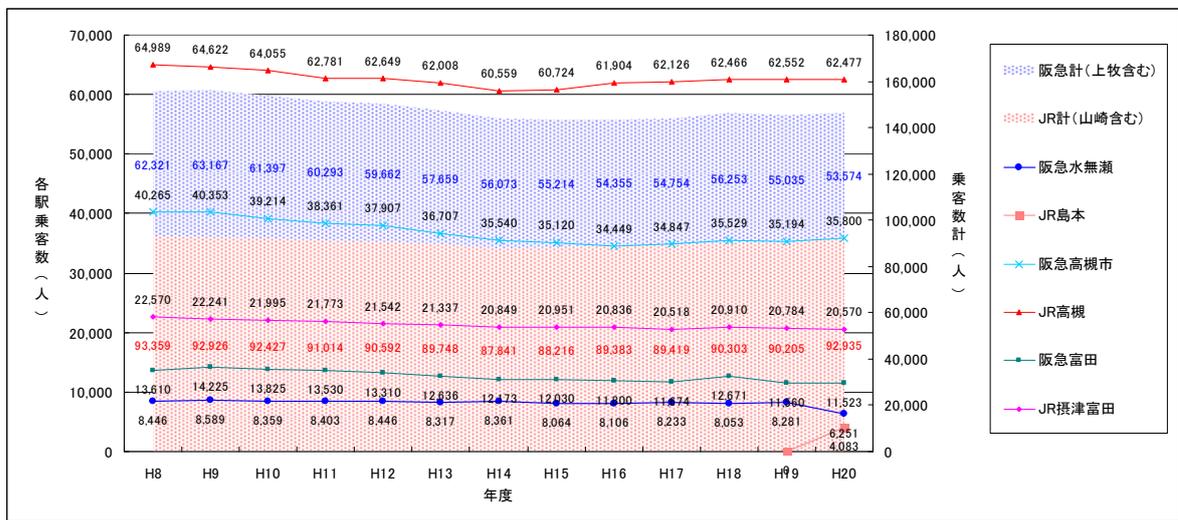


図3-6 駅乗客数の推移

(資料：西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社／高槻市・島本町統計書)

■バス乗客数²

高槻市営バスの乗客数は平成14年度から平成19年度にかけて微増している。

券種別の構成では、高齢乗車証³の利用の割合が増加しており(図3-7)、年代別に見た場合でも70代以上の乗客数が約1.2倍に増加している(図3-8)。また、年代別では、30代・40代での増加が見られる。

¹ 鉄道乗客数データは、資料9を参照

² バス乗客数データは、資料5を参照

³ 高槻市では、70歳以上の人に市営バス全路線に無料で乗れる乗車証を発行している

高槻市営バス乗客数

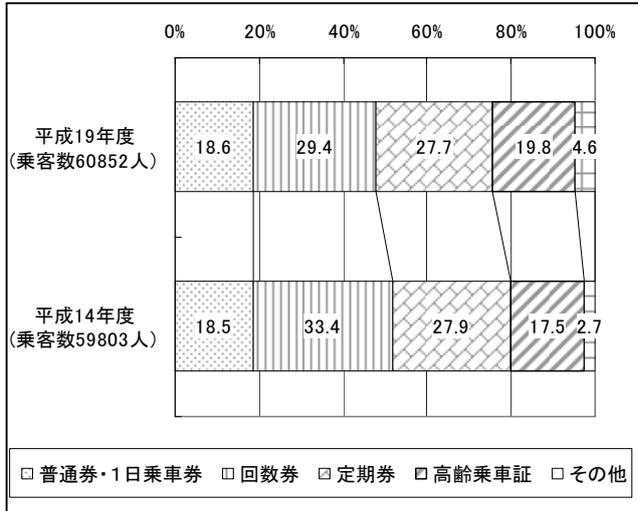


図 3-7 券種別人員構成の変化（1日）

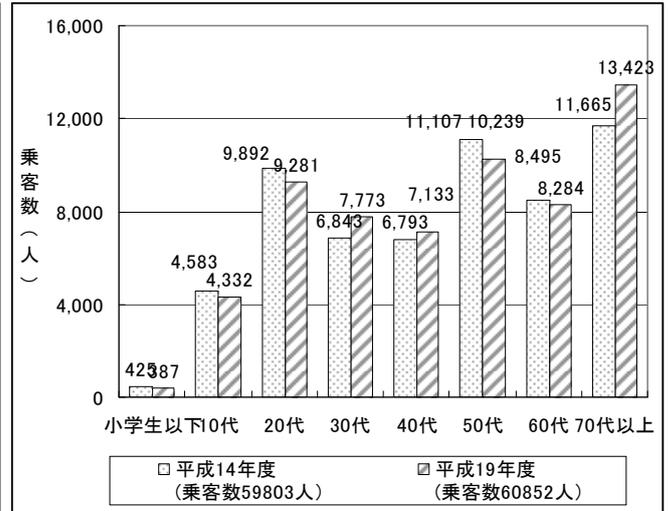


図 3-8 年代別乗客数の変化（1日）

（資料：高槻市資料）

■ 駅端末交通手段

調査対象地区の駅端末交通手段の特徴は、「バス」及び「自転車」の利用割合が高い点であり、いずれも京阪神都市圏と比較して高い割合となっている（図 3-9）。

高槻地域では駅端末交通手段としてバス利用の割合が高く、特に JR 高槻駅ではバス分担率が 30%を占めている。そのため、駅勢圏が広範囲に及んでいると考えられる。

富田地域では自転車の利用割合が高く、JR 摂津富田駅では 27%、阪急富田駅では 35%を占めている。

島本地域の阪急水無瀬駅においては、徒歩の分担率が 6割を超えており、市街地がコンパクトに形成され駅勢圏が狭いことがうかがえる。

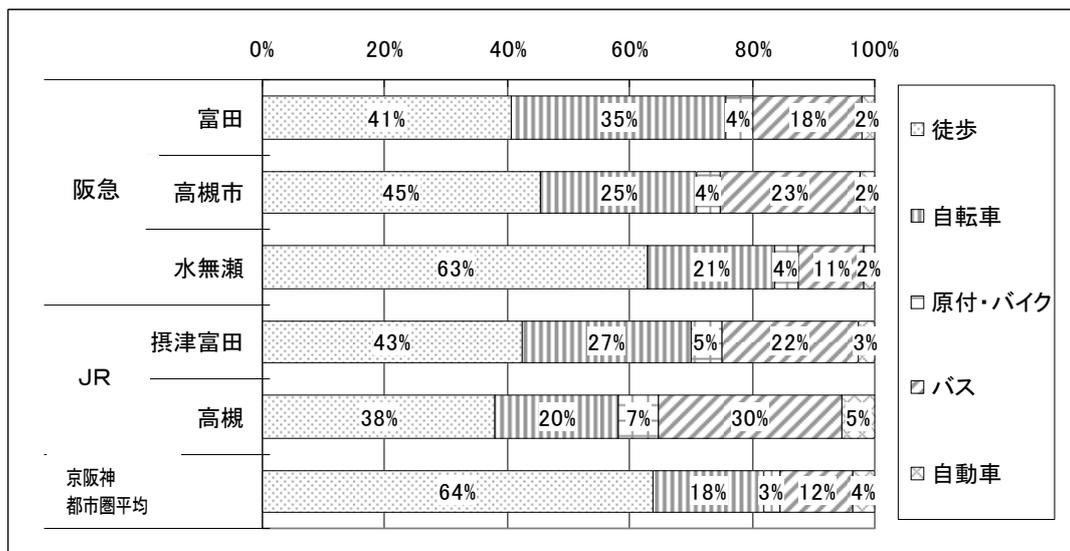


図 3-9 駅端末交通手段

（資料：第 4 回京阪神都市圏パーソントリップ調査／平成 11 年）

(3) 都市の特性

■高槻市の生活圏

高槻市総合計画 基本計画(平成13年1月)においては、地区生活圏構想の基本単位として、土地利用の状況や生活圏としてのまとまり、地区行政の経緯などを考慮しつつ、7つの生活圏に区分している(図3-10)。

調査対象地区に関連する4つの生活圏の特徴は以下のとおりである。

①高槻北地区生活圏

JR 高槻駅及び阪急高槻市駅の北側の駅勢圏を構成しており、交通は JR 高槻駅を起点とする南北方向が主体である。

北側の丘陵地には名神高速道路をはさんで戸建てを中心とする新興住宅地が広がり、JR 高槻駅へのバス路線が発達している。

②高槻南地区生活圏

JR 高槻駅及び阪急高槻市駅の南側の駅勢圏にある。昭和30年代より、小規模な住宅開発が連担して急速に進展し、市内で最も早く市街地のスプロール化が進行した。人口は昭和40年代に急増したが、50年代に入ってから減少に転じている。

③高槻西地区生活圏

JR 摂津富田駅と阪急富田駅の北側の駅勢圏を構成しており、昭和23年に合併した旧阿武野村が主体となっている。丘陵地には戸建て住宅を中心とする新興住宅地、山間部には集落があり、大規模な住宅開発により、人口増加率が高い地区である。

④如是・富田地区生活圏

JR 摂津富田駅及び阪急富田駅の南側の駅勢圏にあるが、駅周辺の道路整備の遅れから交通渋滞が慢性化し、駅への交通アクセスが不便な状況にある。昭和30年代以降、南部の田園地帯に大規模な公的住宅団地やミニ開発による住宅の立地が進み、高槻南地区生活圏と同様に早くから市街化がスプロール的に進行し、高槻市で最も人口密度の高い地区となっている。



図 3-10 高槻市の地区生活圏の区分

(資料：高槻市総合計画 基本計画／平成13年1月)

■駅周辺の施設立地状況

高槻地域は調査対象地区の商業の中心となっており、JR 高槻駅周辺には、北口の市街地再開発事業により約 500 戸の住宅棟と複合的に開発されたアクト・アモーレや西武、また南口には松坂屋やグリーンプラザなど大規模な商業施設が集積している。周辺には商店数 100 店舗を超える高槻センター街をはじめとした商店街が形成されている。

そのほか、高槻地域には、大阪医科大学付属病院をはじめとした医療施設、市役所、中央図書館、総合市民交流センターなどの公共施設が多数立地している（図 3-11）。



図 3-11 高槻地域の施設立地状況

富田地域には JR 摂津富田駅北口にダイエーが立地しているほか、JR と阪急を結ぶ路線を中心に地元の利用を中心とした商店街が形成されている（図 3-12）。



図 3-12 富田地域の施設立地状況

島本地域には、グルメシティやコープ島本などの商業施設が立地しているが、その他の商業集積はみられない。JR 島本駅前には、島本町立歴史文化資料館が立地している（図 3-13）。



図 3-13 島本地域の施設立地状況

3.3 駅及び駅周辺のバリアフリー化の状況

(1) 鉄道駅等のバリアフリー化への取組

高槻市および島本町では、バリアフリー新法⁴（旧・交通バリアフリー法）に基づくバリアフリー基本構想を策定し、各駅周辺を重点整備地区に位置づけ、鉄道駅や駅周辺のバリアフリー化に重点的に取り組んでいる。

□高槻市交通バリアフリー基本構想⁵／平成 15 年 5 月

高槻地域では、JR 高槻駅のコンコース内外のエレベーター・エスカレーターの設置や、南北デッキのエレベーターの設置などが実施・計画されている。

富田地域では、JR 摂津富田駅のコンコース内エレベーター・エスカレーターの設置などが実施・計画されている。

また、バスについては、市営バス、京阪バスの低床車両の導入が実施・計画されている。

□島本町バリアフリー基本構想⁶／平成 20 年 3 月

島本地域では、JR 島本駅の新設にあわせたエレベーター・エスカレーターの設置、また、阪急水無瀬駅のコンコース内のエレベーター・エスカレーターの設置などが実施・計画されている。

⁴ 高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律

⁵ 高槻市交通バリアフリー基本構想の内容は、資料 2 を参照

⁶ 島本町バリアフリー基本構想の内容は、資料 2 を参照

(2) 調査対象としたバリアフリー設備等

調査対象地区においては、前述のバリアフリー基本構想等に基づき鉄道駅及び駅周辺のバリアフリー化⁷が図られているほか、平成 21 年度以降も鉄道駅のバリアフリー化が計画されている。

これらの既整備及び今後の整備予定のバリアフリー設備のうち、本調査においては、コンコース内外のエレベーター・エスカレーターを中心に、バスの低床化、バスと駅の接続性向上、駅周辺の歩道整備、放置自転車対策や休憩施設整備等を対象とした（表 3-1）。

表 3-1 対象としたバリアフリー設備等一覧

区分	富田地域		高槻地域			島本地域	
	JR摂津富田駅	阪急富田駅	JR高槻駅・北口	JR高槻駅・南口	阪急高槻市駅	JR島本駅	阪急水無瀬駅
①コンコース内 EV・ESC	EV・ESC (H20.8)	EV (H20.3)	EV・ESC (H15)		EV・ESC (H5)	EV・ESC (H20.3) 【新駅】	EV (22年度 設置予定)
②コンコース外 EV・ESC		南口EV (H21.2)	EV・ESC JR駅ビル (H21.7) アクトアモーレ (H15)		EV・ESC (H5)	EV・ESC (H20.3) 【新駅】	
	EV (21年度末 設置予定)			デッキの再整備 ・EV設置 (22年度以降 整備予定)			
③バスの低床化			駅へ乗り入れるバスの低床化				
④バスと駅の 接続性向上	(JR高槻駅北口 の比較対象:JR 摂津富田駅を 経由してJR高 槻駅に乗り入 れるバス路線)		バス低床化と 駅ビルEV(H21.7)、 アクトアモーレ EV(H15)の接続	バス低床化と 南口デッキの再 整備・EV設置 (22年度以降 整備予定)			
⑤駅周辺の歩道整備			アクトアモーレ 周辺の歩道整備 (歩車分離、拡 幅)(H20)				
⑥駅周辺の放置自 転車対策、休憩 施設、サイン整 備				駅周辺の放置自 転車対策、休 憩施設、サイン 整備(H16-18)			

凡例

EV:エレベーター、ESC:エスカレーター

⁷ 調査対象地区のバリアフリー化の状況は、資料 3 を参照

■ JR 摂津富田駅



コンコース内のエレベーター・エスカレーター (H20. 8 完成)

■ 阪急富田駅



コンコース内のエレベーター
(H20. 3 完成)



コンコース外・南口のエレベーター
(H21. 2 完成)

■ JR 高槻駅



コンコース内のエレベーター・
エスカレーター (H15 完成)



JR NK ビルのエレベーター・
エスカレーター (H21. 7 完成)



コンコース外のエスカレーター



アクト・アモーレのエレベーター
(H15 完成)



アクト・アモーレ周辺の歩道整備
(歩車分離、拡幅) (H20 完成)



駅周辺の放置自転車対策、休憩施設、サイン整備 (H16-18 整備)

■ 阪急高槻市駅



コンコース内のエレベーター・エスカレーター (H5 完成)



コンコース外のエレベーター・エスカレーター (H5 完成)

■ JR 島本駅

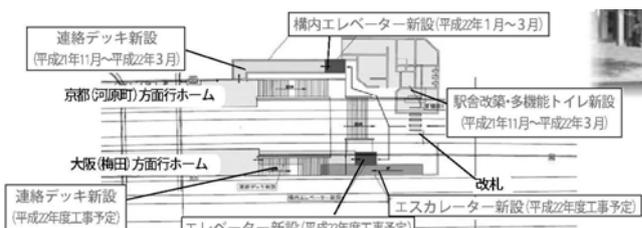


コンコース内のエレベーター・エスカレーター (H20.3 完成) 【新駅】



コンコース外のエレベーター・エスカレーター (H20.3 完成) 【新駅】

■ 阪急水無瀬駅



資料：阪急電鉄ホームページ



コンコース内のエレベーター (H22 完成)

4. 調査対象地区におけるケーススタディ

4.1 調査概要(アンケート調査・ヒアリング調査)

(1) 調査概要

調査対象地区におけるケーススタディの概要は以下に示すとおりである。

1) 調査対象地区：大阪府高槻市・島本町

JR 西日本東海道本線沿線（摂津富田、高槻、島本）及び阪急電鉄京都線沿線（富田、高槻市、水無瀬）地域

高槻市・島本町の JR 西日本東海道本線及び阪急電鉄京都線沿線を対象とし、徒歩圏としては対象駅から概ね 1 km 圏、また、バス利用圏として JR 高槻駅へ乗り入れるバス路線沿い⁸の地域を対象とした。

2) 調査対象者⁹：計 2,408 人、7 団体

調査対象地区の 2,408 人の高齢者（60 歳以上）、及び子育て世代（未就学児（6 歳以下）の親）を対象にアンケート調査を実施した。

また、商業者等 7 団体を対象にヒアリング調査を実施した。

	居住者			来訪者	計
	駅周辺	バス利用圏	計		
高齢者	1,090 人	286 人	1,376 人	177 人	1,553 人
子育て世代	528 人	185 人	713 人	142 人	855 人
計	1,618 人	471 人	2,089 人	319 人	2,408 人

	計
商業者等	7 団体

各調査の内訳は以下に示すとおりである。

①居住者調査

鉄道駅等のバリアフリー化による外出促進効果、および地域活性化効果を検証するための本調査として、駅周辺の居住者に対するアンケート調査により、鉄道駅等のバリアフリー化による行動変化等を把握した。

調査概要は表 4-1 に示すとおりであり、高齢者、子育て世代ともに回収率が高く、対象駅毎に十分なサンプルが確保され、調査精度を高めることができた。

⁸ 対象としたバス路線は、資料 4 参照

⁹ 調査対象者の内訳等の詳細は、資料 8 を参照

表 4-1 居住者調査概要¹⁰

対象者	対象駅から概ね1km圏（徒歩圏）、およびJR高槻駅へ乗り入れるバス路線沿い（バス利用圏）に居住する高齢者（60歳以上）および子育て世代（未就学児（6歳以下）の親） 具体的には上記対象地域の老人クラブ・年長者クラブ（34団体）、および保育園・保育所（14団体）を対象とした。			
実施時期	平成21年12月～平成22年1月			
配布・回収方法	地域団体を通じて配布・回収、一部郵送回収			
配布数	高齢者	1,966票	子育て世代	1,492票
有効回収数		1,376票		713票
回収率		70.0%		47.8%
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> a 回答者属性（性別、年齢、居住地） b 鉄道駅のエレベーターの利用状況等 c 対象駅周辺でのエレベーター・エスカレーターの利用状況等 d エレベーター・エスカレーター等の設置前後の鉄道駅を利用した外出について（未整備駅では整備後の想定、整備時期が古い駅では現在の設備が利用できない場合を想定） 			

②来訪者調査

居住者調査の事前の傾向把握（調査（その1））、および居住者調査結果を補足する目的（調査（その2））から、街頭での来訪者へのアンケート（聞き取り）調査により、鉄道駅等のバリアフリー化による行動変化等を把握した。調査概要は表 4-2, 3 に示すとおりである。

表 4-2 来訪者調査（その1）概要

対象者	高槻商店街周辺への来訪者 （わくわくストリートフェスタ開催にあわせて実施）			
実施時期	平成21年10月31日（土）			
配布・回収方法	街頭直接配布・回収（聞き取り）			
有効回収数	高齢者	70票	子育て世代	71票
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> a 回答者属性（性別、年齢、居住地） b 鉄道駅のエレベーターの利用状況等 c 対象駅周辺でのエレベーター・エスカレーターの利用状況等 d エレベーター・エスカレーター等の設置前後の鉄道駅を利用した外出について（未整備駅では整備後の想定、整備時期が古い駅では現在の設備が利用できない場合を想定） 			

¹⁰ 調査票は、資料7を参照

表 4-3 来訪者調査（その2）概要

対象者	JR 高槻駅北口周辺の主要な商業施設（アクトアモーレ、西武等）への来訪者			
実施時期	平成 22 年 1 月 17 日（日）			
配布・回収方法	街頭直接配布・回収（聞き取り）			
有効回収数	高齢者	107 票	子育て世代	71 票
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> a 回答者属性（性別、年齢、居住地） b 鉄道駅のエレベーターの利用状況等 c 高槻駅周辺での買い物について（交通手段、消費額、回数、バリアフリー化前後での変化等） d 買い物する駅や店舗選定におけるバリアフリー化の考慮 			

③商業者等調査

居住者調査結果に対して商業者の観点から補足するため、駅周辺の主要な商業施設、商店街等にヒアリングを実施し、駅周辺のバリアフリー化による来店者や売上の変化、及び店舗の取組等について把握した。調査概要は表 4-4 に示すとおりである。

表 4-4 商業者等調査概要

対象団体	<p>7 団体</p> <p>高槻市 株式会社大丸松坂屋百貨店、アクト・アモーレ店舗会、高槻センター街商店街振興組合、株式会社そごう・西武 西武百貨店、仲通り本通り商店街振興会</p> <p>島本町 島本町商工会、コープ島本</p>
実施時期	平成 22 年 3 月
調査方法	ヒアリング
主な調査内容	<ul style="list-style-type: none"> a 事業所情報 b 駅及び駅周辺のバリアフリー化による変化（来店者、売上、独自の取組） c バリアフリー化に対する意識 d バリアフリー化に向けた今後の取組

(2) 調査結果概要

1) 調査の特徴

本調査結果を総括すると、特徴としては以下の点があげられる。

- ・アンケートでは地図に対象とするエレベーター、エスカレーターの位置を具体的に明示したことやそれら設備を具体的設備名称で表現することにより、一般的な“バリアフリー”に対するイメージ先行型（好意的なイメージ）の回答を抑制し、対象とするバリアフリー設備を具体的に意識したうえでの回答が得られた。
- ・子育て世代に対しては、移動の負担が大きくなるベビーカー等の利用期間が限定されるため、回答者に「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想起させて回答させた。
- ・アンケートの回収率は高齢者が70%、子育て世代が48%であり、一般的な行政アンケートの回収率が3~4割程度であるのに対し非常に高い回収率を得ることができた。また、対象駅毎に十分なサンプルが確保されていることから、調査精度を高めることができた。
- ・アンケートでは、選択肢以外の自由回答についても、具体的な行動の変化や切実な意見が多数寄せられた。

2) 調査結果概要

調査対象地区におけるアンケート調査では、全国調査及び杉並区における地区調査と同様に鉄道駅やバスなどの公共交通等のバリアフリー化により、高齢者、子育て世代の公共交通の利用が増加し、地域の活性化に結びついていることが確認された（図4-2）。

高齢者、子育て世代の鉄道駅におけるバリアフリー設備の利用特性

まず、本調査においては、高齢者および子育て世代の鉄道駅におけるエレベーターの利用特性を明らかにした。その結果、高齢者では、移動における身体的な負担が高まる後期高齢者ほどエレベーターの利用傾向が大きく、また、エスカレーターに対する利用意向も高くなっている。一方、子育て世代では、ベビーカー等を利用した子ども連れでは、他の手段の困難さ、危険回避のためにエレベーターが欠かせない移動手段となっている。

鉄道駅等のバリアフリー化による効果

以上の特性を踏まえた上で、鉄道駅等のバリアフリー化がもたらす効果として、①鉄道の利用促進効果、②地域の活性化効果、③連携による効果の3点が確認された。

① 鉄道の利用促進効果

一つ目は、バリアフリー化により鉄道・バスの利用が増加する①鉄道の利用促進効果である。実際のバリアフリー化による鉄道利用の増加の実態に加え、今後バリアフリー化さ

れば鉄道の利用を増やすという利用者意向の面からも鉄道の利用促進効果が確認でき、今後のバリアフリー化を後押しする有用なデータが得られた。

また、鉄道駅におけるバリアフリー化による鉄道の利用促進効果として、鉄道乗客数等の定量的データからの裏付けはできなかったものの、アンケートを基に鉄道の利用回数および外出目的の観点から深度化させることができた。利用回数としては、月に1回程度の増加が見られたほか、他の交通手段からの転換として、高齢者はバスやタクシーからの転換、子育て世代は自家用車からの転換が多くなっていることが確認できた。また、交通手段の転換だけでなく外出機会の増加につながることも外出目的等の面から示唆される。

なお、島本地域を対象にバリアフリー化による鉄道の利用促進効果が影響する範囲を分析した結果、高齢者では駅勢圏の拡大に寄与していること、一方、子育て世代では前述のとおりベビーカー等利用におけるエレベーター依存度が高いため、鉄道駅からの距離によらずバリアフリー化の影響が大きいことが推測できた。

②地域の活性化効果

二つ目に、鉄道駅等のバリアフリー化に伴い鉄道の利用が促進されることにより、駅を中心とした買い物機会や交流機会が増加する②地域の活性化効果が確認された。具体的には、沿線地域での消費行動が活性化していること、また、鉄道を利用した観光目的での外出機会の増加や知人の訪問などでの鉄道を利用した往来が増加するなど地域間交流が活発化することが分かった。

③連携による効果

最後に、鉄道駅単体のバリアフリー化の効果にとどまらず、駅周辺地域や沿線地域との面的、一体的なバリアフリー化などによる③連携による効果を確認することができた。

JR 高槻駅周辺においては、ペDESTリアンデッキや南北自由通路、駅周辺開発と一体となったバリアフリー化により、駅周辺の回遊に繋がっていると考えられる。また、バス停を考慮して設置されたエレベーターは利用頻度が高く、バスと鉄道の乗り継ぎ利便性を向上させている。

また、調査対象地区では2路線が近接し目的地に応じた駅の選択性が高いことから、近接する2駅相互の地区全体のバリアフリー化、さらには、最寄り駅・最終下車駅の沿線としての連続的なバリアフリー化の要望が高い。

全体的傾向

地域別分析結果

属性別傾向

鉄道駅のエレベーターは高齢者、子育て世代の有効な移動手段

高齢者: 身体的負担の高まる後期高齢者ほど
利用傾向大(負担軽減)

子育て世代: ベビーカー等利用者には欠かせ
ない移動手段(他の手段の困難さ、危険回避)

鉄道の利用促進【鉄道の利用促進効果】

鉄道の利用回数が増加

→ 月に1回程度の増加

→ 特に従前の回数が低い人が
増加

駅を利用した新たな外出機会が
創出

バリアフリー化された駅を選択
(他駅からの転換)

鉄道利用の優位性が向上(バ
ス、タクシー、自家用車からの
転換)

エレベーター以外の移動手段
に抵抗がある(困難、危険)ほ
ど、増加傾向大

外出目的の変化

→ 外出の時間や移動距離が
拡大

遠出の買い物や観光、レジャ
ーなどの余暇活動が活発化

知人や友人を呼びやすくなる

バリアフリー化の影響圏域
(島本)

高齢者の駅勢圏拡大

子育て世代は距離によらず影響大

(乗客数については横ばい若しくは減少であり、バリアフリー化後の増加は確認できていない)

バスの利用が促進

→ ノンステップバス導入によりバスの利用回数が微増

駅周辺や沿線地域との一
体的なバリアフリー化によ
る効果【連携による効果】

ペDESTリアンデッキ
や商業施設のバリアフ
リー設備との連携によ
り、駅周辺の回遊効果
大(高槻)

近接する2駅及び最寄
り・最終下車の2駅の
一体的なバリアフリー
化要望(富田)

バスと鉄道の乗り継ぎ
利便性の向上
(高槻)

鉄道の利用が促進され、消費行動や交流が活発化【地域の活性化効果】

→ 買い物などの消費行動が活性化

→ 観光や友人・知人訪問、習い事などでの地域間交流が活性化

(商業者の来店者や売上の増加は、経済的要因等の影響が大きく確認できていない。)

図 4-2 調査結果概要

4.2 調査結果(全体)

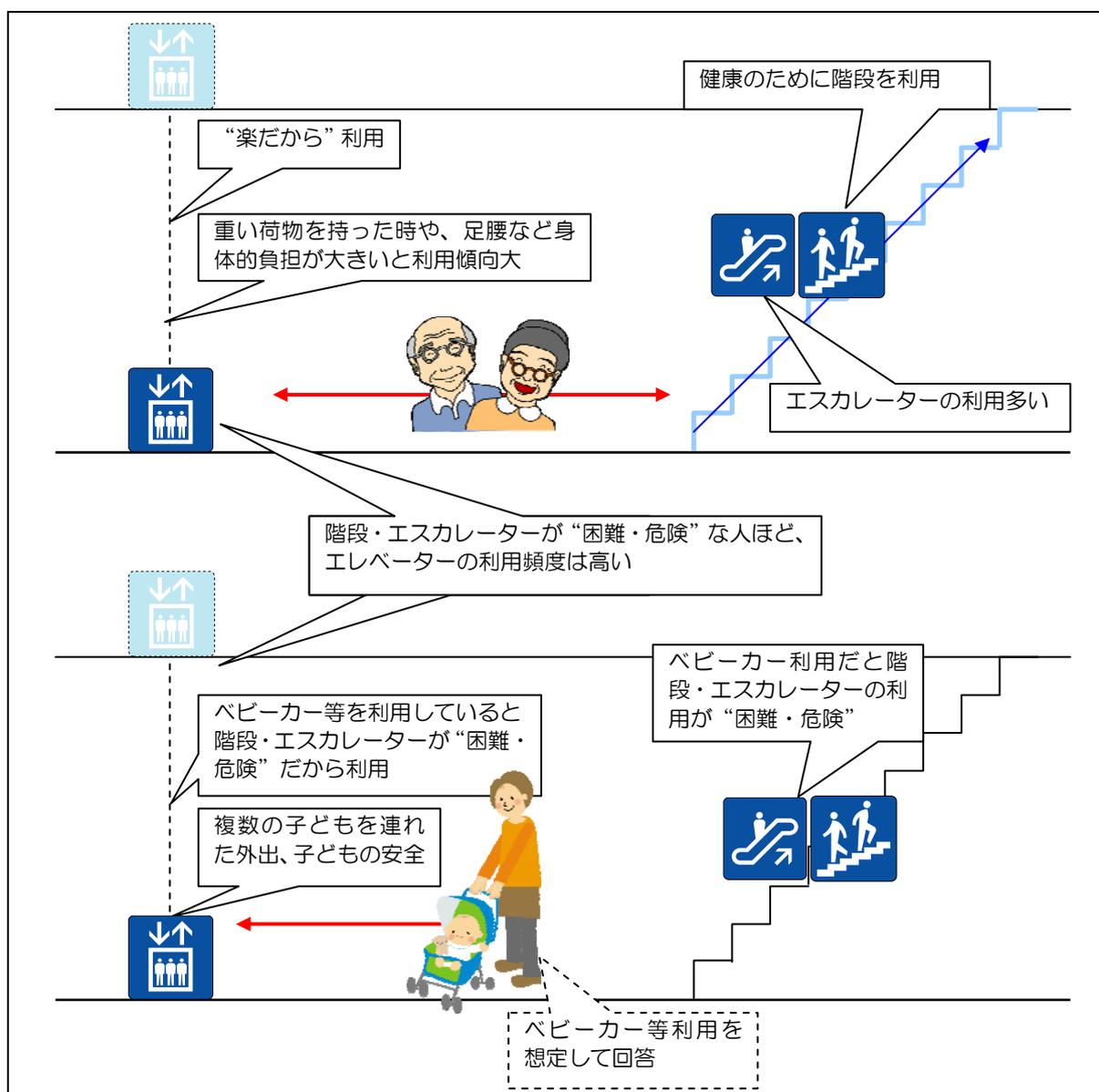
4.2.1 エレベーター・エスカレーターの利用特性

(まとめ)

鉄道駅のエレベーターは、高齢者、子育て世代の有効な移動手段として機能している。

高齢者では移動における身体的な負担が高まる後期高齢者ほど利用が高まっている。また、エスカレーターに対する利用意向も高い。

子育て世代にあっては、ベビーカー等を利用した移動の負担が大きく、階段やエスカレーター利用の困難さや危険回避のために、エレベーターが欠かせない移動手段となっている。



(調査内容)

高齢者および子育て世代のバリアフリー設備の利用特性を把握するために、鉄道駅におけるエレベーター・エスカレーターの利用状況について調査した。

なお、子育て世代については、回答条件を統一させるため「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定することとし、現在それらを利用していない方も過去の経験から回答している。

(全体の傾向)

○高齢者

鉄道駅におけるエレベーターの利用状況は、「必ず利用する」が3割程度、「だいたい利用する」「たまに利用する」が5割程度、「ほとんど利用しない」が2割程度となっている(図4-3)。

また、その理由は、「楽だから(6割弱)」が最も多く、「階段やエスカレーターの利用が困難だから」が2割程度、「危険だから」が1割強である(図4-4)。その他には、重い荷物を持つての移動に負担があることや、足腰など身体的負担があるためにエレベーターを利用する方が多くみられる。

○子育て世代

鉄道駅におけるエレベーターの利用状況は、「必ず利用する」が5割弱程度、「だいたい利用する」「たまに利用する」が5割弱程度、「ほとんど利用しない」が1割弱程度となっている(図4-3)。

また、その理由は、「階段やエスカレーターの利用が危険だから(7割弱)」や「困難だから(6割弱)」が多く、現在のベビーカー等利用者の方がより高い傾向がある(図4-4)。その他には、自由意見から複数の子どもを連れての外出や子どもの安全を考慮してエレベーターを利用する方もみられる。

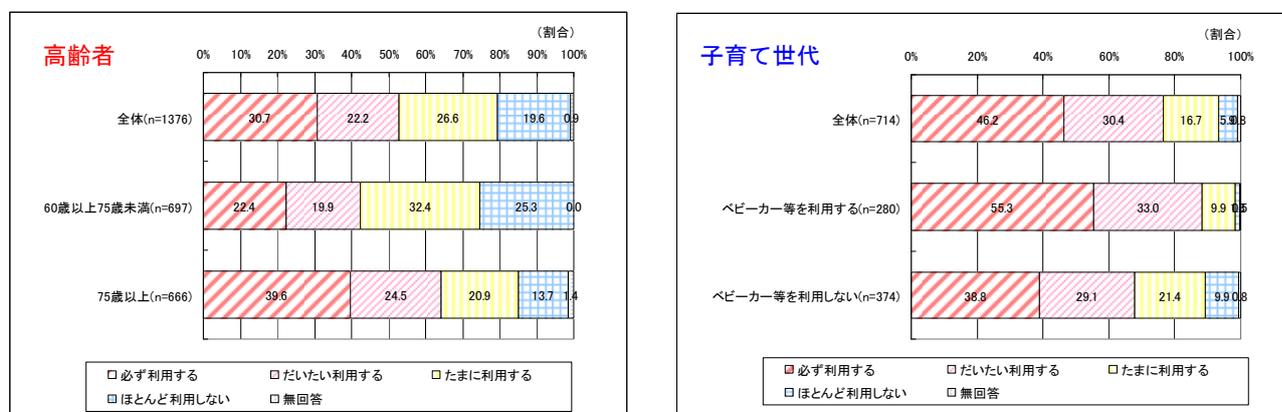


図 4-3 鉄道駅のエレベーターの利用状況

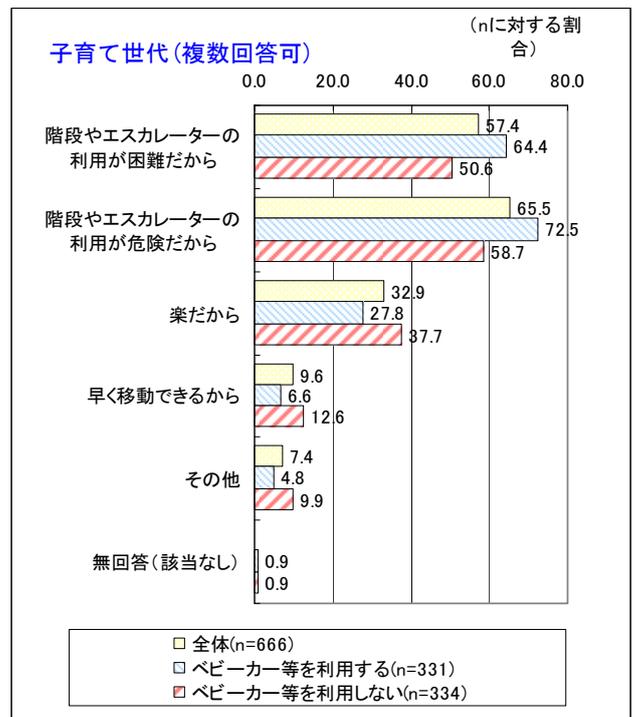
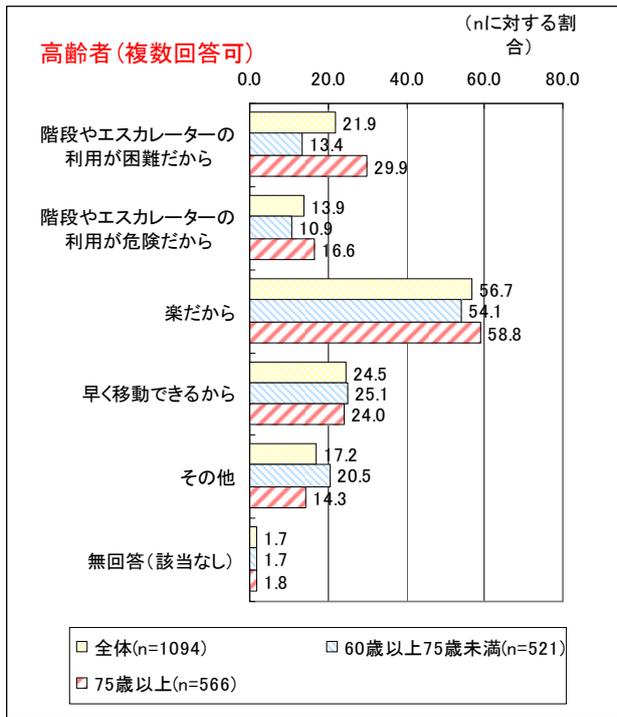


図 4-4 鉄道駅のエレベーターを利用する理由

(分析：属性による傾向)

○高齢者

年齢別に見ると、75歳未満に比べて75歳以上の高齢であるほどよりエレベーターを利用する傾向にあり(図 4-3)、利用する理由も、「困難だから」「危険だから」の割合が高まる(図 4-4)。

エレベーターを利用する理由別の利用頻度の傾向としては、「困難だから」「危険だから」との回答者のエレベーター利用頻度が高く、その他の理由の回答者はエレベーターの利用頻度が低くなっている。(図 4-5)。

○子育て世代

ベビーカー等の利用状況別に見ると、現在のベビーカー等利用者(実態)については、ほぼ全数近くが鉄道駅のエレベーターを利用している。また、現在ベビーカー等を利用していない(過去の経験)方でも、9割程度がベビーカー等を利用する場合に鉄道駅のエレベーターを利用している(図 4-3)。

高齢者(複数回答可)

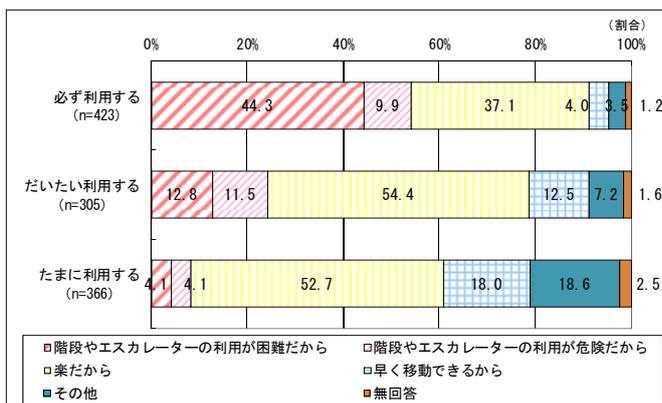


図 4-5 鉄道駅のエレベーターを利用する理由別の利用頻度(エレベーター利用者のみ)

(分析：エレベーターとエスカレーターの利用傾向【高槻地域】)

JR 高槻駅周辺に設置されたエレベーター・エスカレーターについて、同一の上下移動における利用傾向を分析した (図 4-6, 7)。

○高齢者

エレベーターに比べて、エスカレーターの利用が多い。

エレベーター利用の理由は前述のとおり「楽だから」との回答が多く、身体的負担がそれほど大きくない方にとっては、待ち時間や人数制限がないエスカレーターの利用傾向が高いほか、自由意見では「健康のために階段を歩く」など健康を意識した意見も見られた。

○子育て世代

エレベーターの利用が圧倒的に多い。



図 4-6 JR 高槻駅周辺エレベーター・エスカレーターの設置状況

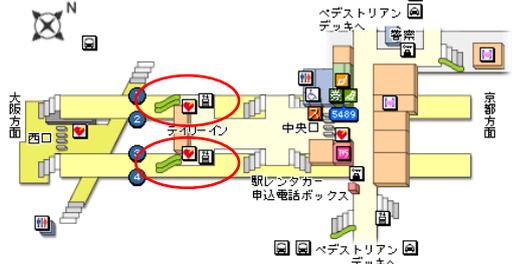
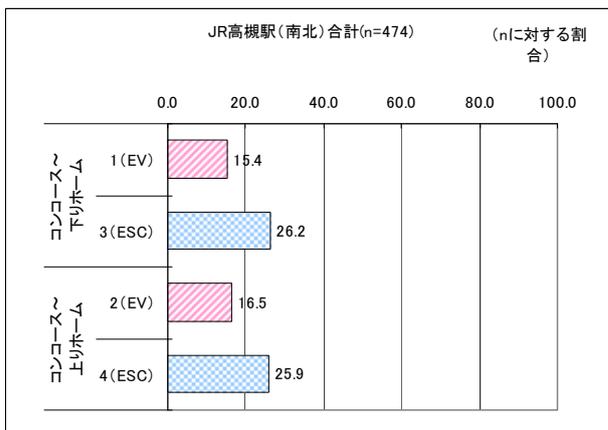


図 4-7 JR 高槻駅案内図

(出典：JR おでかけネット)

高齢者(複数回答可)



子育て世代(複数回答可)
ベビーカー利用者のみ

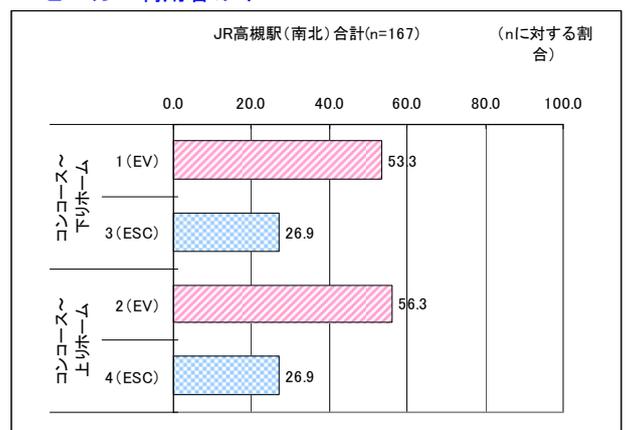
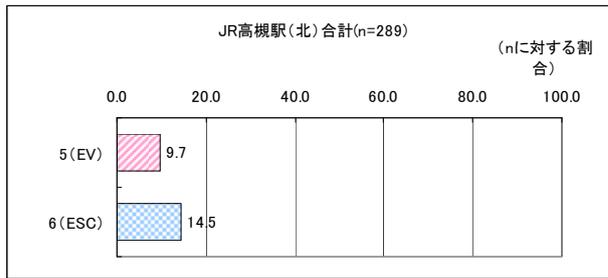


図 4-8 JR 高槻駅構内のエレベーター・エスカレーター*の利用する人の割合
(※図 4-6 における番号 1～4 の設備)

凡例：EV…エレベーター、ESC…エスカレーター

高齢者（複数回答可）



子育て世代（複数回答可）
ベビーカー利用者のみ

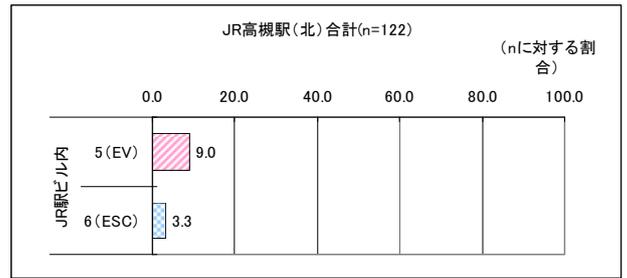


図 4-9 JR 高槻 NK ビル内のエレベーター・エスカレーター※の利用する人の割合
(※図 4-6 における番号 5・6 の設備)

凡例：EV…エレベーター、ESC…エスカレーター

(分析：バリアフリー設備の重視度【島本地域】)

大阪（梅田）へ行くのに利用する駅を選択する理由より、バリアフリー設備の重視度を分析した（図 4-10）。

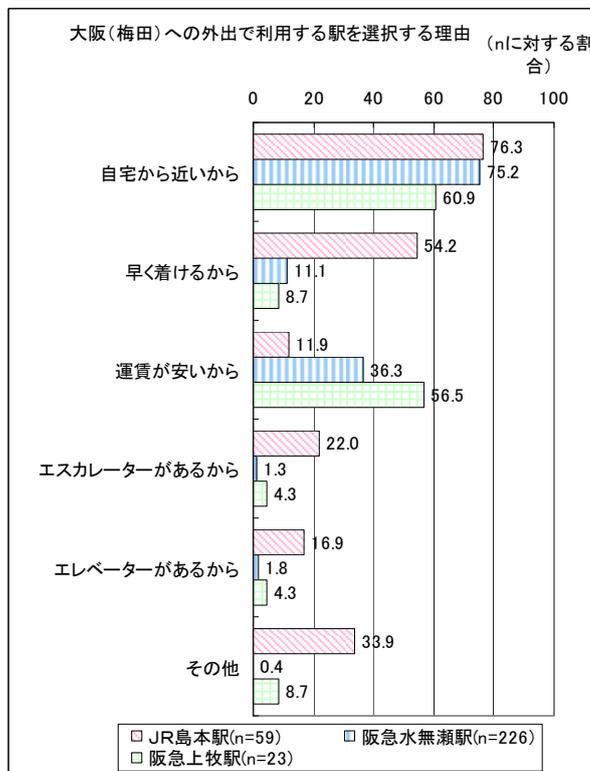
○高齢者

バリアフリー化されている JR 島本駅では、自宅からの距離、時間と比べて重視度は劣るものの、エレベーターやエスカレーターも重視されている。

○子育て世代

バリアフリー化されている JR 島本駅では、自宅からの距離に次いで、エレベーターが重視されている。

高齢者（複数回答可）



子育て世代（複数回答可）

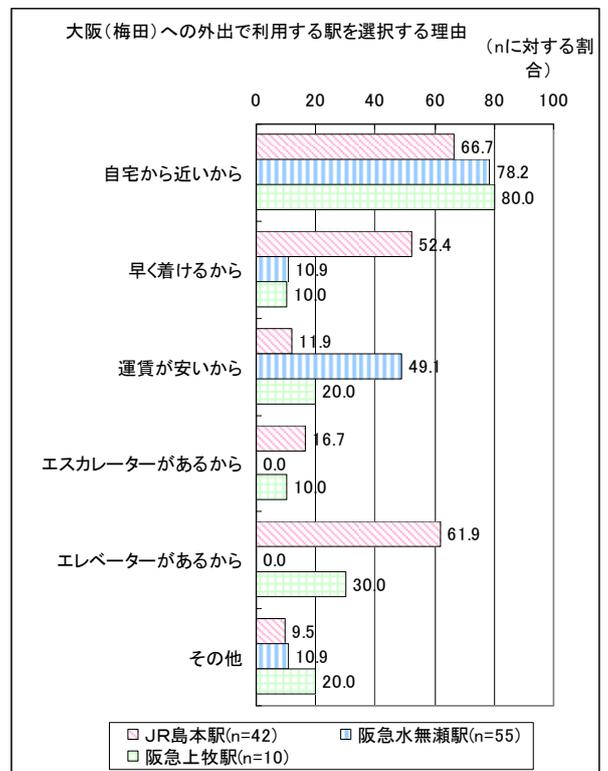


図 4-10 大阪（梅田）へ行くのに利用する駅を選択する理由【島本地域】

※大阪（梅田）までの運賃：JR 島本駅 450 円、阪急水無瀬駅 310 円、阪急上牧駅 310 円

※大阪（梅田）までの所要時間：JR 島本駅 24 分、阪急水無瀬駅 29 分、阪急上牧駅 28 分

4.2.2 鉄道の利用促進効果

(1) 概要

鉄道の利用促進効果を検証するために以下に示す調査を実施した。調査結果から、外出機会の増加や行動の変化等について、分析を行った。

(調査手法)

鉄道駅におけるエレベーター・エスカレーターの設定が高齢者および子育て世代の鉄道の利用に与える効果として、利用回数の増加、および外出目的の変化の2つの観点から調査した。

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターの設定による変化を把握するために、対象駅の状態に応じて、アンケートの質問を設定した。

- ・最近、エレベーター・エスカレーターが設置された駅

調査対象：JR 高槻北口※（高齢者のみ）、JR 島本、阪急富田

設問内容：整備前後の実際の行動

- ・エレベーター・エスカレーターが設置されていない駅

調査対象：JR 高槻南口、阪急水無瀬、JR 摂津富田

設問内容：今後整備された場合の想定行動

- ・既に、エレベーター・エスカレーターが設置されている駅

調査対象：阪急高槻市、JR 高槻北口※（子育てのみ）

設問内容：エレベーター・エスカレーターが利用できないと想定した場合の行動

※JR 高槻北口は、平成 15 年に整備されたため、子育て世代にとっては実際の行動を把握が困難なため、「利用できないと想定した場合の行動」を回答してもらった

(全体の傾向)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターの設定により、高齢者および子育て世代で外出機会が増加したり、他の駅、他の交通手段から転換したりして、対象駅からの鉄道の利用回数が増加している。

また、外出目的では、遠出の買い物や観光などの余暇活動が増加している。

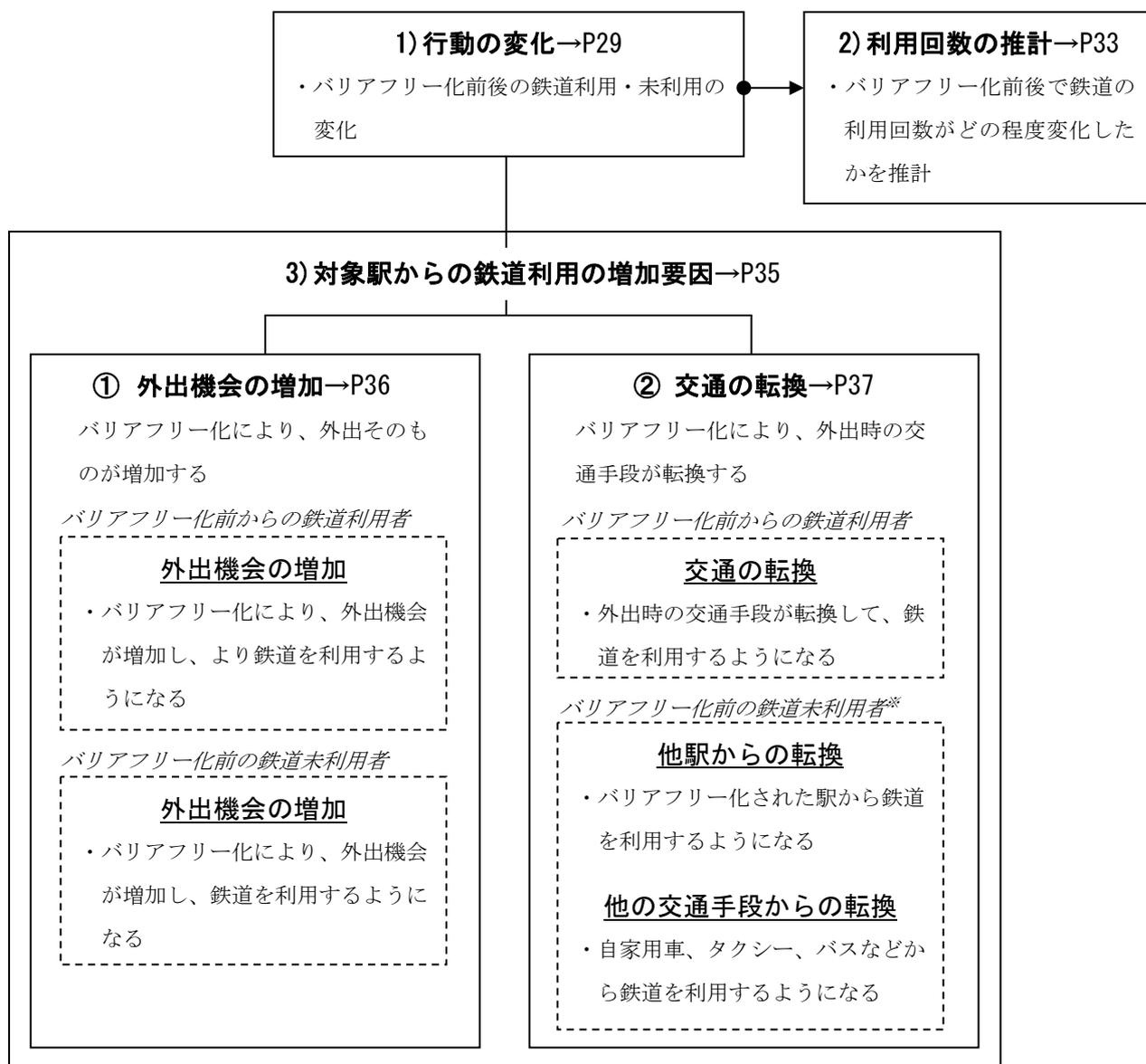
(参考：乗客数による検証)

“鉄道の利用が増えた”というアンケート回答を定量的に検証するため、鉄道の乗客数（高齢者、子育て世代の利用を考慮し、定期外とした）を用いて検証を行ったところ、乗客数の推移からは、バリアフリー化前後の変化を確認できなかった。これは調査対象地区においては、乗客数（定期外）に通勤利用の割合が高く、高齢者や子育て世代の割合が低くなっているためであると考えられる（資料 9 参照）。

(2) 鉄道の利用回数の増加

鉄道駅のバリアフリー化による鉄道利用・未利用という行動の変化を把握した。その上で、鉄道の利用回数がどの程度変化したかを推計した。

さらに、対象駅からの鉄道利用が増加している要因を、外出機会の増加および交通の転換の面から分析した。



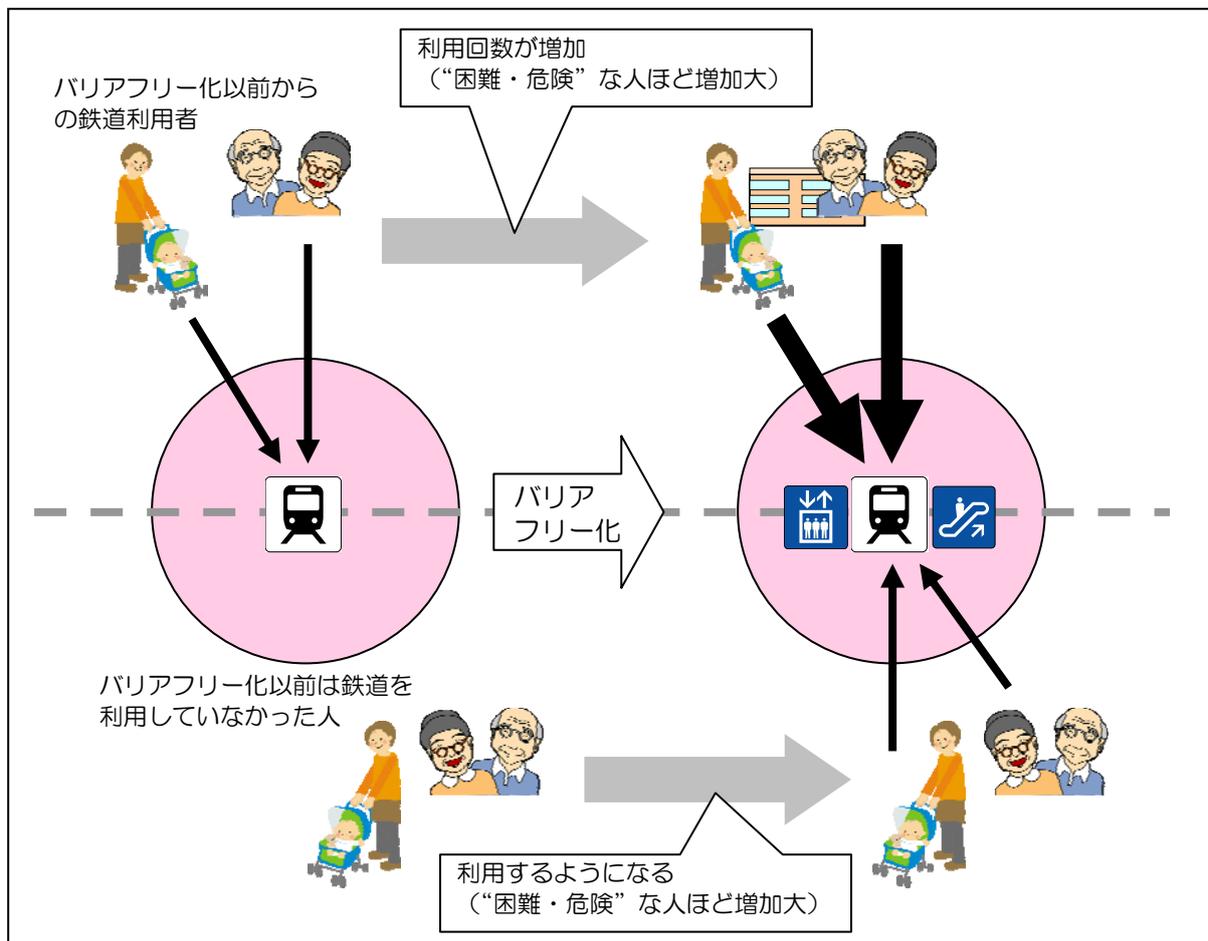
※バリアフリー化前の鉄道未利用者のみ、「他駅からの転換」と「他の交通手段からの転換」を区別して質問を設定した

図 4-11 鉄道の利用回数の増加 調査の枠組み

1) 行動の変化

(まとめ)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターの設置により、設置以前からの利用者は利用回数が増加し、また、以前は利用していなかった人も利用するようになるなど、鉄道の利用回数が増加する。



(調査内容)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターの設置により、鉄道の利用状況に変化（利用回数が増加する、新たに利用するようになる）が起こっているかを調査した。

(全体の傾向)

最近、エレベーター・エスカレーターが設置された駅に対する「整備前後の実際の行動」では、設置前からの利用者のうち3~4程度が鉄道の利用回数を増加させており、また、設置前の未利用者のうち2~3割程度が鉄道を利用するようになる（図4-12）。

エレベーター・エスカレーターが設置されていない駅に対する「今後整備された場合の想定行動」では、現在の利用者のうち4~5割程度が鉄道の利用回数を増やすとしており、また、現在の未利用者のうち4~5割程度が鉄道を利用するようになる」と回答している（図

4-13)。

既に、エレベーター・エスカレーターが設置された駅に対する「現在のエレベーター・エスカレーターが利用できない場合を想定した行動」では、利用できない場合の利用者のうち2～5割程度が鉄道利用回数を減少させており、また、利用できない場合の未利用者のうち1～3割程度が鉄道を利用しなくなる（図4-14）。

【過去の整備に対する実際の行動】

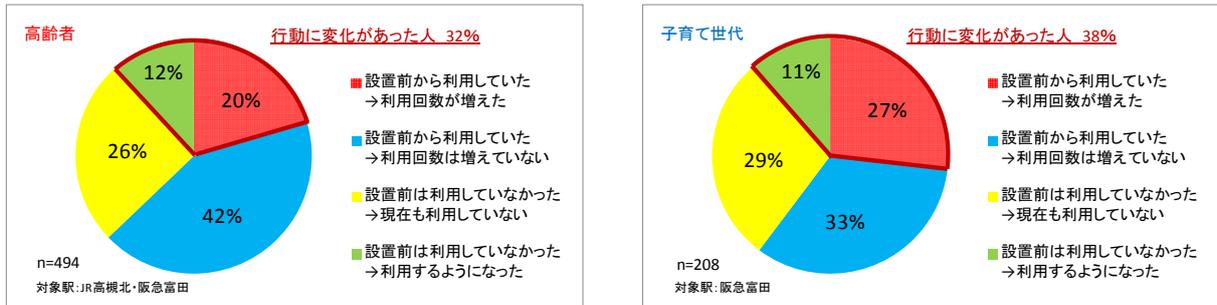


図4-12 鉄道の利用状況の変化①

【今後の整備に対する想定の行動】

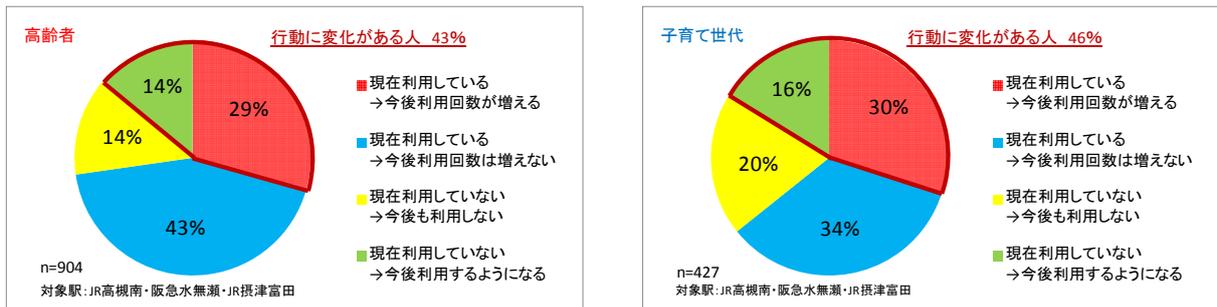


図4-13 鉄道の利用状況の変化②

【現在のエレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定の行動】

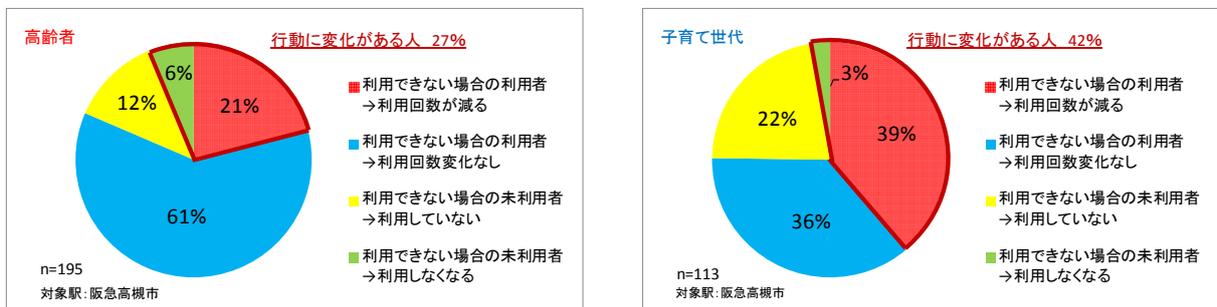


図4-14 鉄道の利用状況の変化③

(分析：エレベーターの利用理由による傾向)

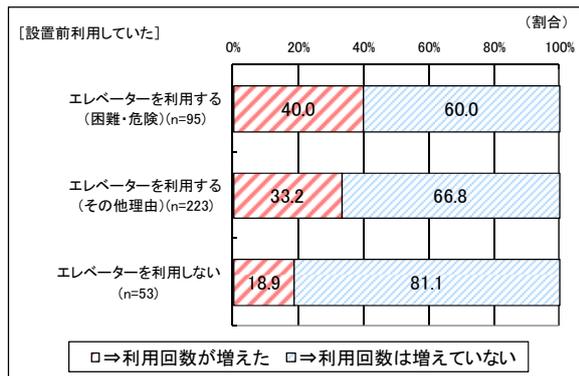
高齢者および子育て世代の移動の負担に応じた行動の変化を分析するため、エレベーターの利用状況および利用理由に応じた次の3つのグループを設定し、分析を行った。

- ① 鉄道駅で階段やエスカレーターの利用が困難である、もしくは危険であるためエレベーターを利用する (移動の負担大、エレベーターの必要性大)
- ② ①以外の理由 (楽だから、早く移動できる、その他) で、鉄道駅のエレベーターを利用する (移動の負担小)
- ③ 鉄道駅でエレベーターを利用しない

以上の3つの区分により行動の変化を分析した結果、高齢者・子育て世代ともに、鉄道駅で階段やエスカレーターの利用が困難・危険なためエレベーターを利用する方ほど鉄道の利用促進効果が高い傾向にある。また、高齢者では、バリアフリー化により鉄道を新たに利用する傾向が高くなっている (図 4-15~17)。

【過去の整備に対する実際の行動】

高齢者 JR 高槻北・阪急富田



子育て世代 JR 高槻北・阪急富田

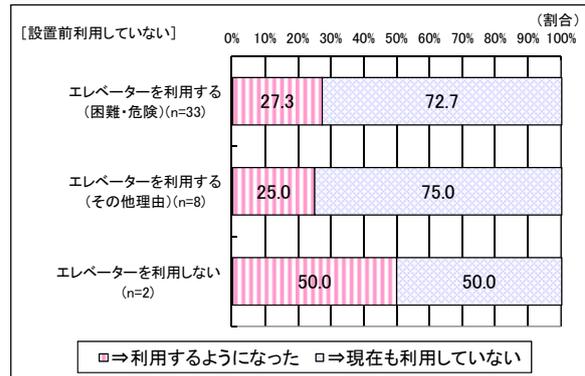
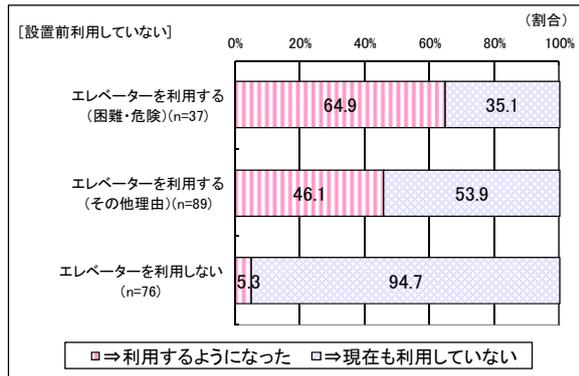
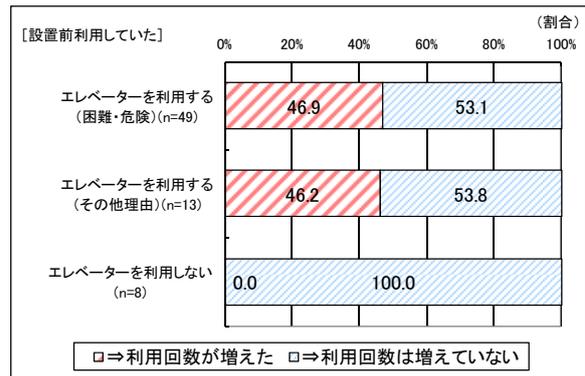
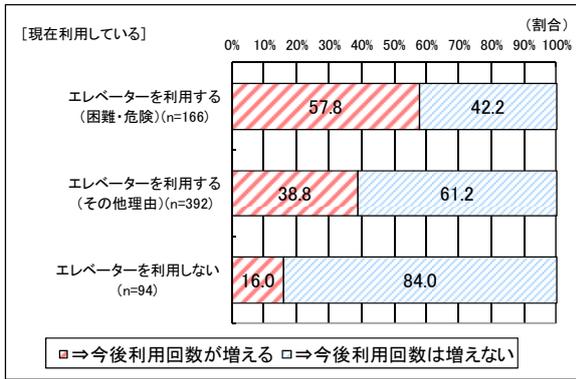


図 4-15 鉄道の利用状況の変化 (エレベーターの利用理由別) ①

【今後の整備に対する想定の行動】

高齢者 JR 高槻南・阪急水無瀬・JR 摂津富田



子育て世代 JR 高槻南・阪急水無瀬・JR 摂津富田

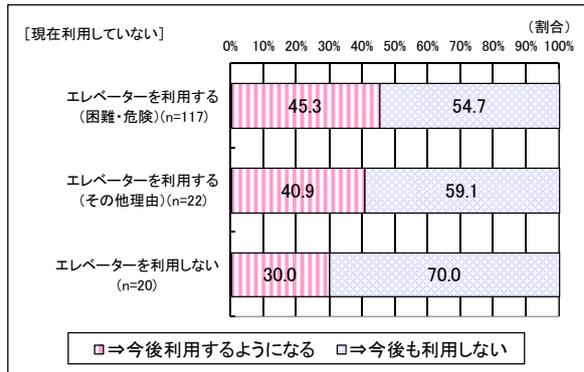
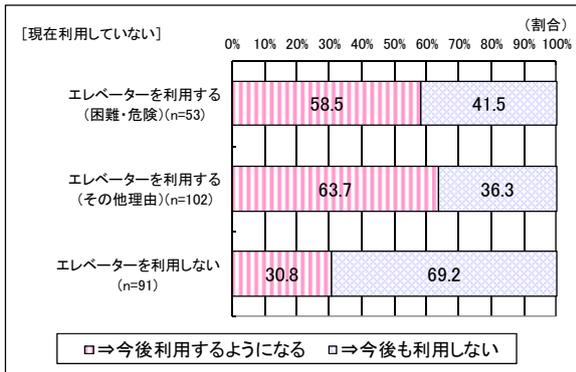
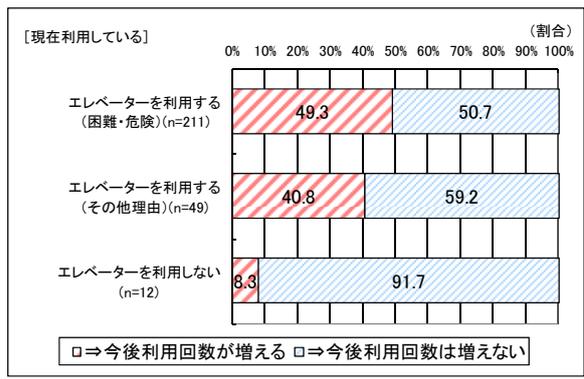
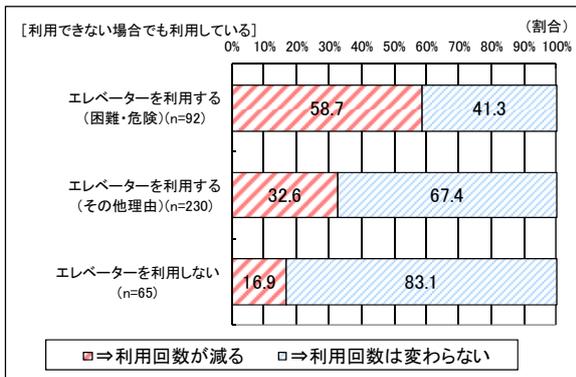


図 4-16 鉄道の利用状況の変化（エレベーターの利用理由別）②

【現在のエレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定の行動】

高齢者 阪急高槻市・JR 島本



子育て世代 JR 高槻北・阪急高槻市・JR 島本

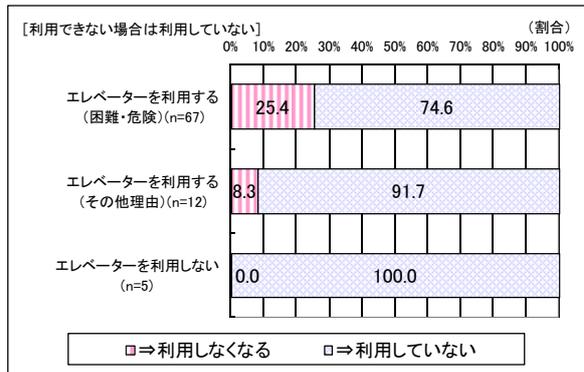
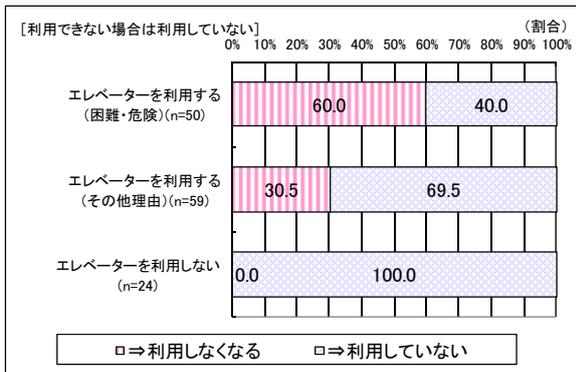
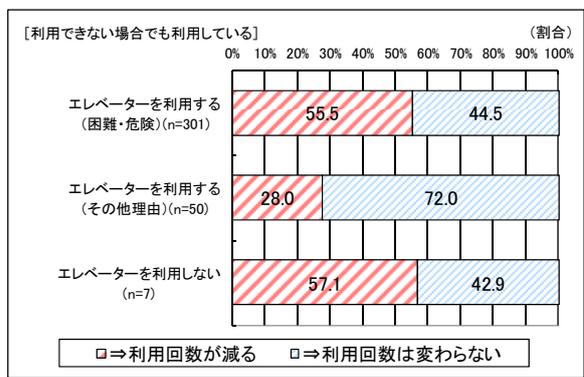
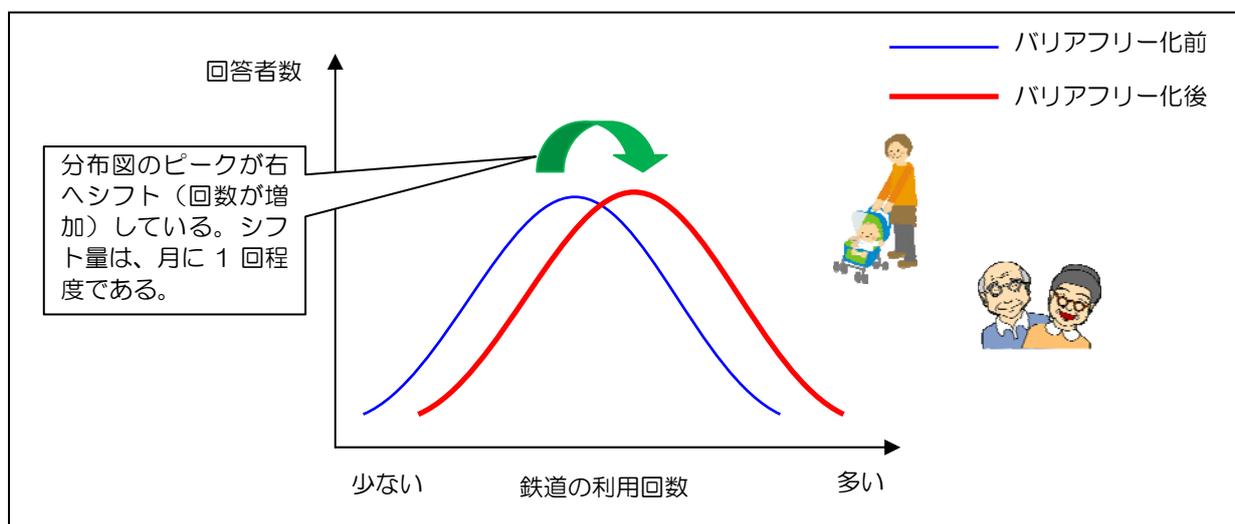


図 4-17 鉄道の利用状況の変化（エレベーターの利用理由別）③

2) 鉄道の利用回数の推計

(まとめ)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターを設置により、鉄道の利用回数は月に1回程度の増加が見込まれる。



(調査内容)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターを設置により、鉄道の利用回数がどの程度変化したかを調査した。

(全体の傾向)

鉄道の利用回数の変化としては、高齢者・子育て世代とも、分布図のピークが右へシフトしている（図4-18）。また、利用回数に変化がある人の割合は、4～5割程度となっている。その中でも、バリアフリー整備前の利用回数が「月に1回程度」、「月に2～3回程度」の人は、利用回数が増加している割合が高くなっている（表4-5）。

(分析：平均利用回数の推計)

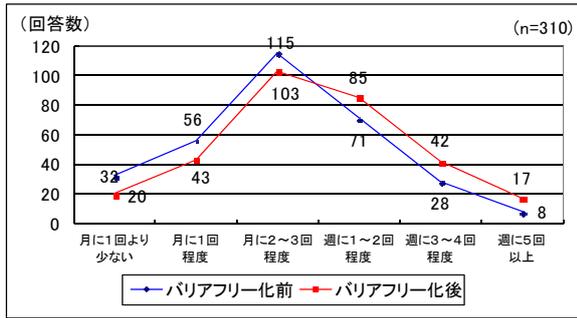
利用回数がどの程度変化したかを推計*したところ、高齢者は平均で4.4回/月→5.9回/月に、子育て世代は5.0回/月→6.5回/月となり、月に1回程度増加していることがわかった。

※推計方法

- ①利用回数の選択肢をそれぞれ「月に〇回」に変換する
週に5回以上→24回、週に3～4回程度→14回、週に1～2回程度→6回
月に2～3回程度→2.5回、月に1回程度→1回、月に1回より少ない→0.5回
- ②バリアフリー整備前後の利用回数をそれぞれ算出する

高齢者

JR 高槻北南・阪急水無瀬・阪急富田・JR 摂津富田



子育て世代

JR 高槻南・阪急水無瀬・阪急富田・JR 摂津富田

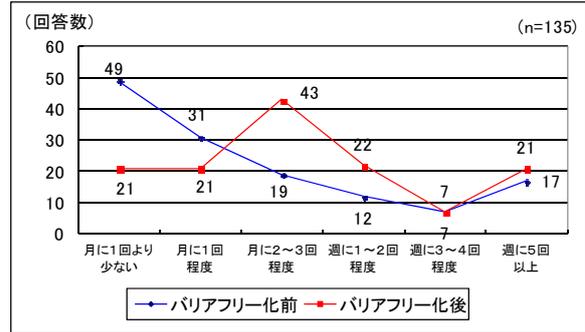


図 4-18 利用回数の変化 (バリアフリー化前の利用者のみ)

表 4-5 利用回数の変化 (バリアフリー化前の利用者のみ)

高齢者

JR 高槻北南・阪急水無瀬・阪急富田・JR 摂津富田

	週に5回以上	週に3~4回程度	週に1~2回程度	月に2~3回程度	月に1回程度	月に1回より少ない	計
週に5回以上	8	0	0	0	0	0	8
週に3~4回程度	8	20	0	0	0	0	28
週に1~2回程度	0	19	52	0	0	0	71
月に2~3回程度	1	3	32	79	0	0	115
月に1回程度	0	0	1	21	34	0	56
月に1回より少ない	0	0	0	3	9	20	32
計	17	42	85	103	43	20	310

子育て世代

JR 高槻南・阪急水無瀬・阪急富田・JR 摂津富田

	週に5回以上	週に3~4回程度	週に1~2回程度	月に2~3回程度	月に1回程度	月に1回より少ない	計
週に5回以上	17	0	0	0	0	0	17
週に3~4回程度	4	3	0	0	0	0	7
週に1~2回程度	0	4	8	0	0	0	12
月に2~3回程度	0	0	10	9	0	0	19
月に1回程度	0	0	3	20	8	0	31
月に1回より少ない	0	0	1	14	13	21	49
計	21	7	22	43	21	21	135

3) 対象駅からの鉄道利用の増加要因

(まとめ)

鉄道駅のバリアフリー化により、外出機会の創出（増加）や外出時の交通手段の転換がおこり、対象駅からの鉄道利用が増加している。

(調査内容)

鉄道駅のエレベーター・エスカレーターを設置により、対象駅からの鉄道利用が増加している要因を調査した。

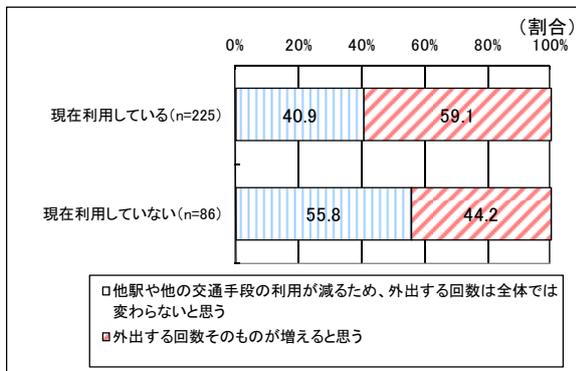
(全体の傾向)

エレベーター・エスカレーターが設置されていない駅に対する「今後の整備に対する想定の実動」としては、4～7割程度の方が他の駅や他の交通手段からの転換で、残りが外出機会の創出（増加）により、対象駅からの鉄道利用が増加している。（図 4-19）。

既に、エレベーター・エスカレーターが設置された駅に対する「現在設置されているエレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定の実動」としては、6割程度の方が他の駅や他の交通手段を利用すると回答し、残りが自宅周辺への外出で済ませる・外出をやめると回答している。（図 4-20）。

【今後の整備に対する想定の実動】

高齢者 JR 高槻南・阪急水無瀬・JR 摂津富田



子育て世代 JR 高槻南・阪急水無瀬・JR 摂津富田

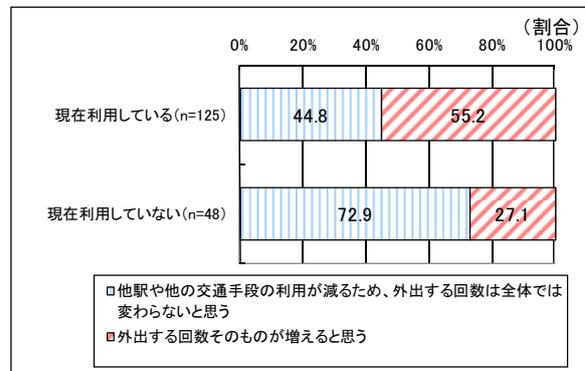


図 4-19 外出回数の変化

【現在のエレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定の実動】

子育て世代 JR 高槻北

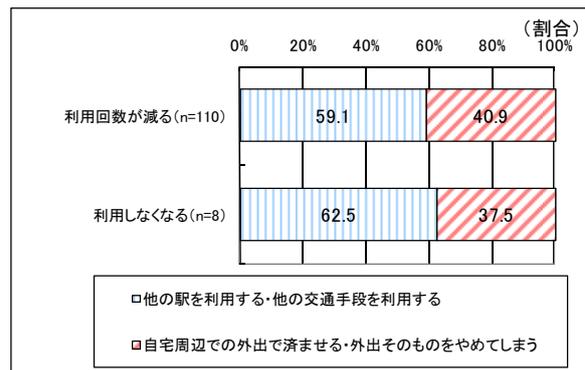
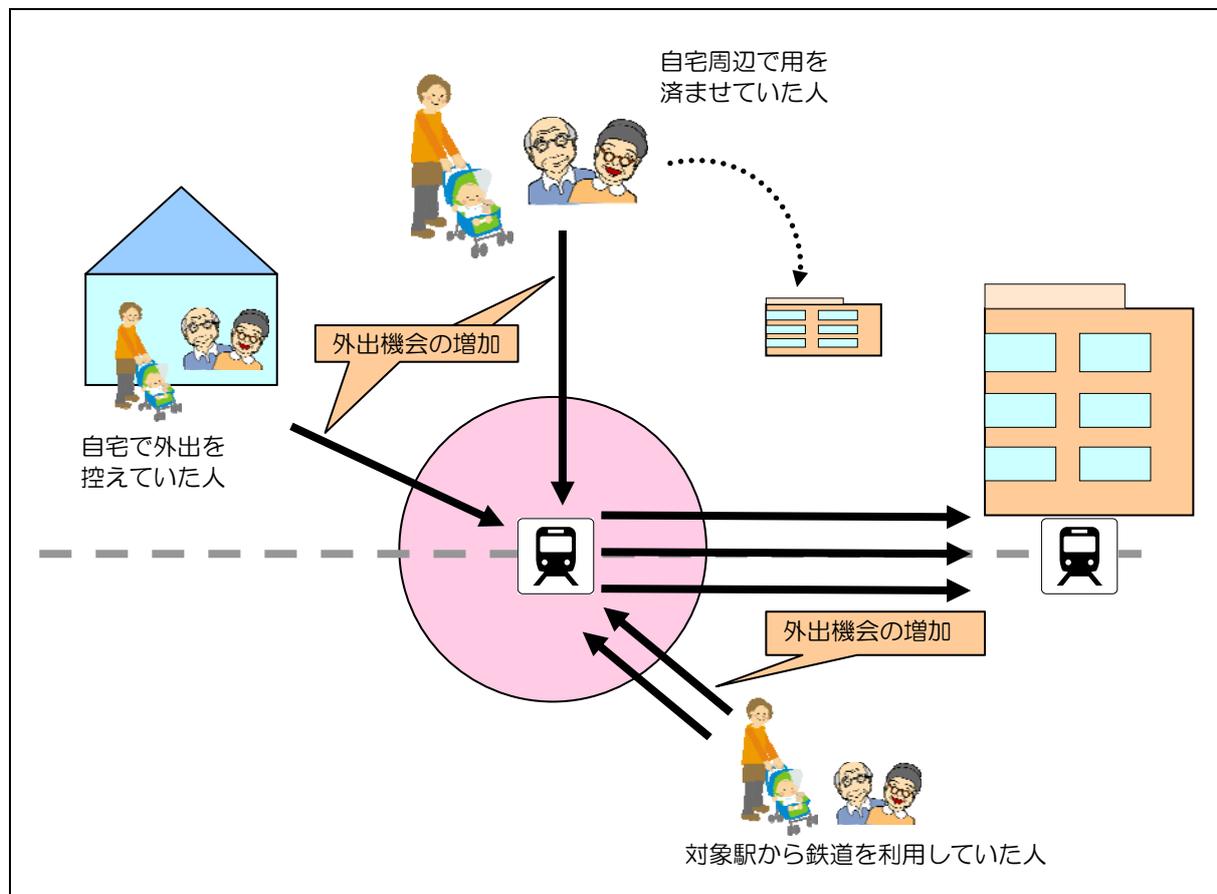


図 4-20 外出の変化

① 外出機会の創出・増加

(まとめ)

鉄道駅のバリアフリー化が、外出機会の増加につながっている。



(調査内容)

鉄道駅のエレベーター・エスカレーターを設置により、外出機会が増加しているかを調査した。

(全体の傾向)

エレベーター・エスカレーターが設置されていない駅に対する「今後の整備に対する想定の実動」としては、現在利用している人のうち6割程度の人で外出機会が増加し、また現在利用していない人のうち3~4割程度の人で外出機会が増加している(図4-19)。

既に、エレベーター・エスカレーターが設置された駅に対する「現在設置されているエレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定の実動」としては、利用回数が減る人も利用しなくなる人もともに、4割程度が自宅周辺への外出で済ませる、外出をやめると回答している。(図4-20)。

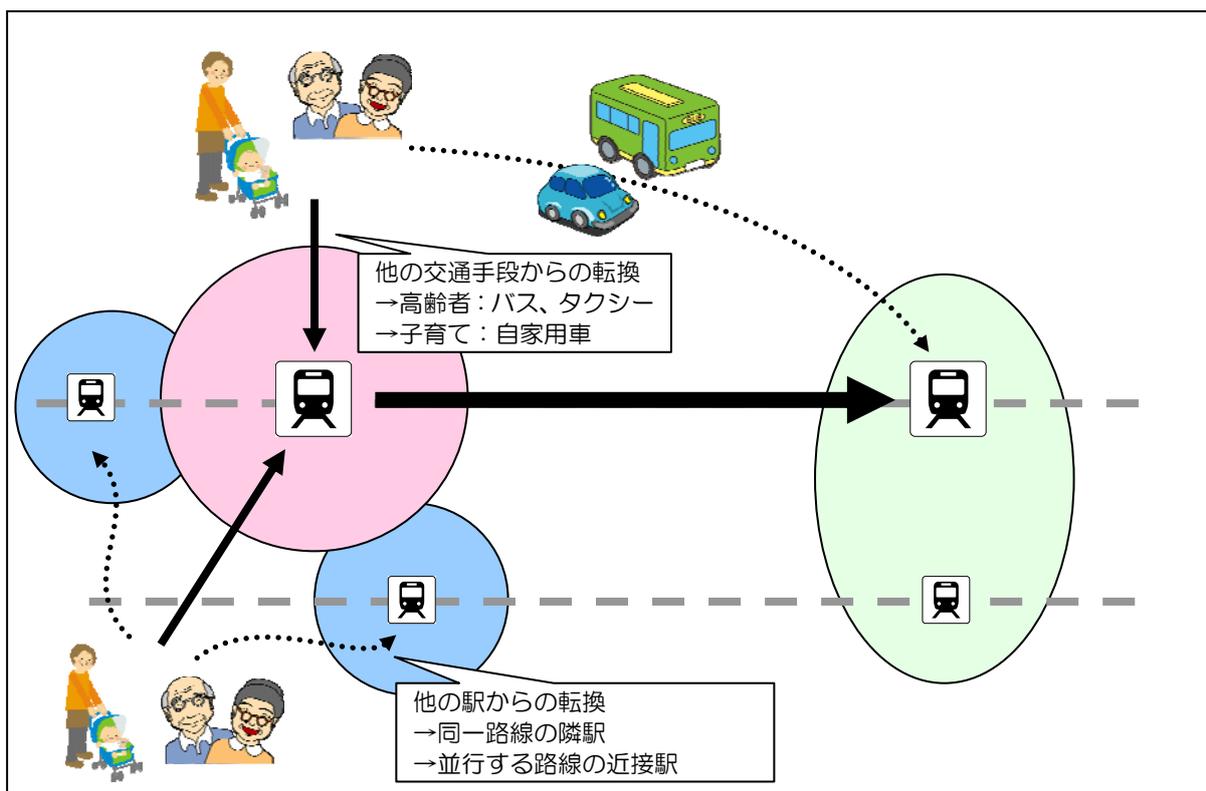
② 交通の転換

(まとめ)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターを設置により、他の駅や他の交通手段から転換して、対象駅からの鉄道利用が増加している。

他の駅からの転換としては、同一路線の隣駅や並行する路線の近接駅からの転換が見られる。

他の交通手段からの転換としては、高齢者はバス・タクシーからの転換、子育ては自家用車からの転換が見られる。



(調査内容)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターを設置による他の駅からの転換や他の交通手段からの転換状況について調査した。

(全体の傾向：他の駅からの転換)

最近、エレベーター・エスカレーターが設置された駅に対する「整備前後の実際の行動」では、設置前の未利用者のうち3割程度が他の駅から転換し、残りが他の交通手段からの転換していることがわかった。また、新駅として開業したJR島本駅については、9割程度が他の駅からの転換となっている(図4-21)。

エレベーター・エスカレーターが設置されていない駅に対する「今後整備された場合の想定行動」では、現在利用していない人のうち5~6割程度が他の駅から転換し、残りが

他の交通手段から転換するとしている（図 4-22）。

既に、エレベーター・エスカレーターが設置された駅に対する「現在のエレベーター・エスカレーターが利用できない場合を想定した行動」では、利用できない場合でも利用する人の 2 割、利用できない場合は利用しない人の 1 割程度が他の駅からの転換で、残りが他の交通手段からの転換となっている（図 4-23）。

【過去の整備に対する実際の行動】（設置前利用していない人のみ）

高齢者 JR 高槻北・阪急富田・JR 島本

子育て世代 阪急富田・JR 島本

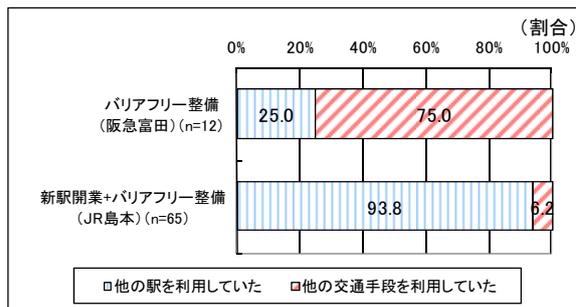
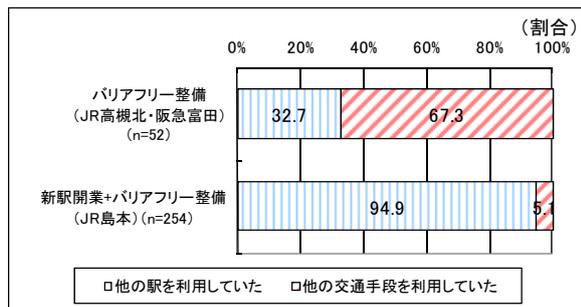


図 4-21 外出時の交通手段の転換①

【今後の整備に対する想定の実行動】（現在利用していない人のみ）

高齢者 JR 高槻南・阪急水無瀬・JR 摂津富田

子育て世代 JR 高槻南・阪急水無瀬・JR 摂津富田

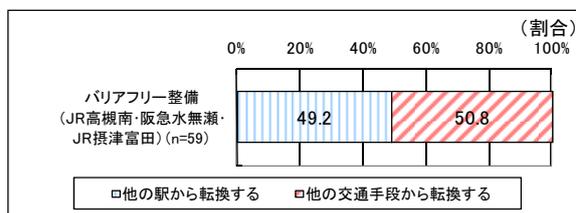
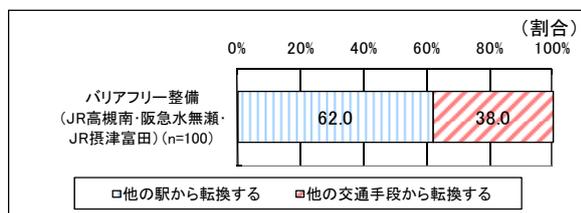


図 4-22 外出時の交通手段の転換②

【現在のエレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定の実行動】

子育て世代 JR 高槻北

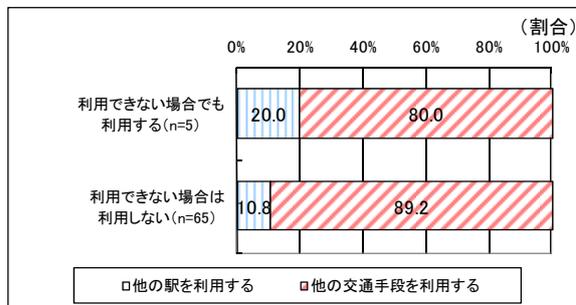


図 4-23 外出時の交通手段の転換③

(全体の傾向：他の交通手段からの転換)

転換する交通手段としては、高齢者では、バスやタクシーが多く、子育て世代では、自家用車が多い(表4-6)。

表4-6 エレベーター・エスカレーター設置による交通手段の変化(自由回答)

高齢者

【過去の整備に対する実際の行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

	n	バリアフリー化前の交通手段						
		自家用車(自分で運転)	自家用車(他の人が運転)	自家用車	バス	タクシー	自転車	徒歩
JR高槻駅合計	25	4 16.0	8 32.0	0 0.0	9 36.0	0 0.0	3 12.0	1 4.0
JR島本駅	12	2 16.7	3 25.0	2 16.7	1 8.3	4 33.3	1 8.3	1 8.3
阪急富田駅	10	0 0.0	0 0.0	3 30.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	2 20.0

【今後の整備に対する想定行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

	n	バリアフリー化前(現在)の交通手段						
		自家用車(自分で運転)	自家用車(他の人が運転)	自家用車	バス	タクシー	自転車	徒歩
JR高槻駅(南口)合計	17	3 17.6	3 17.6	1 5.9	0 0.0	2 11.8	4 23.5	5 29.4
阪急水無瀬駅	4	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
JR摂津富田駅	17	0 0.0	3 17.6	2 11.8	6 35.3	3 17.6	1 5.9	2 11.8

子育て世代

【過去の整備に対する実際の行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

	n	バリアフリー化前の交通手段						
		自家用車(自分で運転)	自家用車(他の人が運転)	自家用車	バス	タクシー	自転車	徒歩
阪急富田駅	9	2 22.2	2 22.2	3 33.3	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0

【エレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

	n	バリアフリー設備が利用できない場合の交通手段						
		自家用車(自分で運転)	自家用車(他の人が運転)	自家用車	バス	タクシー	自転車	徒歩
JR高槻駅(北口)合計	59	35 59.3	19 32.2	11 18.6	3 5.1	5 8.5	2 3.4	1 1.7
JR島本駅	4	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

【今後の整備に対する想定行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

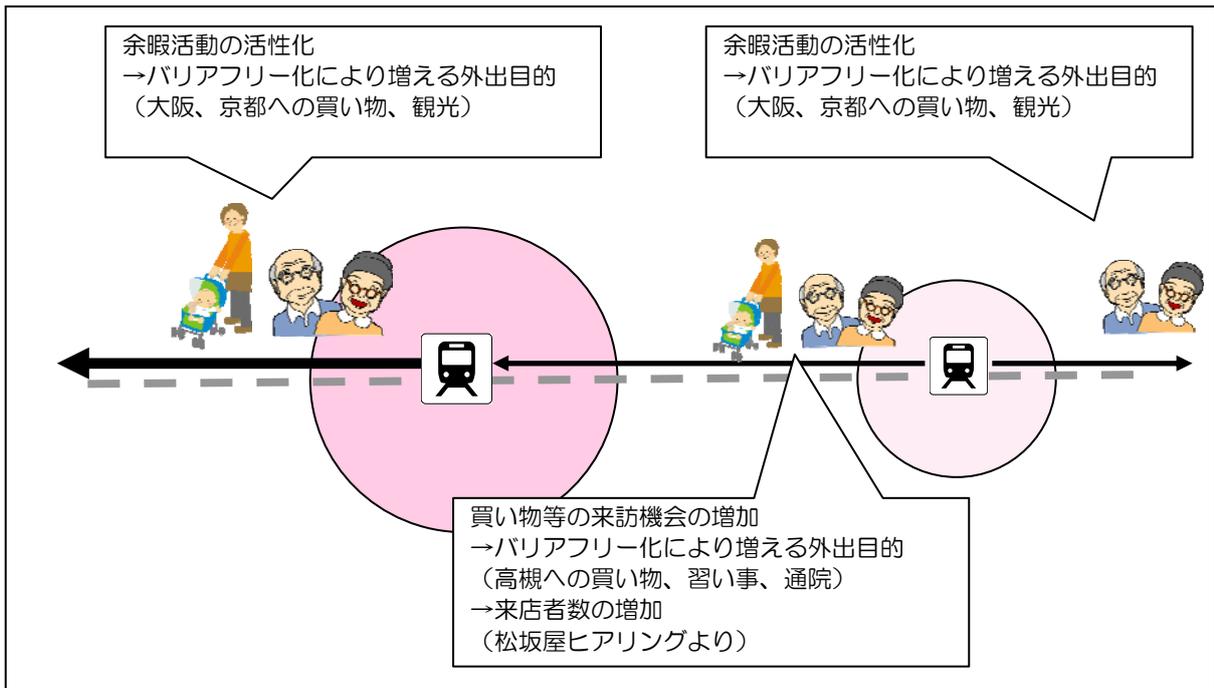
	n	バリアフリー化前(現在)の交通手段						
		自家用車(自分で運転)	自家用車(他の人が運転)	自家用車	バス	タクシー	自転車	徒歩
JR高槻駅(南口)合計	20	3 15.0	4 20.0	9 45.0	2 10.0	0 0.0	4 20.0	2 10.0
阪急水無瀬駅	5	2 40.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
JR摂津富田駅	8	3 37.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0

(3) 外出目的の変化

(まとめ)

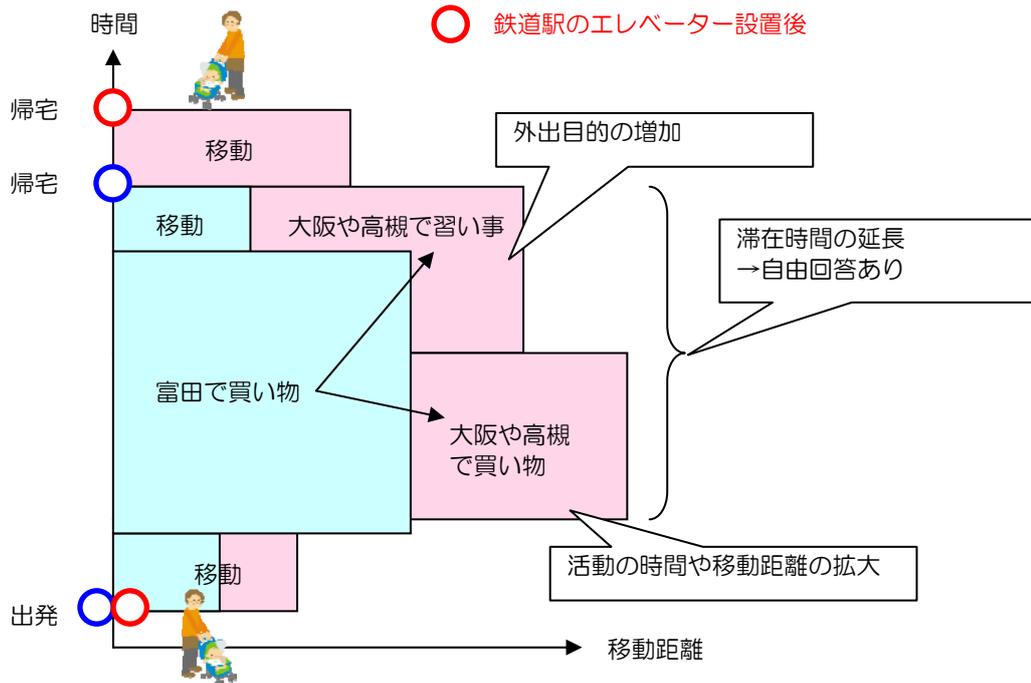
鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターを設置により、鉄道を利用した外出の時間や移動距離が拡大し、遠出の買い物・観光など余暇活動が活発化している。

大阪・京都への大都市への外出に加え、地域の商業拠点となっている核都市（高槻地域）への吸引力も向上する。



参考イメージ（調査結果からの考察）

- 鉄道駅のエレベーター設置前
- 鉄道駅のエレベーター設置後



(調査内容)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターの設置による鉄道を利用した外出を対象に、外出目的の変化について調査した。

(全体の傾向)

エレベーター・エスカレーターが設置された駅における実際の行動としては、以下のような傾向がある。

- ・整備後に鉄道の利用回数が増えた方（利用回数が増えた、利用するようになった）のうち、2～5割程度が新しくはじめたことや回数が増えたことがあると回答している（図 4-24）。
- ・全地域ともに、大阪や京都への買い物や観光・レジャー目的での外出が増えている。また、富田、島本地域から、高槻地域への買い物等の外出が増えている（図 4-25, 26）。

今後の整備に対する想定の実行動としては、以下のような傾向がある。

- ・全地域ともに、大阪や京都への買い物や観光・レジャー、知人宅への訪問などの目的での外出意向が高い（図 4-27, 28）。

【過去の整備に対する実際の行動】（n=利用回数が増えた、利用するようになった）

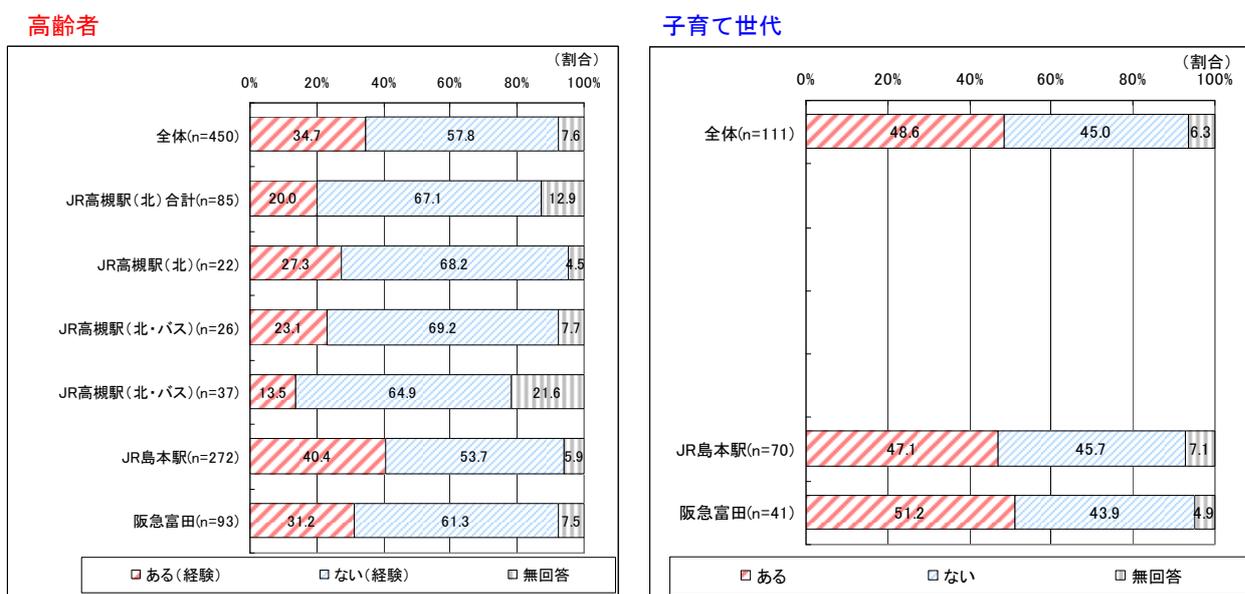
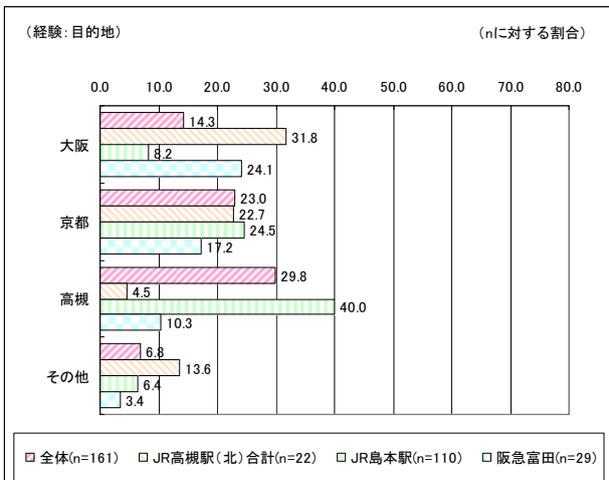


図 4-24 エレベーターやエスカレーターの設置後に
鉄道を利用して新しく始めた事や回数が増えた事

【過去の整備に対する実際の行動】(n=整備後に利用回数が増えた、利用するようになった)

高齢者(自由回答)



子育て世代(自由回答)

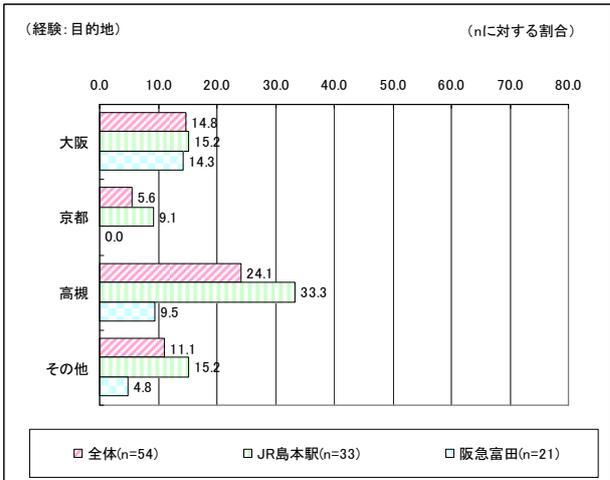
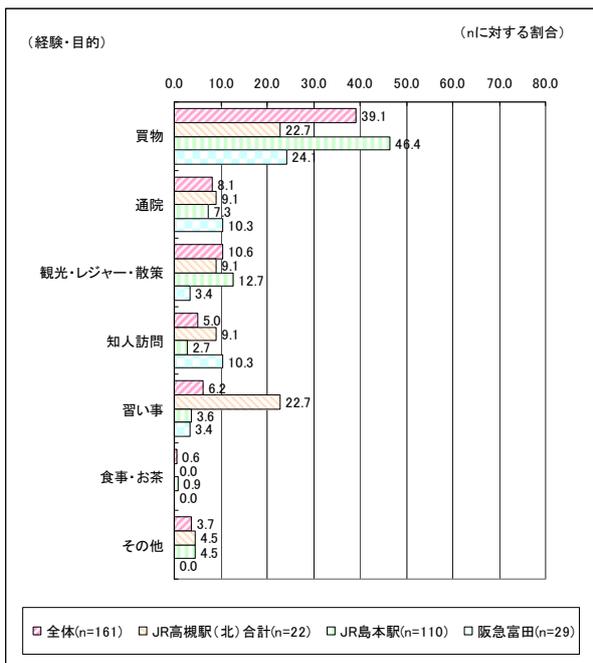


図 4-25 エレベーターやエスカレーターの設置後に
鉄道を利用して新しく始めた事や回数が増えた事【目的地別集計】

高齢者(自由回答)



子育て世代(自由回答)

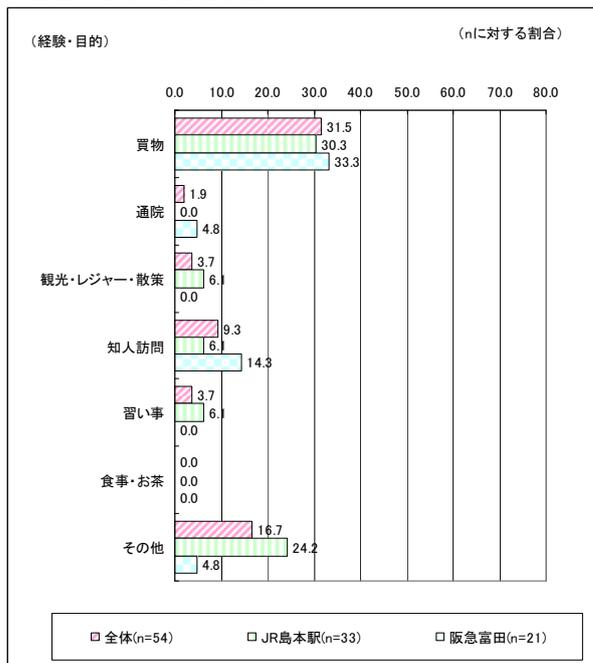
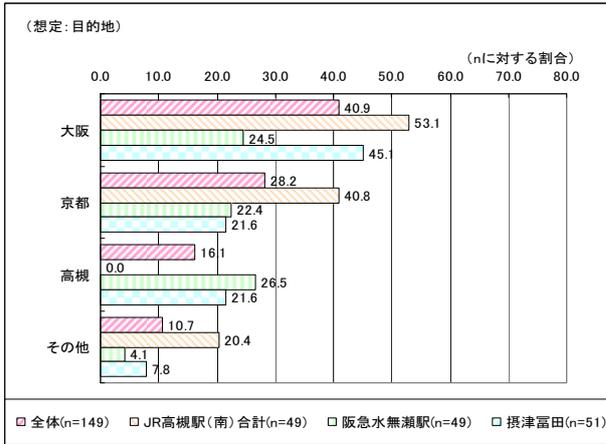


図 4-23 エレベーターやエスカレーターの設置後に
鉄道を利用して新しく始めた事や回数が増えた事【目的別集計】

【今後の整備に対する想定の行動】(n=整備後に利用回数が増える、利用ようになる)

高齢者(自由回答)



子育て世代(自由回答)

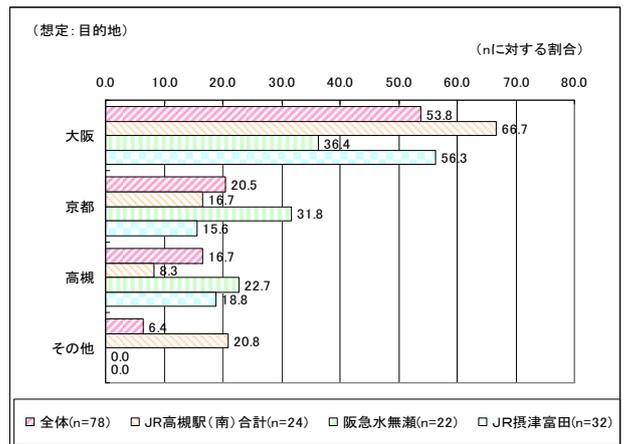
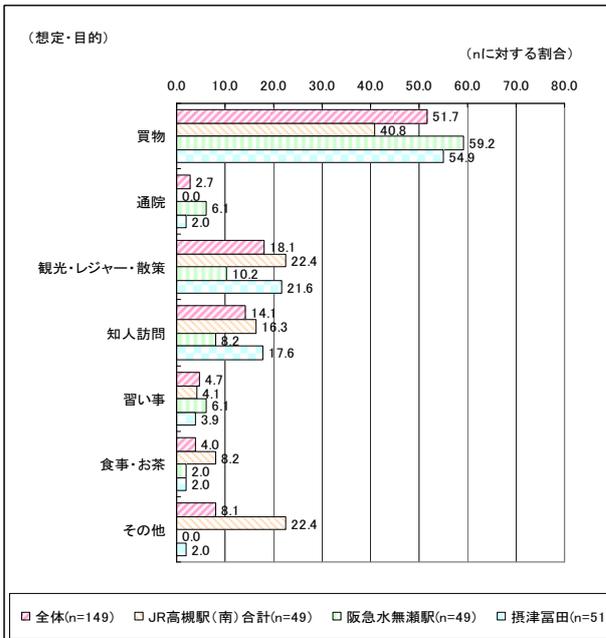


図 4-27 エレベーターやエスカレーターの設置後に
鉄道を利用して新しく始める事や回数が増える事【目的地別集計】

高齢者(自由回答)



子育て世代(自由回答)

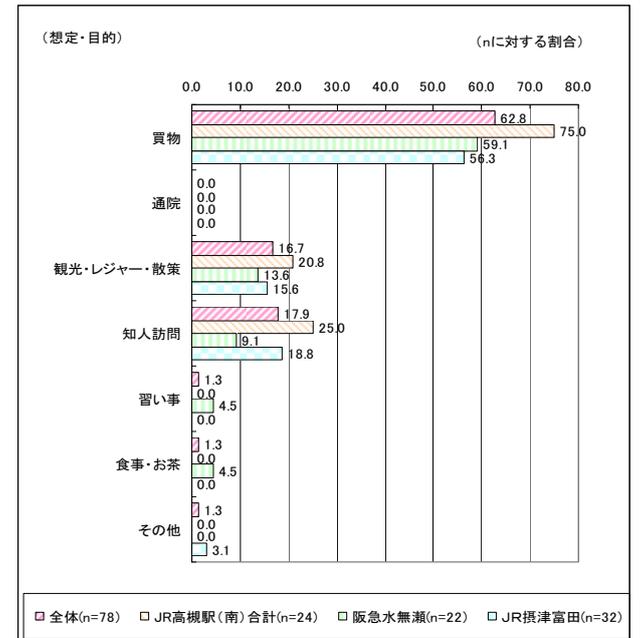
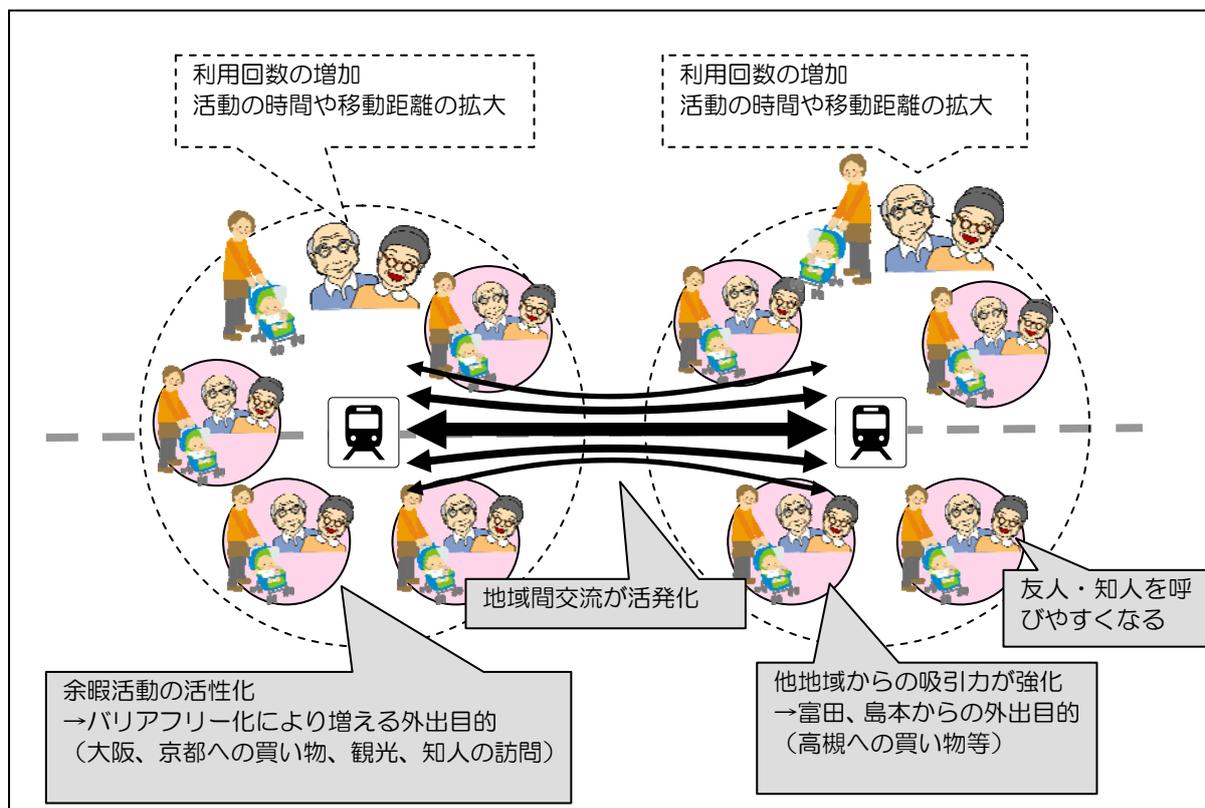


図 4-28 エレベーターやエスカレーターの設置後に
鉄道を利用して新しく始める事や回数が増える事【目的別集計】

4.2.3 移動の増加を通じた地域の活性化効果

(まとめ)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターの設置により、鉄道の利用が促進（利用回数の増加、外出目的の変化）され、地域間交流が活発化する。



(調査内容)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターの設置による行動の変化を調査した。

(全体の傾向)

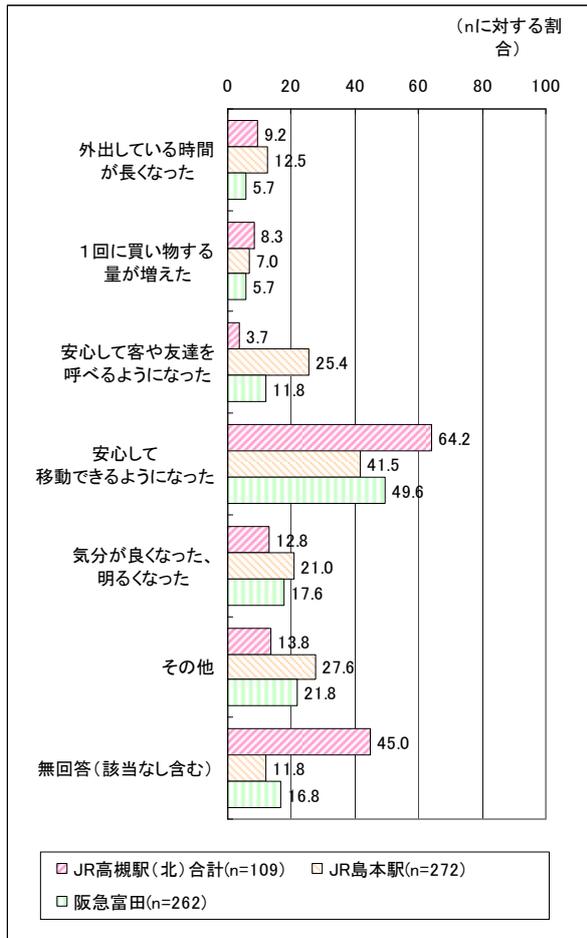
○高齢者・子育て世代

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーターの設置により、

- ・富田・島本地域居住者は、実態として高槻地域への買い物目的の外出が増えているほか、今後の整備による外出意向も高い（図 4-22, 23）。
- ・大阪や京都方面への買い物、観光などでの外出機会が増加しているほか、今後の整備による外出意向も高い（図 4-25～28）。
- ・「安心して外出できるようになった」との意見が多く、「安心して客や友人を呼べるようになった」や「気分が良くなった、明るくなった」などの意見もみられる（図 4-29）。

【過去の整備に対する実際の行動】

高齢者(複数回答可)



子育て世代(複数回答可)

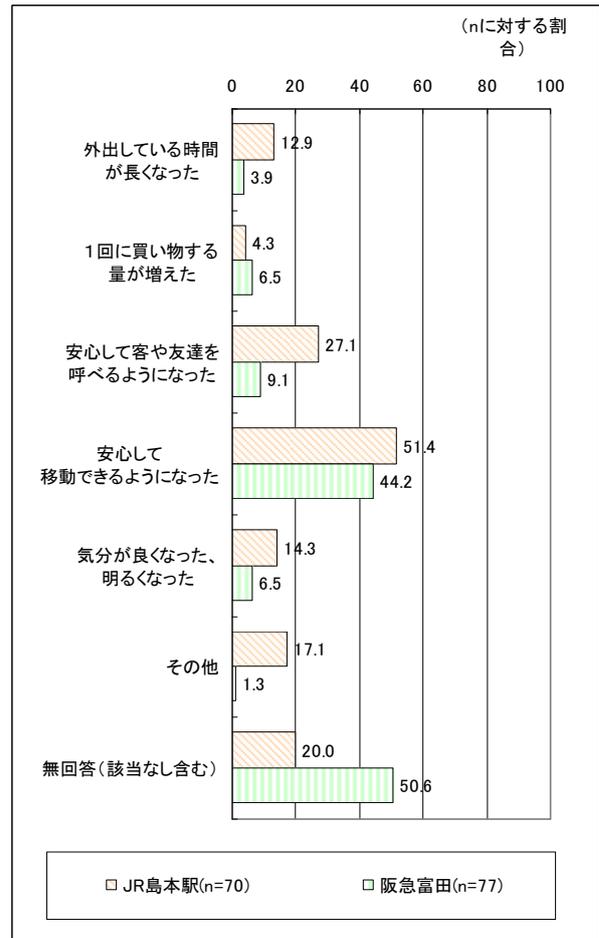


図 4-29 駅や駅周辺のエレベーター・エスカレーターの設定による変化

4.3 調査結果(地域分析)

4.3.1 高槻地域

【駅と駅周辺における一体的なバリアフリー化による、行動の活性化・地域の活性化】

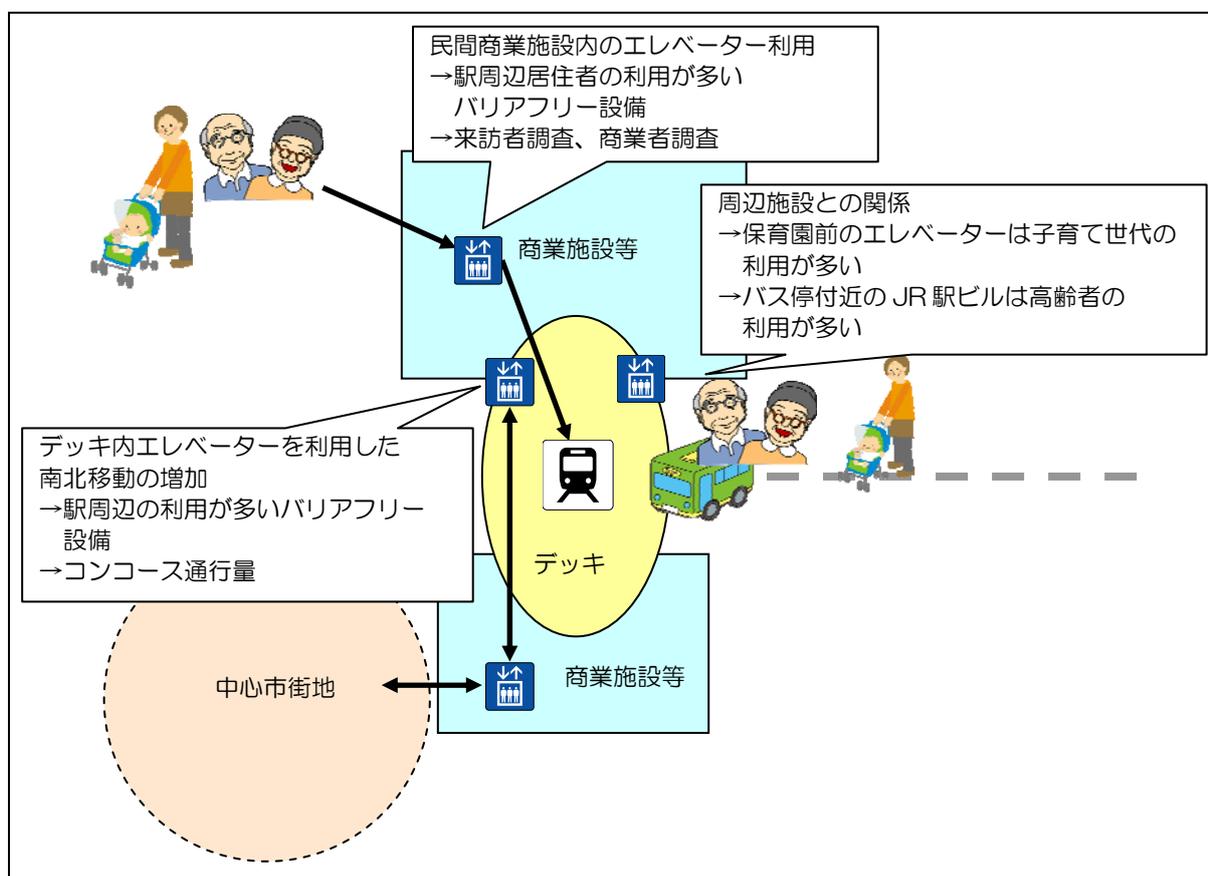
(1) バリアフリー化による外出行動の活性化

1) 駅周辺のバリアフリー設備との連携による回遊促進

(まとめ)

鉄道駅へのアクセスや南北の移動、回遊に対して、ペDESTリアンデッキや商業施設などの駅周辺のバリアフリー設備が有効である。

分かりにくい場所に設置されたエレベーター等でも、サインによる案内などで認知度を高めると利用促進も期待できる。



(調査内容)

JR 高槻駅周辺において、駅周辺の移動や周辺施設の利用に対するエレベーター・エスカレーターの設置効果を把握するために、それらのエレベーター・エスカレーターを利用した駅へのアクセスや南北の移動、周辺商業施設等の利用の状況を調査した。

(全体の傾向)

- ・高齢者ではバス停付近や、子育て世代では保育園付近のエレベーターの利用は多く、効

果的である（図 4-30, 31, 表 4-7）。

- ・高齢者は、エレベーターよりもエスカレーターを利用する割合がやや高い。



図 4-30 JR 高槻駅北口周辺のエレベーター・エスカレーターの設置状況

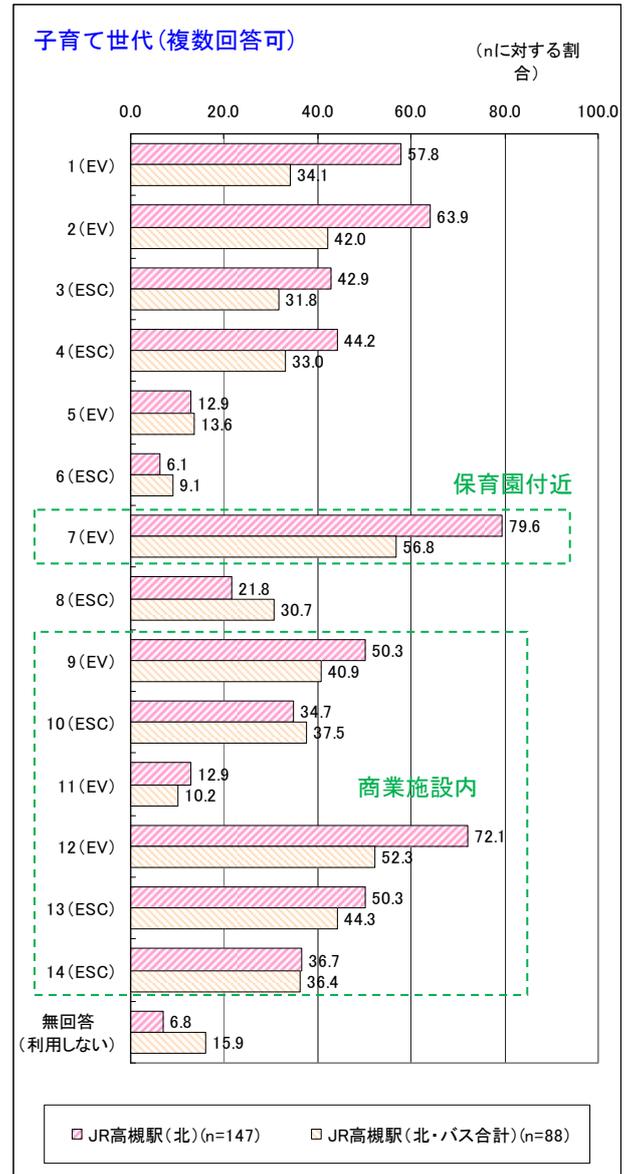
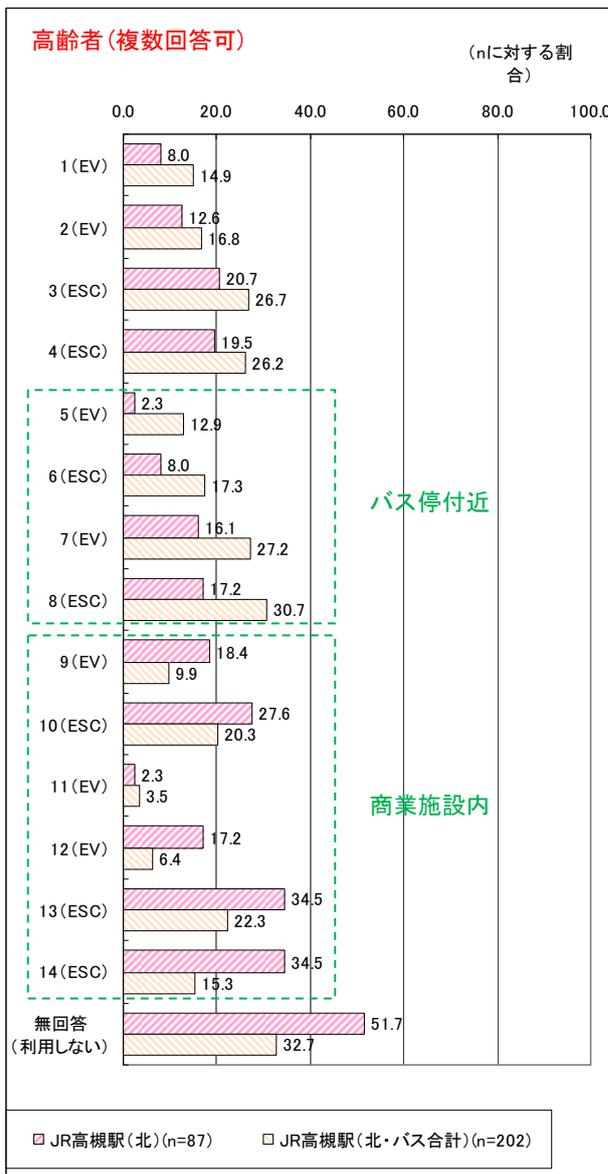


図 4-31 JR 高槻駅北口周辺で利用するエレベーター・エスカレーター
凡例：EV…エレベーター、ESC…エスカレーター

表 4-7 JR 高槻駅北口周辺で利用するエレベーター・エスカレーターと利用施設

高齢者(複数回答可)

利用施設	調査数	1 (EV)	2 (EV)	3 (ESC)	4 (ESC)	5 (EV)	6 (ESC)	7 (EV)	8 (ESC)	9 (EV)	10 (ESC)	11 (EV)	12 (EV)	13 (ESC)	14 (ESC)
JR高槻駅利用	44	10 22.7	14 31.8	18 40.9	16 36.4	6 13.6	4 9.1	8 18.2	10 22.7	4 9.1	6 13.6		1 2.3	5 11.4	6 13.6
駅ビル	6		2 33.3	1 16.7	1 16.7	3 50.0	2 33.3		1 16.7		1 16.7				
アクト・アモーレ	48			1 2.1	1 2.1		1 2.1	5 10.4	2 4.2		1 2.1	2 4.2	10 20.8	38 79.2	35 72.9
アル・プラザ	3					1 33.3		1 33.3					1 33.3	1 33.3	1 33.3
平和堂	4								1 25.0				3 75.0	3 75.0	2 50.0
西武百貨店	35	1 2.9	2 5.7	2 5.7	2 5.7	1 2.9	1 2.9	2 5.7	3 8.6	19 54.3	26 74.3		2 2.9	5 14.3	2 5.7
JR高槻駅南口	5								2 40.0				1 20.0	4 80.0	4 80.0
南口バス乗降場	1						1 100.0								
松坂屋	9		1 11.1			1 11.1		2 22.2	2 22.2			1 11.1	3 33.3	4 44.4	3 33.3
坂本耳鼻科	1							1 100.0							
買い物	3			1 33.3	1 33.3		1 33.3		1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	2 66.7	2 66.7	2 66.7
総計	159	15 9.4	23 14.5	27 17.0	23 14.5	17 10.7	11 6.9	22 13.8	23 14.5	28 17.6	41 25.8	8 5.0	26 16.4	66 41.5	61 38.4

凡例：EV…エレベーター、ESC…エスカレーター

子育て世代(複数回答可)

利用施設	調査数	1 (EV)	2 (EV)	3 (ESC)	4 (ESC)	5 (EV)	6 (ESC)	7 (EV)	8 (ESC)	9 (EV)	10 (ESC)	11 (EV)	12 (EV)	13 (ESC)	14 (ESC)
JR高槻駅利用	132	60 45.5	65 49.2	36 27.3	37 28.0	12 9.1	7 5.3	46 34.8	11 8.3	3 2.3	1 0.8	1 0.8	14 10.6	9 6.8	3 2.3
あいわ保育園	48					1 2.1		46 95.8	1 2.1			1 2.1	3 6.3	1 2.1	1 2.1
アクト・アモーレ	43	1 2.3	2 4.7	1 2.3	1 2.3			8 18.6		5 11.6	2 4.7	6 14.0	30 69.8	17 39.5	14 32.6
アル・プラザ	60	2 3.3	2 3.3	2 3.3	1 1.7			15 25.0	2 3.3	3 5.0	2 3.3	7 11.7	41 68.3	22 36.7	20 33.3
平和堂	10						2 20.0	1 10.0					7 70.0	2 20.0	1 10.0
西武百貨店	77	1 1.3	2 2.6	1 1.3	1 1.3	1 1.3		5 6.5	10 13.0	57 74.0	36 46.8		7 9.1	4 5.2	2 2.6
JR高槻駅南口	15					2 13.3		6 40.0	1 6.7	1 6.7		1 6.7	5 33.3	2 13.3	1 6.7
バス乗降場	7	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3	3 42.9							
松坂屋	6							1 16.7	2 33.3	1 16.7		1 16.7	33.3	16.7	16.7
仕事・通勤	7	1 14.3	2 28.6	2 28.6	3 42.9		1 14.3	1 14.3						1 14.3	1 14.3
自宅・友達の家・実家	6	5 83.3	5 83.3	1 16.7	1 16.7					1 16.7					
駐車場	4							2 50.0				1 25.0	2 50.0	2 50.0	2 50.0
駐輪場	2							1 50.0							
阪急高槻市駅	1					1 100.0		1 100.0					1 100.0		
JR摂津富田駅	1	1 100.0	1 100.0			1 100.0							1 100.0		
UFJ銀行・銀行	2							1 50.0	1 50.0						
あいわ児童館・児童館	2							2 100.0							
スタバ	1												1 100.0	1 100.0	
タクシー	1	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0										
紀伊国屋書店	1									1 100.0					
買い物・遊び	2	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0								1 50.0		
総計	428	75 17.5	83 19.4	46 10.7	47 11.0	21 4.9	11 2.6	138 32.2	27 6.3	74 17.3	41 9.6	17 4.0	114 26.6	63 14.7	46 10.7

凡例：EV…エレベーター、ESC…エスカレーター



図 4-32 JR 高槻駅南口周辺のエレベーター・エスカレーターの設置状況

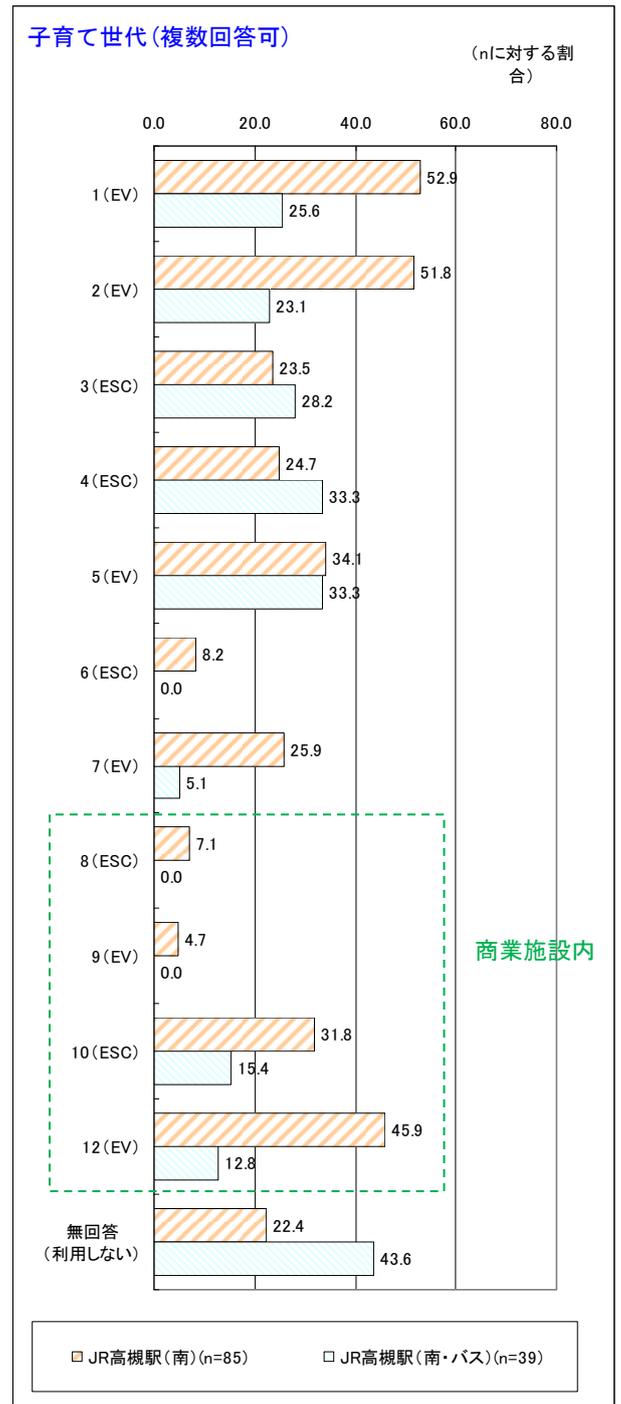
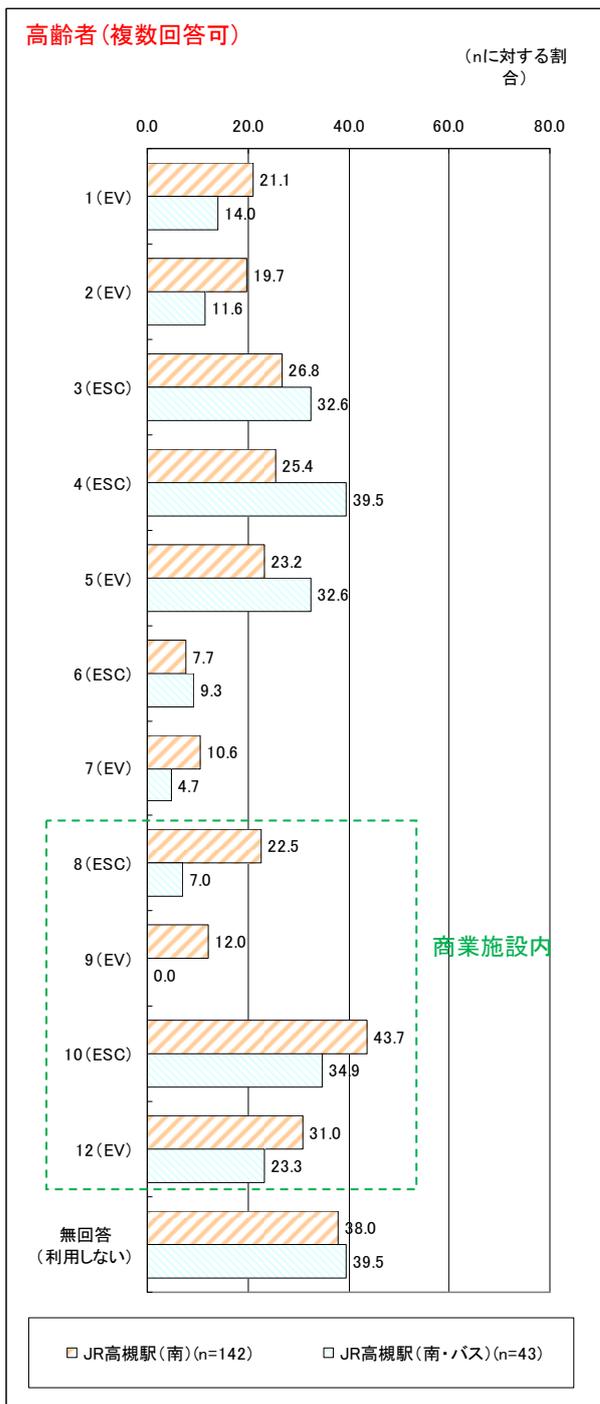


図 4-33 JR 高槻駅南口周辺で利用するエレベーター・エスカレーター
凡例：EV…エレベーター、ESC…エスカレーター

(分析：商業施設内設備の利用や移動行動に着目した分析)

- ・商業施設内のエレベーター、エスカレーターを通り抜けに利用している（図 4-30～33，表 4-7）。
- ・JR 駅ビル内設備は、これまで知らなかった方でも今後の利用意志は高く、サイン等の設置による設備の案内により利用がより高まると考えられる（図 4-36）。

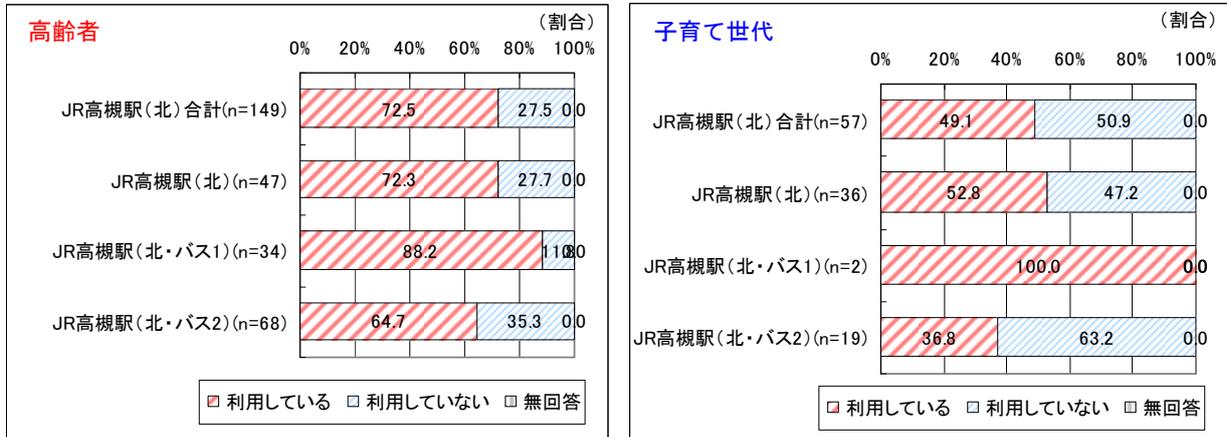


図 4-34 JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター・エスカレーター※の利用状況
 (※JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター、エスカレーターは、図 4-30 の番号 5・6 の設備を指す。)

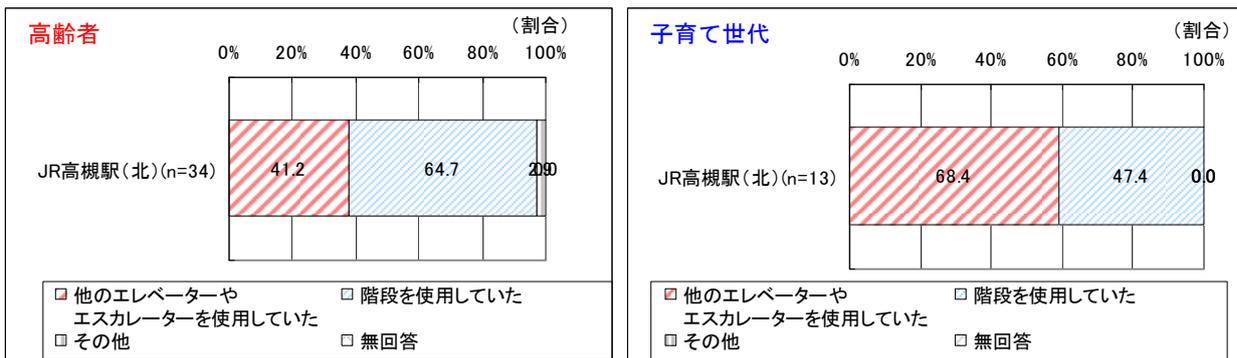


図 4-35 JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター・エスカレーター※設置以前の移動
 (※JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター、エスカレーターは、図 4-30 の番号 5・6 の設備を指す。)

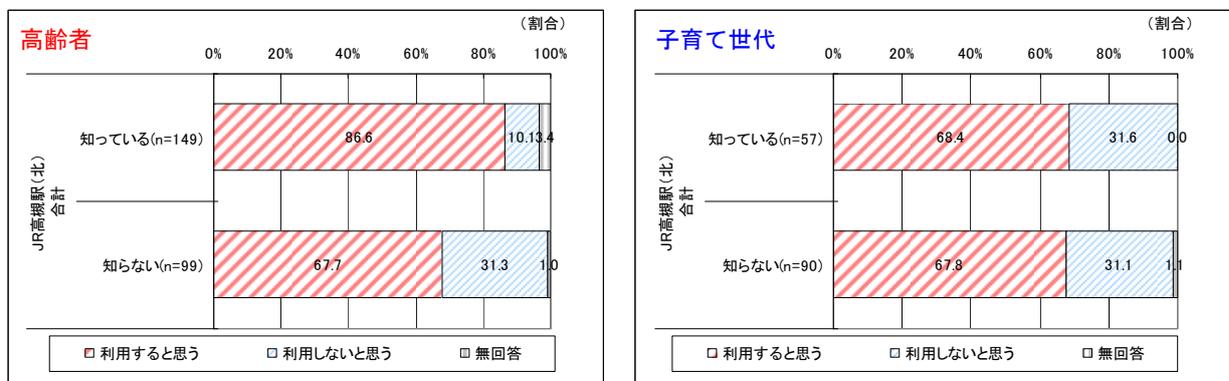


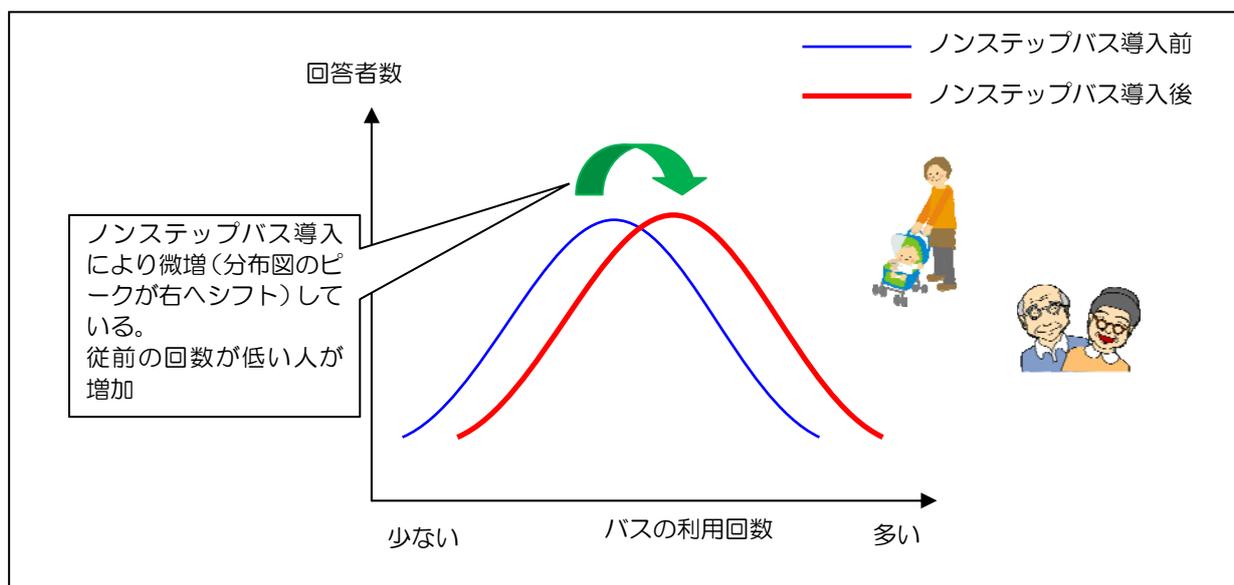
図 4-36 JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター・エスカレーター※の認知状況と今後の利用意向
 (※JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター、エスカレーターは、図 4-30 の番号 5・6 の設備を指す。)

2) バス(駅アクセス交通)の利用促進

(まとめ)

ノンステップバスの導入により、バスの利用が促進されている。

高齢者はシルバーパスの利用によりバス利用自体は多いが、外出促進効果は小さい。



(調査内容)

ノンステップバス導入によるバスの利用回数の変化を調査した。

(全体の傾向)

○高齢者

- ・高齢者はシルバーパスの利用により、駅へのアクセス交通としてバスを利用する割合が高く、また、利用回数も多い(平均で6回/月程度)(図4-37, 39)。

ノンステップバスの導入による実際の行動として以下のような傾向がある。

- ・導入前からの利用者のうち、1割程度が利用回数を増加させている。
- ・導入前の未利用者のうち、1割が新たに利用するようになっている。
- ・導入前後での利用回数の増加は少ない。

○子育て世代

ノンステップバスが運行しなくなる場合を想定した行動として以下のような傾向がある。

- ・現在バスを利用している人のうち、ノンステップバスが運行しなくなると、3割が利用回数を減らす意向があり、また、1割が利用しなくなる意向がある(図4-34)。
- ・ノンステップバスが運行しなくなった場合には、利用回数は0.2回/月程度減少する(図4-39)。

【ノンステップバス導入に対する実際の行動】

高齢者

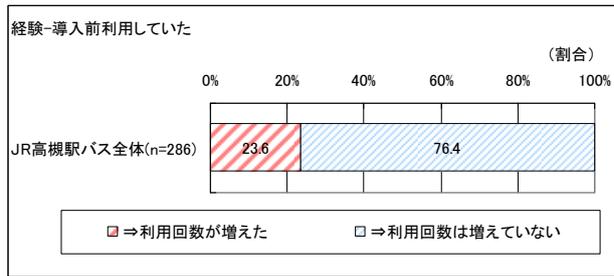


図 4-37 ノンステップバス導入前後でのバスの利用状況の変化

【ノンステップバスが運行しなくなった場合の想定行動】

子育て世代

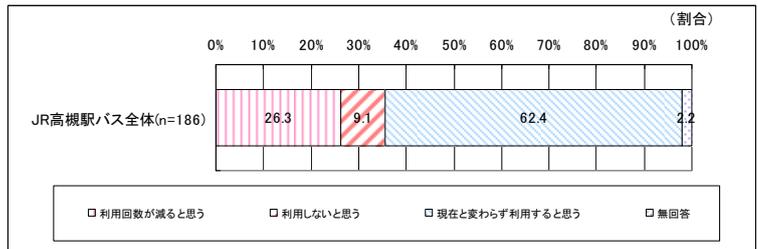
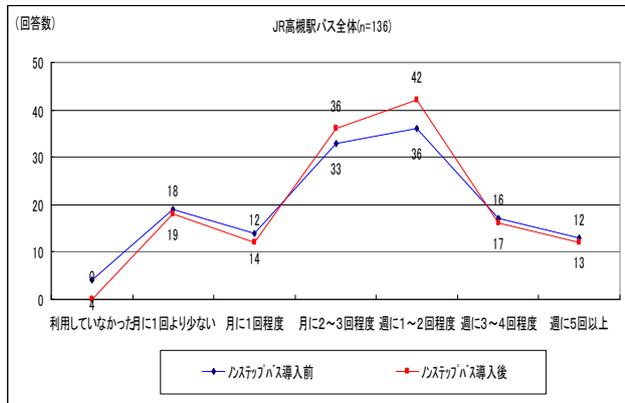


図 4-38 ノンステップバスが運行しなくなった場合を想定した、バスの利用状況の変化

【ノンステップバス導入に対する実際の行動】

高齢者



【ノンステップバスが運行しなくなった場合の想定行動】

子育て世代

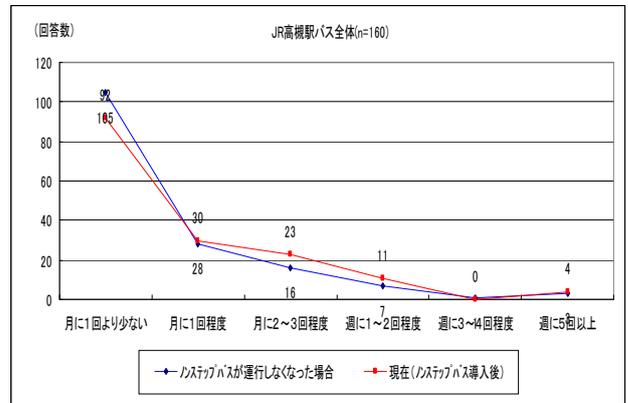
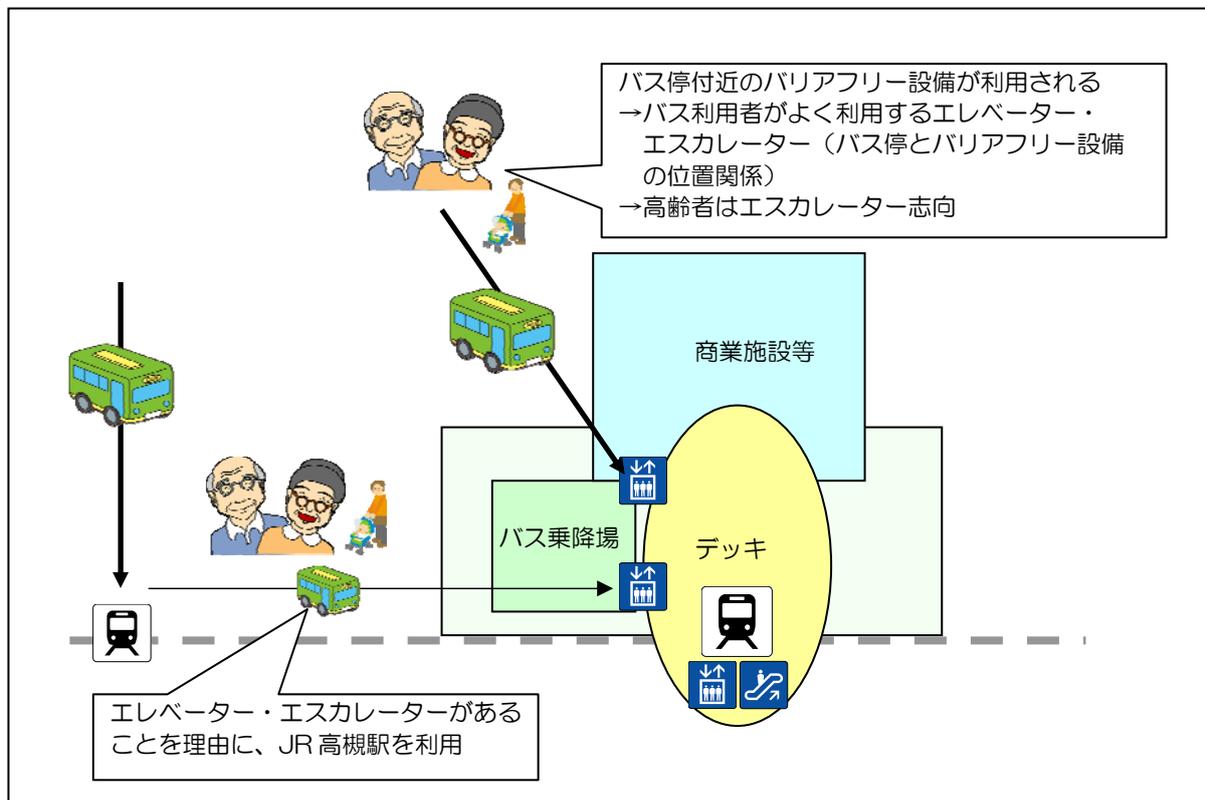


図 4-39 ノンステップバス導入によるバスの利用回数の変化

3) バスと鉄道との接続

(まとめ)

バス停周辺のバリアフリー設備の設置により利便性が向上している。
バス停付近のエレベーター・エスカレーターはバス利用者によく利用される。



(調査内容)

駅へのアクセス交通手段であるバス利用者について、駅周辺のバリアフリー設備によるバスと鉄道の乗り継ぎ向上の効果を調査した。

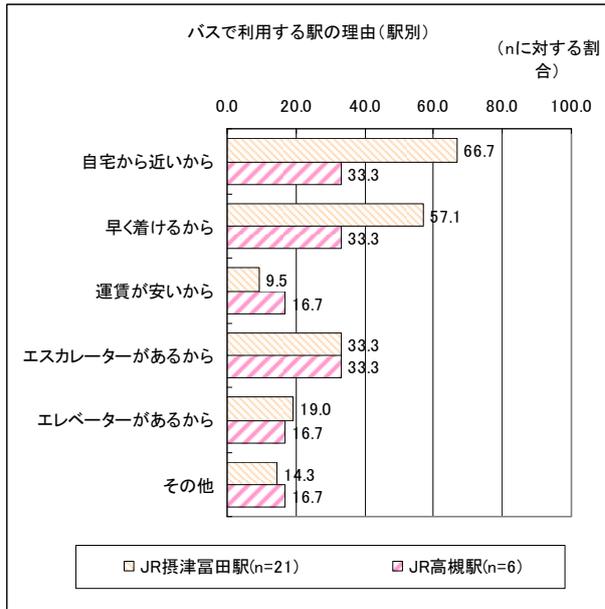
(全体の傾向)

○駅周辺のバリアフリー化を考慮したバス降車駅の選択

JR 摂津富田駅と JR 高槻駅を経由するバス利用者においては以下のような傾向がある。

- ・高齢者、子育てとともに、エレベーターやエスカレーターがあることを理由に、乗降するバス停を JR 高槻駅にしているバス利用者が少数ではあるがいる（図 4-40）。

高齢者(複数回答可)



子育て世代(複数回答可)

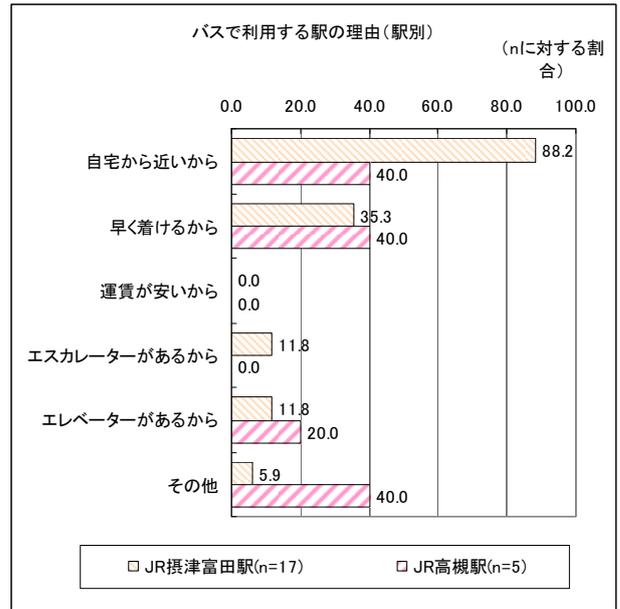


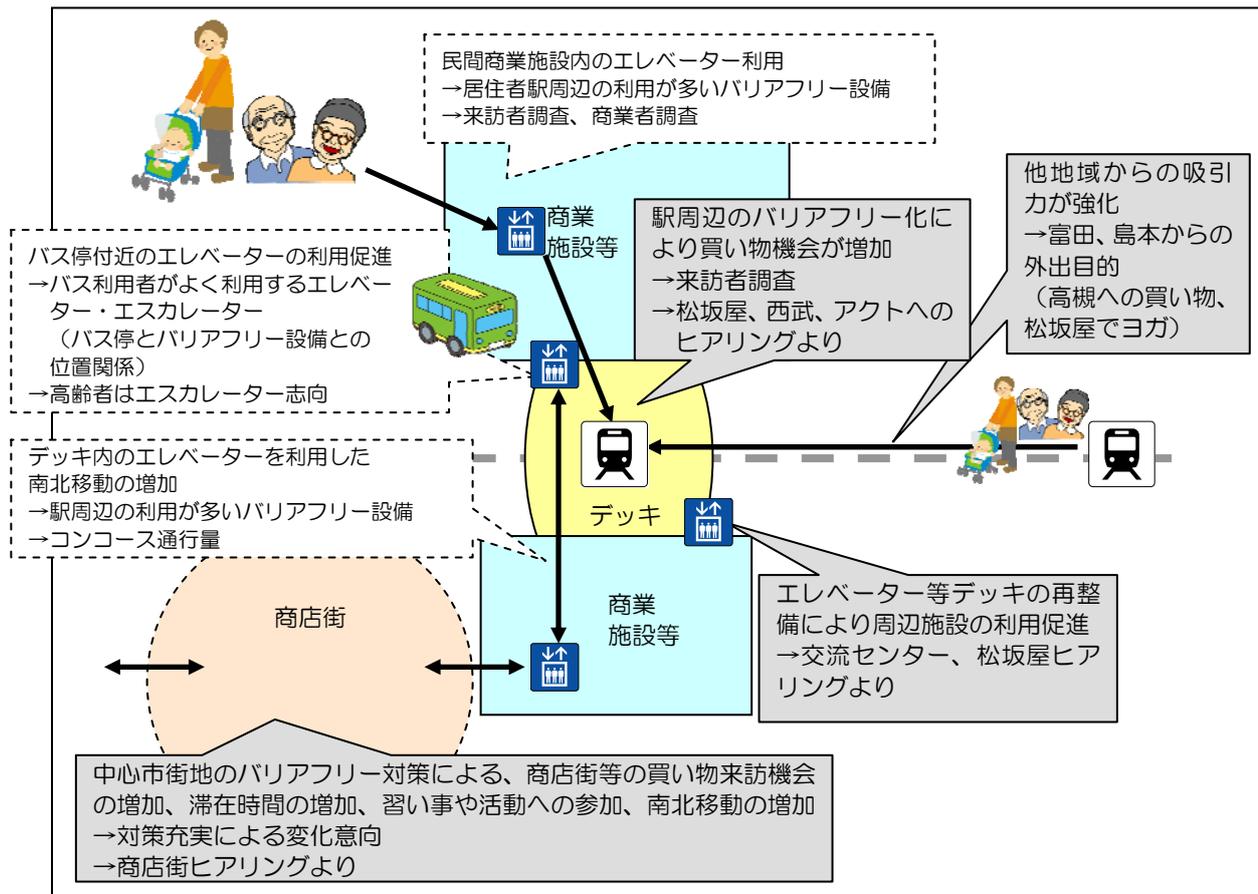
図 4-40 バスで利用する駅の選択理由
(JR 摂津富田駅経由 JR 高槻駅北口着バス路線)

(2) 外出行動の活性化がもたらす地域の活性化

1) 中心市街地への買い物機会の増加

(まとめ)

鉄道駅や駅周辺のエレベーター・エスカレーターの設定、駅周辺市街地のバリアフリー対策の充実により、駅周辺のペDESTリアンデッキで連結した商業施設や鉄道駅周辺の商店街での買い物機会が増加している



(調査内容)

地域での消費活動に結びつく、鉄道駅のエレベーター・エスカレーターの設定や中心市街地のバリアフリー対策（放置自転車の解消、休憩施設、案内板等）による来訪機会・目的の変化を調査した。（駅周辺施設の利用、中心市街地の施設利用）

- ・エレベーター・エスカレーターが設置された駅では、整備に対する実際の行動、また現在のエレベーター・エスカレーターが利用できない場合を想定した行動として把握した。
- ・エレベーター・エスカレーター未設置駅では、今後の整備に対する想定した行動として把握した。
- ・中心市街地のバリアフリー対策については、対策が充実した場合の想定した行動として把握した。

(全体の傾向)

①駅周辺のエレベーター・エスカレーター

○高齢者

JR 高槻駅では、駅や駅周辺のエレベーター・エスカレーター設置による行動の実際として、以下のような傾向がある。

- ・ 駅周辺の来訪者の 1 割強が、来訪回数が増えたと回答している (図 4-41)。また、来訪回数が増えた理由として、約 1 割が高槻駅の改札内外の EV や ESC 設置を理由にあげている (図 4-43)。(JR 高槻駅北口 来訪者調査)
- ・ JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター・エスカレーターの設置により、約 7 割が歩く距離や移動する距離が短くなったと回答し、約 6 割が安心して移動できるようになったと回答している (図 4-44)。(JR 高槻駅北口)

○子育て世代

JR 高槻駅では、駅や駅周辺のエレベーター・エスカレーターが利用できないと想定した行動として、以下のような傾向がある。

- ・ 駅周辺の来訪者は、駅周辺への来訪や買い物等を回避する傾向にあり、約 2 割が来る回数が減ると回答している (図 4-42)。(JR 高槻駅北口 来訪者調査)
- ・ JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター・エスカレーターの設置により、約 6 割が歩く距離や移動する距離が短くなったと回答し、約 4 割が安心して移動できるようになったと回答している (図 4-44)。(JR 高槻駅北口)

【JR 高槻駅周辺のエレベーター・エスカレーター設置（来訪者調査）】

高齢者

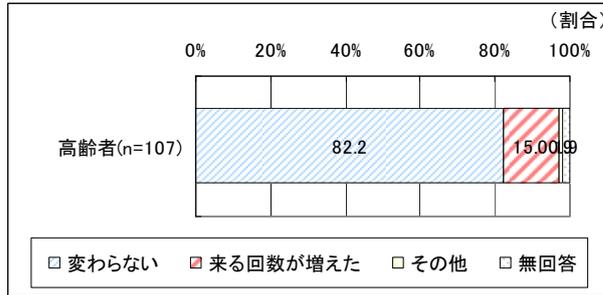


図 4-41 エレベーター・エスカレーター設置後の買い物来訪回数の変化

子育て世代

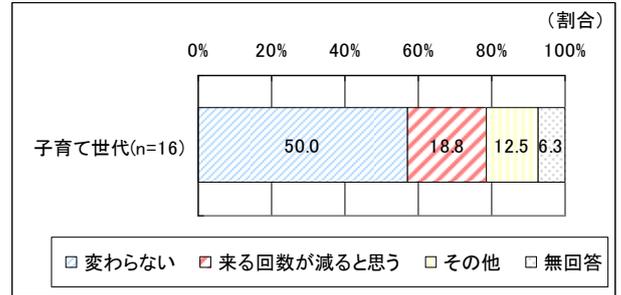


図 4-42 エレベーター・エスカレーターが利用できない場合の買い物来訪回数の変化

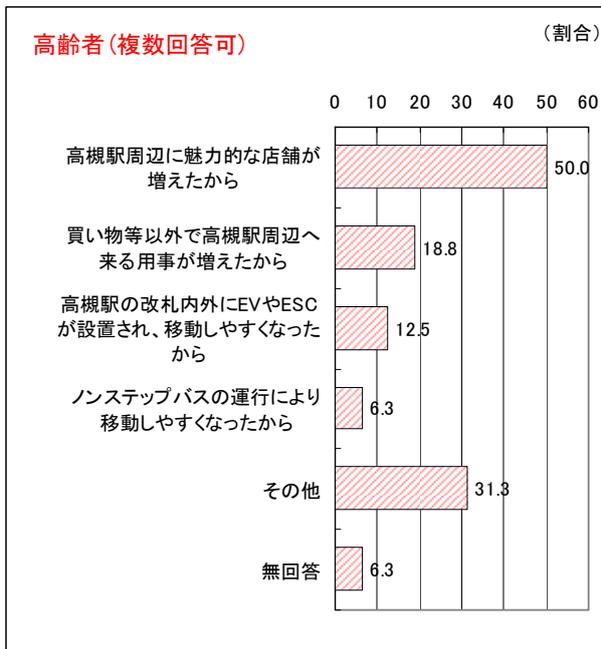


図 4-43 買い物来訪回数が増えた理由

【JR 高槻駅 NK ビルのエレベーター・エスカレーター設置】

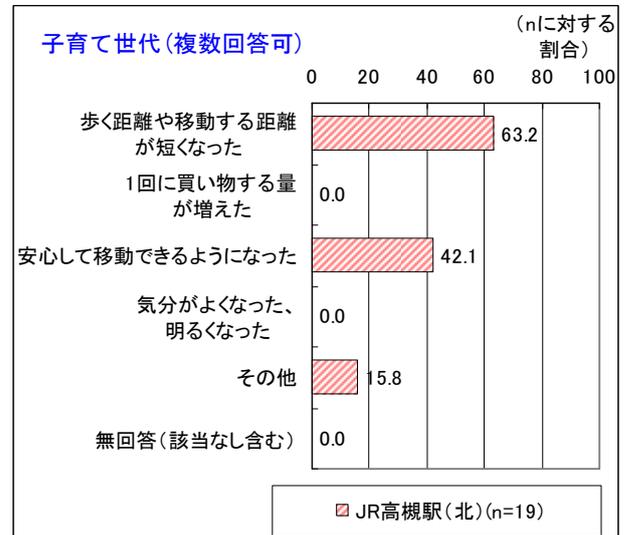
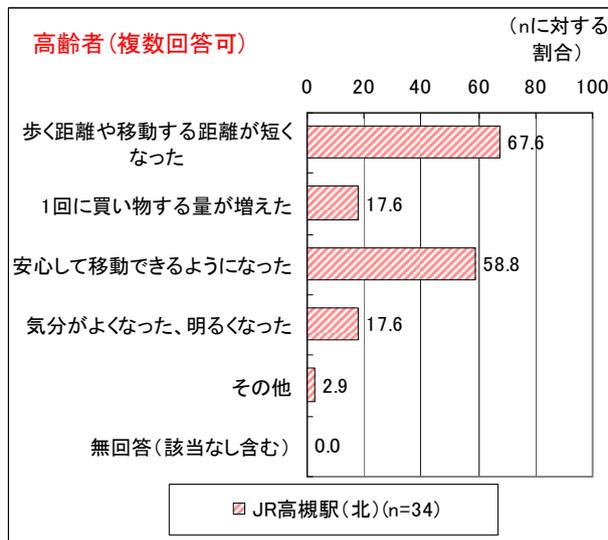


図 4-44 エレベーター・エスカレーター利用後の変化

②中心市街地のバリアフリー対策等

○高齢者

中心市街地のバリアフリー対策（放置自転車の解消、休憩施設、案内板等）の充実による想定の実動として、以下のような傾向がある。

- ・現在の中心市街地来訪者の来訪回数の増加や、現在来訪していない方でも新たに来訪するようになる意向がある（図 4-45, 46）。
- ・新たな来訪については、他の場所からの転換が 3 割、外出を控えていたが新規の来訪が 4 割である（図 4-47）。（高槻中心市街地）
- ・駅周辺の歩道の整備により、歩行の安心感が高まっている（図 4-44）。（JR 高槻駅北口）

○子育て世代

中心市街地のバリアフリー対策（放置自転車の解消、休憩施設、案内板等）の充実による想定の実動として、以下のような傾向がある。

- ・現在の中心市街地来訪者の来訪回数の増加や、現在来訪していない方でも新たに来訪するようになる意向がある（図 4-45, 46）。
- ・新たな来訪については、他の場所からの転換が 3 割、外出を控えていたがバリアフリー対策による新規の来訪が 6 割である（図 4-47）。（高槻中心市街地）
- ・駅周辺の歩道の整備により、歩行の安心感が高まっている（図 4-48）。（JR 高槻駅北口）

（分析：駅と商業施設の接続）

- ・駅周辺のペDESTリアンデッキで連結した商業施設やセンター街での買い物機会が増加している。

【高槻中心市街地のバリアフリー対策（放置自転車の解消、休憩施設、案内板等）】

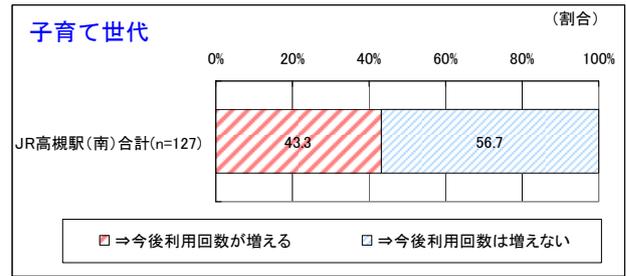
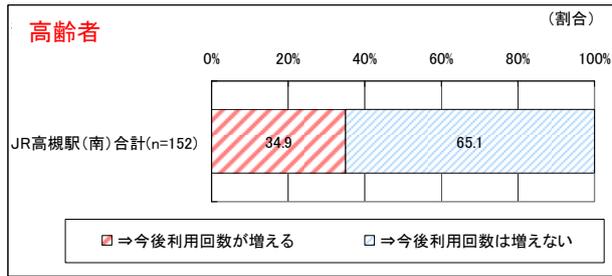


図 4-45 バリアフリー対策が充実した場合の中心市街地の利用の変化（現在の利用者）

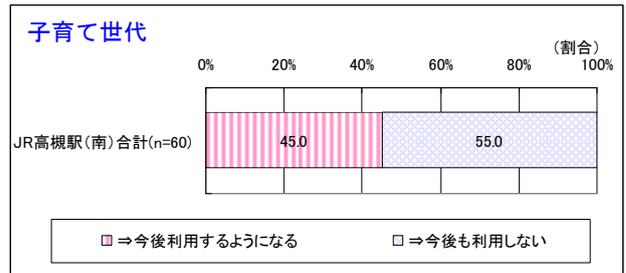
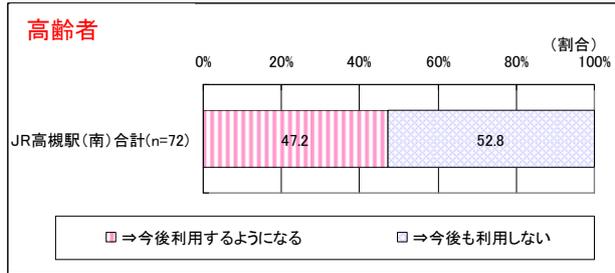


図 4-46 バリアフリー対策が充実した場合の中心市街地の利用の変化（現在の未利用者）

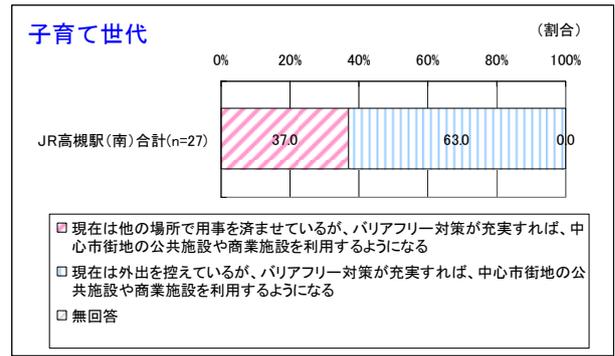
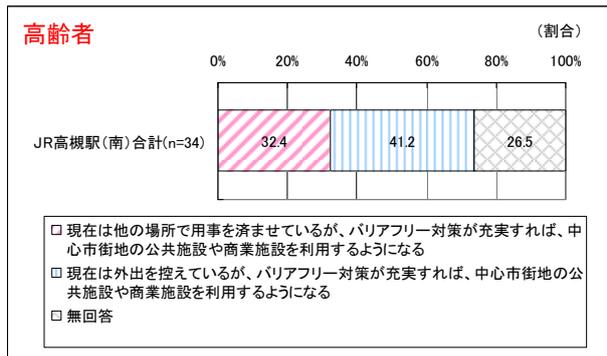


図 4-47 今後利用するようになる場合の理由

【JR 高槻駅北口の歩道整備】

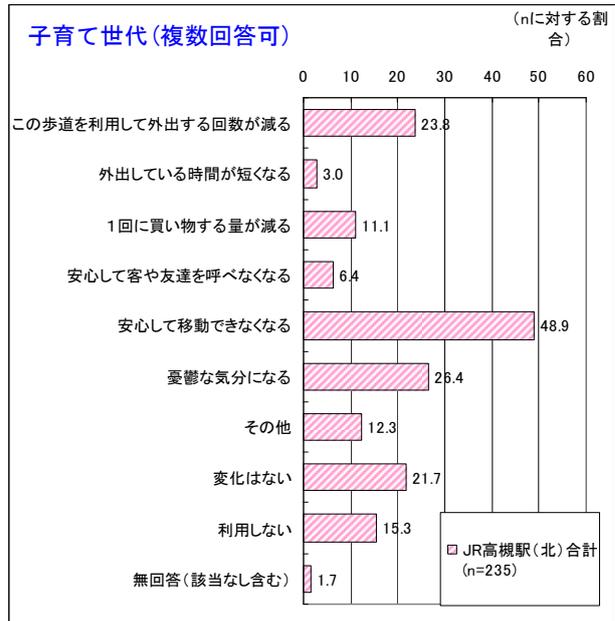
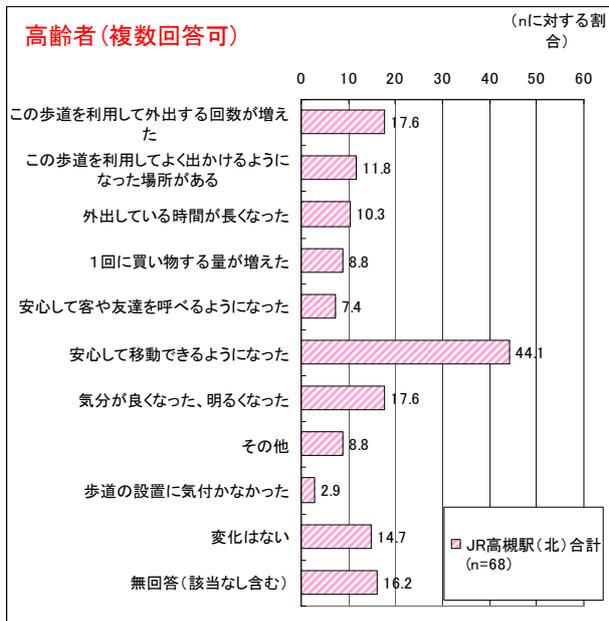


図 4-48 歩道のバリアフリー化前後での変化

《バリアフリー化で“選ばれる駅・店舗”に》

(JR 高槻駅北口 来訪者調査より)

買い物に出かける駅や店舗を選ぶ際に、次のような点が重視されている。

○高齢者

- ・回答者の 5 割はバリアフリー化の状況を考慮している。
- ・特に、店舗や駅のエレベーターやエスカレーターを重視している。

○子育て

- ・回答者の 8 割はバリアフリー化の状況を考慮している。
- ・特に、店舗や駅のエレベーターやエスカレーターを重視している。

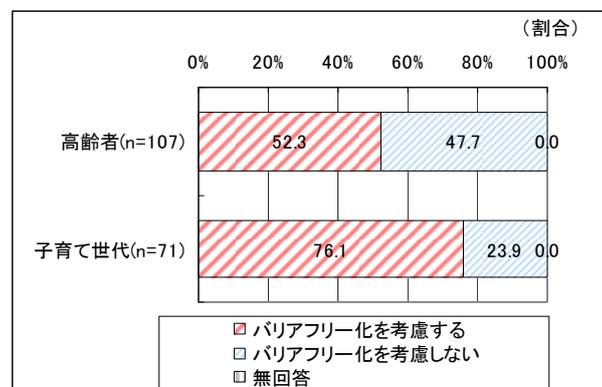


図 4-49 買い物等に出かける駅や店舗を選ぶのに、バリアフリー化の状況を考慮するかどうか

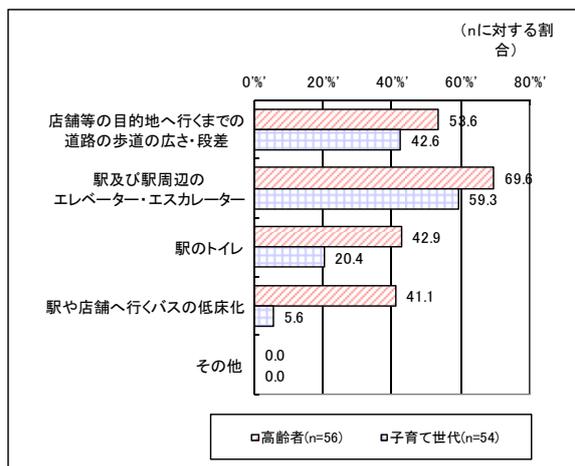


図 4-50 店舗までの交通機関において考慮するバリアフリー化の状況

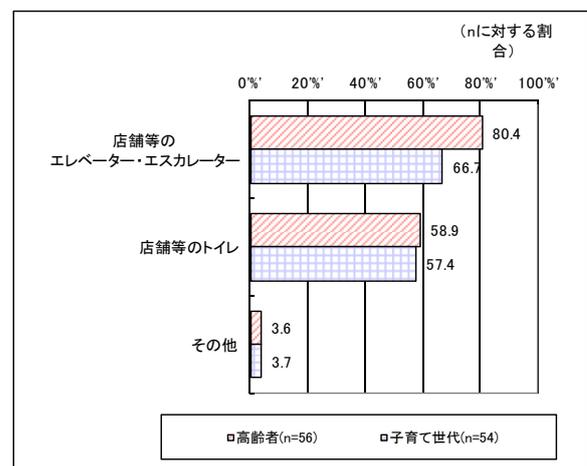


図 4-51 店舗において考慮するバリアフリー化の状況

《地域と協働のバリアフリー化による駅周辺のにぎわいづくり》

(商業者等ヒアリング調査より)

鉄道とデッキで直結した大規模商業施設や鉄道駅周辺の商店街における、高齢者、子育て世代の利用状況は以下のような傾向がある。

- ・高齢者や子育て世代は重要な顧客層となっている。
- ・店舗においても玄関等の段差解消、多機能トイレの設置などのバリアフリー化のほか、車いすの貸し出しや荷物運搬のサービスなどソフト的な取組も進められている。また、地域と協働で自転車駐輪場の整備や管理などにも取り組んでいる。
- ・駅及び駅周辺のバリアフリー化により、高齢者や子育て世代の外出時の安心感を高め、駅や駅周辺の商業施設の利便性も高まってきている。また、店舗内のエレベーターやエスカレーターも駅周辺の有効な移動手段として貢献しており、店舗にとっても少なからず集客に役立っていると思われる。
- ・今後益々高齢化が進展し高齢者が外出しやすい環境づくり、また、子育て環境の充実が求められるなかで、駅及び駅周辺のバリアフリー化は駅周辺のにぎわい創出のために必要なことと考えられる。



図 4-52 駅周辺の一體的な開発にあわせ、バス停、商業施設、駅の円滑な移動を確保



図 4-53 駅前広場からも使いやすい位置に設置した商業施設のエレベーター



図 4-54 商店街での高齢者等の休憩の場となるベンチの設置



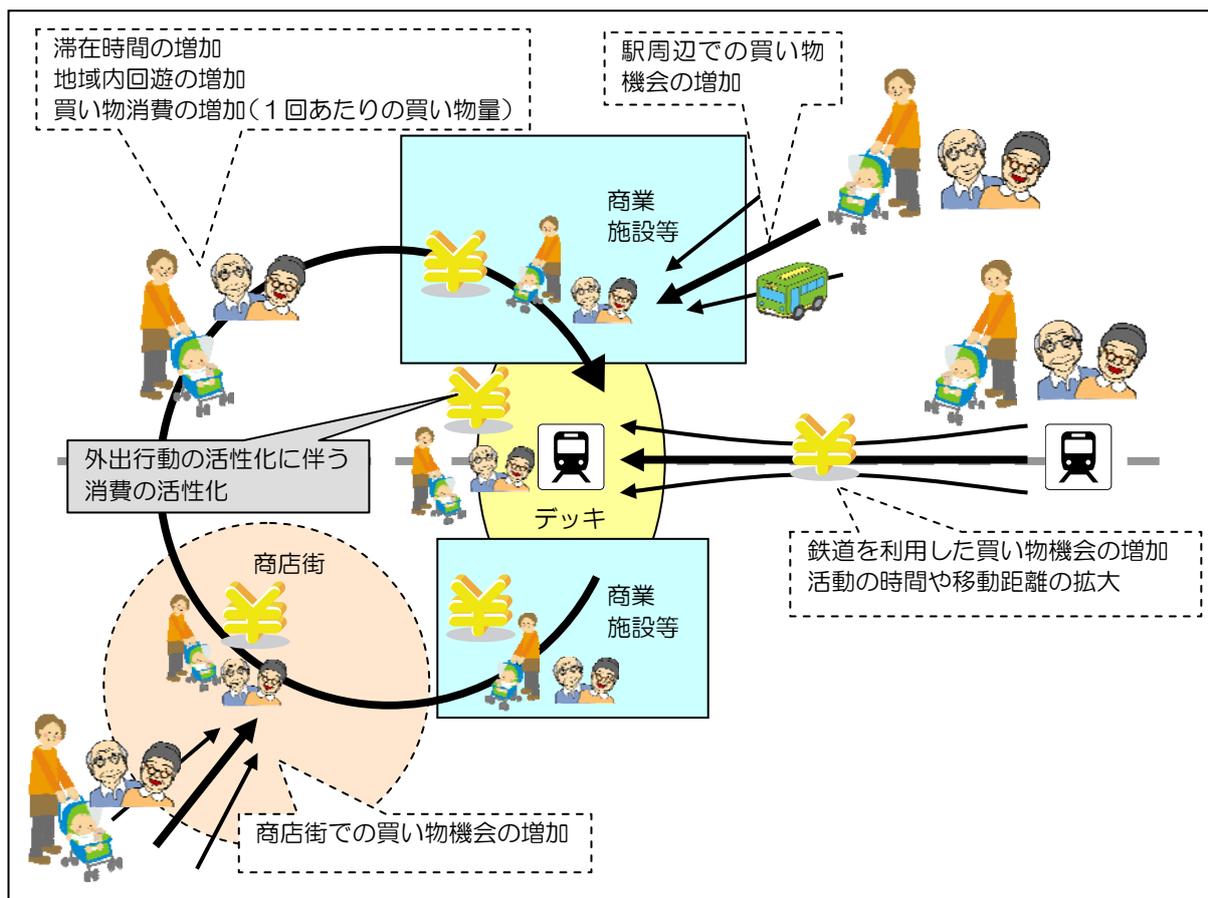
図 4-55 商業施設周辺の駐輪場の整備・管理

2)経済効果(試算)

(まとめ)

鉄道駅等のエレベーター・エスカレーターを設置により、鉄道を利用した外出が増えることにより沿線地域での消費行動が活性化する。

試算では、JR 高槻駅（北口）のバリアフリー化により、約 2 億円／年の経済効果が推計される。



(調査内容)

鉄道を利用した外出が増えることによる沿線地域の消費行動の年間の経済効果を試算した。

(全体の傾向) (分析)

①買い物消費額 (JR 高槻駅北口 来訪者調査より)

高齢者…平均 5,000 円／人・回

子育て…平均 8,000 円／人・回

②外出機会の増加による消費行動の増加（経済効果）

鉄道を利用した外出機会の増加に伴う消費行動を以下の方法により試算した。
その結果、年に約2億円の経済効果があることがわかった。

（経済効果試算方法）

沿線地域の消費行動の年間の経済効果（円）

= JR 高槻駅利用者の1人あたり消費額（円/人・回）

× JR 高槻駅における鉄道を利用した外出機会の増加分[※]（人・回）

※JR 高槻駅における鉄道を利用した外出機会の増加分（人・回）

= JR 高槻駅の定期外乗降客数（人）/2

× 高槻市の高齢者・子育て世代率（人口構成比から設定）（%）

× 鉄道を利用した外出機会の増加分（回） × 12

表 4-8 JR 高槻駅北口のバリアフリー化による沿線地域の経済効果

	消費額 (平均) (円・回) a	高槻市人口(H21)		鉄道乗客数 (定期外,H20) (人/日) d=定期外乗降客数 *c/2 (100人で四捨五入)	外出回数 増加分 (回/月) e	消費額増加 (万円/年) f=a*d*e*12 /10000
		(人) b	人口 構成比 (%) c			
高齢者(65歳以上)	5,000	80,695	22.5%	4,100	0.55	13,530
	消費額 (平均) (円・回) a	高槻市世帯数(H21)		鉄道乗客数 (定期外,H20) (人/日) d=定期外乗降客数 *c/2 (100人で四捨五入)	外出回数 増加分 (回/月) e	消費額増加 (万円/年) f=a*d*e*12 /10000
		(世帯) b	人口 構成比 (%) c			
子育て世代(3歳以下の子どもが いる世帯※1世帯1人と仮定)	8,000	12,867	8.4%	1,500	0.48	6,912
計						20,442

a: 来訪者調査結果

b: 住民基本台帳(H21)

総人口(人)= 358,718

全世帯数(世帯)= 153,192

d: JR西日本(高槻市統計書)(H20)

定期外乗降客数(人/日)= 36,116

e: 鉄道の利用回数の増加分(1回/月) × 外出の増加率

4.3.2 富田地域

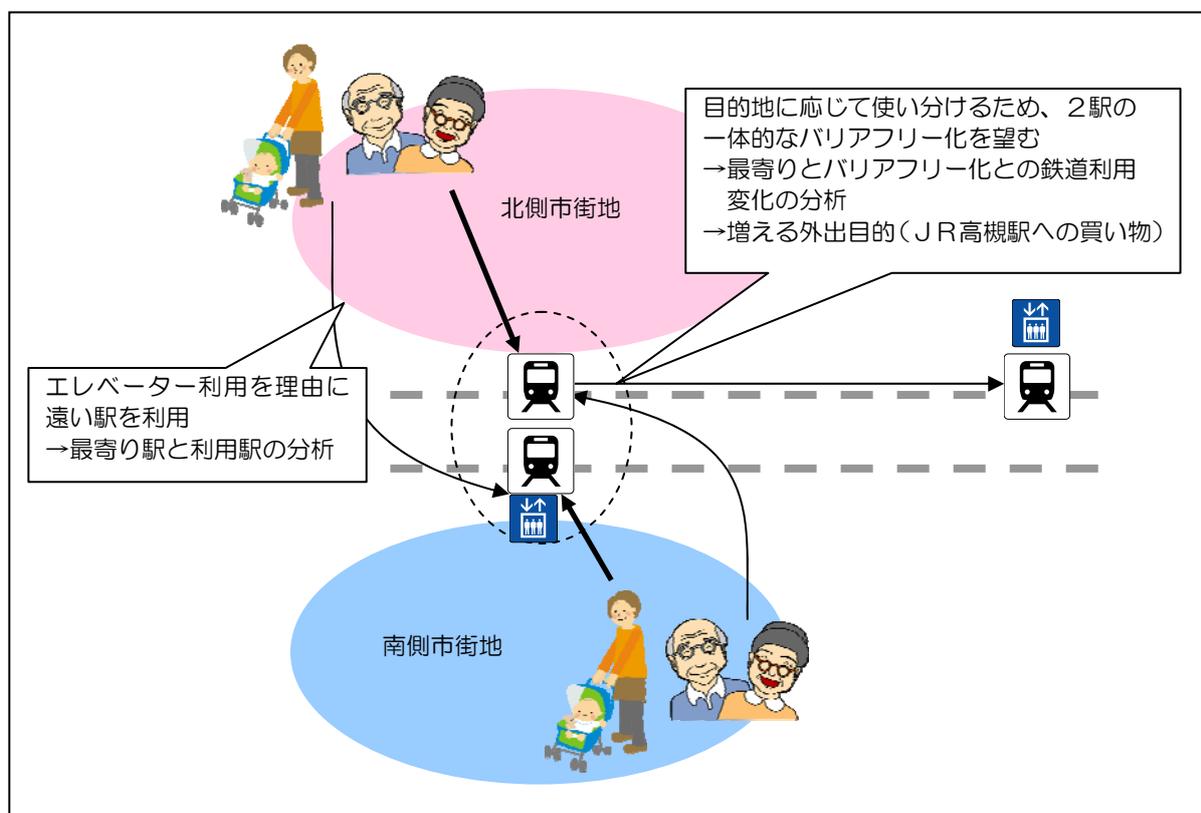
【バリアフリー化の重視度(近接駅の利用を通じて)】

(1) 近接する2駅の利用におけるバリアフリー化の状況の考慮

(まとめ)

鉄道駅が近接し鉄道運行上の条件が類似の2駅の利用選択において、移動の負担が大きい高齢者や子育て世代にとってはエレベーターやエスカレーターの有無が判断材料の一つとなっている。

また、駅(路線)の選択性が高いことから、駅までの距離に関わらず目的地に応じて駅のエレベーターやエスカレーター設置による鉄道の利用増加や今後の利用意向があるなど、2駅間の一体となったバリアフリー化が望まれている。



(調査内容)

2駅が近接する地区において、エレベーター・エスカレーターの設置が2駅の利用に与える影響を外出先(目的)や運賃・時間との関係から検討した。

また、バリアフリー化による利用駅の変化についても分析した。

(全体の傾向)

○高齢者

- ・少数ながら、大阪(梅田)に行くために、エレベーター、エスカレーターの利用を理由

に最寄り駅ではない阪急富田駅を利用している方がいる（図 4-56）。

○子育て世代

- ・大阪（梅田）に行くために、エレベーターの利用を理由に最寄り駅ではない阪急富田駅を利用している方が多くいる（図 4-56）。

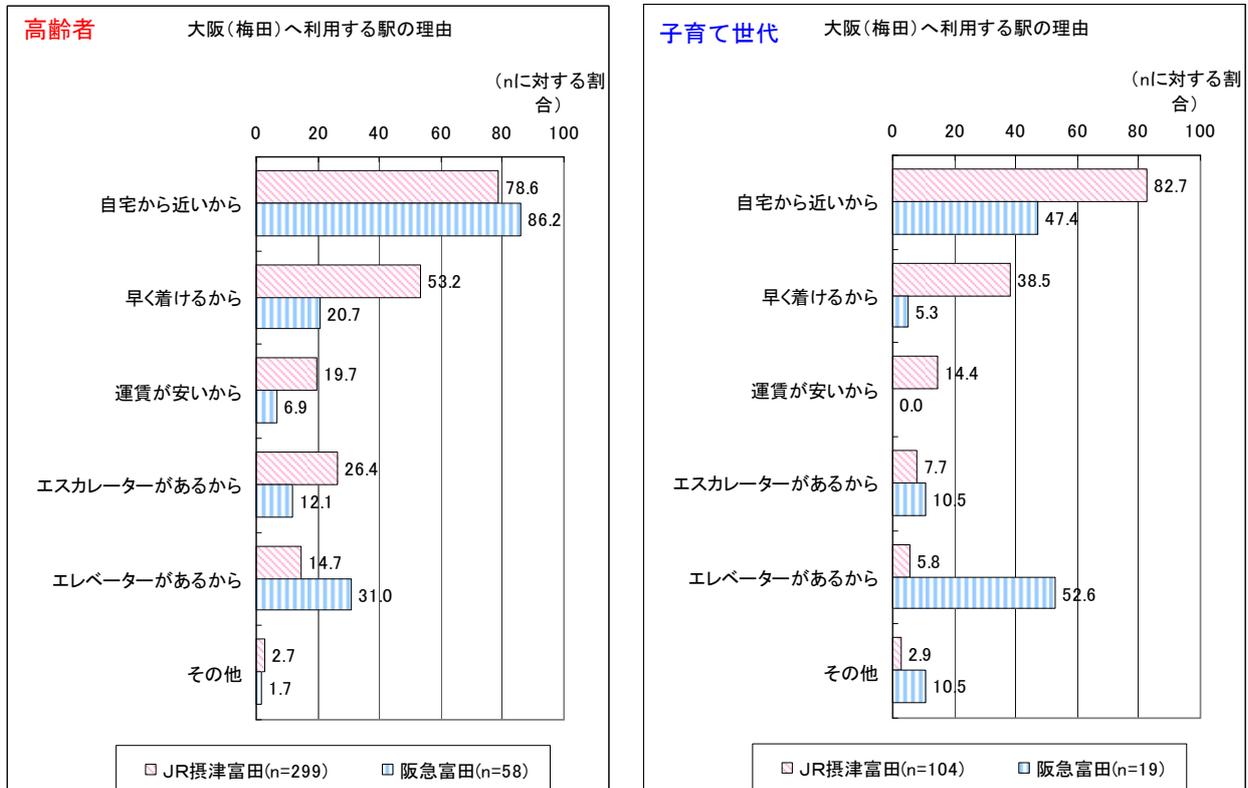


図 4-56 大阪（梅田）へ利用する駅の理由【利用駅別】

※大阪（梅田）までの運賃：JR 摂津富田駅から…250 円、阪急富田駅から…270 円

※大阪（梅田）までの所用時間：JR 摂津富田駅から…21 分、阪急富田駅から…22 分

※駅構内のバリアフリー設備の設置状況：

JR 摂津富田駅…エレベーター・エスカレーター設置済み、

阪急富田駅…エレベーター・エスカレーター設置済み

※駅構外のバリアフリー設備の設置状況：

JR 摂津富田駅…エスカレーター設置済み、

阪急富田駅…エレベーター（南口のみ）・エスカレーター設置済み

（分析：属性等による傾向）

○高齢者

- ・JR 摂津富田駅を最寄り駅としている方でも、阪急富田駅のバリアフリー化により阪急富田駅を利用する回数が増える、利用するようになると回答している（図 4-57～60）。
- ・阪急富田駅を最寄り駅としている方でも、JR 摂津富田駅の今後のバリアフリー化により、JR 摂津富田駅を利用する回数を増やす、利用するようになると回答している。
- ・上記は、階段やエスカレーターの利用が困難・危険であることを理由に利用する方ほど増加の傾向が強い。

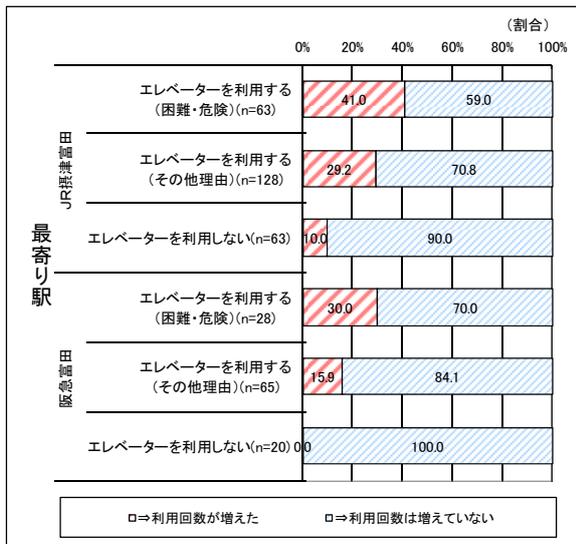
○子育て世代

- ・JR 摂津富田駅を最寄り駅としている方でも、阪急富田駅のバリアフリー化により阪急富田駅を利用する回数が増える、利用するようになると回答している（図 4-57, 58）。
- ・阪急富田駅を最寄り駅としている方でも、JR 摂津富田の今後のバリアフリー化により、JR 摂津富田駅を利用する回数を増やす、利用するようになると回答している。

JR 摂津富田駅

【今後のエレベーター・エスカレーター整備に対する想定の行動】

高齢者



子育て世代

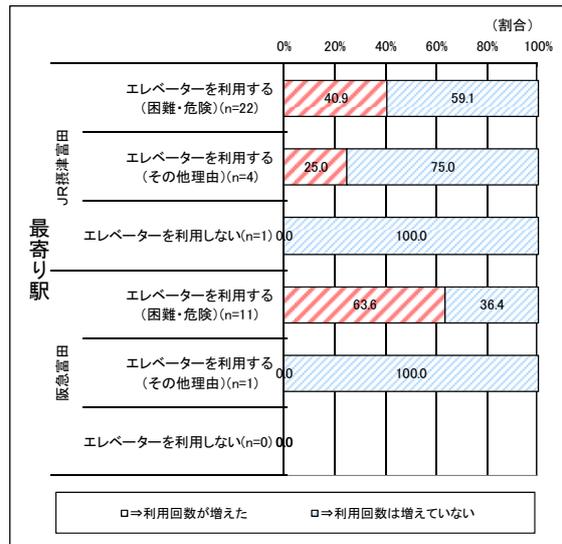
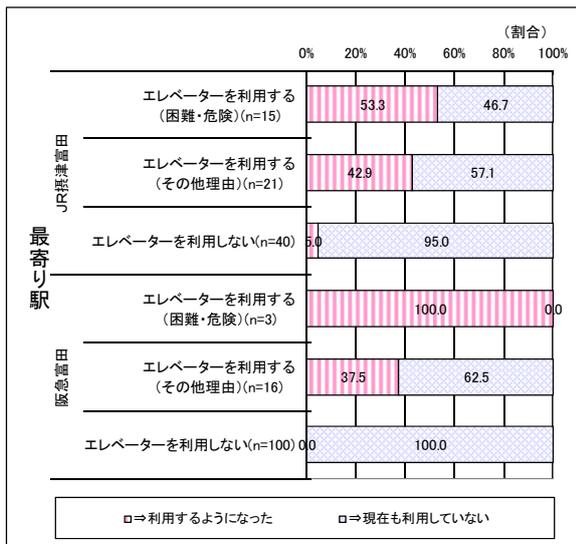


図 4-57 エレベーター・エスカレーター設置による利用状況の変化
【最寄り駅別・エレベーターの利用理由別】（現在の利用者）

高齢者



子育て世代

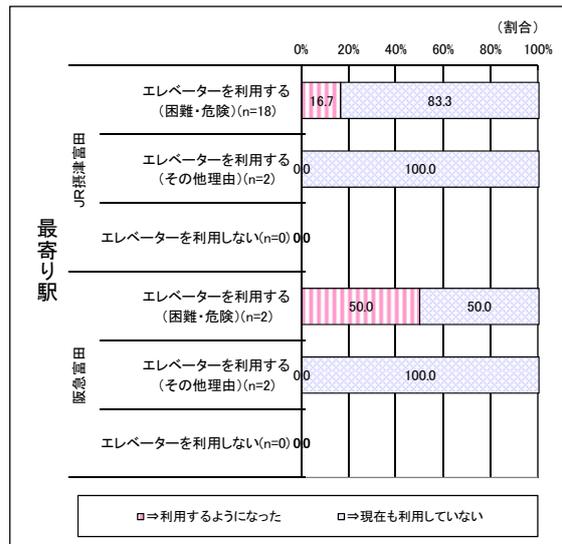


図 4-58 エレベーター・エスカレーター設置による利用状況の変化
【最寄り駅別・エレベーターの利用理由別】（現在の未利用者）

阪急富田駅

【エレベーター・エスカレーター整備に対する実際の行動】

高齢者

子育て世代

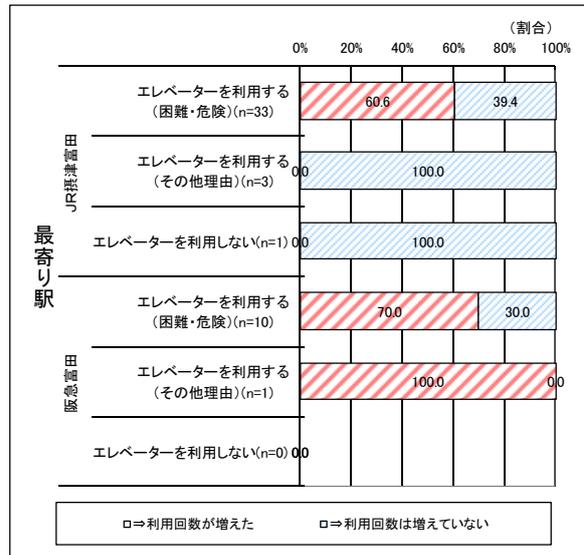
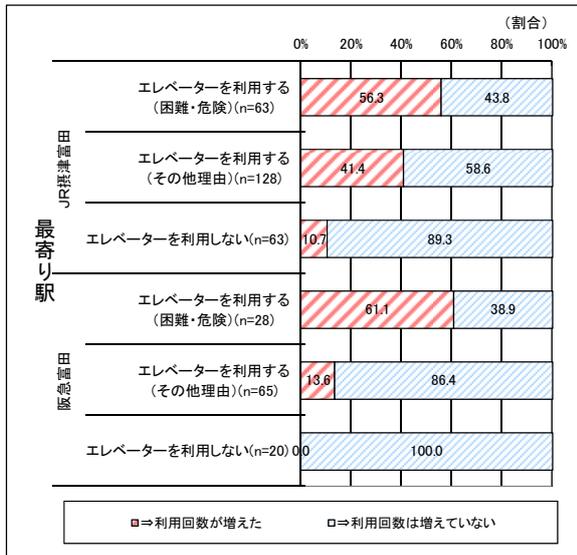


図 4-59 エレベーター・エスカレーター設置による利用状況の変化

【最寄り駅別・エレベーターの利用理由別】(設置前の利用者)

高齢者

子育て世代

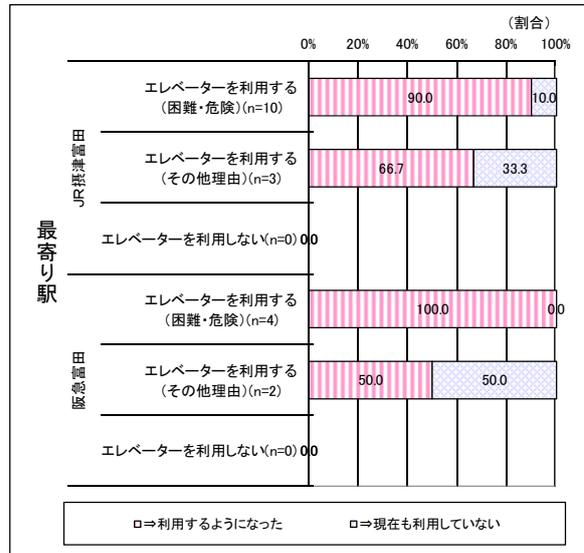
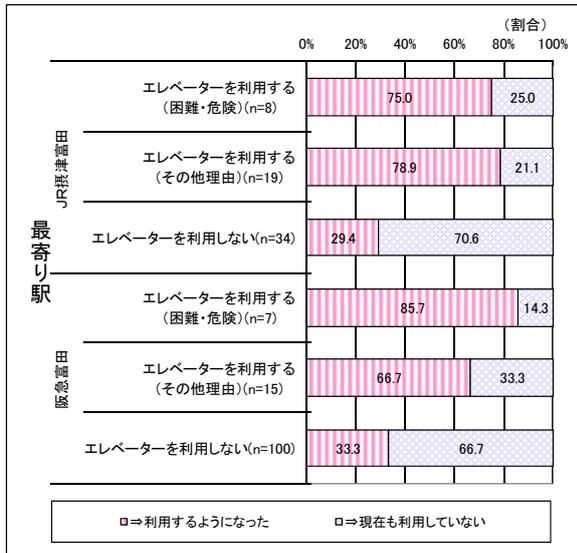


図 4-60 エレベーター・エスカレーター設置による利用状況の変化

【最寄り駅別・エレベーターの利用理由別】(設置前の未利用者)

(バリアフリー化による利用駅選択の変化)

鉄道駅へのエレベーター設置による、利用駅選択の変化を分析した。

阪急富田駅では過去の整備に対する実際の行動として、また、JR 摂津富田駅では、今後の整備に対する想定の実行動として把握した。それぞれ、エレベーター設置前は対象駅を利用していなかったが、設置後に利用するようになった（利用するようになる）方の具体的な利用駅の変化を分析した。

阪急富田駅のエレベーター設置により、設置前は同一地域内の JR 摂津富田駅や沿線の JR 高槻駅を利用していた人が当該駅へ利用駅を変えている。また、同様に今後の JR 摂津富田駅のエレベーター設置により、現在阪急富田駅を利用している人が当該駅へ利用駅を変える意向がある（表 4-9）。

表 4-9 エレベーター設置による利用駅選択の変化
(n:対象駅のエレベーター設置により、利用駅を他の駅から対象駅へ変える人)

高齢者

【過去の整備に対する実際の行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

	n	バリアフリー化前の利用駅			
		JR摂津富田駅	阪急富田駅	JR高槻駅	その他
阪急富田駅	13	11 84.6	0.0	2 15.4	1 7.7

【今後の整備に対する想定の実行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

	n	バリアフリー化前(現在)の利用駅			
		JR摂津富田駅	阪急富田駅	JR高槻駅	その他
JR摂津富田駅	28	14 50.0	8 28.6	3 10.7	4 14.3

子育て世代

【過去の整備に対する実際の行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

	n	バリアフリー化前の利用駅			
		JR摂津富田駅	阪急富田駅	JR高槻駅	その他
阪急富田駅	3	2 66.7	0.0	1 33.3	0.0

【今後の整備に対する想定の実行動】

(上段:回答数、下段:nに対する割合)

	n	バリアフリー化前(現在)の利用駅			
		JR摂津富田駅	阪急富田駅	JR高槻駅	その他
JR摂津富田駅	12	2 16.7	4 33.3	0.0	3 25.0

4.3.3 島本地域

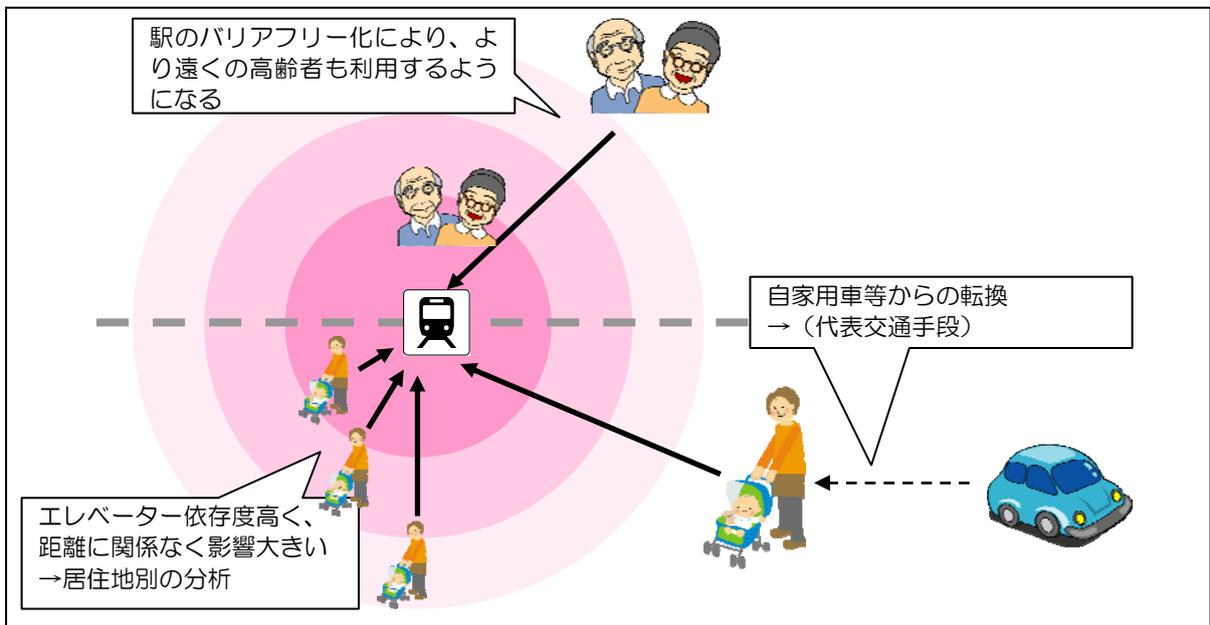
【バリアフリー化による鉄道利用圏域の拡大】

(1) 鉄道駅等のバリアフリー化の影響圏域

(まとめ)

駅から遠くに住むほどエレベーター・エスカレーター有無の影響度合いが大きいことから、鉄道駅のエレベーター・エスカレーターの設置により、より遠くの高齢者までも利用できるようになるなど、高齢者の駅勢圏の拡大に寄与しているといえる。

駅利用におけるエレベーター依存度の高い子育て世代では、距離圏によらずエレベーター設置の影響は大きい。また、エレベーターが利用できない場合には、自家用車等の交通手段の選択の余地が大きく、交通の転換の可能性が高い。



(調査内容)

鉄道駅のエレベーター・エスカレーター設置が利用者を与える影響の広がりを知るため、JR 島本駅のエレベーター・エスカレーターが利用できない場合の利用回避の度合いを居住地（駅からの距離）との比較で検討した。

(全体の傾向) (分析)

○高齢者

- ・島本駅のエレベーター・エスカレーターが使えないと想定した場合、駅から遠い居住者ほど利用を回避する傾向がある (図 4-61～63)。

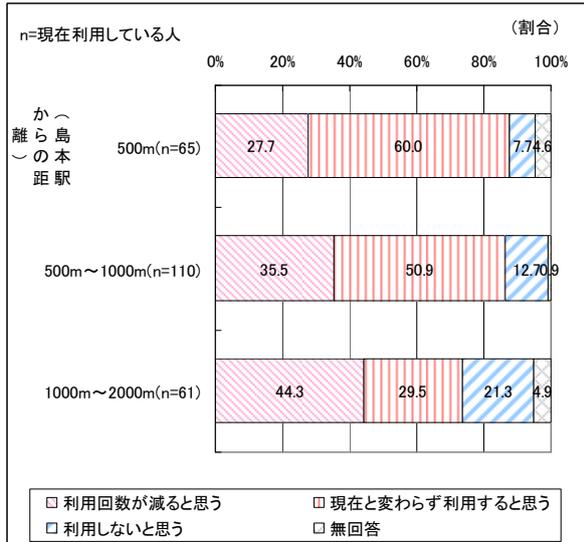
○子育て世代

- ・駅利用におけるエレベーター依存度が高く、駅からの距離に関係なく総じて高い割合で利用が回避される傾向にある。特に「利用しなくなる」との回答が多い(図 4-61~63)。

JR 島本駅

【エレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定の行動】

高齢者



子育て世代

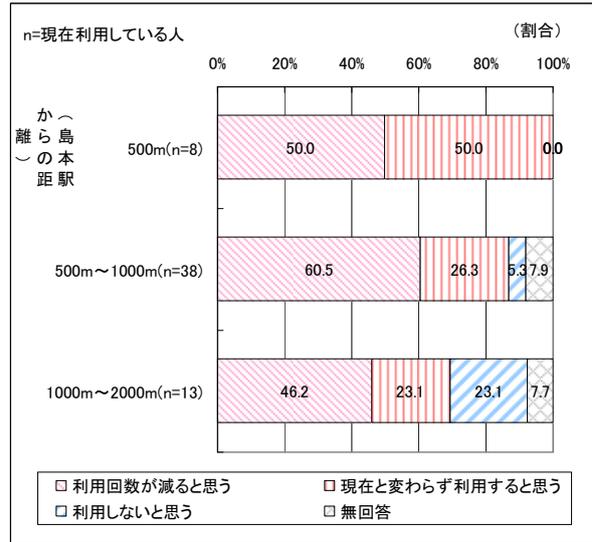
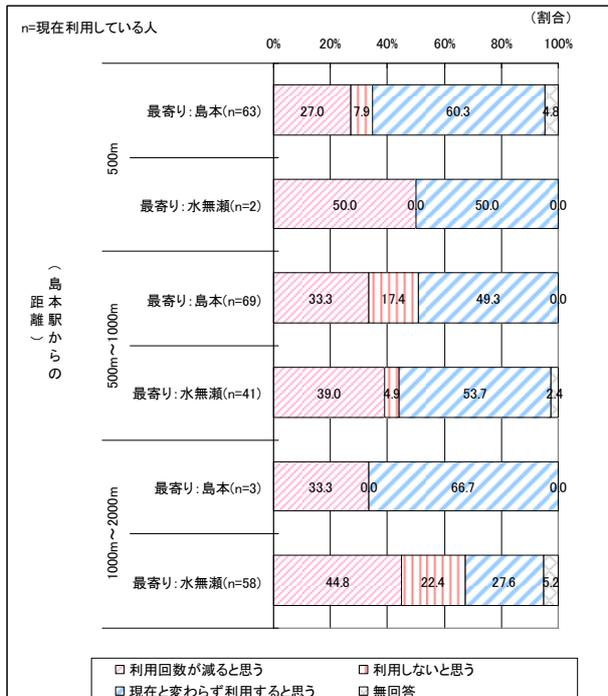


図 4-61 エレベーター・エスカレーターが利用できない場合の利用回避割合【距離帯別】

高齢者



子育て世代

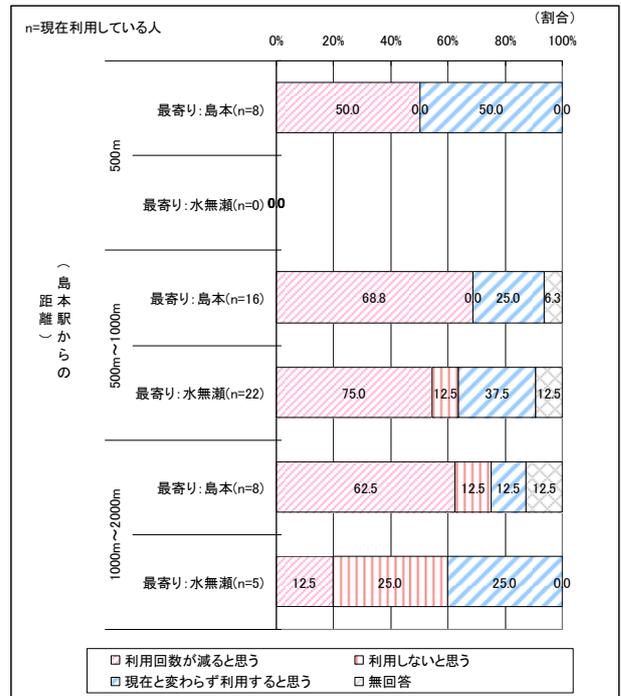


図 4-62 エレベーター・エスカレーターが利用できない場合の利用回避割合【最寄り駅別(島本、水無瀬のみ)】

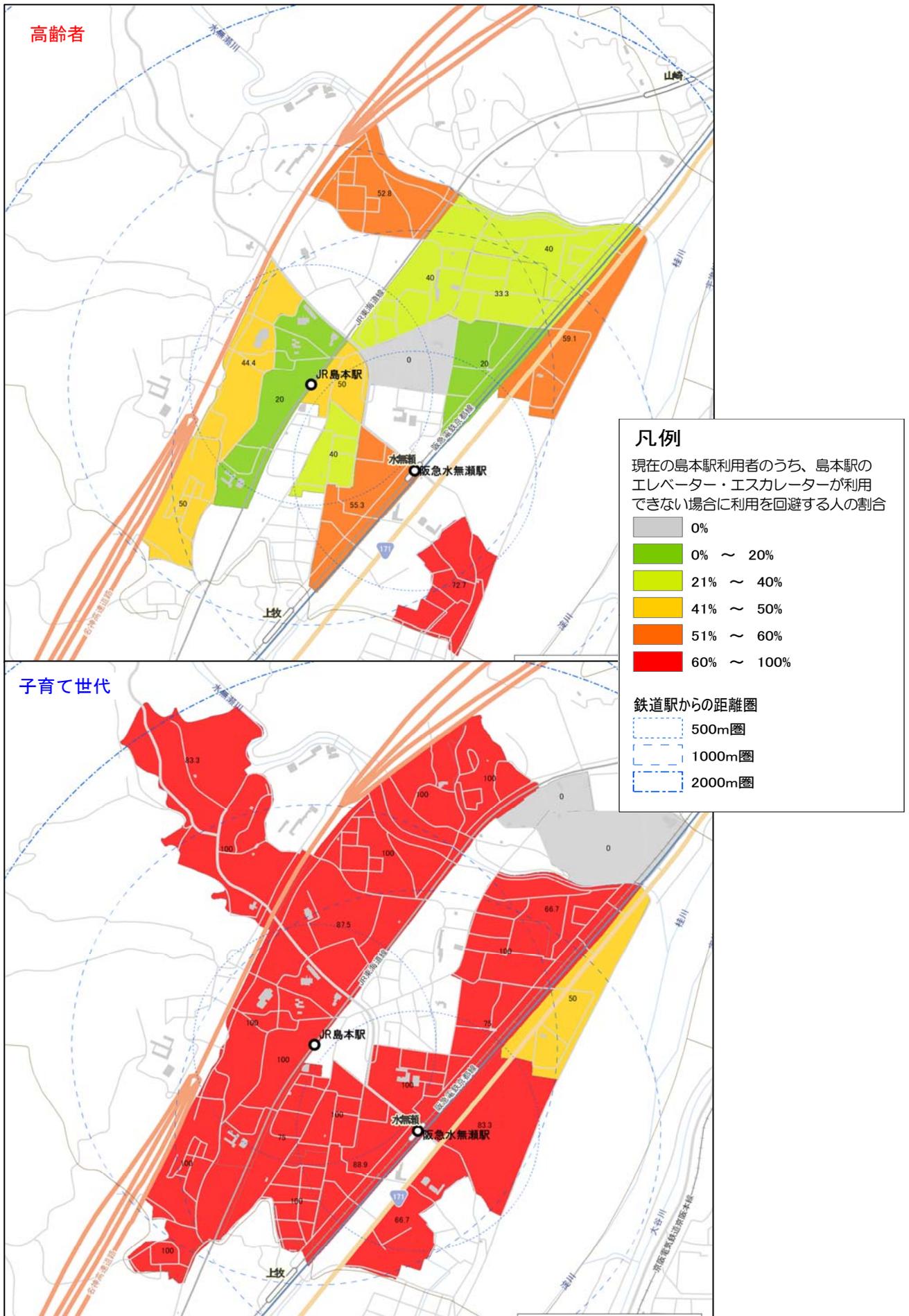


図 4-63 エレベーター・エスカレーターが利用できない場合の利用回避割合【町丁目別】(n=現在の島本駅利用者)

(バリアフリー化による利用駅選択の変化)

鉄道駅へのエレベーター・エスカレーター設置による、利用駅選択の変化を分析した。

バリアフリー化された駅として開業した JR 島本駅では、高齢者は過去の整備に対する実際の行動として、また、子育て世代は現在あるエレベーター・エスカレーターが利用できないことを想定した行動として把握した。また、阪急水無瀬駅では、高齢者・子育て世代ともに今後の整備に対する想定した行動として把握した。それぞれ、エレベーター・エスカレーター設置前は対象駅を利用していなかったが、設置後に利用するようになった(利用するようになる)、また、エレベーター・エスカレーターが利用できなくなった場合に利用駅を変える方の具体的な利用駅の変化を分析した。

新駅である JR 島本駅では、開業前は同一地域内の阪急水無瀬駅を利用していた方は約半数いる。また、近隣の JR 山崎駅や阪急水無瀬を利用していた方も多い。

阪急水無瀬駅のエレベーター・エスカレーター設置により、現在 JR 島本駅を利用している人が当該駅へ利用駅を変える意向がある(表 4-10)。

表 4-10 バリアフリー化による利用駅選択の変化
(n:対象駅開業およびエレベーター・エスカレーター設置により、
利用駅を他の駅から対象駅へ変える人)

高齢者

【過去の整備に対する実際の行動】		(上段:回答数、下段:nに対する割合)									
	n	バリアフリー化前の利用駅									
		JR摂津富田	JR高槻駅	阪急高槻市	JR島本	阪急水無瀬	阪急上牧	JR山崎	阪急大山崎	その他	
JR島本駅	241	3 1.2	8 3.3	1 0.4	0.0	135 56.0	20 8.3	96 39.8	4 1.7	1 0.4	

【今後の整備に対する想定した行動】		(上段:回答数、下段:nに対する割合)									
	n	バリアフリー化前(現在)の利用駅									
		JR摂津富田	JR高槻駅	阪急高槻市	JR島本	阪急水無瀬	阪急上牧	JR山崎	阪急大山崎	その他	
阪急水無瀬駅	11	0.0	0.0	0.0	5 45.5	1 9.1	4 36.4	0.0	0.0	0.0	

子育て世代

【エレベーター・エスカレーターが利用できない場合の想定した行動】		(上段:回答数、下段:nに対する割合)									
	n	バリアフリー設備が利用できない場合の利用駅									
		JR摂津富田	JR高槻駅	阪急高槻市	JR島本	阪急水無瀬	阪急上牧	JR山崎	阪急大山崎	その他	
JR島本駅	61	0.0	1 1.6	0.0	0.0	44 72.1	7 11.5	16 26.2	0.0	0.0	

【今後の整備に対する想定した行動】		(上段:回答数、下段:nに対する割合)									
	n	バリアフリー化前(現在)の利用駅									
		JR摂津富田	JR高槻駅	阪急高槻市	JR島本	阪急水無瀬	阪急上牧	JR山崎	阪急大山崎	その他	
阪急水無瀬駅	11	0.0	0.0	0.0	9 81.8	0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1	0.0	

5. 調査結果の活用

5.1 調査結果の活用方法

本調査を通じて、鉄道駅等のバリアフリー化による高齢者・子育て世代の外出の促進【鉄道の利用促進効果】、および移動の増加を通じた地域の活性化【地域の活性化効果】に関する多くの有用な調査結果を得た。これらの調査結果は、今後、行政、関係事業者および地元の協働により、鉄道駅等の機能向上や駅を中心としたまちづくりに取り組む多くの地域にとって、バリアフリー推進上の課題解決の一助となるものと考えられる（図 5-1）。

調査結果の具体的な活用場の一例を表 5-1 に示す。なお、これらにとどまらず、地域の特性や抱える課題に応じて、行政、関係事業者および地元の創意により、広く調査結果が活用されることを期待する。

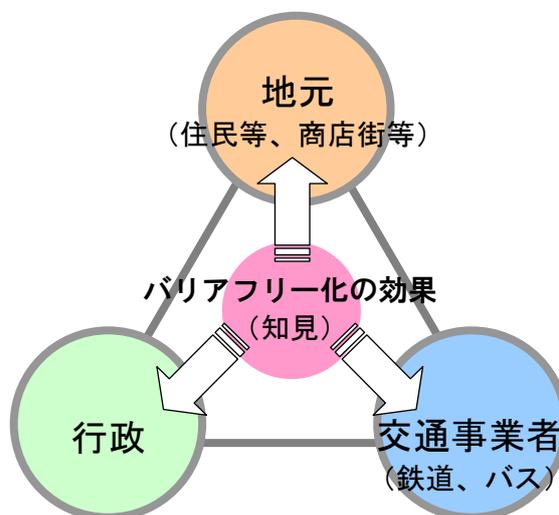


図 5-1 協働のまちづくりにおける調査結果の活用イメージ

表 5-1 調査結果の活用例

活用主体		役割	活用の場面
行政		・バリアフリー基本構想の作成	・バリアフリー効果の認識 ・バリアフリー基本構想作成の手助け
		・バリアフリー事業の予算化	・必要性の高い施策として予算要求
		・事業者・地元の支援	・バリアフリー効果の提示 ・事業実施の手助け
		・駅を中心としたまちづくり	・バリアフリー化の社会的な効果の把握
交通事業者 (鉄道・バス)		・特定旅客施設のバリアフリー化 ・低床式バスの導入	・バリアフリー効果の把握 ・事業実施の手助け
地元	地元住民・ NPO等	・バリアフリー化の要望	・バリアフリー化の効果を知る・行政や事業者への働きかけ ・バリアフリーの理解促進
	商店街等	・商店街のバリアフリー化	・駅と周辺地域のバリアフリー効果の把握 ・商店でできる利用者サービス方法の把握

5.2 バリアフリー推進に活用できる調査結果

1) 鉄道（バス）の利用促進

○バリアフリー設備の利用促進

- ・ベビーカー等を利用する子育て世代にとっては、エレベーターは欠かせない移動手段となっている。
- ・高齢者にとっては、エレベーターだけでなくエスカレーターの整備も効果的である。

《さらなる取組》

- ・商業施設内やバス停周辺と駅との動線を意識したバリアフリー設備の設置が効果的である。
- ・バリアフリー設備の認知度が低いと利用率が低下するため、サイン等による案内も重要となる。
- ・エレベーターの優先利用などが望まれている。

○鉄道の利用促進

- ・鉄道駅のエレベーター・エスカレーターの設置により、高齢者、子育て世代の鉄道の利用意向が高まり（2～3割が増加意向、月に1回程度増加）、乗客数の増加にまで結びつく可能性がある。
- ・駅施設へのエレベーター・エスカレーターの設置が困難な場合でも、ペDESTリアンデッキや駅前の商業施設内の設備を活用するなど、移動手段の確保が重要である。
- ・複数の鉄道駅が徒歩やバスで利用できる地域では、近隣の複数駅でバリアフリー化することで、より利便性が高まり利用促進が期待できる。
- ・バス交通は高齢者にとって身近な移動手段となっているため、低床式バスの導入促進や鉄道駅との乗り継ぎを容易にするバリアフリー設備が求められる。

《さらなる取組》

- ・ベビーカーを利用する子育て世代は、車両内のベビーカー用スペースの確保を望んでいる。
- ・移動の負担の大きい高齢者や子育て世代にとっては、バス停付近への休憩施設設置が望まれている。
- ・鉄道の利用をより高めるためには、料金の割引・優遇制度やコミュニティバスの導入、駐輪場の充実などアクセス交通の改善とあわせて実施することが有効である。
- ・乗客数等を駅周辺環境の変化とあわせて定期的にモニタリングし、バリアフリーやサービスの改善につなげていくことが重要である。

2) 地域の活性化

○消費行動の活性化

- ・ 鉄道駅等のバリアフリー化により、高齢者、子育て世代の駅周辺へのアクセス機会が増加し、沿線地域の買い物機会も増加する。

《さらなる取組》

- ・ 商業施設のエレベーター・エスカレーターを駅への移動に活用することで、店舗内外の人の流れの増加につながる。
- ・ 駅周辺や商店街では、歩道を狭め歩きにくくしている自転車放置の改善や、重い荷物を持った高齢者へのベンチ等の休憩場所を提供することで、来訪機会や買い物量が増えることが期待できる。
- ・ 商店街での単身高齢者等をターゲットにした商品提供や、ベビーカー貸し出し、トイレの多機能化などの取組により、買い物環境を向上させることも効果的である。

○地域間交流の活性化

- ・ 高齢者や子育て世代は、公共交通がより使いやすくなれば、旅行や友人・知人の訪問、習い事などのために利用を増やす意向が高い。
- ・ 高齢者は外出が増えることで、地域の活動やイベント、ボランティア活動へ積極的に参加するようになるなど、社会に参加しいきいきとした生活を送ることができると考えられる。

《さらなる取組》

- ・ 鉄道利用では買い物や観光、レジャーなど遠出の外出が志向される傾向にあるため、最寄り駅と目的となる駅も含めた沿線のバリアフリー化が強く望まれている。
- ・ 駅周辺の一体的な整備により、地域イメージが向上し生活者の誇りとなっている。

3) その他

- ・ 高齢者にとって外出しやすい環境を整えることで、自らの足で外出するようになり健康増進につながっていることが示唆された。
- ・ 子育て世代にとっては、子どもと外出することへの安心感の向上につながっている。

《さらなる取組》

- ・ 公共交通を利用することで歩行数が増加し、カロリー消費、メタボリックの解消など、健康面での期待できる。

(参考：厚生労働省では、歩行による生活習慣病の予防に着目し、1歩あたりの医療費削減効果を試算している。1歩あたり0.0014円、一万歩で14円)

6. まとめ

6.1 公共交通等のバリアフリー化による効果

平成 20 年度に実施した¹¹全国インターネット調査、杉並区を調査対象地区としたケーススタディ・データ検証、および平成 21 年度に実施した大阪府高槻市・島本町を調査対象地区としたケーススタディから得られた、公共交通等のバリアフリー化がもたらした効果検証結果を図 6-1 にとりまとめた。

検証された主な効果としては、「バリアフリー化による鉄道の利用促進効果」及び「移動の増加を通じた地域の活性化効果」であり、本調査研究の結果から他地域においても参照できると思われる具体的事象及び、それに関連した更なる要望・ニーズを抽出し、次頁表 6-1 にとりまとめた。

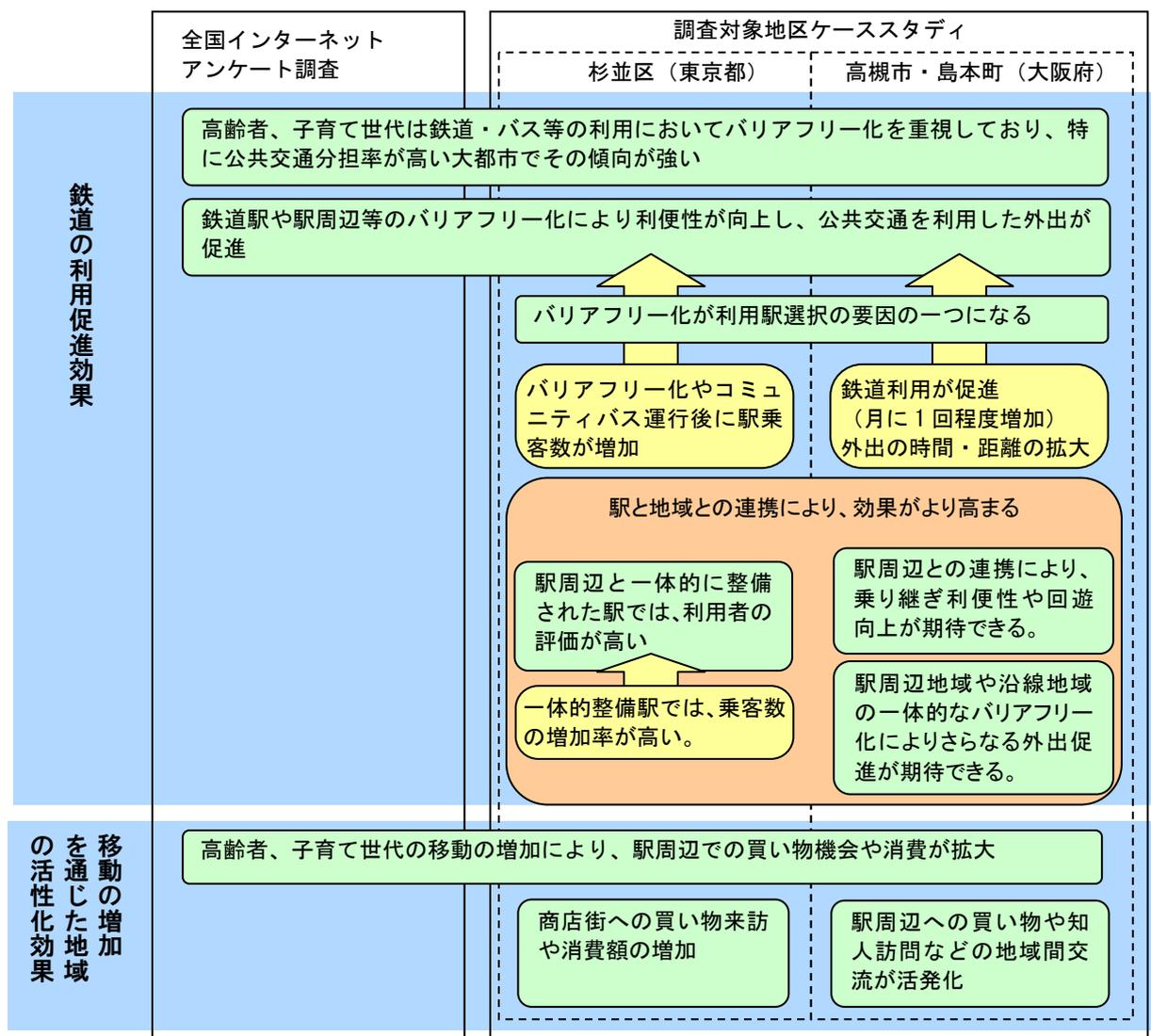


図 6-1 効果検証のまとめ

¹¹ 平成 20 年度の調査結果の詳細については、「国土交通政策研究第 87 号 三世帯共生ユニバーサルデザイン社会の構築に向けた調査研究 2009 年 10 月」を参照

表 6-1 鉄道・バス等のバリアフリー化がもたらした効果等

	バリアフリー化がもたらした効果	全国調査・ケーススタディから得られた知見	特徴的な事項 さらなる要望・ニーズ
鉄道の利用促進効果	子育て世代・高齢者は鉄道・バス等の利用において、バリアフリーを重視しており、特に公共交通分担率が高い大都市でその傾向が強い	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て世代、高齢者は鉄道・バス利用に対してバリアフリー化を重視する(H20) ● 大都市圏で利用頻度が高いほどバリアフリー化を重視する(H20) ● エスカレーター未設置の駅では設置駅に比べ、満足度は低く、バリアフリー化されていない駅の満足度はさらに低い(H20) ● エレベーター以外の移動手段に抵抗がある(困難・危険)ほど、バリアフリー化を重視している(H21) 	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリーを重視している大都市や低年齢の子どもの親(特に女性、ベビーカー利用者)においてさらなるサービス改善要望が強い ● エレベーターを優先的に利用できるようにとの要望がある ● 子育て世代にとっては、ベビーカー利用の利便性向上(エレベーターや車内スペース)が必要である ● 高齢者にとっては、段差の解消やベンチ等の休憩施設の充実が必要である ● バスを身近な足として利用する高齢者は、ノンステップバスやバス停の休憩施設の充実を要望している ● 一時利用可能な駐輪場の充実を要望している
	鉄道駅や駅周辺等のバリアフリー化により、利便性が向上し、公共交通を利用した外出が促進する	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道駅やバスがバリアフリー化されることで、子育て世代、高齢者の鉄道・バスを利用した外出機会が増加する(H20) ● バリアフリー化された駅では、バリアフリー化前後で乗客数が増加する(H20) ● 鉄道の利用回数は月に1回程度増加し、特に従前の回数が低い人が増加する傾向にある(H21) ● 遠出の買い物や観光、レジャーなど余暇活動が活発化する(H21) ● 鉄道駅のバリアフリー化により、高齢者の駅勢圏拡大につながる。子育て世代はエレベーター依存度が高く距離に関係なく効果が大きい(H21) 	
	バリアフリー化が利用駅選択の要因の一つになる	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅間が短く選択性が高い大都市では、バリアフリー化が利用駅選択の一要因となる(H20) ● 一時利用できる隣の駅の駐輪場を選択する傾向にある(H20) 	
	駅周辺と一体的に整備された駅では、利用者の評価が高い	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅舎の大規模改良や駅前広場や駅への連絡路などの駅周辺と一体的なバリアフリー化により、外出促進効果が大きくなる(H20) ● 駅へ連絡するコミュニティバスの導入により、駅利用者が増加する(H20) 	
	駅と地域との連携による効果	<p>駅周辺との連携により、乗り継ぎ利便性や回遊向上が期待できる</p> <p>駅周辺地域や沿線地域の一体的なバリアフリー化によりさらなる外出促進が期待できる</p>	

バリアフリー化がもたらした効果		全国調査・ケーススタディから得られた知見	特徴的な事項 さらなる要望・ニーズ
地域の活性化効果	子育て世代・高齢者の外出機会の増加により、駅周辺での買い物機会や消費が拡大する	<ul style="list-style-type: none"> ● バリアフリー化により、子育て世代、高齢者の買い物機会や消費額が増加するなど消費が拡大する(H20) ● バリアフリー化により、鉄道等を利用したイベント来訪機会が増加し、交流の拡大につながっている(H20) ● 高齢者の地域活動への積極的な参加など、社会参加も促進する(H20) 	<ul style="list-style-type: none"> ● イベント会場でも、子育て世代や高齢者への配慮を要望している ● 商店街では単身高齢者等をターゲットに商品の小口化を進めるなどの取組も見られる ● 商店街でもまちの活性化のために、バリアフリー化を強く要望している
	商店での来訪者の増加や消費額の増加する	<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街で来訪者の増加や消費額の増加を実感している(H20) ● 駅周辺の商業施設等と連携したバリアフリー化や市街地のソフト的なバリアフリー対策により、商業施設や商店街での来訪機会や買い物量が増加する(H21) 	
	駅周辺への買い物や知人訪問などの地域間交流が活発化する	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物などの来訪機会が増加するほか、友人・知人を呼びやすくなるなど地域間交流が活発化する(H21) 	
その他の効果		<ul style="list-style-type: none"> ● 移動時の負担軽減効果を実感している(H20) ● 自らの足で外出するようになり、健康増進につながっている(H20) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自治体や鉄道事業者等の情報提供を要望している

(1) バリアフリー化による鉄道の利用促進効果

全国調査及びケーススタディを通じて、公共交通等のバリアフリー化がもたらした利用者行動・意識の変化を把握した。

まず、高齢者、子育て世代は鉄道・バス等の利用においてバリアフリーを重視しており、特に、公共交通分担率が高い大都市においてその傾向が強いことが分かった。

次に、鉄道駅や駅周辺、バス等の公共交通等のバリアフリー化により、駅利用の利便性が向上し、公共交通を利用した外出が促進されることが確認された。

特に、子どもが低年齢であるほど、また、高齢者では、高齢であるほどその効果が大きくなる傾向にある。このことは、関西圏でのケーススタディにおいて、高齢者、子育て世代のエレベーターの利用特性として、高齢者は負担軽減のための身体的負担が高まる後期高齢者ほど利用傾向が強く、また、子育て世代では他の手段の困難さや危険回避のためにベビーカー利用者には欠かせない移動手段となっていることから、その要因が明らかになったとともに、高齢者と子育て世代の利用傾向の違いも把握することができた。

また、関西圏でのケーススタディでは、鉄道駅等のバリアフリー化により、外出機会が増加し鉄道するようになること、あるいは近接する他駅や他の交通手段からの転換により、月に1回程度の鉄道の利用回数の増加が見込まれることが分かった。そして、外出目的の面でも、遠出の外出や観光、レジャーなど余暇活動が活発化する傾向にあり、外出の時間や移動距離の拡大につながることが分かった。

さらに、首都圏でのケーススタディでは、駅乗客数の推移に基づき具体的な効果検証を実施した結果、バリアフリー化後には、バリアフリー化された駅及び地区全体として乗客数が微増しており、バリアフリー化による鉄道の利用促進効果が確認できた。特に、駅舎の大規模な改良や駅前広場等の駅周辺と一体的に整備された駅では、駅利用の評価が高く、実際の乗客数の増加率も高いことが分かった。

また、バリアフリー未整備の駅では、隣接駅のバリアフリー化により利用駅の転換があること、つまりバリアフリー化が利用駅選択の一要因になっていることが推測できた。これらのことから、バリアフリー化により公共交通を利用した外出が促進されていることが、具体的な検証により確認された。また、イベント等への公共交通を利用した参加機会の増加にもつながることが確認された。

関西圏でのケーススタディにおいては、人口および駅乗客数が縮小傾向にあるなかで、バリアフリー化が乗降客数に与える影響を明確に掴むことはできないが、鉄道駅と駅前広場、ペDESTリアンデッキ、周辺の商業施設等のエレベーター等のバリアフリー設備を連結することによる駅周辺の回遊の促進、そして、主要な駅アクセス交通手段であるバスと駅との接続を意識したバリアフリー設備の整備による乗り継ぎ利便性向上などの、鉄道駅と周辺施設等との連携の効果を確認できた。さらに、最寄り駅と目的地となる最終下車駅も含めた沿線の一体的なバリアフリー化が望まれていることも分かった。関西圏での対象駅は、全国の自治体の中核駅に類似したケースであり、鉄道駅を中心とした一体的な再開発やまちづくりを進める上での有用な知見が得られたものと考えられる。

そのほか、バリアフリー化による利用者意識の変化としては、子育て世代では「移動時の負担軽減効果」、高齢者では「健康増進効果」や「地域活動等への積極的参加」などの副次的な効果が確認された。

(2) 移動の増加を通じた地域の活性化効果

全国調査及びケーススタディを通じて、鉄道・バス等のバリアフリー化やコミュニティバスの導入により、子育て世代、高齢者の外出機会が増加し、駅周辺での商店街等での買い物機会の増加や消費の拡大につながっていることが確認された。

さらに、首都圏のケーススタディでの商店への聞き取り調査から、実際に来訪者の増加や消費額の増加の効果があることが確認された。

また、関西圏のケーススタディでは、鉄道での外出で利用する地域の駅相互のバリアフリー化が望まれており、バリアフリー化により買い物や観光での来訪や友人・知人の訪問など地域相互の往来が促進され、地域間交流の活性化につながることが確認された。

経済の低迷や地域間競争が進展する時代において、地域の商店街や観光を活かしたまちづくりを進めるうえで、地域活性化の基盤となる駅周辺の機能充実として、公共交通等のバリアフリー化が一助となるものと考えられる。

6.2 ユニバーサルデザイン社会の構築に向けて

急速な少子高齢化の進行に伴い、国土交通行政の分野においては、高齢者、親、子どもの三世代にわたる共生が可能なユニバーサルデザイン社会の構築に向けた取組みが重要な課題となっており、その一環として、これまで高齢者等の円滑な移動等に資するため、バリアフリー化対策が講じられてきたところである。

また、バリアフリーの取組みに当たっては、地方自治体、公共交通事業者（鉄道やバス会社等）、道路管理者、公安委員会、高齢者・障害者等、大学、商店街、NPO等たくさんの関係者がいることは周知の事実である。今後バリアフリー化の取組みを加速するためには、これだけ多くの関係者がしっかりと連携協力するとともに、国民全体としての一層の理解や協力が不可欠である。

そのためにも、本調査研究で得られた、「高齢者及び子育て世代の公共交通の利用促進」や「移動の増加を通じた地域の活性化」といった効果を示すことにより、多くの地域でユニバーサルデザイン社会が構築されることを期待する。

資料編

資料 1 : 鉄道路線図

資料 2 : バリアフリー基本構想

資料 3 : 鉄道駅及び周辺のバリアフリー化の状況

資料 4 : 高槻市営バス 路線の状況

資料 5 : 高槻市営バス 利用状況

資料 6 : 高槻市営バス ノンステップバス等の車両数の推移

資料 7 : 居住者調査 調査票

資料 8 : 居住者調査 団体別配布・回収状況

資料 9 : 駅乗客数検証

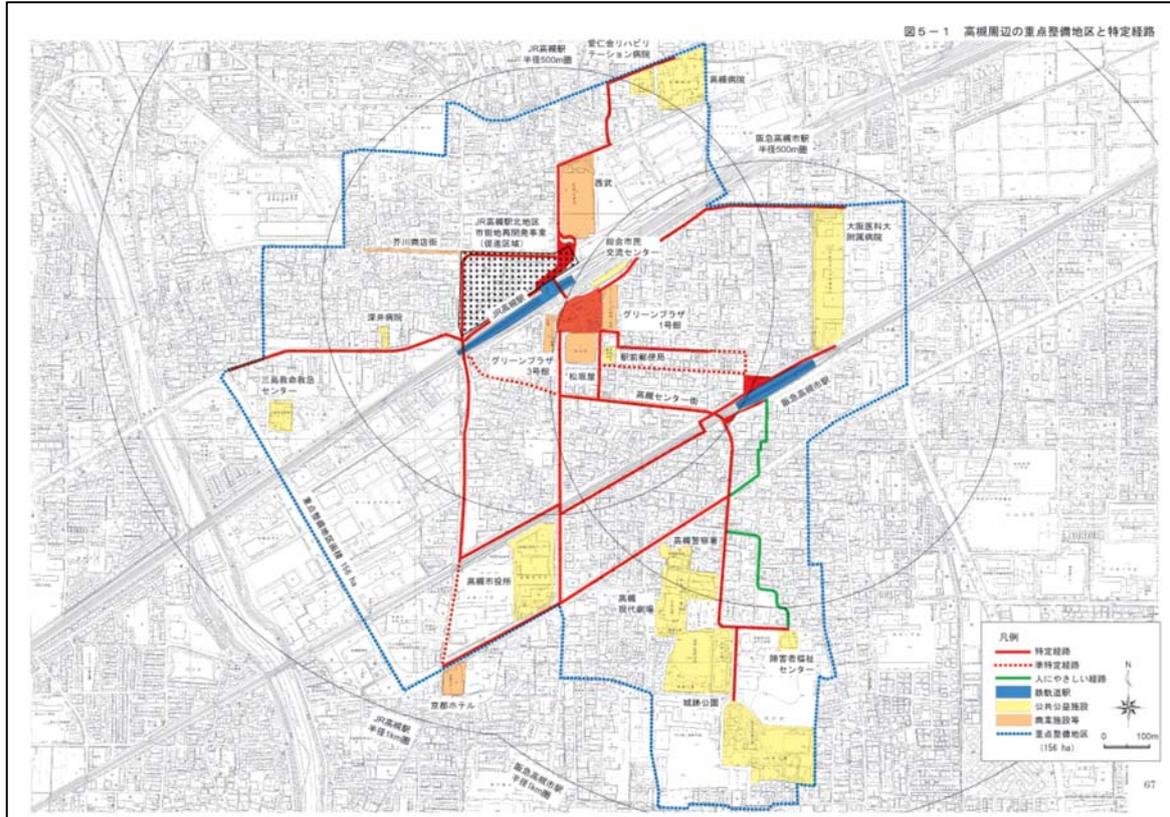
資料 1 鉄道路線図

調査対象地区は、大阪府の北東部、大阪市と京都市のほぼ中間に位置し、鉄道によって、大阪・京都市内の中心地から概ね 30 分以内で結ばれている。

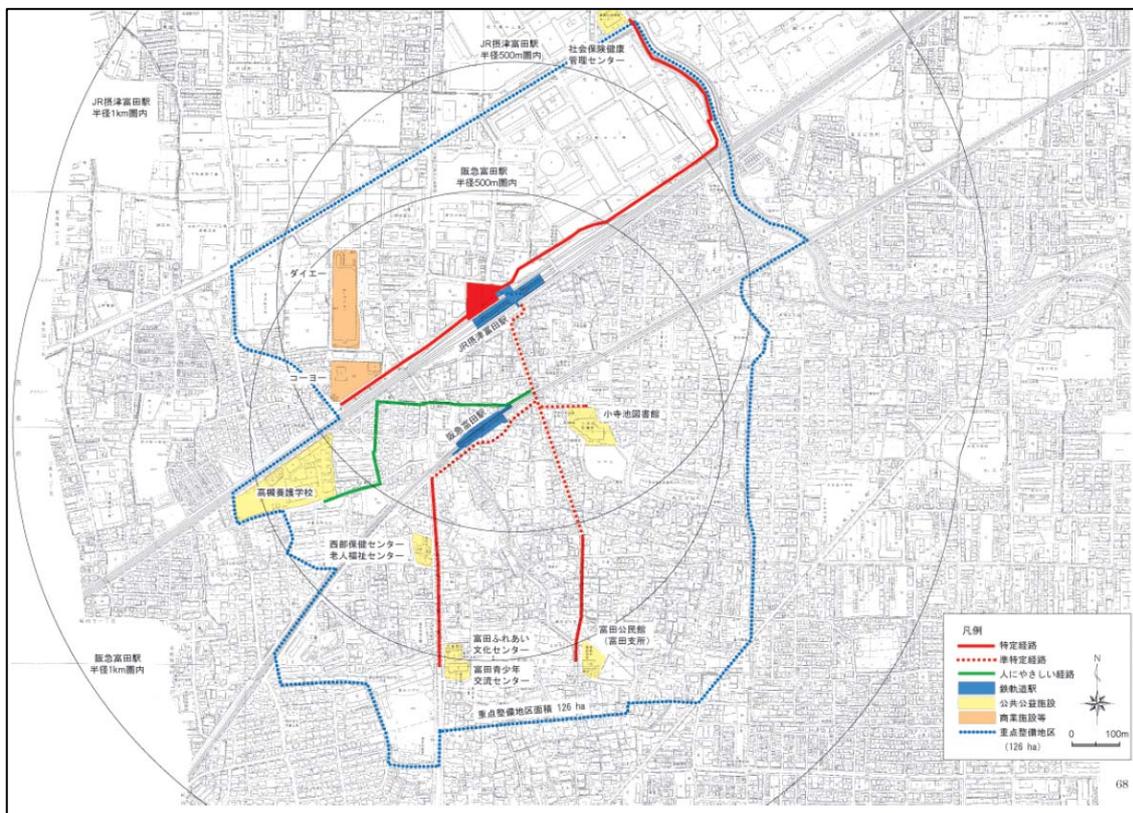


資料2 バリアフリー基本構想

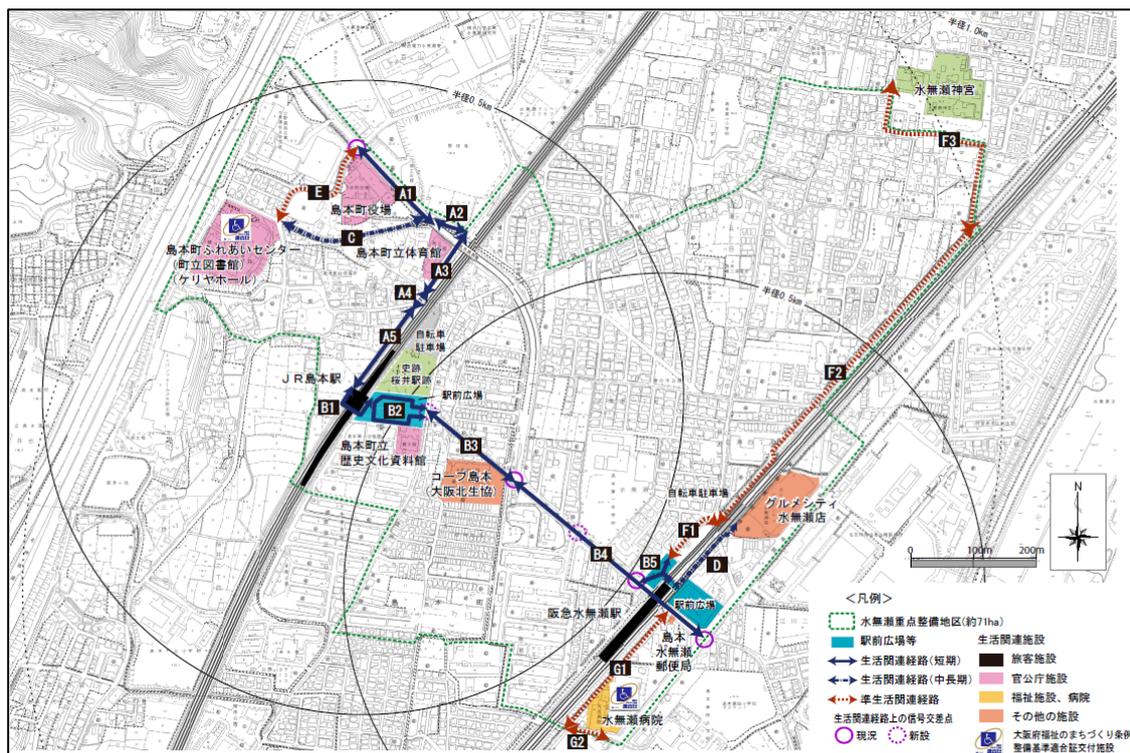
□高槻市交通バリアフリー基本構想／平成15年5月



高槻重点整備地区



富田重点整備地区



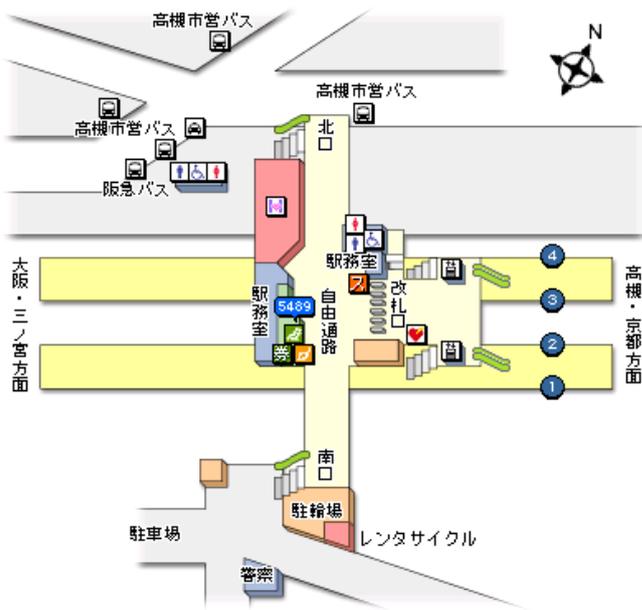
水無瀬重点整備地区

資料 3 鉄道駅及び周辺のバリアフリー化の状況

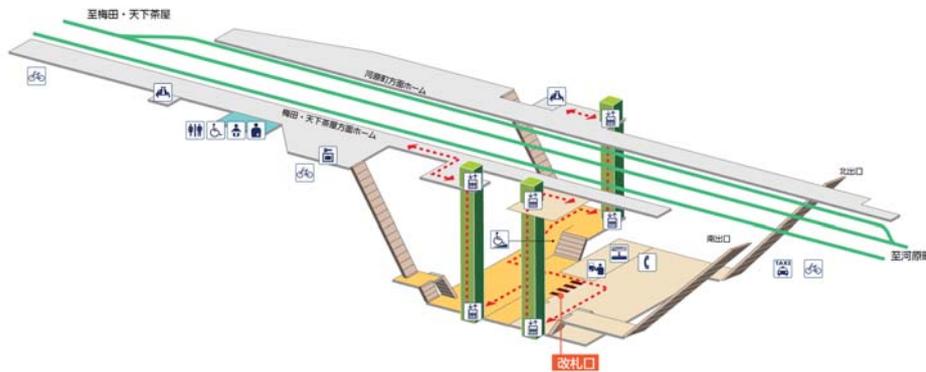
富田地域（JR 摂津富田駅周辺、阪急富田駅周辺）

《駅BF化状況》

JR 摂津富田



阪急富田

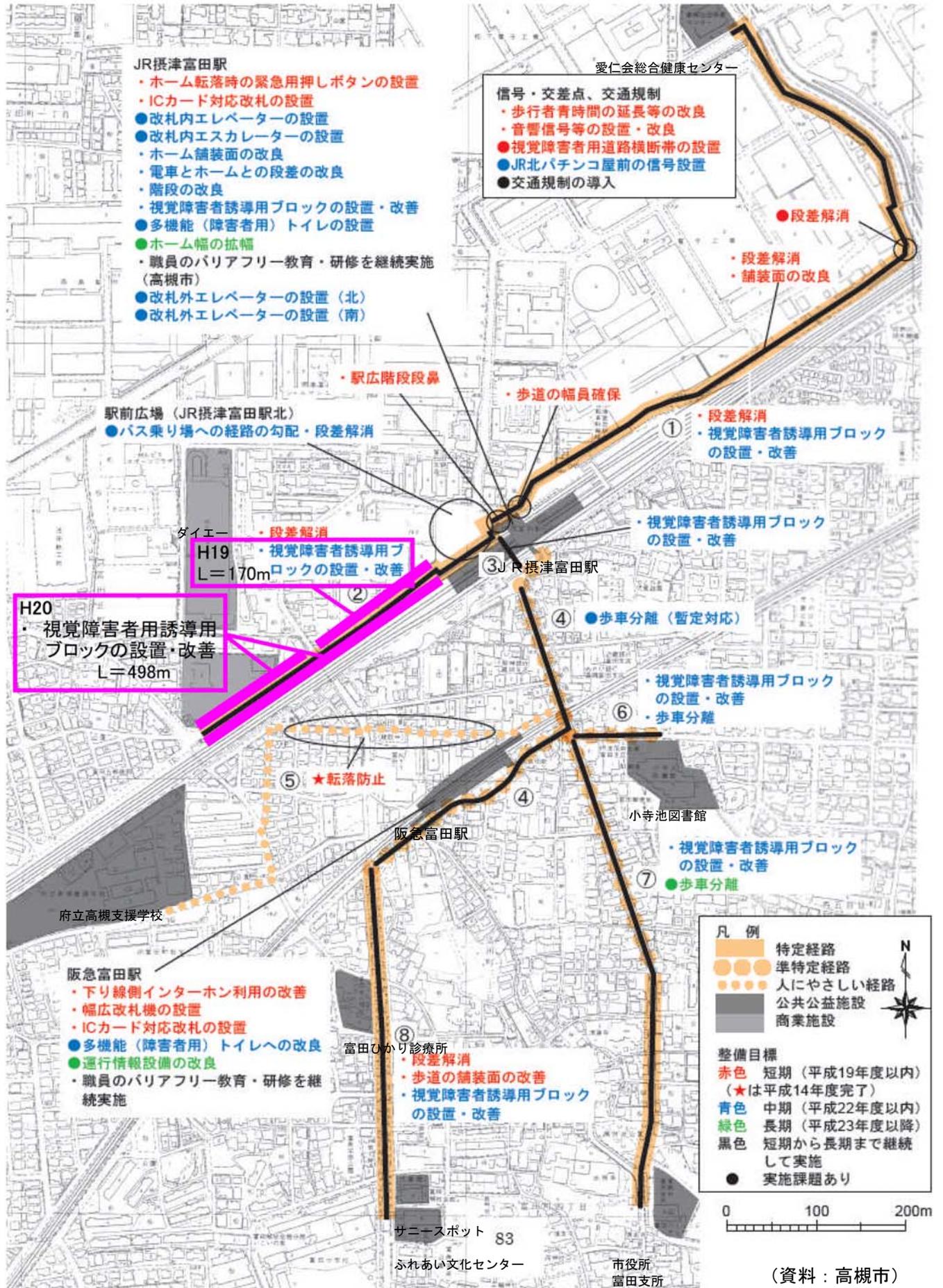


凡例	
サービスセンター	車椅子施設詳細
きっぷのうば	AED (自動体外式除動器)
エレベーター	バスのうば
スロープ	タワシーのうば
お手洗	おしめい
オストメイト	ラガーショップ
コインFAX	コインロッカー
駐輪所	レンタサイクル
ホーム内	改札内
改札外	改札
エスカレーター	階段
エレベーター経路	バリアフリールート

(出典：JR西日本 HP、阪急電鉄 HP)

《駅周辺地区BF化状況》

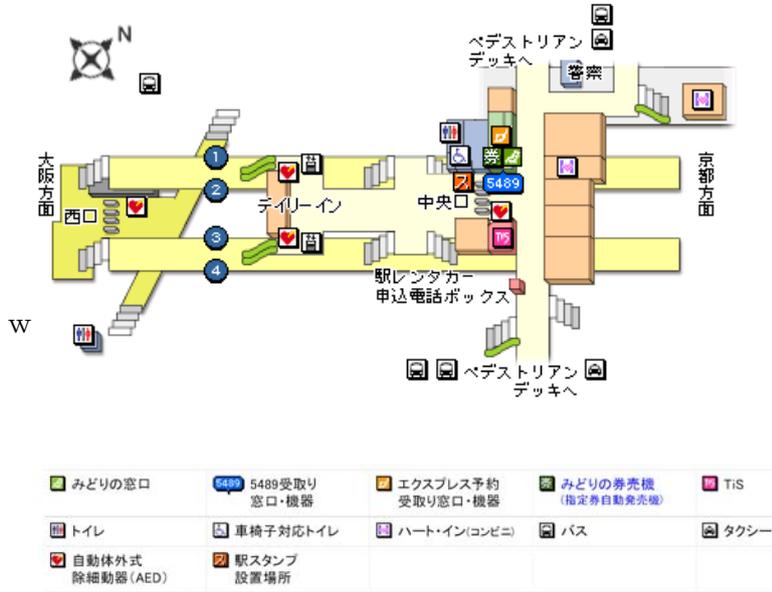
道路等整備済み箇所



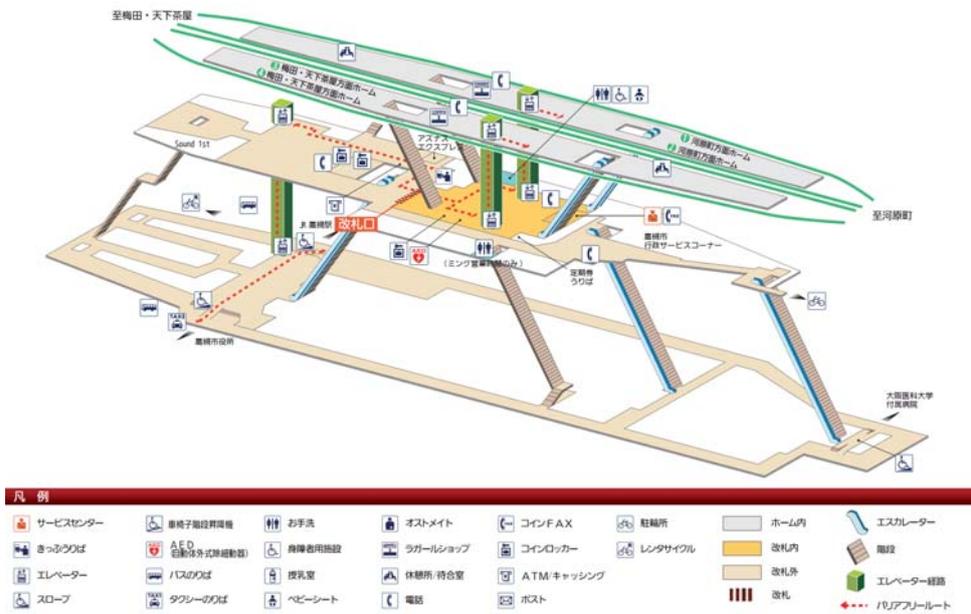
高槻地域（JR高槻駅周辺、阪急高槻市駅周辺）

《駅BF化状況》

JR高槻駅

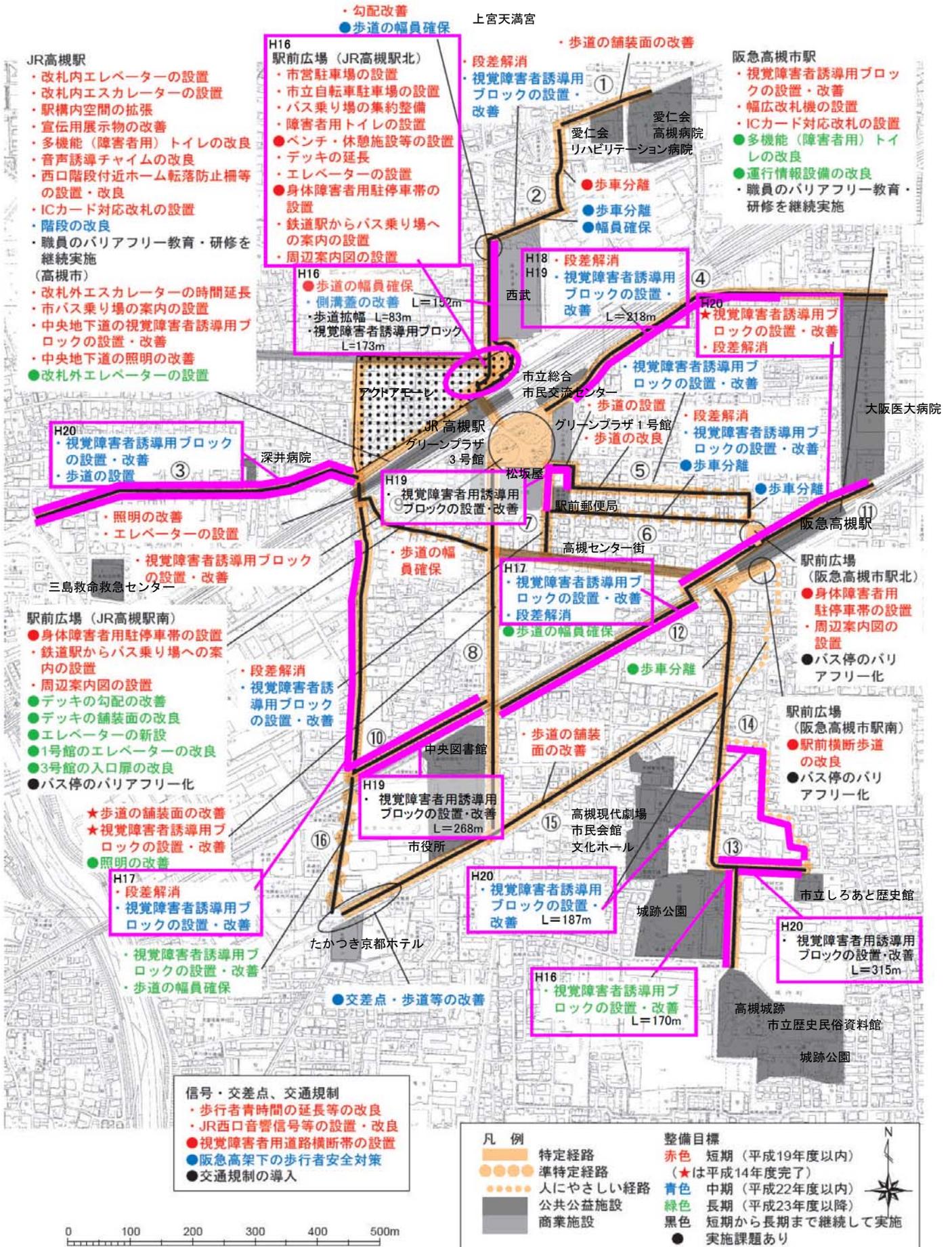


阪急高槻市駅

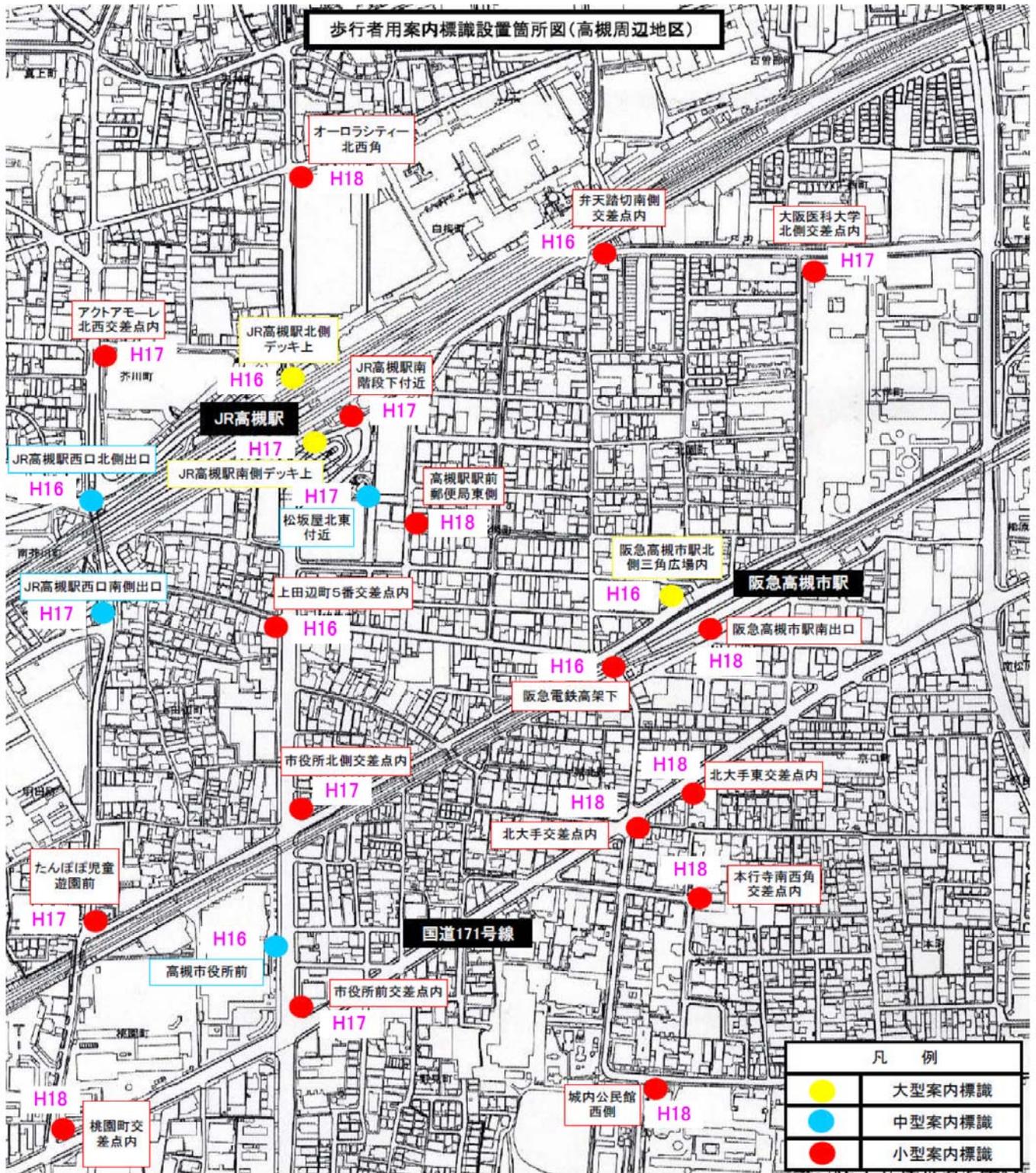


(出典：JR西日本 HP、阪急電鉄 HP)

《駅周辺地区BF化状況》 道路等整備済み箇所



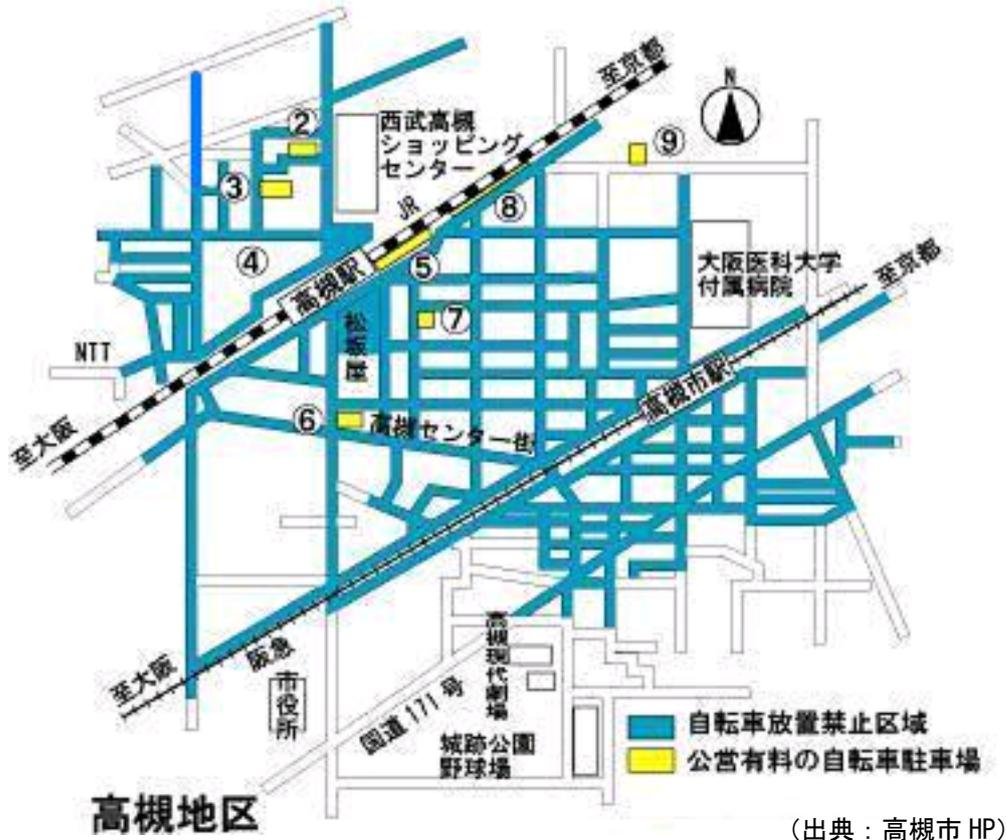
《駅周辺の歩行者用案内サイン整備状況》



(資料：高槻市)

《放置自転車対策の状況》

自転車放置禁止区域、公営自転車駐輪場



整備効果、公営・民間駐輪場（駅周辺の駐輪機に設置された看板）

自転車放置禁止区域内での、整然とした駐輪を推進する為に設けられた駐輪機です。
通勤・通学での長時間の駐輪機利用はご遠慮下さい。

平成16年9月設置前

現在

みなさまのご理解・ご協力で、こんなにきれいな駅前広場になりました。

駐輪機を通勤・通学で利用すると、屋間に利用されるお客様が利用出来なくなり大変迷惑となっております。通勤・通学には付近の自転車駐輪場をご利用下さい。

JR高槻駅周辺 自転車駐輪場マップ

JR高槻駅北側周辺			
No	施設名	電話番号	利用時間
1	高槻駅北自転車駐輪場	683-5840	月曜～一時強り
2	高槻駅北第2自転車駐輪場	683-5877	月曜～一時強り
3	高槻駅北地下自転車駐輪場	685-2119	月曜～一時強り
4	高槻駅前駐輪場	684-1005	月曜～一時強り
5	都久坪駐輪場	683-3551	月曜～一時強り
6	中川自転車預かり所	685-0891	月曜～一時強り
7	柳原自転車預かり所	685-1563	月曜～一時強り
8	市部自転車預かり所	685-2347	月曜～一時強り
9	南芥川駐輪場	682-4567	月曜～一時強り

JR高槻駅南側周辺			
No	施設名	電話番号	利用時間
10	市部中央駐輪場	681-4561	月曜～一時強り
11	高槻自転車駐輪場	681-1424	月曜
12	高槻南自転車駐輪場	681-1424	月曜
13	榊原町自転車駐輪場	685-2790	月曜～一時強り
14	榊原町第2自転車駐輪場	682-2935	月曜～一時強り
15	大山自転車預かり所	682-2035	月曜
16	塚本駐輪場	682-0894	月曜
17	中山自転車預かり所	681-0588	月曜～一時強り
18	TKAやま通自転車預かり所	685-5557	月曜
19	日本通運駐輪場	685-4784	月曜
20	北島自転車預かり所	682-4363	月曜～一時強り
21	石橋自転車預かり所	685-3868	月曜～一時強り
22	今本自転車預かり所	090-2103-9781	月曜～一時強り
23	新田駐輪場	685-0454	月曜
24	駐輪場		月曜

自転車駐輪場マップの利用について

- 色 (No. 1～3及びNo. 10～14) は、高槻市立の自転車駐輪場です。
- 色 (No. 4～9及びNo. 15～24) は、民間の自転車駐輪場です。

※利用料金は、各自転車駐輪場に直接お問い合わせください。

通勤・通学には最寄りの自転車駐輪場をご利用下さい。

高槻市・高槻都市開発株式会社

島本地域（JR島本駅周辺、阪急水無瀬駅周辺）

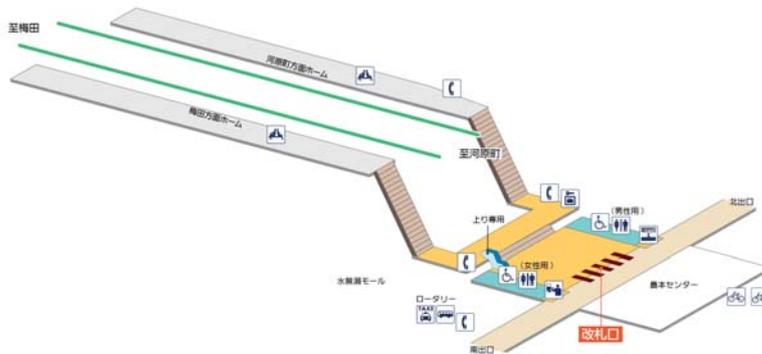
《駅BF化状況》

JR島本駅



みどりの窓口	5489受取り窓口・機器	エクスプレス予約受取り窓口・機器	みどりの券売機 (指定券自動発売機)	TIS
トイレ	車椅子対応トイレ	ハート・イン(コンビニ)	バス	タクシー
自動体外式除細動器(AED)	駅スタンプ設置場所			

阪急水無瀬駅



サービスセンター	車椅子電話昇降機	お手洗	オストメイト	コインFAX	駐輪場	ホーム内	エスカレーター
きつぷろば	AED (自動体外式除細動器)	障害者用施設	ラガールショップ	コインロッカー	レンタサイクル	改札内	階段
エレベーター	バスのりば	授乳室	休憩所 待合室	ATMキャッシング	改札外	エレベーター経路	
スロープ	タクシーのりば	ベビーシート	電話	ホスト	改札	リニアフルルート	

(出典：JR西日本 HP、阪急電鉄 HP)

《駅周辺地区BF化状況》

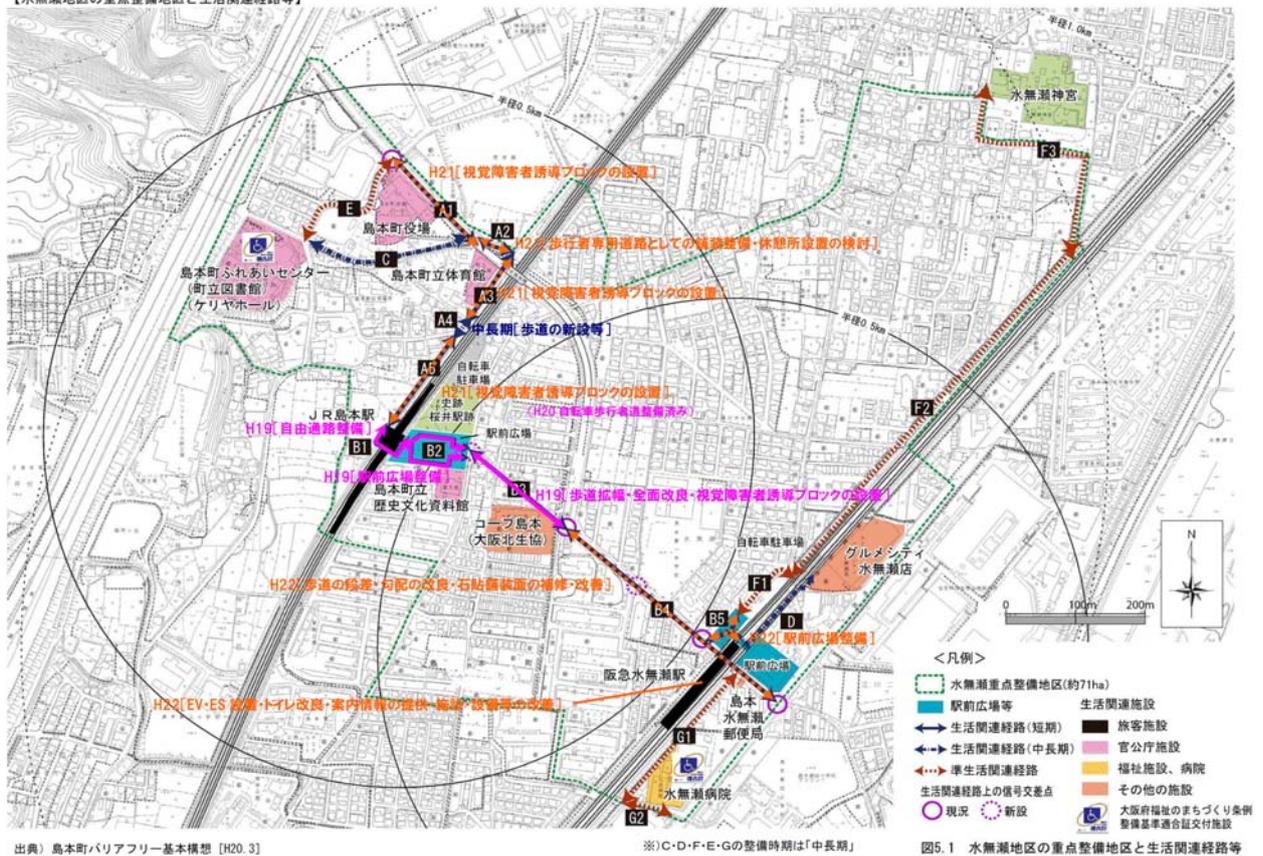


道路等整備済み箇所



H21, 22 整備予定箇所

【水無瀬地区の重点整備地区と生活関連経路等】



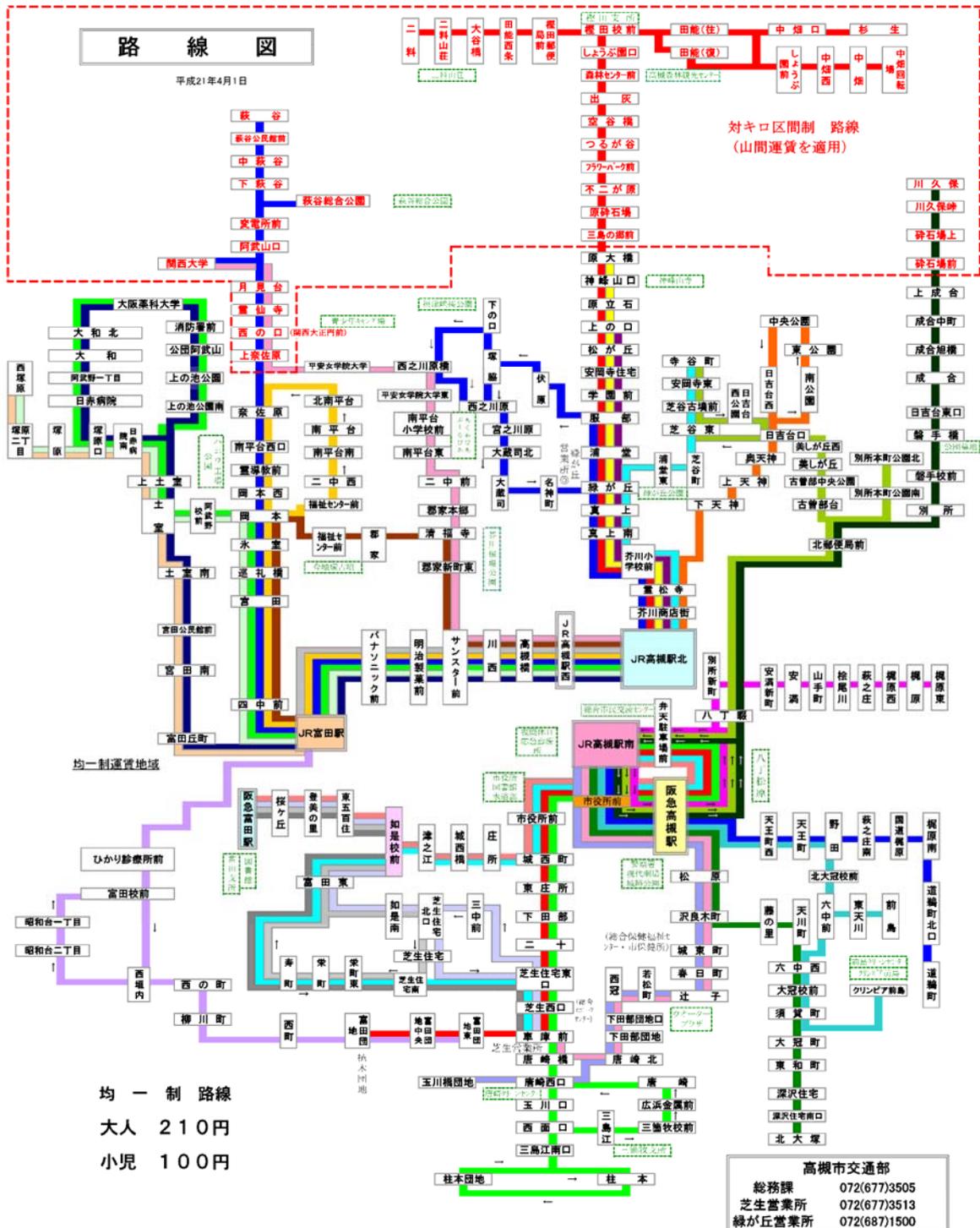
出典) 島本町バリアフリー基本構想 [H20. 3]

※) C・D・F・E・Gの整備時期は「中長期」

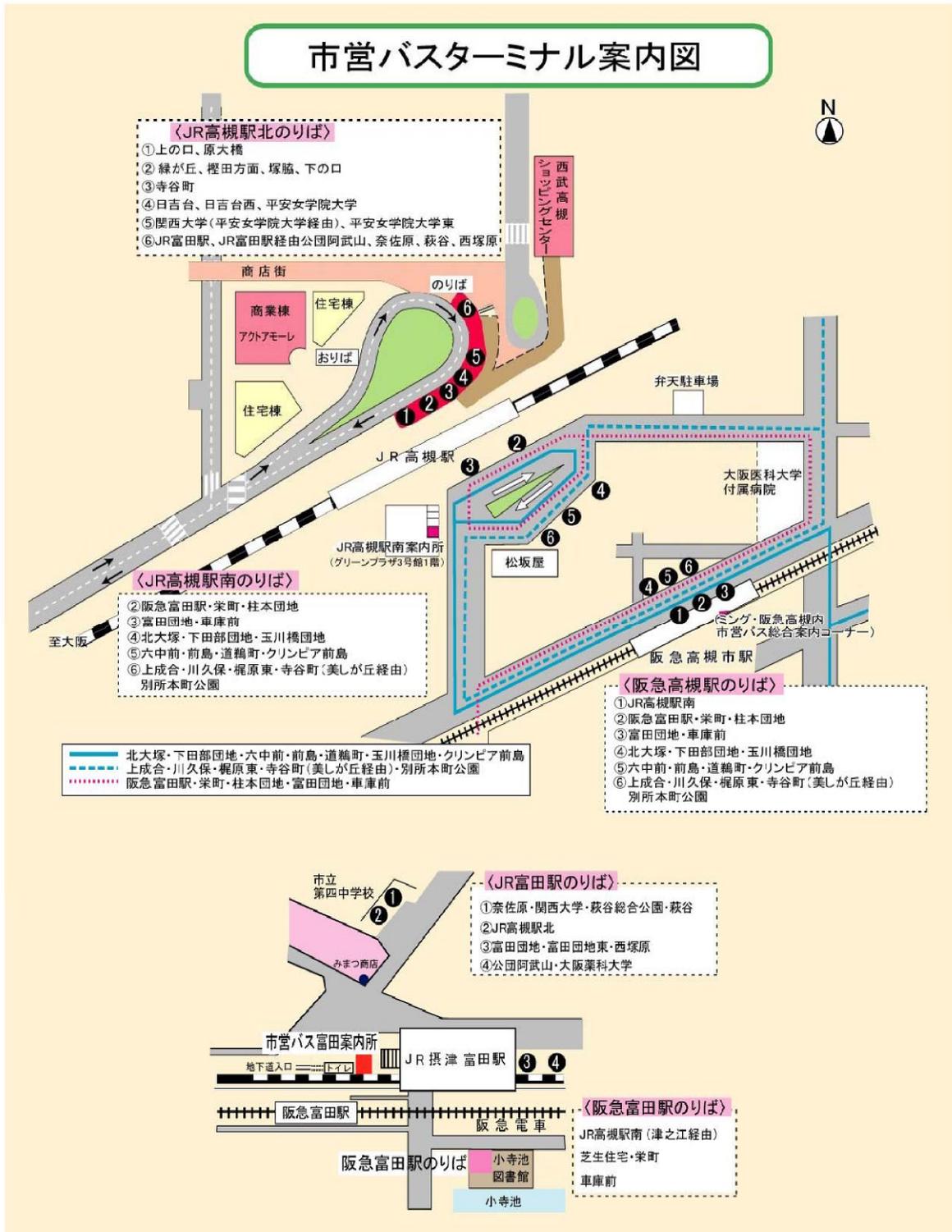
図5.1 水無瀬地区の重点整備地区と生活関連経路等

(資料：島本町)

資料 4 高槻市営バス 路線の状況



(出典：高槻市交通部HP)



(出典：高槻市交通部HP)

資料5 高槻市営バス 利用状況

(1) 券種別人員比較

(単位:人・%)

		平成19年10月25日		平成14年10月17日		A-B	増減率
		A	構成比	B	構成比		
乗客数		60,852	100.0	59,803	100.0	1,049	1.8
券種別	普通券	10,787	17.7	10,775	18.0	12	0.1
	1日乗車券	502	0.8	273	0.5	229	83.9
	小計	11,289	18.6	11,048	18.5	241	2.2
	回数券	17,902	29.4	19,993	33.4	▲ 2,091	▲ 10.5
	通勤定期券	11,133	18.3	11,403	19.1	▲ 270	▲ 2.4
	通学定期券	5,716	9.4	5,266	8.8	450	8.5
	定期券 計	16,849	27.7	16,669	27.9	180	1.1
	小計	46,040	75.7	47,710	79.8	▲ 1,670	▲ 3.5
	高齢乗車証	12,032	19.8	10,472	17.5	1,560	14.9
	その他	2,780	4.6	1,621	2.7	1,159	71.5
小計	14,812	24.3	12,093	20.2	2,719	22.5	
高齢乗車証等を除く(再掲)		46,040	75.7	47,710	79.8	▲ 1,670	▲ 3.5

(2) 年齢別人員比較

(単位:人・%)

		平成19年10月25日		平成14年10月17日		A-B	増減率
		A	構成比	B	構成比		
乗客数		60,852	100.0	59,803	100.0	1,049	1.8
区分	大人	60,465	99.4	59,378	99.3	1,087	1.8
	小児	387	0.6	425	0.7	▲ 38	▲ 8.9
年齢別	小学生以下	387	0.6	425	0.7	▲ 38	▲ 8.9
	10代	4,332	7.1	4,583	7.7	▲ 251	▲ 5.5
	20代	9,281	15.3	9,892	16.5	▲ 611	▲ 6.2
	30代	7,773	12.8	6,843	11.4	930	13.6
	40代	7,133	11.7	6,793	11.4	340	5.0
	50代	10,239	16.8	11,107	18.6	▲ 868	▲ 7.8
	60代	8,284	13.6	8,495	14.2	▲ 211	▲ 2.5
	70代以上	13,423	22.1	11,665	19.5	1,758	15.1
計		60852	100.0	59803	100.0	1,049	1.8

(資料:高槻市)

資料 6 高槻市営バス ノンステップバス等の車両数の推移

(平成 21 年 3 月末現在)

平成 年度末	うち ノンステップバス			低床バス			リフト付バス			乗合バス 総車両数
	車両数	総車両数比	指数	車両数	総車両数比	指数	車両数	総車両数比	指数	
4	-	-	-	62	0.1%	-	56	0.1%	-	63,857
5	-	-	-	71	0.1%	-	95	0.2%	-	63,263
6	-	-	-	150	0.2%	-	141	0.2%	-	62,568
7	-	-	-	231	0.4%	-	171	0.3%	-	61,861
8	19	0.0%	-	461	0.8%	-	235	0.4%	-	61,171
9	145	0.2%	-	840	1.4%	-	260	0.4%	-	60,354
10	433	0.7%	-	1,395	2.3%	-	278	0.5%	-	59,426
11	840	1.4%	-	2,115	3.6%	-	290	0.5%	-	58,689
12	1,289	2.2%	100.0	2,877	4.9%	100.0	326	0.6%	100.0	58,348
13	2,294	3.9%	178.0	5,105	8.8%	177.4	407	0.7%	124.8	58,273
14	3,835	6.5%	297.5	8,095	13.8%	281.4	488	0.8%	149.7	58,801
15	5,432	9.3%	421.4	10,492	18.0%	364.7	564	1.0%	173.0	58,335
16	6,974	12.0%	541.0	13,144	22.6%	456.9	605	1.0%	185.6	58,119
17	8,639	14.8%	670.2	16,237	27.8%	564.4	682	1.2%	209.2	58,430
18	10,389	17.7%	806.0	19,434	33.1%	675.5	714	1.2%	219.0	58,735
19	12,216	20.3%	947.7	22,578	37.5%	784.8	745	1.2%	228.5	60,252
20	13,822	23.0%	1072.3	25,038	41.7%	870.3	800	1.3%	245.4	59,973

- (注1) 「低床バス」は、床面の地上面からの高さは65cm以下であって、スロープ板及び車いすスペースを1以上、乗降口と車いすスペースとの間の通路の有効幅は80cm以上であること等、バリアフリー新法の移動等円滑化基準に適合するバスをいう。
- (注2) 「ノンステップバス」は床面の地上面からの高さが概ね30cm以下であって、バリアフリー新法の移動等円滑化基準に適合するバスをいう。
- (注3) 「リフト付バス」は、中扉に設けられたリフトを使って、主に車いす使用者の乗降を円滑に行うことができるバスをい
- (注4) 指数は、交通バリアフリー法が制定された平成12年度を100とする。
- (注5) 低床バス及びノンステップバスについては、バリアフリー新法の移動等円滑化基準の適合車両のみ掲載した。
- (注6) 乗合バス総車両数は、移動円滑化基準適用除外認定を受けた車両を含む速報値。

(資料：高槻市)

資料 7 居住者調査 調査票

高齢者用

- ・高槻地域 徒歩圏居住者① 【01-01-K】
- ・高槻地域 徒歩圏居住者② 【01-02-K】
- ・高槻地域 バス利用圏居住者① 【01-03(1)-K】
- ・高槻地域 バス利用圏居住者② 【01-03(2)-K】
- ・高槻地域 バス利用圏居住者③ 【01-04-K】
- ・富田地域 徒歩圏居住者 【03-01-K】
- ・島本地域 徒歩圏居住者 【02-01-K】

子育て世代用

- ・高槻地域 徒歩圏居住者① 【01-01-S】
- ・高槻地域 徒歩圏居住者② 【01-02-S】
- ・高槻地域 バス利用圏居住者① 【01-03(1)-S】
- ・高槻地域 バス利用圏居住者② 【01-03(2)-S】
- ・高槻地域 バス利用圏居住者③ 【01-04-S】
- ・富田地域 徒歩圏居住者 【03-01-S】
- ・島本地域 徒歩圏居住者 【02-01-S】

問

JR高槻駅及び北口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。

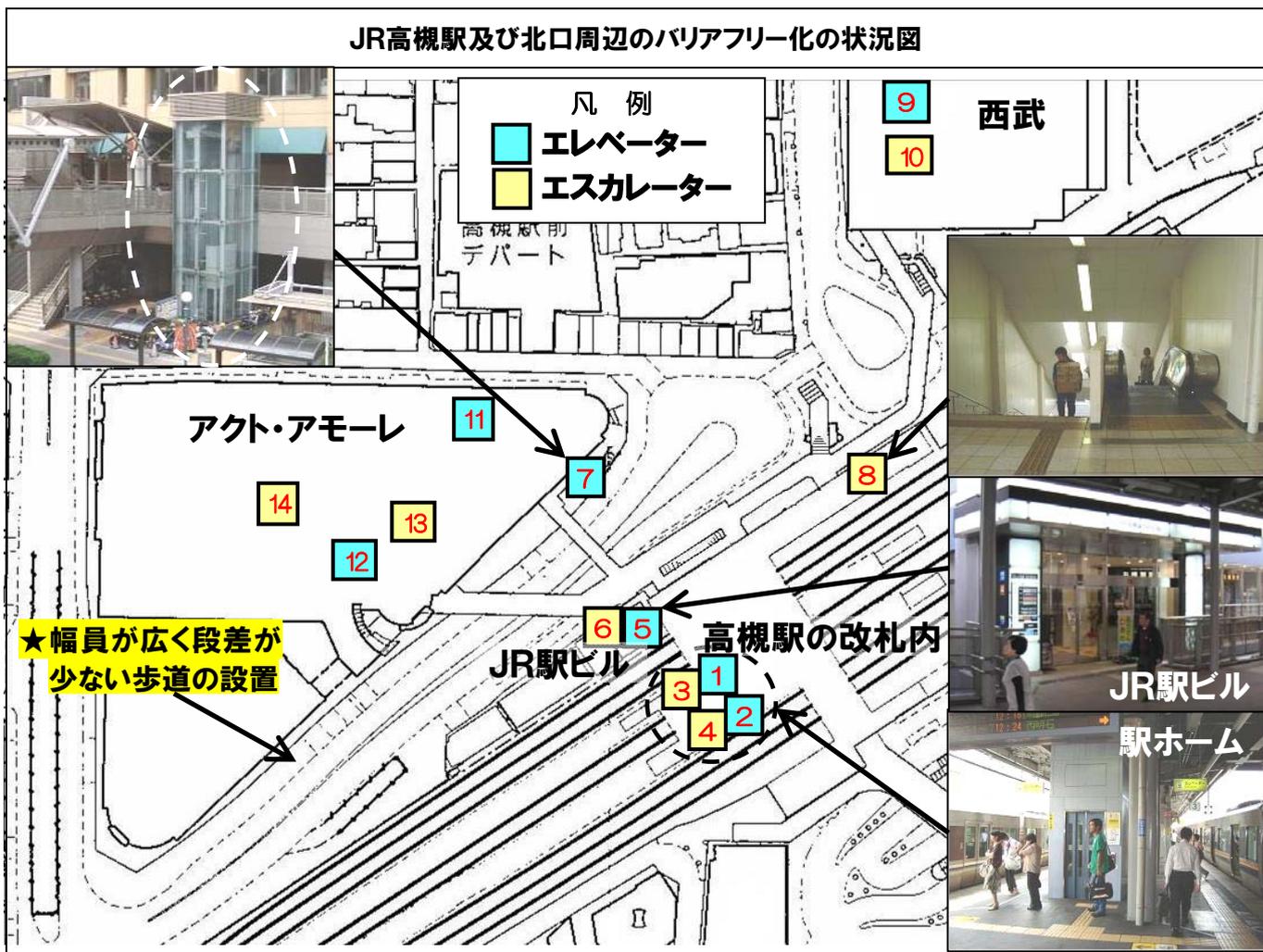
設問6

高槻駅及び北口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

- 1. 利用している
- 2. 利用していない → 調査は以上です。

設問7

高槻駅及び北口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーターまたはエスカレーターがあれば、あてはまるすべての番号（下図の1～14）に○を付けて下さい。 →ない方は【設問9】へ



設問8

【設問7】で○を付けたエレベーターまたはエスカレーターを利用して、よく行く場所・店舗・公共施設等をお答え下さい（3つまで）。

	○を付けたバリアフリー施設 ※番号を記入 例) 1、5	(左記の施設を使って) よく行く場所・店舗・公共施設等の名称 ※具体的な名称を記入
1		
2		
3		

問

今年の6月、駅北口に完成したJR高槻駅NKビル(JR駅ビル)についてお聞きします。

設問9

JR駅ビルには、一般の方がだれでも利用できるエレベーターとエスカレーター（設問7の図中5，6の施設）が設置されています。これらのバリアフリー施設で地上から駅通路（2階）への登り降りができます。

JR駅ビルにバリアフリー施設が設置されたことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった →【設問13】へ

設問10

駅通路への登り降りの際、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用していますか

1. 利用している
2. 利用していない →【設問13】へ

設問11

JR駅ビルのバリアフリー施設を利用する前と現在とを比べて変化したことはありますか。（あてはまるものすべてに○を付けて下さい）

1. 歩く距離や移動する距離が短くなった
2. 1回に買い物する量が増えた
3. 安心して移動できるようになった
4. 気分がよくなった、明るくなった
5. その他 →具体的には？（_____）

設問12

JR駅ビルが完成する前は、どうしていましたか。

1. 他のエレベーターやエスカレーターを使用していた
2. 階段を使用していた
3. その他 →具体的には？（_____）

設問13

今後、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用すると思いますか。

1. 利用すると思う
2. 利用しないと思う

問

JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問14

高槻駅や北口周辺では、エレベーターやエスカレーター等が設置され、バリアフリー化が図られています。

最近ではJR駅ビルのほか、平成15年には高槻駅改札内やアクト・アモーレ横にエレベーター等が設置されています。

高槻駅からの鉄道利用は、施設が設置される前と比べて現在変わりましたか。 (あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 設置前から利用していた====>利用回数が増えた →【設問16】へ
2. 設置前から利用していた====>利用回数は増えていない →【設問17】へ
3. 設置前は利用していなかった==>利用するようになった →【設問15】へ
4. 設置前は利用していなかった==>現在も利用していない → 調査は以上です

設問15

【設問14】で3を選択された方にお聞きします。

施設の設置前は、外出する時どうしていましたか。

(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 他の駅を利用していた → 利用していた駅は？ (_____ 駅)
2. 鉄道を利用していなかった
→利用していた移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車(自分で運転)、自家用車(他の人が運転)、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問16

【設問14】で1, 3を選択された方にお聞きします。

施設の設置後に高槻駅から鉄道を利用して、新しく始めたことや回数が増えたことはありますか。

1. ある →具体的には？ (_____)

[記載例]：大阪で買い物が多くなった、京都で散策をはじめた

大阪で習い事をはじめた など

2. ない(変わらない)

設問17

施設の設置前と現在とを比べて変化したことはありますか。

(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 外出している時間が長くなった
2. 1回に買い物する量が増えた
3. 安心して客や友達を呼べるようになった
4. 安心して移動できるようになった
5. 気分が良くなった、明るくなった
6. その他 →具体的には？ (_____)

設問18

[現在]と[高槻駅・北口周辺にバリアフリー施設が設置される前(過去)]での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、高槻駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

高槻駅周辺にバリアフリー施設が設置される前(過去)での、
高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

問**JR高槻駅北口周辺の利用状況についてお聞きます。****設問19**

高槻駅北口では、北口へ行くまでの道路(設問7の図中の★)が整備され、幅員が広く段差が少ない歩道が設置されました。

この歩道の設置前と現在とを比べて変化したことはありますか。

(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. この歩道を利用して外出する回数が増えた
→どのような外出ですか？ (_____)
[記載例]：○○への買い物、通院、観光、習い事、人と会う、ボランティア活動など
2. この歩道を利用してよく出かけるようになった場所がある
→具体的な場所は？ (_____)
3. 外出している時間が長くなった
4. 1回に買い物する量が増えた
5. 安心して客や友達を呼べるようになった
6. 安心して移動できるようになった
7. 気分が良くなった、明るくなった
8. その他 →具体的には？ (_____)
9. 歩道の設置に気付かなかった
10. 変化はない

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

問

JR高槻駅及び南口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きします。

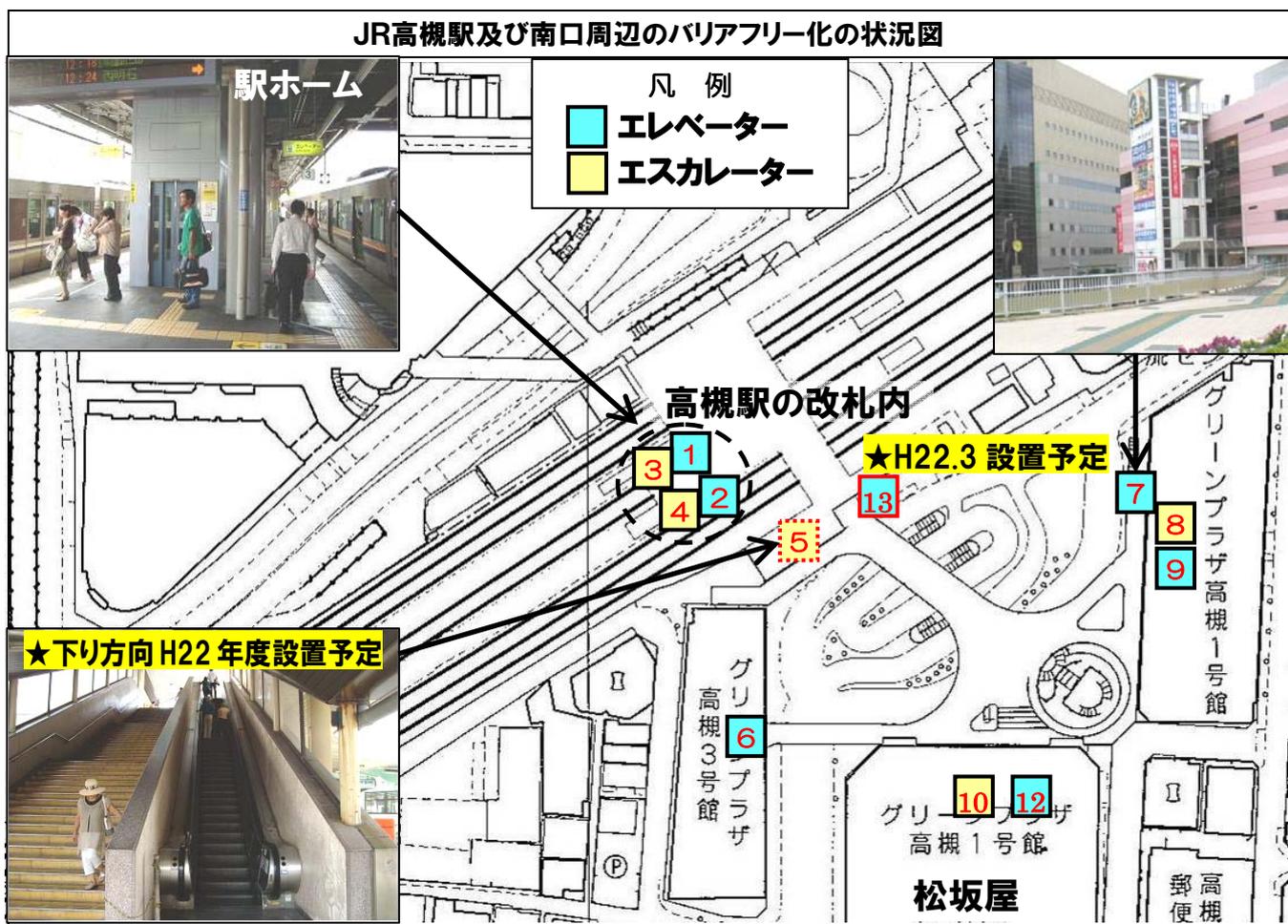
設問6

高槻駅及び南口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

- 1. 利用している
- 2. 利用していない → 【設問9】へ

設問7

高槻駅及び南口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーターまたはエスカレーターがあれば、あてはまるすべての番号（下図の1～12）に○を付けて下さい。 →ない方は【設問9】へ



設問8

【設問7】で○を付けたエレベーターまたはエスカレーターを利用して、よく行く場所・店舗・公共施設等をお答え下さい（3つまで）。

	○を付けたバリアフリー施設 ※番号を記入 例) 1、5	(左記の施設を使って) よく行く場所・店舗・公共施設等の名称 ※具体的な名称を記入
1		
2		
3		

問

JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問9

高槻駅南口では、平成22年3月にエレベーター（設問7の図の13）が、平成22年度中にエスカレーター〔下り方向〕（設問7の図の5）が設置される予定です。

これらのバリアフリー施設が設置されれば、高槻駅の利用は現在と比べて今後変わりますか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在利用している====>今後利用回数が増える →【設問11】へ
2. 現在利用している====>今後利用回数は増えない →【設問13】へ
3. 現在利用していない====>今後利用するようになる →【設問10】へ
4. 現在利用していない====>今後も利用しない →【設問14】へ

設問10

【設問9】で3を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

1. 現在は他の駅を利用しているが、バリアフリー施設が設置されれば、高槻駅から鉄道を利用する
→現在、主に利用している駅は？（ _____ 駅）
2. 現在は鉄道を利用していないが、バリアフリー施設が設置されれば、高槻駅から鉄道を利用する
→現在利用している移動手段は？（ _____ ）

〔記載例〕：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

【設問9】で1, 3を選択された方にお聞きします。

設問11

外出回数についてお答え下さい。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 高槻駅の利用は今後増えると思うが、その分、他の駅の利用や他の移動手段（自家用車、バス等）の利用が減るので、外出する回数は全体では変わらないと思う。
→【設問13】へ
2. 高槻駅が利用しやすくなることによって、外出する回数そのものが増えると思う。
→【設問12】へ

【設問 1 1】で2を選択された方にお聞きします。

設問12

高槻駅へのバリアフリー施設の設置によって、増えると思う外出はどのような外出ですか。

どこで[場所]、何を[目的]するような外出ですか、記述してください。

(_____)

[記載例]：高槻で習い事を始めたい、大阪で買い物に行く回数を増やしたい、
京都観光に行く回数を増やしたい など

【設問 9】で1，2，3を選択された方にお聞きします。

設問13

[現在]と[高槻駅・南口周辺にバリアフリー施設が設置された後(推測)]での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、高槻駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

高槻駅周辺にバリアフリー施設が設置された後(推測)での、
高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

問

高槻市中心市街地※への外出状況についてお聞きします。

※ 高槻駅南側の公共施設や高槻センター街などの商業施設が集積したエリア

設問14

高槻市中心市街地において、放置自転車の解消、休憩施設、案内板の設置などのバリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の利用は現在と比べて今後変わりますか。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

- | | |
|--------------------------|----------|
| 1. 現在利用している⇒今後利用回数が増える | →【設問16】へ |
| 2. 現在利用している⇒今後利用回数は増えない | →【設問17】へ |
| 3. 現在利用していない⇒今後利用するようになる | →【設問15】へ |
| 4. 現在利用していない⇒今後も利用しない | →【設問17】へ |

設問15

【設問14】で3を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい。)

1. 現在は他の場所で用事を済ませているが、バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の公共施設や商業施設を利用するようになる
→現在、用事を済ませている場所は？ (_____)
2. 現在は外出を控えているが、バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の公共施設や商業施設を利用するようになる

設問16

【設問14】で1, 3を選択された方にお聞きします。
バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地で新しく始めたいことや回数が増えることはありますか。

1. ある →具体的には？ (_____)
[記載例]：市民センターで習い事をはじめ、アーケードで買い物が増える など
2. ない (変わらない)

問**阪急高槻市駅の利用状況についてお聞きします。****設問17**

阪急高槻市駅を利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない → 調査は以上です

設問18

高槻市駅の改札内外ではエレベーターやエスカレーター等が設置され、バリアフリー化が図られています。

高槻市駅にバリアフリー設備(エレベーター、エスカレーター)がないと仮定した場合、利用回数は変わると思いますか。

(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 現在と変わらず利用すると思う
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

問

バスの利用状況についてお聞きします。

設問6

近年（平成15年以降）、高槻市営バスでは65台のノンステップバスを導入して運行しています。（添付図の写真を参照して下さい）

バスの利用は、ノンステップバスの導入前と比べて現在変わりましたか。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 導入前から利用していた====>利用回数が増えた
2. 導入前から利用していた====>利用回数は増えていない
3. 導入前は利用していなかった=>利用するようになった
4. 導入前は利用していなかった=>現在も利用していない →【設問10】へ

設問7

〔現在〕と〔ノンステップバスの導入前（過去）〕での、バスを利用して外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、バスを利用して外出する
回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

ノンステップバスの導入前（過去）での、
バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

設問8

あなたの自宅周辺では、JR摂津富田駅経由のJR高槻駅行きのバスが運行されています。このバスで摂津富田駅か高槻駅まで行き、鉄道を利用して外出することはありますか。

1. ある → 利用する駅は？（ _____ 駅）
2. ない →【設問10】へ

設問9

選択した駅を利用する理由をお答えください。
（あてはまるものすべてに○を付けて下さい）

1. 自宅から近いから
2. 早く着けるから
3. 運賃が安いから
4. エスカレーターがあるから
5. エレベーターがあるから
6. その他 →具体的には？（ _____ ）

問

JR高槻駅及び北口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。

設問10

高槻駅及び北口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

1. 利用している

→高槻駅までの移動手段は？（_____）

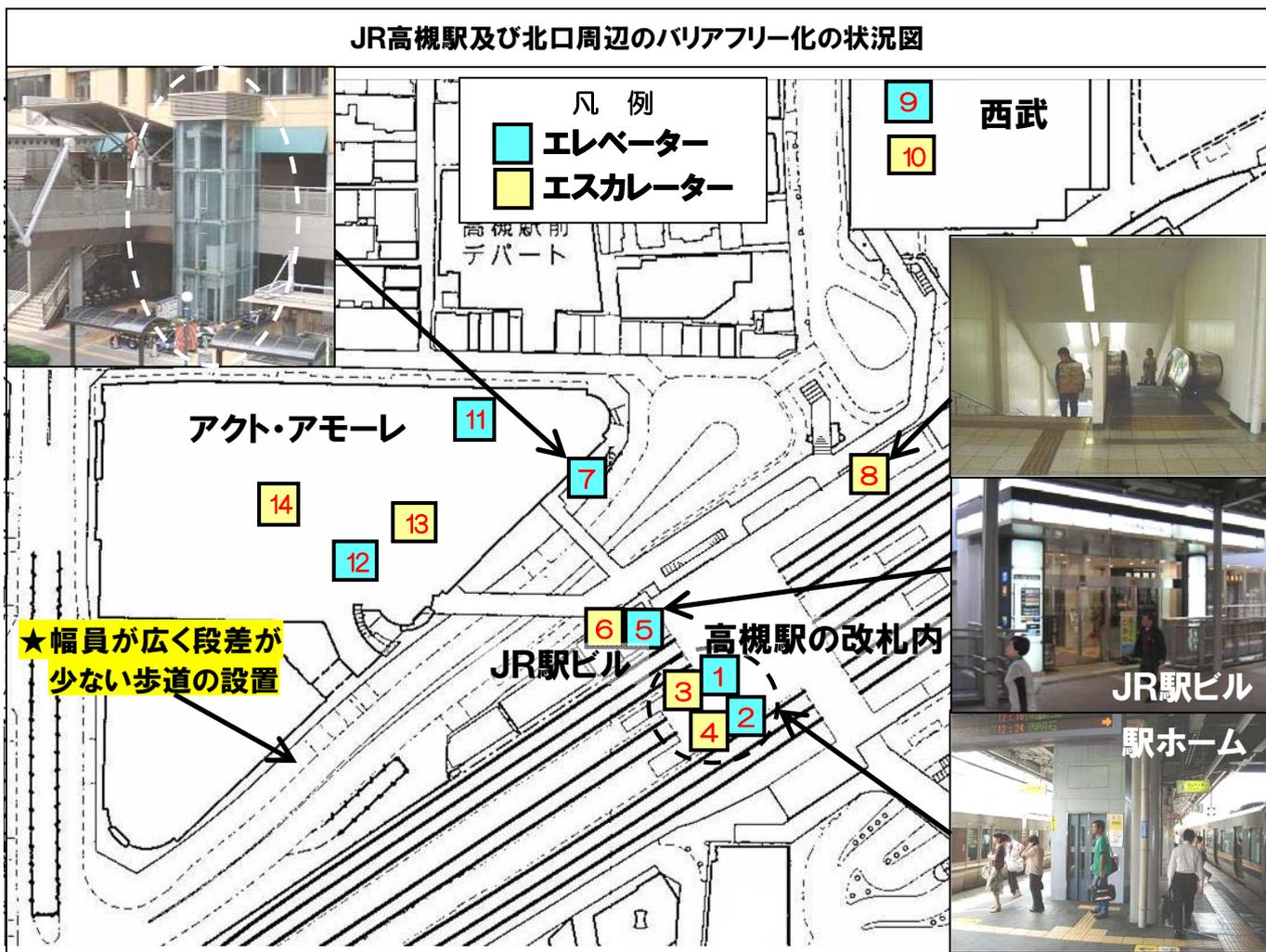
〔記載例〕：バス、タクシー、自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、
自転車、徒歩など

2. 利用していない → 調査は以上です。

設問11

高槻駅及び北口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーター
またはエスカレーターがあれば、あてはまるすべての番号（下図の1～14）
に○を付けて下さい。 →ない方は【設問12】へ

JR高槻駅及び北口周辺のバリアフリー化の状況図



問

今年の6月、駅北口に完成したJR高槻駅NKビル(JR駅ビル)についてお聞きします。

設問12

JR駅ビルには、一般の方がだれでも利用できるエレベーターとエスカレーター（設問11の図中5, 6の施設）が設置されています。これらのバリアフリー施設で地上から駅通路（2階）への登り降りができます。

JR駅ビルにバリアフリー施設が設置されたことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった →【設問14】へ

設問13

駅通路への登り降りの際、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用していますか

1. 利用している
2. 利用していない

設問14

今後、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用すると思いますか。

1. 利用すると思う
2. 利用しないと思う

問

JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問15

高槻駅や北口周辺では、エレベーターやエスカレーター等が設置され、バリアフリー化が図られています。

最近ではJR駅ビルのほか、平成15年には高槻駅改札内やアクト・アモーレ横にエレベーター等が設置されています。

高槻駅からの鉄道利用は、施設の設置される前と比べて現在変わりましたか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 設置前から利用していた====>利用回数が増えた →【設問17】へ
2. 設置前から利用していた====>利用回数は増えていない →【設問18】へ
3. 設置前は利用していなかった====>利用するようになった →【設問16】へ
4. 設置前は利用していなかった====>現在も利用していない → 調査は以上です

設問16

【設問15】で3を選択された方にお聞きします。
施設の設置前は、外出する時どうしていましたか。
 (あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 他の駅を利用していた → 利用していた駅は？ (_____ 駅)
2. 鉄道を利用していなかった
 →利用していた移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問17

【設問15】で1, 3を選択された方にお聞きします。
施設の設置後に高槻駅から鉄道を利用して、新しく始めたことや回数が増えたことはありますか。

1. ある →具体的には？ (_____)

[記載例]：大阪で買い物が多くなった、京都で散歩をはじめた
 大阪で習い事をはじめた など

2. ない (変わらない)

設問18

施設の設置前と現在とを比べて変化したことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 外出している時間が長くなった
2. 1回に買い物する量が増えた
3. 安心して客や友達を呼べるようになった
4. 安心して移動できるようになった
5. 気分が良くなった、明るくなった
6. その他 →具体的には？ (_____)

設問19

[現在]と[高槻駅・北口周辺にバリアフリー施設が設置される前(過去)]
 での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、高槻駅を利用して
 鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

高槻駅周辺にバリアフリー施設が設置される前(過去)での、
 高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

問

バスの利用状況についてお聞きします。

設問6

近年（平成15年以降）、高槻市営バスでは65台のノンステップバスを導入して運行しています。（添付図の写真を参照して下さい）

バスの利用は、ノンステップバスの導入前と比べて現在変わりましたか。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

- | | |
|--------------------------------|---------|
| 1. 導入前から利用していた====>利用回数が増えた | →【設問8】へ |
| 2. 導入前から利用していた====>利用回数は増えていない | →【設問8】へ |
| 3. 導入前は利用していなかった=>利用するようになった | →【設問7】へ |
| 4. 導入前は利用していなかった=>現在も利用していない | →【設問9】へ |

設問7

【設問6】で3を選択された方にお聞きします。

ノンステップバスの導入前は、外出する時どうしていましたか。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 他の移動手段を利用していた
→利用していた移動手段は？（_____）

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、タクシー、自転車、徒歩など

2. 外出は自宅周辺にとどまっていた

設問8

[現在]と[ノンステップバスの導入前（過去）]での、バスを利用して外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、バスを利用して外出する
回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

ノンステップバスの導入前（過去）での、
バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

問

JR高槻駅及び北口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。

設問9

高槻駅及び北口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

1. 利用している

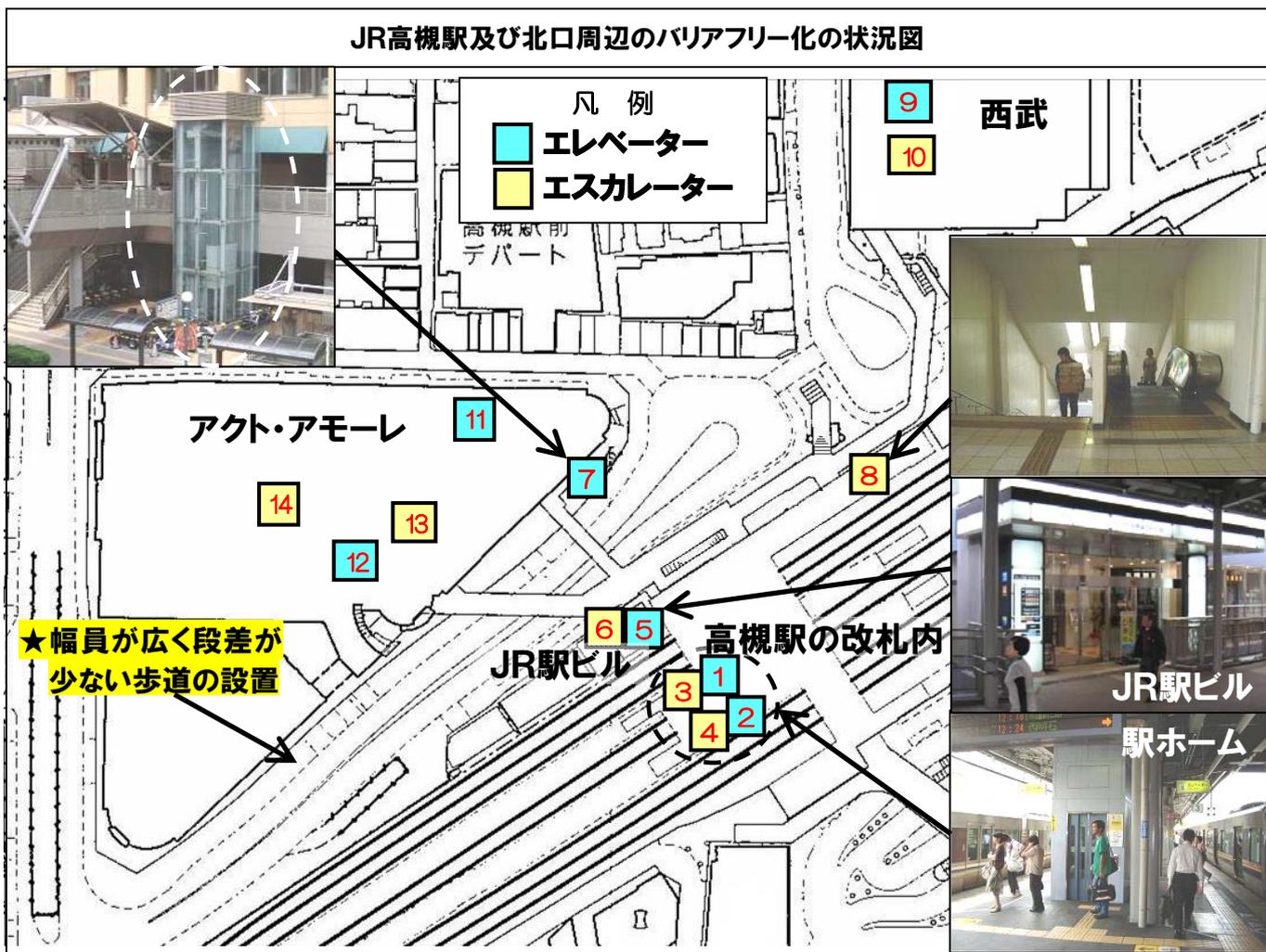
→高槻駅までの移動手段は？（_____）

[記載例]：バス、タクシー、自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、
自転車、徒歩など

2. 利用していない → 調査は以上です。

設問10

高槻駅及び北口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーター
またはエスカレーターがあれば、あてはまるすべての番号（下図の1～14）
に○を付けて下さい。 →ない方は【設問11】へ



問 今年の6月、駅北口に完成したJR高槻駅NKビル(JR駅ビル)についてお聞きします。

設問11

JR駅ビルには、一般の方がだれでも利用できるエレベーターとエスカレーター（設問10の図中5, 6の施設）が設置されています。これらのバリアフリー施設で地上から駅通路（2階）への登り降りができます。

JR駅ビルにバリアフリー施設が設置されたことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった →【設問13】へ

設問12

駅通路への登り降りの際、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用していますか

1. 利用している
2. 利用していない

設問13

今後、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用すると思いますか。

1. 利用すると思う
2. 利用しないと思う

問 JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問14

高槻駅や北口周辺では、エレベーターやエスカレーター等が設置され、バリアフリー化が図られています。

最近ではJR駅ビルのほか、平成15年には高槻駅改札内やアクト・アモーレ横にエレベーター等が設置されています。

高槻駅からの鉄道利用は、施設の設置される前と比べて現在変わりましたか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 設置前から利用していた====>利用回数が増えた →【設問16】へ
2. 設置前から利用していた====>利用回数は増えていない →【設問17】へ
3. 設置前は利用していなかった====>利用するようになった →【設問15】へ
4. 設置前は利用していなかった====>現在も利用していない → 調査は以上です

設問15

【設問14】で3を選択された方にお聞きします。
施設の設置前は、外出する時どうしていましたか。
 (あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 他の駅を利用していた → 利用していた駅は？ (_____ 駅)
2. 鉄道を利用していなかった
 →利用していた移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問16

【設問14】で1, 3を選択された方にお聞きします。
施設の設置後に高槻駅から鉄道を利用して、新しく始めたことや回数が増えたことはありますか。

1. ある →具体的には？ (_____)

[記載例]：大阪で買い物が多くなった、京都で散歩をはじめた
 大阪で習い事をはじめた など

2. ない (変わらない)

設問17

施設の設置前と現在とを比べて変化したことはありますか。
 (あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 外出している時間が長くなった
2. 1回に買い物する量が増えた
3. 安心して客や友達を呼べるようになった
4. 安心して移動できるようになった
5. 気分が良くなった、明るくなった
6. その他 →具体的には？ (_____)

設問18

[現在]と[高槻駅・北口周辺にバリアフリー施設が設置される前(過去)]
 での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、高槻駅を利用して
 鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

高槻駅周辺にバリアフリー施設が設置される前(過去)での、
 高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

問

バスの利用状況についてお聞きします。

設問6

近年（平成15年以降）、高槻市営バスでは65台のノンステップバスを導入して運行しています。（添付図の写真を参照して下さい）

バスの利用は、ノンステップバスの導入前と比べて現在変わりましたか。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 導入前から利用していた====>利用回数が増えた →【設問8】へ
2. 導入前から利用していた====>利用回数は増えていない →【設問8】へ
3. 導入前は利用していなかった=>利用するようになった →【設問7】へ
4. 導入前は利用していなかった=>現在も利用していない →【設問9】へ

設問7

【設問6】で3を選択された方にお聞きします。

ノンステップバスの導入前は、外出する時どうしていましたか。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 他の移動手段を利用していた
→利用していた移動手段は？（_____）

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、タクシー、自転車、徒歩など

2. 外出は自宅周辺にとどまっていた

設問8

[現在]と[ノンステップバスの導入前（過去）]での、バスを利用して外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、バスを利用して外出する
回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

ノンステップバスの導入前（過去）での、
バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

問

JR高槻駅及び南口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。

設問9

高槻駅及び南口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

1. 利用している

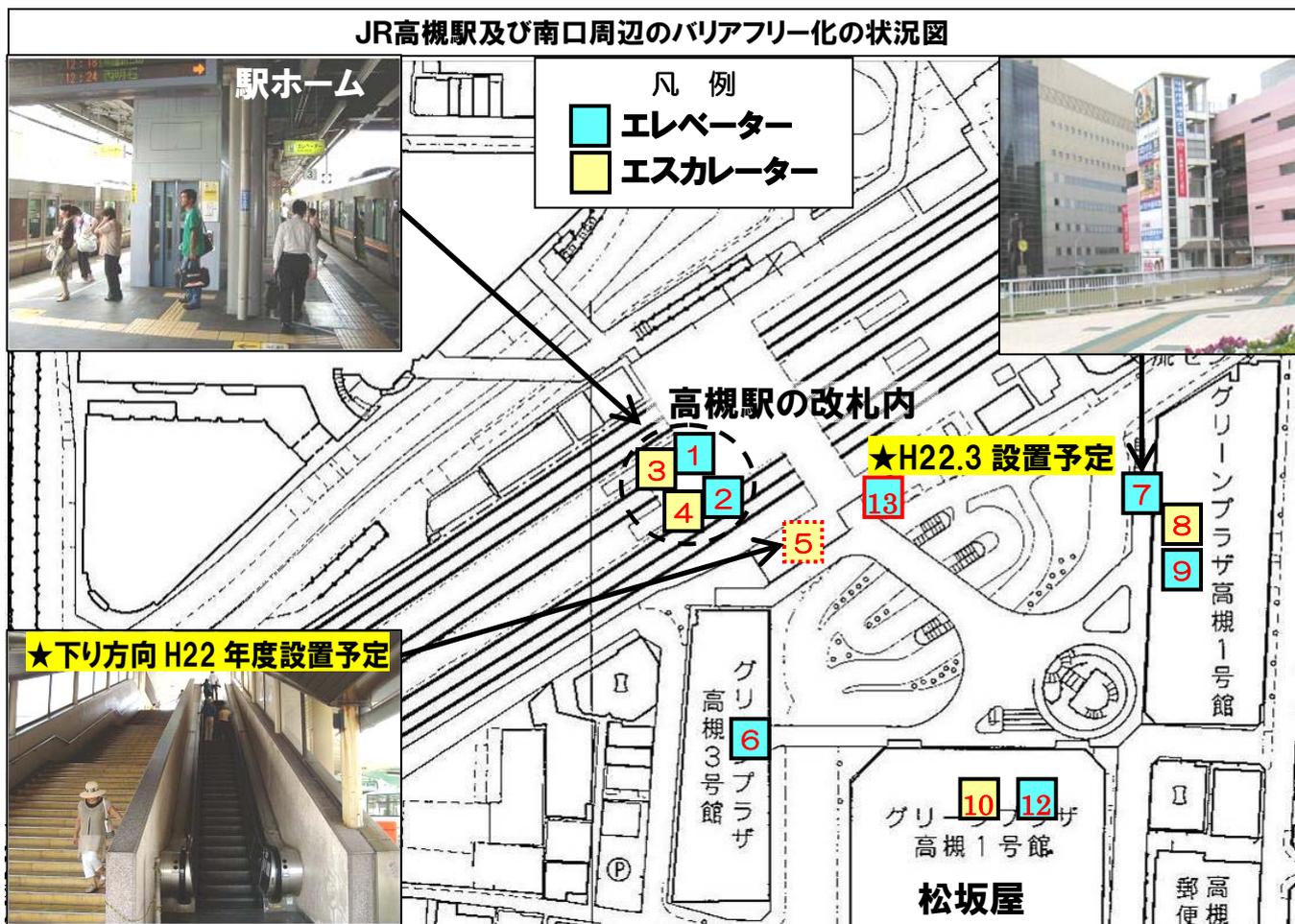
→高槻駅までの移動手段は？（_____）

〔記載例〕：バス、タクシー、自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、
自転車、徒歩など

2. 利用していない → 【設問11】へ

設問10

高槻駅及び南口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーター
またはエスカレーターがあれば、あてはまるすべての番号（下図の1～12）
に○を付けて下さい。 →ない方は【設問11】へ



問

JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問11

高槻駅南口では、平成22年3月にエレベーター（設問10の図の13）が、平成22年度中にエスカレーター〔下り方向〕（設問10の図の5）が設置される予定です。

これらのバリアフリー施設が設置されれば、高槻駅の利用は現在と比べて今後変わりますか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在利用している====>今後利用回数が増える →【設問13】へ
2. 現在利用している====>今後利用回数は増えない →【設問15】へ
3. 現在利用していない==>今後利用するようになる →【設問12】へ
4. 現在利用していない==>今後も利用しない →【設問16】へ

設問12

【設問11】で3を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

1. 現在は他の駅を利用しているが、バリアフリー施設が設置されれば、高槻駅から鉄道を利用する
→現在、主に利用している駅は？（ _____ 駅）
2. 現在は鉄道を利用していないが、バリアフリー施設が設置されれば、高槻駅から鉄道を利用する
→現在利用している移動手段は？（ _____ ）

〔記載例〕：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問13

【設問11】で1, 3を選択された方にお聞きします。
外出回数についてお答え下さい。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 高槻駅の利用は今後増えると思うが、その分、他の駅の利用や他の移動手段（自家用車、バス等）の利用が減るので、外出する回数は全体では変わらないと思う。
→【設問15】へ
2. 高槻駅が利用しやすくなることによって、外出する回数そのものが増えると思う。
→【設問14】へ

【設問13】で2を選択された方にお聞きします。

設問14

高槻駅へのバリアフリー施設の設置によって、増えると思う外出はどのような外出ですか。

どこで[場所]、何を[目的]するような外出ですか、記述してください。

(_____)

[記載例]：高槻で習い事を始めたい、大阪で買い物に行く回数を増やしたい、

京都観光に行く回数を増やしたい など

【設問11】で1，2，3を選択された方にお聞きします。

設問15

[現在]と[高槻駅・南口周辺にバリアフリー施設が設置された後(推測)]での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、高槻駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

高槻駅周辺にバリアフリー施設が設置された後(推測)での、

高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

問

高槻市中心市街地※への外出状況についてお聞きします。

※ 高槻駅南側の公共施設や高槻センター街などの商業施設が集積したエリア

設問16

高槻市中心市街地において、放置自転車の解消、休憩施設、案内板の設置などのバリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の利用は現在と比べて今後変わりますか。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 現在利用している⇒今後利用回数が増える →【設問18】へ
2. 現在利用している⇒今後利用回数は増えない →調査は以上です
3. 現在利用していない⇒今後利用するようになる →【設問17】へ
4. 現在利用していない⇒今後も利用しない →調査は以上です

設問17

【設問16】で3を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい。)

1. 現在は他の場所で用事を済ませているが、バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の公共施設や商業施設を利用ようになる
→現在、用事を済ませている場所は？ (_____)
2. 現在は外出を控えているが、バリアフリー対策が充実すれば設置されれば、中心市街地の公共施設や商業施設を利用ようになる

設問18

【設問16】で1, 3を選択された方にお聞きします。
バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地で新しく始めたいことや回数が
増えることはありますか。

1. ある →具体的には？ (_____)
[記載例]：市民センターで習い事をはじめ、アーケードで買い物が増える など
2. ない (変わらない)

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

問

鉄道の利用状況についてお聞きします。

設問6 自宅から最も近い駅をお答え下さい。

1. J R 摂津富田駅
2. 阪急 富田駅
3. 阪急 総持寺駅
4. その他 (_____ 駅)

設問7 大阪（梅田）に行くのに利用する駅をお答え下さい。
(あてはまるもの 1つに○を付けて下さい)

1. J R 摂津富田駅
2. 阪急 富田駅
3. 阪急 総持寺駅
4. その他 (_____ 駅)
5. 鉄道は利用しない →【設問9】へ

設問8 選択した駅を利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるもの すべてに○を付けて下さい)

1. 自宅から近いから
2. 早く着けるから
3. 運賃が安いから
4. エスカレーターがあるから
5. エレベーターがあるから
6. その他 →具体的には? (_____)

問

阪急富田駅の利用状況についてお聞きします。

設問9

富田駅では、平成20～21年にエレベーターが設置され、駅の南側ではエレベーターを利用して道路からホームまで登り降りでき、バリアフリーとなっています。富田駅からの鉄道利用は、施設が設置される前と比べて現在変わりましたか。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 設置前から利用していた====>利用回数が増えた →【設問11】へ
2. 設置前から利用していた====>利用回数は増えていない →【設問12】へ
3. 設置前は利用していなかった==>利用するようになった →【設問10】へ
4. 設置前は利用していなかった==>現在も利用していない →【設問14】へ

設問10

【設問9】で3を選択された方にお聞きします。
施設の設置前は、外出する時どうしていましたか。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 他の駅を利用していた →利用していた駅は？ (_____ 駅)
2. 鉄道を利用していなかった
→利用していた移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車(自分で運転)、自家用車(他の人が運転)、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問11

【設問9】で1, 3を選択された方にお聞きします。
施設の設置後に富田駅から鉄道を利用して、新しく始めたことや回数が増えたことはありますか。

1. ある →具体的には？ (_____)
[記載例]：大阪で買い物が多くなった、京都で散策をはじめた
大阪で習い事をはじめた など
2. ない(変わらない)

設問12

施設の設置前と現在とを比べて変化したことはありますか。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 外出している時間が長くなった
2. 1回に買い物する量が増えた
3. 安心して客や友達を呼べるようになった
4. 安心して移動できるようになった
5. 気分が良くなった、明るくなった
6. その他 →具体的には？ (_____)

設問13

[現在] と [富田駅にバリアフリー施設が設置される前 (過去)] での、富田駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、富田駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

富田駅周辺にバリアフリー施設が設置される前 (過去) での、
富田駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

問**JR摂津富田駅の利用状況についてお聞きします。****設問14**

摂津富田駅では、平成21年度に駅外側から改札階(2階)に登り降りするエレベーターが設置される予定です。施設が設置されれば、摂津富田駅の鉄道利用は、現在と比べて今後変わりますか。

(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 現在利用している ==> 今後利用回数が増える → 【設問16】へ
2. 現在利用している ==> 今後利用回数は増えない → 【設問18】へ
3. 現在利用していない ==> 今後利用するようになる → 【設問15】へ
4. 現在利用していない ==> 今後も利用しない → 調査は以上です

設問15

【設問14】で3を選択された方にお聞きします。

現在の状況についてお答え下さい。

(あてはまるもの1つに○を付けて下さい。)

1. 現在は他の駅を利用しているが、バリアフリー施設が設置されれば、摂津富田駅から鉄道を利用する
→ 現在、主に利用している駅は？ (_____ 駅)
2. 現在は鉄道を利用していないが、バリアフリー施設が設置されれば、摂津富田駅から鉄道を利用する
→ 現在利用している移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車(自分で運転)、自家用車(他の人が運転)、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問16

【設問14】で1, 3を選択された方にお聞きします。

外出回数についてお答え下さい。

(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 摂津富田駅の利用は今後増えると思うが、その分、他の駅の利用や他の移動手段（自家用車、バス等）の利用が減るので、外出する回数は全体では変わらないと思う。

→【設問18】へ

2. 摂津富田駅が利用しやすくなることによって、外出する回数そのものが増えると思う。

→【設問17】へ

設問17

【設問16】で2を選択された方にお聞きします。

摂津富田駅へのバリアフリー施設の設置によって、増えると思う外出はどのような外出ですか。

どこで[場所]、何を[目的]するような外出ですか。記述してください。

(_____)

[記載例]：高槻で習い事を始めたい、大阪で買い物に行く回数を増やしたい、

京都観光に行く回数を増やしたい など

設問18

【設問14】で1, 2, 3を選択された方にお聞きします。

[現在] と [摂津富田駅にバリアフリー施設が設置された後 (推測)] での、摂津富田駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、摂津富田駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していない

バリアフリー施設が設置された後での、
摂津富田駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

問

鉄道の利用状況についてお聞きします。

設問6 自宅から最も近い駅をお答え下さい。

1. J R 島本駅
2. 阪急 水無瀬駅
3. 阪急 上牧駅
4. その他 (_____ 駅)

設問7 大阪（梅田）に行くのに利用する駅をお答え下さい。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. J R 島本駅
2. 阪急 水無瀬駅
3. 阪急 上牧駅
4. その他 (_____ 駅)
5. 鉄道は利用しない →【設問9】へ

設問8 選択した駅を利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 自宅から近いから
2. 早く着けるから
3. 運賃が安いから
4. エスカレーターがあるから
5. エレベーターがあるから
6. その他 →具体的には? (_____)

問

JR島本駅の利用状況についてお聞きします。

設問9 平成20年3月に島本駅が開業しましたが、利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない → 【設問14】へ

設問10 島本駅が開業する前は、外出する時どうしていましたか。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 他の駅を利用していた →利用していた駅は？ (_____ 駅)
2. 鉄道は利用していなかった
→利用していた移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問11 駅の開業後、島本駅を利用して、新しく始めたことや回数が増えたことはありますか。

1. ある →具体的には？ (_____)
[記載例]：高槻で習い事をはじめた、高槻で買い物が多くなった、
大阪で買い物が多くなった、京都で散歩をはじめた など
2. ない (変わらない)

設問12 島本駅が開業する前と現在とを比べて変化したことはありますか。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 外出している時間が長くなった
2. 1回に買い物する量が増えた
3. 安心して客や友達を呼べるようになった
4. 安心して移動できるようになった
5. 気分が良くなった、明るくなった
6. その他 →具体的には？ (_____)

設問13 島本駅にバリアフリー設備（エレベーター、エスカレーター）がないと仮定した場合、利用回数は変わると思いますか。

1. 現在と変わらず利用すると思う
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う

問

阪急水無瀬駅の利用状況についてお聞きします。

設問14

水無瀬駅では、平成 22 年度に改札内にエレベーターとエスカレーターが設置される予定です（添付図を参照して下さい）。これらのバリアフリー施設が設置されれば、水無瀬駅の利用は現在と比べて今後変わりますか。

（あてはまるもの 1つに○を付けて下さい）

1. 現在利用している ==> 今後利用回数が増える → 【設問 1 6】へ
2. 現在利用している ==> 今後利用回数は増えない → 【設問 1 8】へ
3. 現在利用していない ==> 今後利用するようになる → 【設問 1 5】へ
4. 現在利用していない ==> 今後も利用しない → 調査は以上です

設問15

【設問 1 4】で 3 を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。

（あてはまるもの 1つに○を付けて下さい。）

1. 現在は他の駅を利用しているが、バリアフリー施設が設置されれば、水無瀬駅から鉄道を利用する
→ 現在、主に利用している駅は？（ _____ 駅）
2. 現在は鉄道を利用していないが、バリアフリー施設が設置されれば、水無瀬駅から鉄道を利用する
→ 現在利用している移動手段は？（ _____ ）

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問16

【設問 1 4】で 1, 3 を選択された方にお聞きします。
外出回数についてお答え下さい。

（あてはまるもの 1つに○を付けて下さい）

1. 水無瀬駅の利用は今後増えると思うが、その分、他の駅の利用や他の移動手段（自家用車、バス等）の利用が減るので、外出する回数は全体では変わらないと思う。
→ 【設問 1 8】へ
2. 水無瀬駅が利用しやすくなることによって、外出する回数そのものが増えると思う。
→ 【設問 1 7】へ

【設問16】で2を選択された方にお聞きします。

設問17

水無瀬駅へのバリアフリー施設の設置によって、増えると思う外出はどのような外出ですか。

どこで[場所]、何を[目的]するような外出ですか、記述してください。

(_____)

[記載例]：高槻で習い事を始めたい、大阪で買い物に行く回数を増やしたい、
京都観光に行く回数を増やしたい など

【設問14】で1，2，3を選択された方にお聞きします。

設問18

[現在]と[水無瀬駅にバリアフリー施設が設置された後(推測)]での、水無瀬駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、水無瀬駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していない

バリアフリー施設が設置された後での、
水無瀬駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問6 鉄道駅にエレベーターが設置されている場合、利用しますか。

3. 必ず利用する
4. だいたい利用する
3. たまに利用する
4. ほとんど利用しない → **【設問8】**へ

設問7 鉄道駅でエレベーターを利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 階段やエスカレーターの利用が困難だから
2. 階段やエスカレーターの利用が危険だから
3. 楽だから
4. 早く移動できるから
5. その他 →具体的には? (_____)

問	JR高槻駅及び北口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。
----------	---

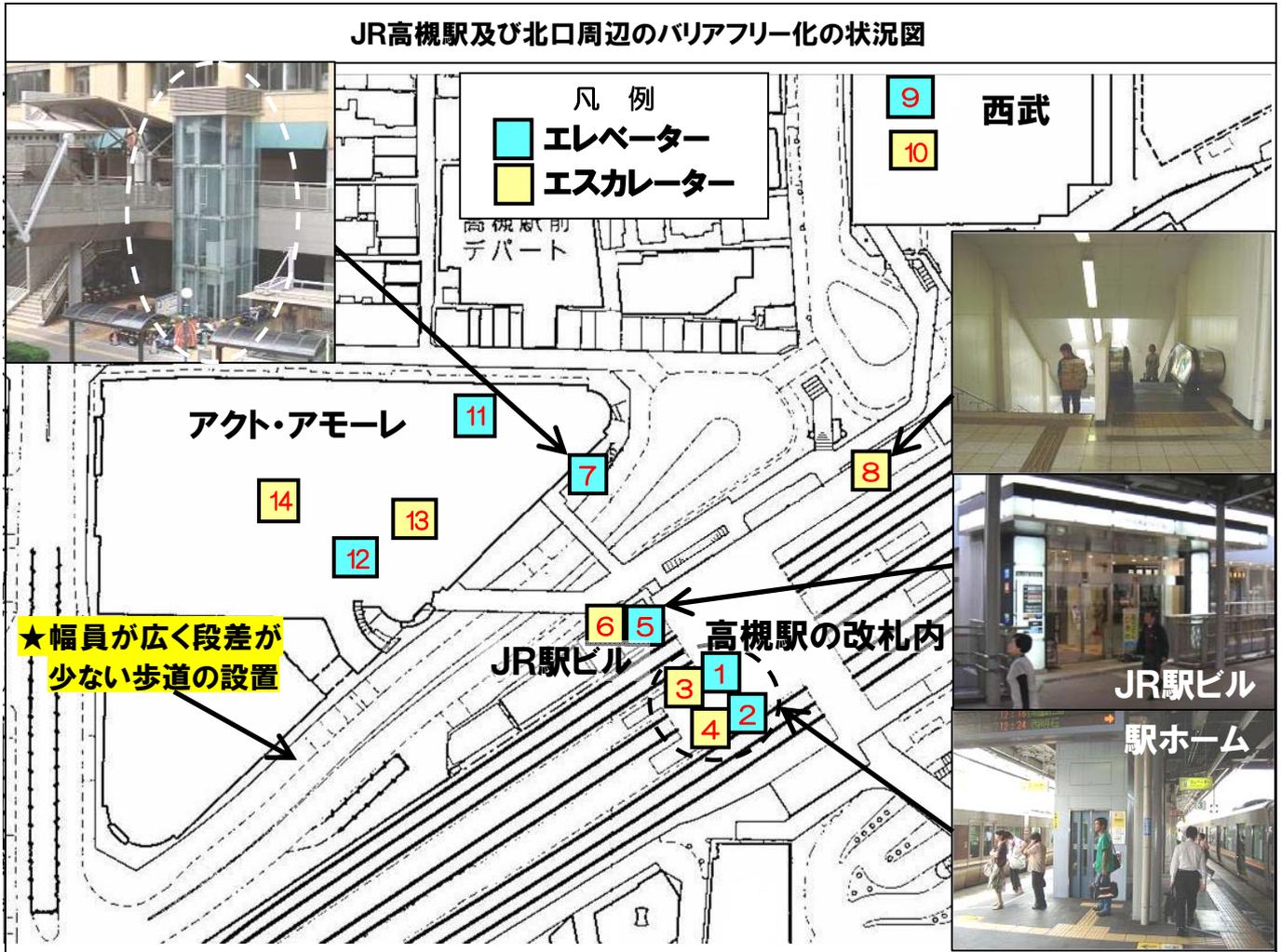
設問8 高槻駅及び北口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

1. 利用している
2. 利用していない → 調査は以上です。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問9

高槻駅及び北口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーターまたはエスカレーターがあれば、あてはまるすべての番号（下図の1～14）に○を付けて下さい。 →ない方は【設問11】へ



設問10

【設問9】で○を付けたエレベーターまたはエスカレーターを利用して、よく行く場所・店舗・公共施設等をお答え下さい（3つまで）。

	○を付けたバリアフリー施設 ※番号を記入 例) 1、5	(左記の施設を使って) よく行く場所・店舗・公共施設等の名称 ※具体的な名称を記入
1		
2		
3		

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

問

今年の6月、駅北口に完成したJR高槻駅NKビル(JR駅ビル)についてお聞きします。

※) 今年の6月前後でベビーカーやだっこひもを実際に使用していない方は、設問16へ

設問11

JR駅ビルには、一般の方がだれでも利用できるエレベーターとエスカレーター（設問9の図中5，6の施設）が設置されています。これらのバリアフリー施設で地上から駅通路（2階）への登り降りができます。

JR駅ビルにバリアフリー施設が設置されたことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった →【設問15】へ

設問12

駅通路への登り降りの際、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用していますか

1. 利用している
2. 利用していない →【設問15】へ

設問13

JR駅ビルのバリアフリー施設を利用する前と現在とを比べて変化したことはありますか。（あてはまるものすべてに○を付けて下さい）

1. 歩く距離や移動する距離が短くなった
2. 1回に買い物する量が増えた
3. 安心して移動できるようになった
4. 気分がよくなった、明るくなった
5. その他 →具体的には？（_____）

設問14

JR駅ビルが完成する前は、どうしていましたか。

1. 他のエレベーターやエスカレーターを使用していた
2. 階段を使用していた
3. その他 →具体的には？（_____）

設問15

今後、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用すると思いますか。

1. 利用すると思う
2. 利用しないと思う

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

問 JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問16

高槻駅や北口周辺では、エレベーターやエスカレーター等が設置され、バリアフリー化が図られています。

最近ではJR駅ビルのほか、平成15年には高槻駅改札内やアクト・アモーレ横にエレベーター等が設置されています。

高槻駅や北口周辺に、これらのバリアフリー設備（エレベーター、エスカレーター）がないと仮定した場合、利用回数は変わるとおもいますか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在と変わらず利用すると思う →設問18へ
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う

設問17

【設問16】で2，3を選択された方にお聞きします。

現在の高槻駅を利用した外出が、どのように変化して「利用回数が減る」「利用しなくなる」とおもいますか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 他の駅を利用する → 利用する駅は？（ _____ 駅）
2. 鉄道を利用しないで、他の移動手段を利用する
→利用する移動手段は？（ _____ ）

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

3. 自宅周辺への外出で済ませてしまう
4. 外出そのものをやめてしまう

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

問

JR高槻駅北口周辺の利用状況についてお聞きます。

設問18

高槻駅北口では、北口へ行くまでの道路（設問9の図中の★）が整備され、幅員が広く段差が少ない歩道が設置されました。

この歩道が狭く、段差が多い歩道であると仮定した場合、この歩道を利用した現在の外出で変化すると思われることはありますか。

（あてはまるものすべてに○を付けて下さい）

1. この歩道を利用して外出する回数が減る
→どのような外出ですか？（ _____ ）
[記載例]：○○への買い物、通院、観光、習い事、人と会う、ボランティア活動など
2. 外出している時間が短くなる
3. 1回に買い物する量が減る
4. 安心して客や友達を呼べなくなる
5. 安心して移動できなくなる
6. 憂鬱な気分になる
7. その他 →具体的には？（ _____ ）
8. 変化はない
9. 利用しない

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問6 鉄道駅にエレベーターが設置されている場合、利用しますか。

3. 必ず利用する
4. だいたい利用する
3. たまに利用する
4. ほとんど利用しない → 【設問8】へ

設問7 鉄道駅でエレベーターを利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 階段やエスカレーターの利用が困難だから
2. 階段やエスカレーターの利用が危険だから
3. 楽だから
4. 早く移動できるから
5. その他 →具体的には? ()

問	JR高槻駅及び南口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。
----------	---

設問8 高槻駅及び南口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

1. 利用している
2. 利用していない → 【設問11】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問9

高槻駅及び南口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーターまたはエスカレーターがあれば、あてはまる**すべての**番号（下図の**1～12**）に○を付けて下さい。 →ない方は【設問11】へ



設問10

【設問9】で○を付けたエレベーターまたはエスカレーターを利用して、よく行く場所・店舗・公共施設等をお答え下さい（3つまで）。

	○を付けたバリアフリー施設 ※番号を記入 例) 1、5	(左記の施設を使って) よく行く場所・店舗・公共施設等の名称 ※具体的な名称を記入
1		
2		
3		

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

問 JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問11 高槻駅南口では、平成22年3月にエレベーター（設問9の図の13）が、平成22年度中にエスカレーター〔下り方向〕（設問9の図の5）が設置される予定です。

これらのバリアフリー施設が設置されれば、高槻駅の利用は現在と比べて今後変わりますか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在利用している====>今後利用回数が増える →【設問13】へ
2. 現在利用している====>今後利用回数は増えない →【設問15】へ
3. 現在利用していない==>今後利用するようになる →【設問12】へ
4. 現在利用していない==>今後も利用しない →【設問16】へ

設問12 【設問11】で3を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

1. 現在は他の駅を利用しているが、バリアフリー施設が設置されれば、高槻駅から鉄道を利用する
→現在、主に利用している駅は？（_____駅）
2. 現在は鉄道を利用していないが、バリアフリー施設が設置されれば、高槻駅から鉄道を利用する
→現在利用している移動手段は？（_____）

〔記載例〕：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

【設問11】で1, 3を選択された方にお聞きします。

設問13 外出回数についてお答え下さい。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 高槻駅の利用は今後増えると思うが、その分、他の駅の利用や他の移動手段（自家用車、バス等）の利用が減るので、外出する回数は全体では変わらないと思う。
→【設問15】へ
2. 高槻駅が利用しやすくなることによって、外出する回数そのものが増えると思う。
→【設問14】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

【設問11】で2を選択された方にお聞きします。

設問14 高槻駅へのバリアフリー施設の設置によって、増えると思う外出はどのような外出ですか。

どこで[場所]、何を[目的]するような外出ですか、記述してください。

(_____)

[記載例]：高槻で習い事を始めたい、大阪で買い物に行く回数を増やしたい、京都観光に行く回数を増やしたい など

【設問11】で1，2，3を選択された方にお聞きします。

設問15 [現在]と[高槻駅・南口周辺にバリアフリー施設が設置された後(推測)]での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

高槻駅周辺にバリアフリー施設が設置された後(推測)での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

問

高槻市中心市街地※への外出状況についてお聞きします。

※ 高槻駅南側の公共施設や高槻センター街などの商業施設が集積したエリア

設問16

高槻市中心市街地において、放置自転車の解消、休憩施設、案内板の設置などのバリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の利用は現在と比べて今後変わりますか。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 現在利用している⇒今後利用回数が増える →【設問18】へ
2. 現在利用している⇒今後利用回数は増えない →【設問19】へ
3. 現在利用していない⇒今後利用するようになる →【設問17】へ
4. 現在利用していない⇒今後も利用しない →【設問19】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問17

【設問16】で3を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

1. 現在は他の場所で用事を済ませているが、バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の公共施設や商業施設を利用するようになる
→現在、用事を済ませている場所は？（_____）
2. 現在は外出を控えているが、バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の公共施設や商業施設を利用するようになる

設問18

【設問16】で1, 3を選択された方にお聞きします。
バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地で新しく始めたいことや回数が増えることはありますか。

1. ある →具体的には？（_____）
[記載例]：市民センターで習い事をはじめ、アーケードで買い物が増える など
2. ない（変わらない）

問

阪急高槻市駅の利用状況についてお聞きします。

設問19

阪急高槻市駅を利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない → 調査は以上です

設問20

高槻市駅の改札内外ではエレベーターやエスカレーター等が設置され、バリアフリー化が図られています。

高槻市駅にバリアフリー設備（エレベーター、エスカレーター）がないと仮定した場合、利用回数は変わると思いますか。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在と変わらず利用すると思う
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問6

鉄道駅にエレベーターが設置されている場合、利用しますか。

3. 必ず利用する
4. だいたい利用する
3. たまに利用する
4. ほとんど利用しない →【設問8】へ

設問7

鉄道駅でエレベーターを利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 階段やエスカレーターの利用が困難だから
2. 階段やエスカレーターの利用が危険だから
3. 楽だから
4. 早く移動できるから
5. その他 →具体的には? (_____)

問

バスの利用状況についてお聞きます。

設問8

近年（平成15年以降）、高槻市営バスでは65台のノンステップバスを導入して運行しています。（添付図の写真を参照して下さい）
ノンステップバスが運行しなくなった（乗降部での段差が大きいバスが運行）と仮定した場合、利用回数は変わると思われますか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在と変わらず利用すると思う
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う →【設問10】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問9 [現在] と [ノンステップバスが運行しなくなった場合（推測）] での、バスを利用して外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

ノンステップバスが運行しなくなった場合（推測）での、バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

設問10 あなたの自宅周辺では、JR摂津富田駅経由のJR高槻駅行きのバスが運行されています。このバスで摂津富田駅か高槻駅まで行き、鉄道を利用して外出することはありますか。

1. ある → 利用する駅は？（ _____ 駅）
2. ない → 【設問12】へ

設問11 選択した駅を利用する理由をお答えください。
（あてはまるものすべてに○を付けて下さい）

1. 自宅から近いから
2. 早く着けるから
3. 運賃が安いから
4. エスカレーターがあるから
5. エレベーターがあるから
6. その他 →具体的には？（ _____ ）

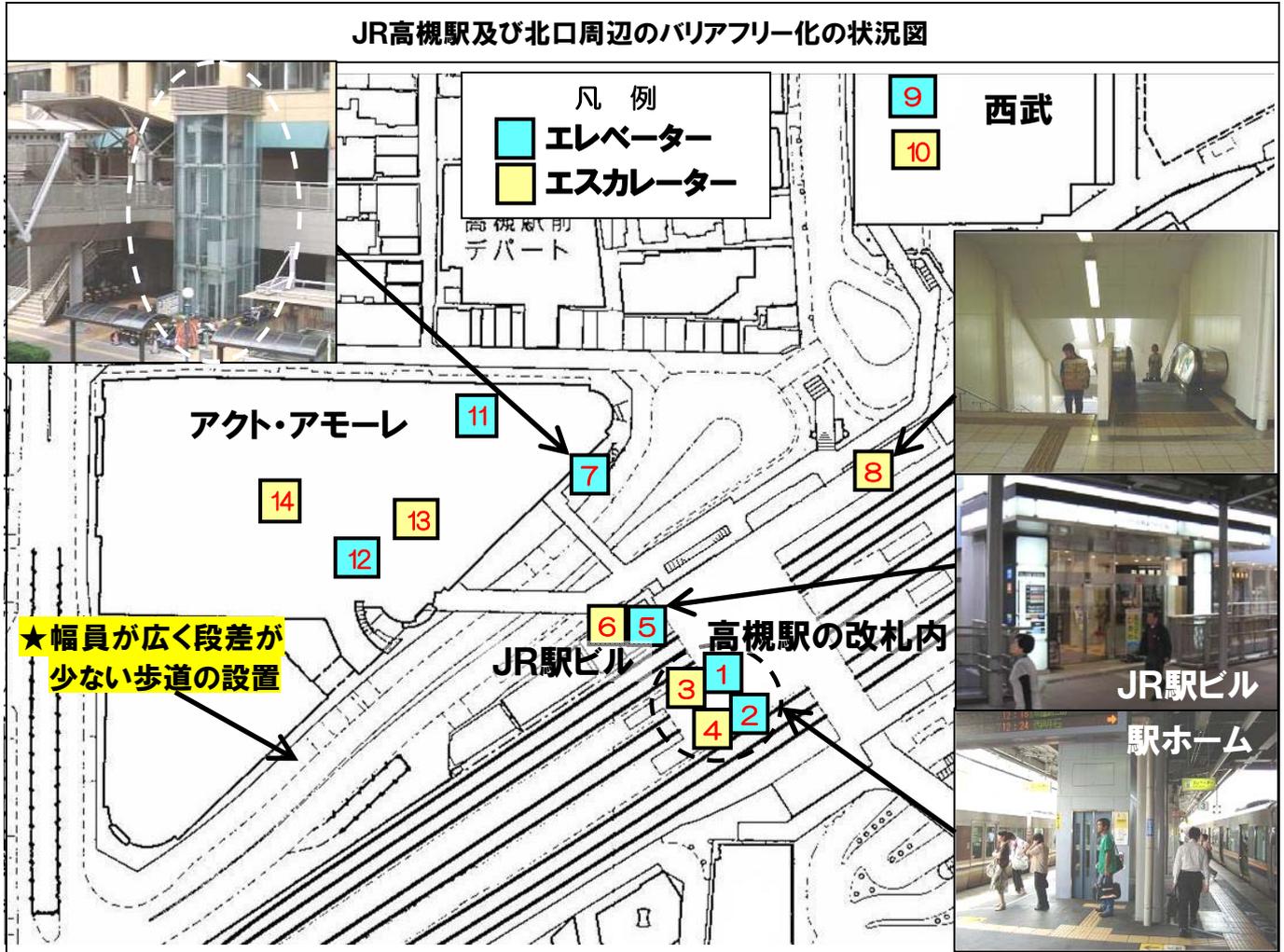
問 JR高槻駅及び北口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。

設問12 高槻駅及び北口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

1. 利用している
→高槻駅までの移動手段は？（ _____ ）
[記載例]：バス、タクシー、自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、自転車、徒歩など
2. 利用していない → 調査は以上です。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問13 高槻駅及び北口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーターまたはエスカレーターがあれば、あてはまるすべての番号（下図の1～14）に○を付けて下さい。 →ない方は【設問14】へ



問

今年の6月、駅北口に完成したJR高槻駅NKビル(JR駅ビル)についてお聞きします。

※) 今年の6月前後でベビーカーやだっこひもを実際に使用していない方は、設問17へ

設問14

JR駅ビルには、一般の方がだれでも利用できるエレベーターとエスカレーター（設問13の図中5、6の施設）が設置されています。これらのバリアフリー施設で地上から駅通路（2階）への登り降りができます。

JR駅ビルにバリアフリー施設が設置されたことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった →【設問16】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問15

駅通路への登り降りの際、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用していますか

1. 利用している
2. 利用していない

設問16

今後、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用すると思いますか。

1. 利用すると思う
2. 利用しないと思う

問

JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問17

高槻駅や北口周辺では、エレベーターやエスカレーター等が設置され、バリアフリー化が図られています。

最近ではJR駅ビルのほか、平成15年には高槻駅改札内やアクト・アモール横にエレベーター等が設置されています。

高槻駅や北口周辺に、これらのバリアフリー設備（エレベーター、エスカレーター）がないと仮定した場合、利用回数は変わるとお考えですか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在と変わらず利用すると思う →【設問19】へ
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う

設問18

【設問17】で2，3を選択された方にお聞きします。

現在の高槻駅を利用した外出がどのように変化して「利用回数が減る」「利用しなくなる」とお考えですか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 他の駅を利用する → 利用する駅は？（ _____ 駅）
2. 鉄道を利用しないで、他の移動手段を利用する
→利用する移動手段は？（ _____ ）

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

3. 自宅周辺への外出で済ませてしまう
4. 外出そのものをやめてしまう

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

問

JR高槻駅北口周辺の利用状況についてお聞きます。

設問19

高槻駅北口では、北口へ行くまでの道路（設問13の図中の★）が整備され、幅員が広く段差が少ない歩道が設置されました。

この歩道が狭く、段差が多い歩道であると仮定した場合、この歩道を利用した現在の外出で変化すると思われることはありますか。

（あてはまるものすべてに○を付けて下さい）

1. この歩道を利用して外出する回数が減る
→どのような外出ですか？（ _____ ）
[記載例]：○○への買い物、通院、観光、習い事、人と会う、ボランティア活動など
2. 外出している時間が短くなる
3. 1回に買い物する量が減る
4. 安心して客や友達を呼べなくなる
5. 安心して移動できなくなる
6. 憂鬱な気分になる
7. その他 →具体的には？（ _____ ）
8. 変化はない
9. 利用しない

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問6

鉄道駅にエレベーターが設置されている場合、利用しますか。

3. 必ず利用する
4. だいたい利用する
3. たまに利用する
4. ほとんど利用しない →【設問8】へ

設問7

鉄道駅でエレベーターを利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 階段やエスカレーターの利用が困難だから
2. 階段やエスカレーターの利用が危険だから
3. 楽だから
4. 早く移動できるから
5. その他 →具体的には？ (_____)

問

バスの利用状況についてお聞きます。

設問8

近年（平成15年以降）、高槻市営バスでは65台のノンステップバスを導入して運行しています。（添付図の写真を参照して下さい）
ノンステップバスが運行しなくなった（乗降部での段差が大きいバスが運行）と仮定した場合、利用回数は変わると思われますか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在と変わらず利用すると思う
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う →【設問10】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問9 [現在] と [ノンステップバスが運行しなくなった場合（推測）] での、バスを利用して外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

ノンステップバスが運行しなくなった場合（推測）での、バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

問

JR高槻駅及び北口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。

設問10 高槻駅及び北口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

1. 利用している

→高槻駅までの移動手段は？（_____）

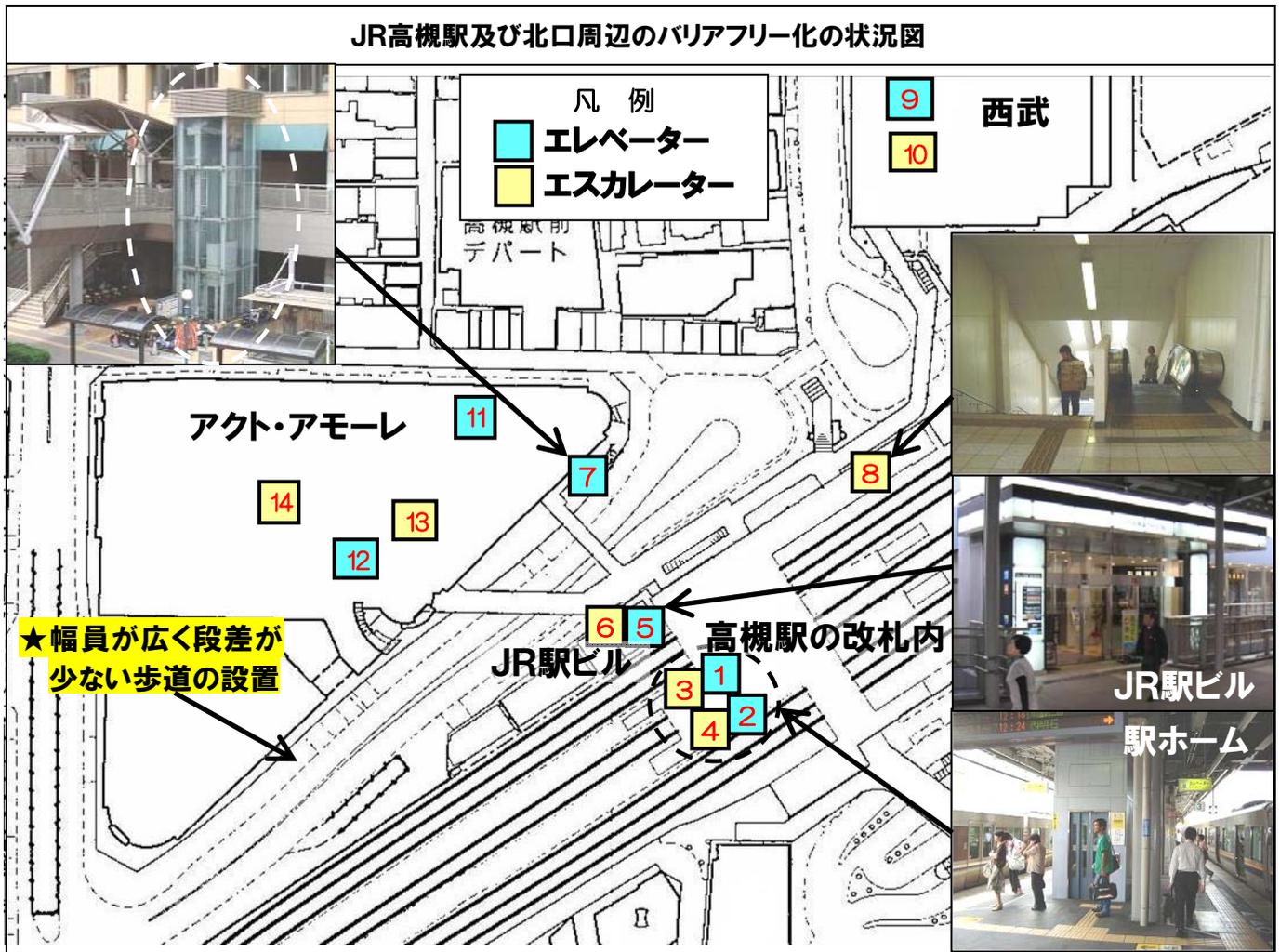
[記載例]：バス、タクシー、自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、自転車、徒歩など

2. 利用していない → 調査は以上です。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問11

高槻駅及び北口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーターまたはエスカレーターがあれば、あてはまるすべての番号（下図の1～14）に○を付けて下さい。 →ない方は【設問12】へ



問

今年の6月、駅北口に完成したJR高槻駅NKビル(JR駅ビル)についてお聞きします。

※) 今年の6月前後でベビーカーやだっこひもを実際に使用していない方は、設問15へ

設問12

JR駅ビルには、一般の方がだれでも利用できるエレベーターとエスカレーター（設問11の図中5、6の施設）が設置されています。これらのバリアフリー施設で地上から駅通路（2階）への登り降りができます。

JR駅ビルにバリアフリー施設が設置されたことを知っていましたか。

1. 知っていた
2. 知らなかった →【設問14】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問13 駅通路への登り降りの際、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用していますか

1. 利用している
2. 利用していない

設問14 今後、JR駅ビルのバリアフリー施設を利用すると思いますか。

1. 利用すると思う
2. 利用しないと思う

問 JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問15 高槻駅や北口周辺では、エレベーターやエスカレーター等が設置され、バリアフリー化が図られています。

最近ではJR駅ビルのほか、平成15年には高槻駅改札内やアクト・アモール横にエレベーター等が設置されています。

高槻駅や北口周辺に、これらのバリアフリー設備（エレベーター、エスカレーター）がないと仮定した場合、利用回数は変わるとお考えですか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在と変わらず利用すると思う →【設問17】へ
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う

設問16 【設問15】で2，3を選択された方にお聞きします。

現在の高槻駅を利用した外出がどのように変化して「利用回数が減る」「利用しなくなる」とお考えですか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 他の駅を利用する → 利用する駅は？（ _____ 駅）
2. 鉄道を利用しないで、他の移動手段を利用する
→利用する移動手段は？（ _____ ）

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

3. 自宅周辺への外出で済ませてしまう
4. 外出そのものをやめてしまう

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

問

JR高槻駅北口周辺の利用状況についてお聞きます。

設問17

高槻駅北口では、北口へ行くまでの道路（設問11の図中の★）が整備され、幅員が広く段差が少ない歩道が設置されました。

この歩道が狭く、段差が多い歩道であると仮定した場合、この歩道を利用した現在の外出で変化すると思われることはありますか。

（あてはまるものすべてに○を付けて下さい）

1. この歩道を利用して外出する回数が減る
→どのような外出ですか？（）
[記載例]：○○への買い物、通院、観光、習い事、人と会う、ボランティア活動など
2. 外出している時間が短くなる
3. 1回に買い物する量が減る
4. 安心して客や友達を呼べなくなる
5. 安心して移動できなくなる
6. 憂鬱な気分になる
7. その他 →具体的には？（）
8. 変化はない
9. 利用しない

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問6 鉄道駅にエレベーターが設置されている場合、利用しますか。

3. 必ず利用する
4. だいたい利用する
3. たまに利用する
4. ほとんど利用しない →【設問8】へ

設問7 鉄道駅でエレベーターを利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 階段やエスカレーターの利用が困難だから
2. 階段やエスカレーターの利用が危険だから
3. 楽だから
4. 早く移動できるから
5. その他 →具体的には? (_____)

問 バスの利用状況についてお聞きます。

設問8 近年（平成15年以降）、高槻市営バスでは65台のノンステップバスを導入して運行しています。（添付図の写真を参照して下さい）
ノンステップバスが運行しなくなった（乗降部での段差が大きいバスが運行）と仮定した場合、利用回数は変わると思われますか。（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在と変わらず利用すると思う
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う →【設問10】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問9 [現在] と [ノンステップバスが運行しなくなった場合（推測）] での、バスを利用して外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

ノンステップバスが運行しなくなった場合（推測）での、バスを利用して外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

問

JR高槻駅及び南口周辺のバリアフリー施設の使用状況について、お聞きます。

設問10 高槻駅及び南口周辺の店舗・施設をよく利用（月に1回以上）しますか。

1. 利用している

→高槻駅までの移動手段は？（_____）

[記載例]：バス、タクシー、自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、自転車、徒歩など

2. 利用していない → **【設問12】**へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問11

高槻駅及び南口周辺の店舗や施設を利用する際、よく利用するエレベーターまたはエスカレーターがあれば、あてはまる**すべての**番号（下図の**1～12**）に○を付けて下さい。 →ない方は【設問12】へ



問 JR高槻駅からの鉄道利用についてお聞きします。

設問12

高槻駅南口では、平成22年3月にエレベーター（設問11の図の13）が、平成22年度中にエスカレーター〔下り方向〕（設問11の図の5）が設置される予定です。

これらのバリアフリー施設が設置されれば、**高槻駅の利用は現在と比べて今後変わりますか。**（あてはまるもの**1つ**に○を付けて下さい）

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1. 現在利用している===>今後利用回数が増える | →【設問14】へ |
| 2. 現在利用している===>今後利用回数は増えない | →【設問16】へ |
| 3. 現在利用していない==>今後利用するようになる | →【設問13】へ |
| 4. 現在利用していない==>今後も利用しない | →【設問17】へ |

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問13 【設問12】で3を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい。)

1. 現在は他の駅を利用しているが、バリアフリー施設が設置されれば、高槻駅から鉄道を利用する
→現在、主に利用している駅は？ (_____ 駅)
2. 現在は鉄道を利用していないが、バリアフリー施設が設置されれば、高槻駅から鉄道を利用する
→現在利用している移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

【設問12】で1，3を選択された方にお聞きします。
設問14 外出回数についてお答え下さい。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 高槻駅の利用は今後増えると思うが、その分、他の駅の利用や他の移動手段（自家用車、バス等）の利用が減るので、外出する回数は全体では変わらないと思う。
→【設問16】へ
2. 高槻駅が利用しやすくなることによって、外出する回数そのものが増えると思う。
→【設問15】へ

【設問14】で2を選択された方にお聞きします。
設問15 高槻駅へのバリアフリー施設の設置によって、増えると思う外出はどのような外出ですか。

どこで[場所]、何を[目的]するような外出ですか、記述してください。

(_____)

[記載例]：高槻で習い事を始めたい、大阪で買い物に行く回数を増やしたい、
京都観光に行く回数を増やしたい など

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

【設問12】で1, 2, 3を選択された方にお聞きします。

設問16

[現在]と[高槻駅・南口周辺にバリアフリー施設が設置された後(推測)]での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

高槻駅周辺にバリアフリー施設が設置された後(推測)での、高槻駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していなかった

問

高槻市中心市街地※への外出状況についてお聞きします。

※ 高槻駅南側の公共施設や高槻センター街などの商業施設が集積したエリア

設問17

高槻市中心市街地において、放置自転車の解消、休憩施設、案内板の設置などのバリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の利用は現在と比べて今後変わりますか。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 現在利用している⇒今後利用回数が増える →【設問19】へ
2. 現在利用している⇒今後利用回数は増えない →調査は以上です
3. 現在利用していない⇒今後利用するようになる →【設問18】へ
4. 現在利用していない⇒今後も利用しない →調査は以上です

設問18

【設問17】で3を選択された方にお聞きします

現在の状況についてお答え下さい。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい。)

1. 現在は他の場所で用事を済ませているが、バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の公共施設や商業施設を利用するようになる
→現在、用事を済ませている場所は？()
2. 現在は外出を控えているが、バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地の公共施設や商業施設を利用するようになる

設問19

【設問17】で1, 3を選択された方にお聞きします。

バリアフリー対策が充実すれば、中心市街地で新しく始めたいことや回数が増えることはありますか。

1. ある →具体的には？()

[記載例]：市民センターで習い事をはじめ、アーケードで買い物が増える など

2. ない(変わらない)

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問6

鉄道駅にエレベーターが設置されている場合、利用しますか。

3. 必ず利用する
4. だいたい利用する
3. たまに利用する
4. ほとんど利用しない →【設問8】へ

設問7

鉄道駅でエレベーターを利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 階段やエスカレーターの利用が困難だから
2. 階段やエスカレーターの利用が危険だから
3. 楽だから
4. 早く移動できるから
5. その他 →具体的には? (_____)

問

鉄道の利用状況についてお聞きます。

設問8

自宅から最も近い駅をお答え下さい。

1. J R 摂津富田駅
2. 阪急 富田駅
3. 阪急 総持寺駅
4. その他 (_____ 駅)

設問9

大阪(梅田)に行くのに利用する駅をお答え下さい。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. J R 摂津富田駅
2. 阪急 富田駅
3. 阪急 総持寺駅
4. その他 (_____ 駅)
5. 鉄道は利用しない →【設問11】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問10

選択した駅を利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 自宅から近いから
2. 早く着けるから
3. 運賃が安いから
4. エスカレーターがあるから
5. エレベーターがあるから
6. その他 →具体的には？ (_____)

問

阪急富田駅の利用状況についてお聞きします。

設問11

富田駅では、平成20～21年にエレベーターが設置され、駅の南側ではエレベーターを利用して道路からホームまで登り降りでき、バリアフリーとなっています。富田駅からの鉄道利用は、施設が設置される前と比べて現在変わりましたか。(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

※) 富田駅におけるバリアフリー施設の設置前後でベビーカーやだっこひもを実際に使用していない方は、設問16へ

1. 設置前から利用していた====>利用回数が増えた →【設問13】へ
2. 設置前から利用していた====>利用回数は増えていない →【設問15】へ
3. 設置前は利用していなかった==>利用するようになった →【設問12】へ
4. 設置前は利用していなかった==>現在も利用していない →【設問16】へ

設問12

【設問11】で3を選択された方にお聞きします。
施設の設置前は、外出する時どうしていましたか。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 他の駅を利用していた →利用していた駅は？ (_____ 駅)
2. 鉄道を利用していなかった
→利用していた移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車(自分で運転)、自家用車(他の人が運転)、バス、タクシー、自転車、徒歩など

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問13

【設問11】で1，3を選択された方にお聞きします。

施設の設置後に富田駅から鉄道を利用して、新しく始めたことや回数が増えたことはありますか。

1. ある →具体的には？（_____）

[記載例]：大阪で買い物が多くなった、京都で散歩をはじめた

大阪で習い事をはじめた など

2. ない（変わらない）

設問14

施設の設置前と現在とを比べて変化したことはありますか。

（あてはまるものすべてに○を付けて下さい）

1. 外出している時間が長くなった

2. 1回に買い物する量が増えた

3. 安心して客や友達を呼べるようになった

4. 安心して移動できるようになった

5. 気分が良くなった、明るくなった

6. その他 →具体的には？（_____）

設問15

[現在] と [富田駅にバリアフリー施設が設置される前（過去）] での、富田駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、富田駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上

2. 週に3～4回程度

3. 週に1～2回程度

4. 月に2～3回程度

5. 月に1回程度

6. 月に1回より少ない

富田駅周辺にバリアフリー施設が設置される前（過去）での、
富田駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上

2. 週に3～4回程度

3. 週に1～2回程度

4. 月に2～3回程度

5. 月に1回程度

6. 月に1回より少ない

7. 利用していなかった

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

問 JR摂津富田駅の利用状況についてお聞きします。

設問16 摂津富田駅では、平成21年度に駅外側から改札階（2階）に登り降りするエレベーターが設置される予定です。施設が設置されれば、摂津富田駅の鉄道利用は、現在と比べて今後変わりますか。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 現在利用している ==> 今後利用回数が増える → 【設問18】へ
2. 現在利用している ==> 今後利用回数は増えない → 【設問20】へ
3. 現在利用していない ==> 今後利用するようになる → 【設問17】へ
4. 現在利用していない ==> 今後も利用しない → 調査は以上です

設問17 【設問16】で3を選択された方にお聞きします。

現在の状況についてお答え下さい。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

1. 現在は他の駅を利用しているが、バリアフリー施設が設置されれば、摂津富田駅から鉄道を利用する
→ 現在、主に利用している駅は？（ _____ 駅）
2. 現在は鉄道を利用していないが、バリアフリー施設が設置されれば、摂津富田駅から鉄道を利用する
→ 現在利用している移動手段は？（ _____ ）

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問18 【設問16】で1、3を選択された方にお聞きします。

外出回数についてお答え下さい。

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 摂津富田駅の利用は今後増えると思うが、その分、他の駅の利用や他の移動手段（自家用車、バス等）の利用が減るので、外出する回数は全体では変わらないと思う。
→ 【設問20】へ
2. 摂津富田駅が利用しやすくなることによって、外出する回数そのものが増えると思う。
→ 【設問19】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

【設問18】で2を選択された方にお聞きします。

設問19

摂津富田駅へのバリアフリー施設の設置によって、増えると思う外出はどのような外出ですか。

どこで[場所]、何を[目的]するような外出ですか。記述してください。

(_____)

[記載例]：高槻で習い事を始めたい、大阪で買い物に行く回数を増やしたい、
京都観光に行く回数を増やしたい など

【設問16】で1，2，3を選択された方にお聞きします。

設問20

[現在]と[摂津富田駅にバリアフリー施設が設置された後(推測)]での、摂津富田駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、摂津富田駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していない

バリアフリー施設が設置された後での、
摂津富田駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

バリアフリー化の効果に関するアンケート調査 【調査票】

※ご家族の中で、お子さんを連れて移動する機会が最も多い方がご回答願います。

問 あなたご自身のことについてお聞きします。

設問1 性別をお答え下さい。

1. 男性

2. 女性

設問2 年齢をお答え下さい。

1. 20歳未満

4. 40歳代

2. 20歳代

5. 50歳以上

3. 30歳代

設問3 居住地の住所をお答え下さい。(丁目までご記入下さい *番地は不要です)

島本町 (_____)

記載例 若山台一丁目
百山

設問4 お子さんの年齢をお答え下さい (あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 0歳

5. 4歳

2. 1歳

6. 5歳

3. 2歳

7. 6歳

4. 3歳

8. 7歳以上

設問5 現在、“ベビーカー”や“だっこひも”を使用して移動することがありますか。

1. 必ず利用する

2. だいたい利用する

3. たまに利用する

4. ほとんど利用しない

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問6

鉄道駅にエレベーターが設置されている場合、利用しますか。

3. 必ず利用する
4. だいたい利用する
3. たまに利用する
4. ほとんど利用しない →【設問8】へ

設問7

鉄道駅でエレベーターを利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 階段やエスカレーターの利用が困難だから
2. 階段やエスカレーターの利用が危険だから
3. 楽だから
4. 早く移動できるから
5. その他 →具体的には? (_____)

問

鉄道の利用状況についてお聞きます。

設問8

自宅より最も近い駅をお答え下さい。

1. J R 島本駅
2. 阪急 水無瀬駅
3. 阪急 上牧駅
4. その他 (_____ 駅)

設問9

大阪(梅田)に行く時によく利用する駅をお答え下さい。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. J R 島本駅
2. 阪急 水無瀬駅
3. 阪急 上牧駅
4. その他 (_____ 駅)
5. 鉄道は利用しない →【設問11】へ

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問10 選択した駅を利用する理由をお答え下さい。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 自宅から近いから
2. 早く着けるから
3. 運賃が安いから
4. エスカレーターがあるから
5. エレベーターがあるから
6. その他 (_____)

問

JR島本駅の利用状況についてお聞きします。

※) 島本駅の開業前後でベビーカーやだっこひもを実際に使用していない方は、設問16へ

設問11 平成20年3月に島本駅が開業しましたが、利用していますか。

1. 利用している
2. 利用していない → 【設問16】へ

設問12 島本駅が開業する前は、外出する時どうしていましたか。
(あてはまるもの1つに○を付けて下さい。)

1. 他の駅を利用していた →利用していた駅は？ (_____ 駅)
2. 鉄道は利用していなかった
→利用していた移動手段は？ (_____)

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

設問13 駅の開業後、島本駅を利用して、新しく始めたことや回数が増えたことはありますか。

1. ある →具体的には？ (_____)

[記載例]：高槻で習い事をはじめた、高槻で買い物が多くなった、

大阪で買い物が多くなった、京都で散策をはじめた など

2. ない (変わらない)

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

設問14

島本駅が開業する前と現在とを比べて変化したことはありますか。
(あてはまるものすべてに○を付けて下さい)

1. 外出している時間が長くなった
2. 1回に買い物する量が増えた
3. 安心して客や友達を呼べるようになった
4. 安心して移動できるようになった
5. 気分が良くなった、明るくなった
6. その他 →具体的には? (_____)

設問15

島本駅にバリアフリー設備（エレベーター、エスカレーター）がないと仮定した場合、利用回数は変わるとおもいますか。

1. 現在と変わらず利用すると思う
2. 利用回数が減ると思う
3. 利用しないと思う

問

阪急水無瀬駅の利用状況についてお聞きします。

設問16

水無瀬駅では、平成 22 年度に改札内にエレベーターとエスカレーターが設置される予定です（添付図を参照して下さい）。これらのバリアフリー施設が設置されれば、水無瀬駅の利用は現在と比べて今後変わりますか。

(あてはまるもの1つに○を付けて下さい)

1. 現在利用している ==> 今後利用回数が増える → 【設問 1 8】へ
2. 現在利用している ==> 今後利用回数は増えない → 【設問 2 0】へ
3. 現在利用していない ==> 今後利用するようになる → 【設問 1 7】へ
4. 現在利用していない ==> 今後も利用しない → 調査は以上です

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

【設問16】で3を選択された方にお聞きします
現在の状況についてお答え下さい。

設問17

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい。）

1. 現在は他の駅を利用しているが、バリアフリー施設が設置されれば、水無瀬駅から鉄道を利用する
→現在、主に利用している駅は？（ _____ 駅）
2. 現在は鉄道を利用していないが、バリアフリー施設が設置されれば、水無瀬駅から鉄道を利用する
→現在利用している移動手段は？（ _____ ）

[記載例]：自家用車（自分で運転）、自家用車（他の人が運転）、バス、タクシー、自転車、徒歩など

【設問16】で1，3を選択された方にお聞きします。
外出回数についてお答え下さい。

設問18

（あてはまるもの1つに○を付けて下さい）

1. 水無瀬駅の利用は今後増えると思うが、その分、他の駅の利用や他の移動手段（自家用車、バス等）の利用が減るので、外出する回数は全体では変わらないと思う。
→【設問20】へ
2. 水無瀬駅が利用しやすくなることによって、外出する回数そのものが増えると思う。
→【設問19】へ

【設問18】で2を選択された方にお聞きします。

設問19

水無瀬駅へのバリアフリー施設の設置によって、増えると思う外出はどのような外出ですか。

どこで[場所]、何を[目的]するような外出ですか。記述してください。

(_____)

[記載例]：高槻で習い事を始めたい、大阪で買い物に行く回数を増やしたい、

京都観光に行く回数を増やしたい など

【重要】「大人1人で“ベビーカー”又は“だっこひも”を使用して移動している場合」を想定して、以下の設問にお答え下さい。（※現在、ベビーカーやだっこひもの使用を必要としないお子さんをお持ちの方もこの想定で、過去の経験からご判断の上、お答え下さい）

【設問16】で1, 2, 3を選択された方にお聞きします。

設問20

[現在]と[水無瀬駅にバリアフリー施設が設置された後(推測)]での、水無瀬駅を利用して鉄道で外出する回数をそれぞれお答え下さい。

現在、水無瀬駅を利用して
鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない
7. 利用していない

バリアフリー施設が設置された後での、
水無瀬駅を利用して鉄道で外出する回数は？

1. 週に5回以上
2. 週に3～4回程度
3. 週に1～2回程度
4. 月に2～3回程度
5. 月に1回程度
6. 月に1回より少ない

アンケート調査は以上です。ありがとうございました。

資料8 居住者調査 団体別配布・回収状況

■ 高齢者

地区分類		調査票番号	番号	調査票	回収票数	回収率
徒歩圏居住者 富田地域	A 1	03-01-K	1	50	33	66.0%
			2	51	31	60.8%
			3	72	50	69.4%
	A 2	03-01-K	4	60	56	93.3%
			5	50	44	88.0%
			6	60	50	83.3%
	A 3	03-01-K	7	70	36	51.4%
			8	70	59	84.3%
			9	54	35	64.8%
徒歩圏居住者 高槻地域	B 1	01-01-K	10	40	40	100.0%
			11	50	42	84.0%
			12	81	48	59.3%
	B 2・B 3	01-02-K	13	51	45	88.2%
			14	55	34	61.8%
			15	64	50	78.1%
	B 4	01-02-K	16	60	18	30.0%
			17	64	38	59.4%
			18	43	34	79.1%
バス利用圏居住者 高槻地域	北1バス	01-03(2)-K	19	65	36	55.4%
			20	70	53	75.7%
			21	50	45	90.0%
	北2バス	01-03(1)-K	22	43	32	74.4%
			23	48	44	91.7%
	南バス	01-04-K	24	41	24	58.5%
25			50	5	10.0%	
26			50	47	94.0%	
徒歩圏居住者 島本地域	島本	02-01-K	27	66	62	93.9%
			28	63	40	63.5%
			29	51	28	54.9%
			30	55	44	80.0%
			31	57	43	75.4%
			32	61	43	70.5%
			33	60	33	55.0%
			34	91	54	59.3%
				1,966	1,376	70.0%

■ 子育て世代

地区分類		調査票番号	番号	調査票	回収票数	回収率
富田地域	A 1	03-01-S	1	90	48	53.3%
	北2バス	01-03(1)-S	2	120	37	30.8%
	A 2	03-01-S	3	90	24	26.7%
	A 3		4	124	65	52.4%
高槻地域	B 1	01-01-S	5	150	92	61.3%
			6	90	68	75.6%
	B 2・B 3	01-02-S	7	88	31	35.2%
			8	139	71	51.1%
	B 4	01-02-S	9	18	15	83.3%
	北1バス		01-03(2)-S	10	100	71
	南バス	01-04-S	11	120	35	29.2%
12			118	42	35.6%	
島本地域	C 1・C 2・C 3	02-01-S	13	134	62	46.3%
			14	111	52	46.8%
				1,492	713	47.8%

資料 9 駅乗客数検証

(1) 検証結果のまとめ

バリアフリー化前後での乗客数の変化を把握するため、鉄道駅のバリアフリー化完了前年度を基準年として、乗客数を指数化し分析を行った。

- 乗客数：子育て世代、高齢者の利用を考慮し、定期外の乗客数（JR島本駅、阪急水無瀬駅はデータ公表状況により定期及び定期外の総数を用いた）を対象とした。なお、駅勢圏が広範であることが予測されるため、全市の総人口増減率で割り引くことにより、居住者増減分を調整した。

(データの出典)

- 乗客数：JR西日本、阪急電鉄（高槻市・島本町統計書）

※統計書よりデータが取得できた年度のみ使用。阪急電鉄においては、平成初期のデータ掲載なし。

- 人口：住民基本台帳（高槻市・島本町統計書）

- 比較のために、以下のデータを整理した。

— 当該駅 乗客数指数

— 近接駅 乗客数指数

— 高槻市・島本町内駅 乗客数指数

(JR山崎駅、阪急上牧駅を含む計8駅の合計。総人口は高槻市・島本町の総人口を用いた。)

□ JR摂津富田駅・阪急富田駅

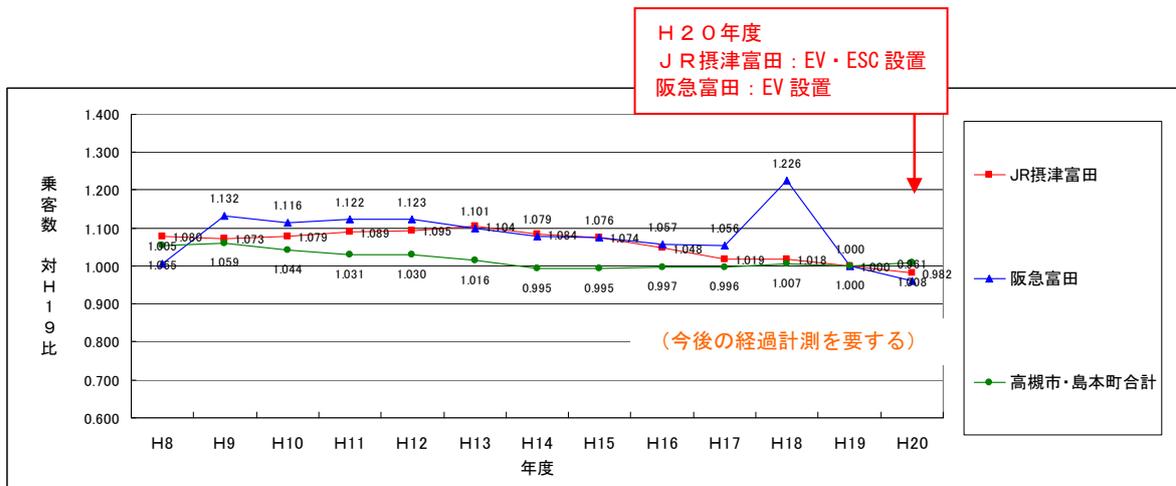


図 JR摂津富田駅・阪急富田 定期外乗客数の推移 (対平成19年度比)

□ JR高槻駅

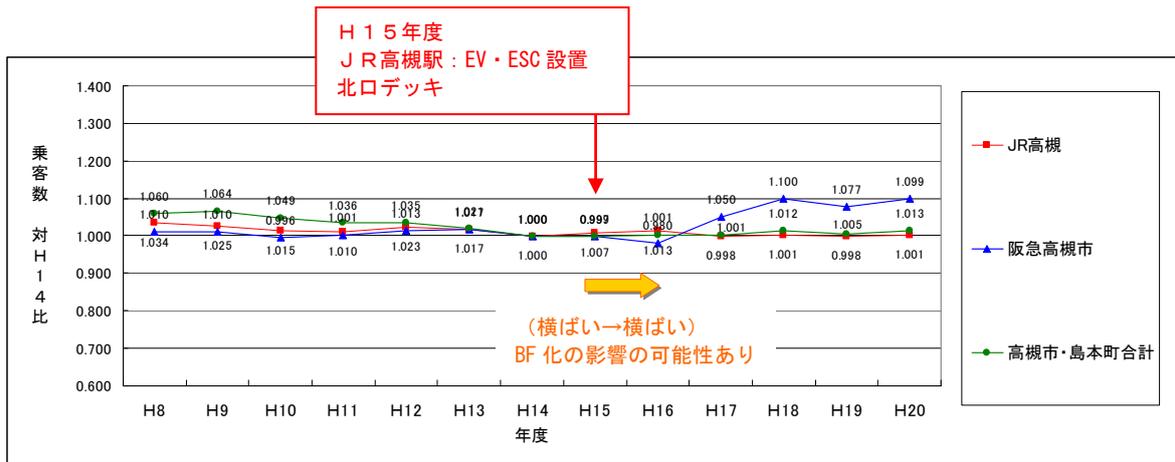


図 JR高槻駅 定期外乗客数の推移（対平成14年度比）

□ 阪急高槻市駅

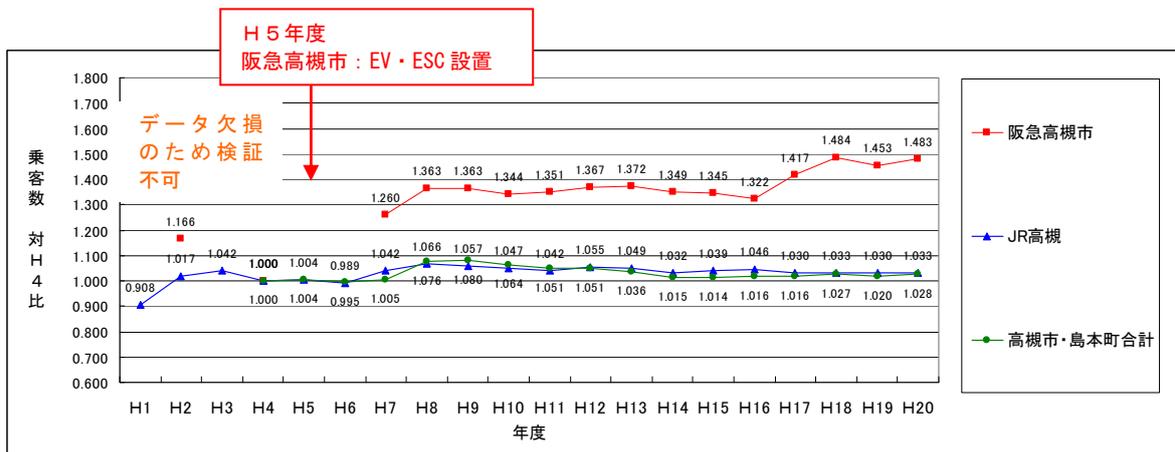


図 阪急高槻市駅 定期外乗客数の推移（対平成4年度比）

□ JR島本駅・阪急水無瀬駅

（新駅であるため、JR島本駅と近接の阪急水無瀬駅の合計の乗客数指数を整理）

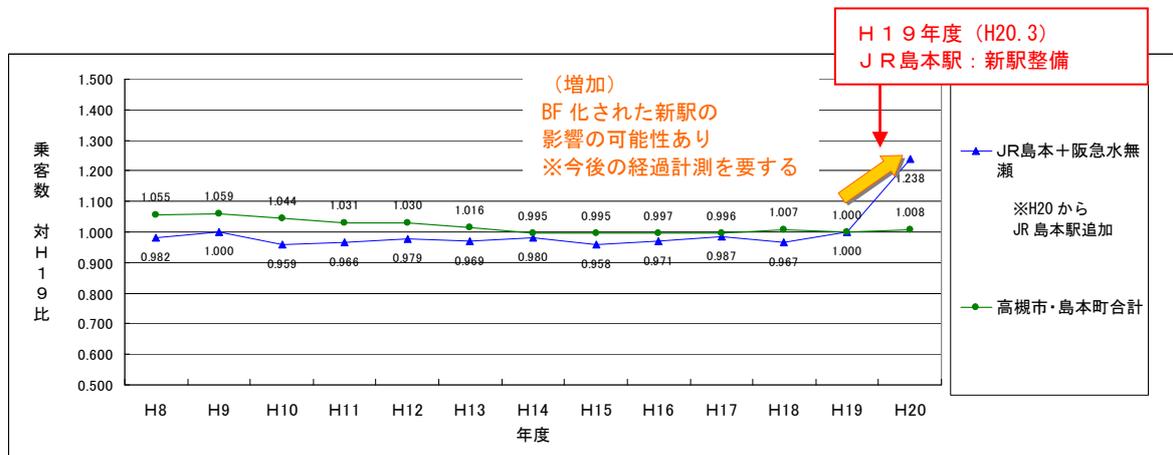


図 阪急水無瀬駅 乗客数の推移（対平成19年度比）

(2) 年齢別人口

高槻市

年齢	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
0~4	20588	19587	19104	18378	17922	17466	17459	17518	17372	17441	17509	17441	17192	16956	16877	16587	16404	16209	16415	16203	16233	16021
5~9	22722	21928	21196	20469	19633	18797	17823	17199	16679	16305	15931	15947	15824	15821	15760	16172	16353	16602	16751	16839	16753	16540
10~14	28562	26528	24952	23596	22529	21461	20826	19995	19422	18710	17997	17132	16411	15863	15615	15258	15404	15580	15795	15825	16277	16576
15~19	34028	34158	33632	32358	30523	28688	26791	25284	23900	22714	21527	20855	19996	19273	18514	17857	17005	16412	15942	15790	15421	15542
20~24	29203	30315	31279	34013	34816	35619	35356	34810	33495	31710	29925	27785	26088	24489	23195	22056	21518	20940	20350	19454	18645	17770
25~29	24610	25793	27305	27124	28342	29560	30766	31579	33786	34429	35071	34532	33528	32169	30330	28535	26695	25412	24424	23141	22134	21491
30~34	22600	22262	22273	22309	22814	23318	24057	25359	24632	25875	27118	28101	28513	30495	30801	31143	31338	31135	30661	29091	27562	25906
35~39	29419	26199	24355	22843	21842	20841	20533	20409	20519	20880	21241	21824	22611	22259	23489	24672	25756	26780	29248	30091	30833	30847
40~44	31353	32414	33576	33769	31001	28233	25173	23229	21779	20761	19743	19474	19222	19198	19654	19978	20715	21949	21877	23133	24319	25563
45~49	36854	31814	30639	28887	29934	30981	32013	33245	33434	30630	27826	24675	22690	21141	19824	19242	19017	18953	19077	19417	19829	20522
50~54	24786	25403	13524	28049	29278	30506	31387	30248	28539	29516	30493	31321	32301	32419	30022	26896	23996	22148	20799	19651	19052	18866
55~59	19726	20470	21629	22628	23368	24107	24755	25677	27215	28361	29507	30430	29141	27462	28225	29226	30081	31129	31448	29286	26239	23387
60~64	14313	15038	15923	16712	17709	18706	19482	20598	21599	22302	23005	23464	24284	25753	26628	27969	28916	27789	26227	26975	28046	28992
65~69	9644	10350	10982	11807	12618	13429	14167	14898	15717	16657	17597	18343	19408	20238	21219	21596	22096	23041	24614	25472	26815	27655
70~74	7338	7479	7758	7981	8369	8756	9476	10076	10844	11564	12284	12881	13647	14443	15409	16264	17012	17961	18806	19736	20136	20722
75~79	5439	5672	5943	6196	6244	6291	6471	6750	6966	7327	7688	8303	8828	9483	10135	10804	11450	12090	12875	13770	14542	15174
80~84	2983	3175	3455	3675	3944	4213	4423	4685	4888	4906	4924	4996	5255	5443	5784	6261	6783	7213	7844	8402	8902	9462
85~89	1257	1413	1504	1298	1589	1880	2042	2248	2424	2620	2816	2957	3113	3253	3340	3410	3573	3772	4001	4245	4578	4890
90~94	1257	373	424	457	507	556	609	697	759	838	917	980	1102	1221	1365	1530	1661	1791	1859	1944	1992	2073
95~99	323	45	69	73	82	91	97	93	123	157	191	224	247	257	291	323	347	397	483	566	602	630
100歳以上	8	6	4	4	6	7	9	11	12	13	14	17	23	28	32	46	50	49	48	44	63	89
総数	367,013	360,422	349,526	362,626	363,066	363,506	363,715	364,696	364,104	363,714	363,324	361,682	359,424	357,664	356,509	355,825	356,170	357,352	359,544	359,065	358,973	358,718
子育て世代(20~40代)	174,039	168,797	169,427	168,945	168,749	168,552	167,898	168,631	167,645	164,285	160,924	156,391	152,652	149,751	147,293	145,826	145,039	145,169	145,637	144,327	143,322	142,099
割合	0.474	0.468	0.485	0.466	0.465	0.464	0.462	0.462	0.46	0.452	0.443	0.432	0.425	0.419	0.413	0.409	0.407	0.406	0.405	0.402	0.399	0.396
高齢者(65歳以上)	28,249	28,513	30,139	31,491	33,357	35,223	37,294	39,546	41,733	44,082	46,431	48,701	51,623	54,366	57,575	60,234	62,972	66,314	70,530	74,169	77,630	80,695
割合	0.077	0.079	0.086	0.087	0.092	0.097	0.103	0.108	0.115	0.121	0.128	0.135	0.144	0.152	0.161	0.169	0.177	0.186	0.196	0.207	0.216	0.225

資料：住民基本台帳／高槻市統計書

注）網掛け年度は、前後の年度の人口を基にした推計値

島本町

年齢	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
0~4									1,580	1,552	1,615	1,603	1,574	1,540	1,509	1,478	1,355	1,228	1,259	1,290	1,331	1,315
5~9									1,774	1,697	1,699	1,645	1,603	1,529	1,513	1,497	1,475	1,475	1,440	1,405	1,412	1,391
10~14									2,026	1,919	1,882	1,807	1,729	1,649	1,594	1,538	1,493	1,504	1,490	1,475	1,462	1,457
15~19									2,212	2,147	2,084	2,056	1,953	1,939	1,866	1,792	1,751	1,680	1,601	1,521	1,475	1,436
20~24									2,363	2,319	2,243	2,167	1,993	1,997	1,960	1,922	1,814	1,343	1,541	1,738	1,644	1,620
25~29									2,204	2,182	2,341	2,362	2,057	2,250	2,203	2,155	1,996	1,866	1,842	1,818	1,797	1,728
30~34									2,047	2,122	2,237	2,183	2,326	2,332	2,321	2,310	2,270	2,308	2,216	2,123	2,158	2,068
35~39									1,914	1,940	2,046	2,075	2,169	2,002	2,008	2,013	1,994	2,062	2,110	2,158	2,207	2,279
40~44									2,194	2,023	1,937	1,924	1,847	1,807	1,821	1,834	1,860	1,919	1,896	1,872	1,925	1,957
45~49									2,975	2,831	2,639	2,453	2,368	2,110	1,998	1,885	1,779	1,770	1,754	1,738	1,798	1,849
50~54									2,239	2,384	2,505	2,624	2,725	2,888	2,750	2,611	2,398	2,235	2,084	1,932	1,833	1,743
55~59									1,784	1,897	2,064	2,203	2,235	2,147	2,238	2,328	2,433	2,566	2,642	2,717	2,526	2,370
60~64									1,447	1,541	1,571	1,598	1,640	1,708	1,801	1,894	2,019	2,123	2,131	2,138	2,289	2,393
65~69									1,301	1,344	1,345	1,356	1,357	1,381	1,421	1,460	1,494	1,540	1,623	1,705	1,826	1,985
70~74									956	989	1,061	1,062	1,119	1,175	1,209	1,242	1,245	1,258	1,300	1,342	1,405	1,424
75~79									547	602	647	709	775	836	859	881	921	958	1,013	1,068	1,122	1,129
80~84									389	376	385	399	417	455	497	538	577	633	674	714	740	778
85~89									198	214	241	255	265	271	273	274	283	291	321	350	383	421
90~94									65	70	79	83	108	116	125	133	145	163	159	155	162	157
95歳以上									18	20	24	21	20	28	28	28	35	32	44	56	63	61
総数	0	30,314	30,243	30,378	30,577	30,580	30,452	30,658	30,462	30,424	30,875	30,807	30,556	30,410	30,235	29,834	29,563	29,559	29,492	29,340	29,585	29,566
子育て世代(20~40代)									13,697	13,417	13,443	13,164	12,760	12,498	12,309	12,119	11,713	11,268	11,358	11,447	11,529	11,501
割合									0.45	0.441	0.435	0.427	0.418	0.411	0.407	0.406	0.396	0.381	0.385	0.39	0.390	0.389
高齢者(65歳以上)									3,474	3,615	3,782	3,885	4,061	4,262	4,409	4,556	4,700	4,875	5,133	5,390	5,705	5,960
割合									0.114	0.119	0.122	0.126	0.133	0.14	0.146	0.153	0.159	0.165	0.174	0.184	0.193	0.202

資料：住民基本台帳／島本町統計書

注）網掛け年度は、前後の年度の人口を基にした推計値

(3) 駅周辺 1 km圏人口

※各駅から 1 km圏内に中心のある町丁目の人口を集計

※子育て世代（20～40 歳代）、高齢者（65 歳以上）の人口は、高槻市又は島本町全体の年齢構成比を基に算定

駅	人口	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
JR摂津富田	総数	31,207	31,367	31,129	30,722	30,651	30,566	29,920	28,449	29,835	29,815	29,529
	子育て世代(20-40代)	14,792	14,680	15,098	14,316	14,253	14,183	13,823	13,143	13,724	13,476	13,081
	高齢者(65歳以上)	2,403	2,478	2,677	2,673	2,820	2,965	3,082	3,072	3,431	3,608	3,780
阪急富田	総数	35,111	35,017	34,639	34,410	34,247	34,148	32,982	31,981	33,249	32,869	32,342
	子育て世代(20-40代)	16,643	16,388	16,800	16,035	15,925	15,845	15,238	14,775	15,295	14,857	14,328
	高齢者(65歳以上)	2,704	2,766	2,979	2,994	3,151	3,312	3,397	3,454	3,824	3,977	4,140
JR高槻	総数	28,190	27,786	28,999	27,795	29,954	27,337	27,414	27,864	27,927	31,567	27,695
	子育て世代(20-40代)	13,362	13,004	14,065	12,952	13,929	12,684	12,665	12,873	12,846	14,268	12,269
	高齢者(65歳以上)	2,171	2,195	2,494	2,418	2,756	2,652	2,824	3,009	3,212	3,820	3,545
阪急高槻市	総数	28,197	27,307	27,522	27,702	30,192	27,835	27,722	28,289	28,105	31,362	27,593
	子育て世代(20-40代)	13,365	12,780	13,348	12,909	14,039	12,915	12,808	13,070	12,928	14,176	12,224
	高齢者(65歳以上)	2,171	2,157	2,367	2,410	2,778	2,700	2,855	3,055	3,232	3,795	3,532
JR島本	総数					18,071	17,923	17,802	17,735	17,964	18,172	17,888
	子育て世代(20-40代)									8,084	8,014	7,781
	高齢者(65歳以上)									2,048	2,162	2,182
阪急水無瀬	総数					23,312	23,203	22,939	22,812	22,635	23,011	21,313
	子育て世代(20-40代)									10,186	10,148	9,271
	高齢者(65歳以上)									2,580	2,738	2,600

駅	人口	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
JR摂津富田	総数	29,771	29,495	29,370	29,268	29,031	28,726	29,144	29,450	29,559	29,300	29,404
	子育て世代(20-40代)	12,861	12,535	12,306	12,088	11,874	11,691	11,832	11,927	11,883	11,691	11,644
	高齢者(65歳以上)	4,019	4,247	4,464	4,712	4,906	5,085	5,421	5,772	6,119	6,329	6,616
阪急富田	総数	32,591	32,319	32,166	32,079	31,921	31,649	32,151	32,926	32,876	32,496	32,669
	子育て世代(20-40代)	14,079	13,736	13,478	13,249	13,056	12,881	13,053	13,335	13,216	12,966	12,937
	高齢者(65歳以上)	4,400	4,654	4,889	5,165	5,395	5,602	5,980	6,453	6,805	7,019	7,351
JR高槻	総数	27,387	29,216	27,444	27,124	27,208	27,914	28,548	29,303	29,564	29,684	29,885
	子育て世代(20-40代)	11,831	12,417	11,499	11,202	11,128	11,361	11,590	11,868	11,885	11,844	11,834
	高齢者(65歳以上)	3,697	4,207	4,171	4,367	4,598	4,941	5,310	5,743	6,120	6,412	6,724
阪急高槻市	総数	27,340	28,996	27,078	26,968	27,122	27,970	28,815	28,911	28,757	29,276	29,266
	子育て世代(20-40代)	11,811	12,323	11,346	11,138	11,093	11,384	11,699	11,709	11,560	11,681	11,589
	高齢者(65歳以上)	3,691	4,175	4,116	4,342	4,584	4,951	5,360	5,667	5,953	6,324	6,585
JR島本	総数	17,696	17,744	17,559	17,623	16,793	18,565	19,102	19,431	19,348	19,701	19,793
	子育て世代(20-40代)	7,556	7,417	7,217	7,173	6,818	7,352	7,278	7,481	7,546	7,683	7,699
	高齢者(65歳以上)	2,230	2,360	2,458	2,573	2,569	2,952	3,152	3,381	3,560	3,802	3,998
阪急水無瀬	総数	20,074	21,068	20,922	20,854	19,973	20,816	21,357	21,641	21,527	21,828	21,849
	子育て世代(20-40代)	8,572	8,806	8,599	8,488	8,109	8,243	8,137	8,332	8,396	8,513	8,499
	高齢者(65歳以上)	2,529	2,802	2,929	3,045	3,056	3,310	3,524	3,766	3,961	4,213	4,413

(4) バリアフリー化前後の乗客数変化の検証データ

1) 対象6駅

→ (次頁へ続く)

駅	区分	乗降	単位	平成1年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	
JR旗津富田	BF化	乗客数	総数	人/日	18,258	19,057	19,657	20,513	21,175	21,066	21,609	22,570	22,241	21,995
			定期	人/日	11,896	12,275	12,786	13,404	13,192	13,056	13,199	13,827	13,562	13,274
			定期外	人/日	6,362	6,781	6,871	7,109	7,984	8,008	8,410	8,742	8,679	8,721
	1km圏人口	総数	人	31,367	31,129	30,722	30,651	30,566	29,920	28,449	29,835	29,815	29,529	
			子育て世代	人	14,680	15,098	14,316	14,253	14,183	13,823	13,143	13,724	13,476	13,081
			高齢者	人	2,478	2,677	2,673	2,820	2,965	3,082	3,072	3,431	3,608	3,780
	指数	定期外・乗車		0.797	0.848	0.880	0.890	1.000	1.003	1.053	1.095	1.087	1.092	
		人口総数		1.061	1.053	1.039	1.037	1.034	1.012	0.962	1.009	1.008	0.999	
		定期外・乗車(人口調整)		0.751	0.806	0.828	0.858	0.967	0.991	1.094	1.085	1.077	1.093	
阪急富田	BF化	乗客数	乗車	人/日		13,658		12,597	12,450	12,303	12,156	13,610	14,225	13,925
			乗車	人/日		9,163		8,637			6,758	8,235	8,175	7,868
			乗車	人/日		4,496		3,960			5,398	5,375	6,049	5,956
	1km圏人口	総数	人	35,017	34,639	34,410	34,247	34,148	32,982	31,981	33,249	32,869	32,342	
			子育て世代	人	16,388	16,800	16,035	15,925	15,845	15,238	14,775	15,295	14,857	14,328
			高齢者	人	2,766	2,978	2,994	3,151	3,312	3,397	3,454	3,824	3,977	4,140
	指数	定期外・乗車			0.852		0.751			1.023	1.019	1.147	1.129	
		人口総数		1.065	1.054	1.047	1.042	1.039	1.003	0.973	1.011	1.000	0.984	
		定期外・乗車(人口調整)			0.809		0.721			1.052	1.007	1.147	1.148	
JR高槻	BF化	乗客数	乗車	人/日	53,829	57,226	60,720	61,186	62,101	61,825	63,869	64,989	64,622	64,055
			乗車	人/日	37,892	39,911	42,312	43,498	44,329	44,301	45,355	46,071	45,890	45,515
			乗車	人/日	15,937	17,315	18,408	17,688	17,773	17,523	18,514	18,918	18,732	18,540
	1km圏人口	総数	人	27,786	28,999	27,795	29,954	27,337	27,414	27,864	27,927	31,567	27,695	
			子育て世代	人	13,004	14,065	12,952	13,929	12,684	12,665	12,873	12,846	14,268	12,269
			高齢者	人	2,195	2,494	2,418	2,756	2,652	2,824	3,009	3,212	3,820	3,545
	指数	定期外・乗車		0.889	0.968	1.027	0.987	0.992	0.978	1.033	1.056	1.045	1.035	
		人口総数		1.024	1.069	1.025	1.104	1.008	1.011	1.027	1.030	1.164	1.021	
		定期外・乗車(人口調整)		0.868	0.904	1.002	0.894	0.984	0.967	1.006	1.025	0.898	1.013	
		指数(阪急高槻市検証用)		0.901	0.979	1.041	1.000	1.005	0.991	1.047	1.070	1.058	1.048	
指数	人口総数		0.928	0.968	0.928	1.000	0.913	0.915	0.930	0.932	1.054	0.925		
	定期外・乗車(人口調整)		0.971	1.011	1.122	1.000	1.101	1.082	1.125	1.147	1.005	1.124		
阪急高槻市	BF化	乗客数	乗車	人/日		38,294		36,364	35,673	34,981	34,290	40,285	40,353	39,214
			乗車	人/日		24,651		24,213			18,912	23,660	23,764	22,874
			乗車	人/日		13,643		12,151			15,378	16,605	16,589	16,340
	1km圏人口	総数	人	27,307	27,522	27,702	30,192	27,835	27,722	28,289	28,105	31,362	27,593	
			子育て世代	人	12,780	13,348	12,909	14,039	12,915	12,808	13,070	12,928	14,176	12,224
			高齢者	人	2,157	2,367	2,410	2,778	2,706	2,855	3,055	3,232	3,795	3,532
	指数	定期外・乗車			1.123		1.000			1.266	1.367	1.365	1.345	
		人口総数		0.904	0.912	0.918	1.000	0.922	0.918	0.937	0.931	1.038	0.914	
		定期外・乗車(人口調整)			1.232		1.000			1.351	1.468	1.314	1.471	
		指数(JR高槻検証用)		0.847	0.947	1.029	1.000	1.033	1.028	1.046	1.042	1.162	1.025	
指数	人口総数		1.013	1.021	1.027	1.129	1.031	1.028	1.046	1.042	1.162	1.025		
	定期外・乗車(人口調整)			0.830		0.674			0.911	0.990	0.886	0.992		
JR島本	BF化	乗客数	乗車	人/日										
			乗車	人/日										
			乗車	人/日										
	1km圏人口	総数	人			18,071	17,923	17,802	17,735	17,964	18,172	17,888		
			子育て世代	人						8,084	8,014	7,781		
			高齢者	人							2,048	2,162	2,182	
	指数	総数・乗車												
		人口総数												
		総数・乗車(人口調整)												
阪急水無瀬	BF化	乗客数	乗車	人/日			8435	8386.333333	8337.666667	8289	8446	8588	8359	
			乗車	人/日										
			乗車	人/日										
	1km圏人口	総数	人			23,312	23,203	22,939	22,812	22,635	23,011	21,313		
			子育て世代	人							10,186	10,148	9,271	
			高齢者	人							2,580	2,738	2,600	
	指数	総数・乗車				1.047	1.041	1.035	1.029	1.049	1.067	1.038		
		人口総数				1.077	1.072	1.060	1.054	1.046	1.063	0.985		
		総数・乗車(人口調整)				0.972	0.971	0.977	0.976	1.003	1.003	1.054		

駅	区分	乗降	単位	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	BF化年度		備考
														指数基準年 (BF化前年)	指数>=1	
JR揖津富田	BF化	乗客数	総数	人/日	21,773	21,542	21,337	20,849	20,951	20,836	20,518	20,910	20,784	20,570	コンコース内のEV-EESC設置	※1年間を365で割ったもの
			定期	人/日	13,011	12,792	12,553	12,255	12,451	12,532	12,419	12,770	12,798	12,732		
			定期外	人/日	8,762	8,751	8,784	8,595	8,500	8,304	8,099	8,140	7,986	7,838		
	1km圏人口	総数	人	29,771	29,495	29,370	29,268	29,031	28,726	29,144	29,450	29,559	29,300			
			子育て世代	人	12,861	12,535	12,306	12,088	11,874	11,691	11,832	11,927	11,883	11,691		
			高齢者	人	4,019	4,247	4,464	4,712	4,906	5,085	5,421	5,772	6,119	6,329		
	指数	定期外・乗車		1.097	1.096	1.100	1.076	1.064	1.040	1.014	1.019	1.000	0.981			
		人口総数		1.007	0.998	0.994	0.990	0.982	0.972	0.986	0.996	1.000	0.991			
		定期外・乗車(人口調整)		1.088	1.088	1.107	1.097	1.084	1.070	1.029	1.022	1.000	0.990			
	阪急富田	BF化	乗客数	乗車	人/日	13,530	13,310	12,638	12,173	12,030	11,800	11,674	12,671	11,560	11,523	
乗車				人/日	7,568	7,381	6,852	6,521	6,404	6,268	6,132	6,195	6,284	6,455		
乗車				人/日	5,962	5,929	5,786	5,652	5,626	5,532	5,542	6,477	5,276	5,068		
1km圏人口		総数	人	32,591	32,319	32,166	32,079	31,921	31,649	32,151	32,926	32,876	32,496			
			子育て世代	人	14,079	13,736	13,478	13,249	13,056	12,881	13,053	13,335	13,216	12,966		
			高齢者	人	4,400	4,654	4,889	5,165	5,395	5,602	5,980	6,453	6,805	7,019		
指数		定期外・乗車		1.130	1.124	1.096	1.071	1.066	1.048	1.051	1.228	1.000	0.961			
		人口総数		0.991	0.983	0.978	0.976	0.971	0.963	0.976	1.002	1.000	0.988			
		定期外・乗車(人口調整)		1.140	1.143	1.120	1.098	1.098	1.089	1.074	1.226	1.000	0.972			
JR高槻		BF化	乗客数	乗車	人/日	62,781	62,649	62,008	60,559	60,724	61,904	62,126	62,466	62,552	62,477	コンコース内のEV-EESC設置 コンコース外(アクト)のEV-EESC設置
	乗車			人/日	44,416	44,175	43,723	42,938	42,705	43,762	44,209	44,367	44,536	44,419		
	乗車			人/日	18,365	18,474	18,285	17,921	18,019	18,142	17,923	18,099	18,016	18,058		
	1km圏人口	総数	人	27,387	29,216	27,444	27,124	27,208	27,914	28,548	29,303	29,564	29,684			
			子育て世代	人	11,831	12,417	11,499	11,202	11,128	11,361	11,590	11,868	11,885	11,844		
			高齢者	人	3,697	4,207	4,171	4,367	4,598	4,941	5,310	5,743	6,120	6,412		
	指数	定期外・乗車		1.025	1.031	1.020	1.000	1.006	1.012	1.000	1.010	1.005	1.008			
		人口総数		1.010	1.077	1.012	1.000	1.003	1.029	1.052	1.080	1.090	1.084			
		定期外・乗車(人口調整)		1.015	0.957	1.008	1.000	1.002	0.984	0.950	0.935	0.922	0.921			
	指数 (阪急高槻市核 証明用)	定期外・乗車		1.038	1.044	1.034	1.013	1.019	1.026	1.013	1.023	1.019	1.021			
人口総数			0.914	0.975	0.916	0.908	0.908	0.932	0.953	0.978	0.987	0.991				
定期外・乗車(人口調整)			1.135	1.071	1.126	1.119	1.122	1.101	1.083	1.046	1.032	1.030				
阪急高槻市	BF化	乗客数	乗車	人/日	38,361	37,907	36,707	35,540	35,126	34,449	34,847	35,529	35,194	35,800	コンコース内のEV-EESC設置	※平成8年度まで調査日1日、平成9年度～は1年間を365日で割ったもの
			乗車	人/日	22,005	21,460	20,285	19,441	19,098	18,688	17,899	17,674	17,738	17,989		
			乗車	人/日	16,355	16,447	16,422	16,099	16,022	15,762	16,948	17,855	17,456	17,811		
	1km圏人口	総数	人	27,340	28,996	27,078	26,968	27,122	27,970	28,815	28,911	28,757	29,276			
			子育て世代	人	11,811	12,323	11,346	11,138	11,093	11,384	11,699	11,709	11,560	11,681		
			高齢者	人	3,691	4,175	4,116	4,342	4,584	4,951	5,360	5,667	5,935	6,324		
	指数	定期外・乗車		1.346	1.354	1.351	1.325	1.319	1.297	1.395	1.469	1.437	1.466			
		人口総数		0.906	0.960	0.897	0.893	0.898	0.926	0.954	0.958	0.952	0.970			
		定期外・乗車(人口調整)		1.486	1.409	1.507	1.483	1.468	1.400	1.461	1.535	1.508	1.512			
	指数 (JR高槻核証明用)	定期外・乗車		1.016	1.022	1.020	1.000	0.995	0.979	1.053	1.109	1.084	1.106			
人口総数			1.014	1.075	1.004	1.000	1.006	1.037	1.086	1.072	1.066	1.066				
定期外・乗車(人口調整)			1.002	0.950	1.016	1.000	0.990	0.944	0.985	1.035	1.017	1.019				
JR島本	BF化	乗客数	乗車	人/日									4546	4083	コンコース内のEV-EESC設置 コンコース外のEV-EESC設置	※1年間を365で割ったもの
			乗車	人/日												
			乗車	人/日												
	1km圏人口	総数	人	17,696	17,744	17,559	17,623	16,793	18,565	19,102	19,431	19,348	19,701			
			子育て世代	人	7,556	7,417	7,217	7,173	6,818	7,352	7,278	7,461	7,546	7,683		
			高齢者	人	2,230	2,360	2,458	2,573	2,569	2,952	3,152	3,381	3,560	3,802		
	指数	総数・乗車														
		人口総数														
		総数・乗車(人口調整)														
	阪急水無瀬	BF化	乗客数	乗車	人/日	8402.5	8446	8317	8361	8064	8106	8233	8053	8281	8251	
乗車				人/日												
乗車				人/日												
1km圏人口		総数	人	20,074	21,088	20,922	20,854	19,973	20,816	21,357	21,641	21,527	21,828			
			子育て世代	人	8,572	8,808	8,598	8,488	8,109	8,243	8,137	8,332	8,398	8,513		
			高齢者	人	2,529	2,802	2,929	3,045	3,056	3,310	3,524	3,766	3,961	4,213		
指数 (島本核証明用)		総数・乗車		1.043	1.049	1.033	1.038	1.001	1.007	1.022	1.000	1.028	0.776			
		人口総数		0.926	0.974	0.967	0.964	0.923	0.962	0.987	1.000	0.985	1.009			
		総数・乗車(人口調整)		1.125	1.077	1.068	1.077	1.085	1.046	1.036	1.000	1.034	0.770			

(資料 乗客数:鉄道:西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社
人口:住民基本台帳 いずれも高槻市・島本町統計書)

2) 高槻市・島本町合計

→ (次頁へ続く)

駅	区分	乗降	単位	平成1年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
JR高槻	総数	乗車	人/日	53,829	57,226	60,720	61,186	62,101	61,825	63,869	64,988	64,622	64,055
	定期	乗車	人/日	37,892	39,911	42,312	43,498	44,329	44,301	45,355	46,071	45,890	45,515
	定期外	乗車	人/日	15,937	17,315	18,408	17,688	17,773	17,523	18,514	18,918	18,732	18,540
JR摂津富田	総数	乗車	人/日	18,258	19,057	19,657	20,513	21,175	21,066	21,609	22,570	22,241	21,995
	定期	乗車	人/日	11,896	12,275	12,788	13,404	13,192	13,058	13,199	13,827	13,562	13,274
	定期外	乗車	人/日	6,362	6,781	6,871	7,109	7,984	8,008	8,410	8,742	8,679	8,721
阪急富田	総数	乗車	人/日		13,659		12,597	12,459	12,303	12,156	13,610	14,225	13,825
	定期	乗車	人/日		9,163		8,637		6,758	8,235	8,175	7,868	
	定期外	乗車	人/日		4,496		3,960		5,398	5,375	6,049	5,956	
阪急高槻市	総数	乗車	人/日		38,294		36,364	35,673	34,981	34,290	40,265	40,353	39,214
	定期	乗車	人/日		24,651		24,213		18,912	23,660	23,764	22,874	
	定期外	乗車	人/日		13,643		12,151		15,378	16,605	16,589	16,340	
阪急上牧	総数	乗車	人/日		7,354		6,947		5,837	6,940	6,792	6,584	
	定期	乗車	人/日		5,480		5,210		3,922	4,799	4,759	4,591	
	定期外	乗車	人/日		1,868		1,737		1,915	2,142	2,033	2,003	
JR山崎	総数	乗車	人/日			1843	1918	1943	1952	2035	2117	2213	2328
	定期	乗車	人/日										
	定期外	乗車	人/日										
JR島本	総数	乗車	人/日										
	定期	乗車	人/日										
	定期外	乗車	人/日										
阪急水無瀬	総数	乗車	人/日				8435	8,386	8,338	8289	8446	8589	8359
	定期	乗車	人/日										
	定期外	乗車	人/日										
JR計	総数	乗車	人/日				83,617	85,220	84,842	87,513	89,676	89,076	88,377
	乗客数合計	乗車	人/日				57,396	56,509	55,622	54,735	62,321	63,167	61,397
高槻市人口						363,066	363,506	363,715	364,696	364,104	363,714	363,324	
島本町人口						30,577	30,580	30,452	30,658	30,462	30,424	30,875	
人口計						393,643	394,086	394,167	395,354	394,566	394,138	394,199	
指数	全体乗客数	H19比					0.941	0.946	0.938	0.950	1.015	1.016	1.000
	全体人口	H19比					1.013	1.015	1.015	1.018	1.016	1.015	1.015
	高槻市・島本町合計(人口調整)	H19比					0.929	0.933	0.924	0.933	0.999	1.002	0.985
指数	全体乗客数	H14比					1.008	1.014	1.005	1.017	1.087	1.089	1.071
	全体人口	H14比					1.018	1.019	1.019	1.022	1.020	1.019	1.019
	高槻市・島本町合計(人口調整)	H14比					0.991	0.995	0.986	0.995	1.065	1.068	1.051
指数	全体乗客数	H4比					1.000	1.005	0.996	1.009	1.078	1.080	1.062
	全体人口	H4比					1.000	1.001	1.001	1.004	1.002	1.001	1.001
	高槻市・島本町合計(人口調整)	H4比					1.000	1.004	0.995	1.004	1.075	1.078	1.061
指数	全体乗客数	H18比					0.928	0.932	0.924	0.936	1.000	1.002	0.985
	全体人口	H18比					0.998	0.999	0.999	1.002	1.000	0.999	0.999
	高槻市・島本町合計(人口調整)	H18比					0.930	0.934	0.925	0.934	1.000	1.003	0.986

注) 赤字はデータ欠損のため、前後の年度を基にした推計値

(資料 乗客数:鉄道:西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社
人口:住民基本台帳 いずれも高槻市・島本町統計書)

駅	区分	乗路	単位	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	備考
JR高槻	総数	乗車	人/日	62,781	62,649	62,008	60,559	60,724	61,904	62,126	62,466	62,552	62,477	※1年間を365で割ったもの
	定期	乗車	人/日	44,418	44,175	43,723	42,638	42,705	43,762	44,203	44,367	44,536	44,419	
	定期外	乗車	人/日	18,363	18,474	18,285	17,921	18,019	18,142	17,923	18,099	18,016	18,058	
JR摂津富田	総数	乗車	人/日	21,773	21,542	21,337	20,849	20,951	20,836	20,518	20,910	20,784	20,578	※1年間を365で割ったもの
	定期	乗車	人/日	13,011	12,792	12,553	12,255	12,451	12,532	12,419	12,770	12,798	12,732	
	定期外	乗車	人/日	8,762	8,751	8,784	8,595	8,500	8,304	8,099	8,140	7,986	7,838	
阪急富田	総数	乗車	人/日	13,530	13,310	12,638	12,173	12,030	11,800	11,674	12,671	11,560	11,523	※平成8年度まで調査日1日、平成9年度～は1年間を365日で割ったもの
	定期	乗車	人/日	7,568	7,381	6,852	6,521	6,404	6,268	6,132	6,195	6,284	6,455	
	定期外	乗車	人/日	5,962	5,929	5,784	5,652	5,626	5,532	5,542	6,477	5,276	5,068	
阪急高槻市	総数	乗車	人/日	38,361	37,907	36,707	35,540	35,120	34,449	34,847	35,529	35,194	35,800	※平成8年度まで調査日1日、平成9年度～は1年間を365日で割ったもの
	定期	乗車	人/日	22,005	21,460	20,285	19,441	19,098	18,688	17,899	17,674	17,738	17,988	
	定期外	乗車	人/日	16,355	16,447	16,422	16,099	16,022	15,762	16,948	17,855	17,456	17,811	
阪急上牧	総数	乗車	人/日	6,413	6,414	6,422	6,244	6,161	6,041	6,370	6,679	6,751	6,838	※平成8年度まで調査日1日、平成9年度～は1年間を365日で割ったもの
	定期	乗車	人/日	4,407	4,296	4,170	4,038	3,967	3,882	4,016	4,137	4,238	4,205	
	定期外	乗車	人/日	2,005	2,118	2,252	2,205	2,194	2,158	2,353	2,542	2,514	2,630	
JR山崎	総数	乗車	人/日	2,364	2,336	2,337	2,348	2,394	6643	6775	6928	6869	5805	※1年間を365で割ったもの
	定期	乗車	人/日											
	定期外	乗車	人/日											
JR島本	総数	乗車	人/日									4546	4083	
	定期	乗車	人/日											
	定期外	乗車	人/日											
阪急水無瀬	総数	乗車	人/日	8,403	8,446	9,317	9,361	9,064	8,106	8,233	8,053	8,281	6,251	※調査日1日
	定期	乗車	人/日											
	定期外	乗車	人/日											
JR計	総数	乗車	人/日	86,919	86,528	85,682	83,756	84,068	89,383	89,419	90,303	94,751	92,935	
阪急計	総数	乗車	人/日	60,293	59,662	57,659	56,073	55,214	54,355	54,754	56,253	55,035	53,574	
乗客数合計	総数	乗車	人/日	147,213	146,191	143,343	139,830	139,284	143,739	144,173	146,557	149,787	146,510	
高槻市人口		人		361,682	359,424	357,664	356,509	355,825	356,170	357,352	359,544	359,065	358,973	
島本町人口		人		30,807	30,556	30,410	30,235	29,834	29,563	29,559	29,492	29,340	29,585	
人口計		人		392,489	389,980	388,074	386,744	385,659	385,733	386,911	389,036	388,405	388,558	
指数	全体乗客数	H19比		0.983	0.978	0.957	0.924	0.930	0.960	0.963	0.978	1.000	0.978	
	全体人口	H19比		1.011	1.004	0.999	0.986	0.993	0.993	0.996	1.002	1.000	1.000	
	高槻市・島本町合計(人口調整)	H19比		0.973	0.972	0.958	0.938	0.937	0.966	0.966	0.977	1.000	0.978	
指数	全体乗客数	H14比		1.053	1.045	1.025	1.000	0.996	1.028	1.031	1.048	1.071	1.048	
	全体人口	H14比		1.015	1.008	1.003	1.000	0.997	0.997	1.000	1.006	1.004	1.005	
	高槻市・島本町合計(人口調整)	H14比		1.037	1.037	1.022	1.000	0.999	1.031	1.031	1.042	1.067	1.043	
指数	全体乗客数	H4比		1.044	1.037	1.017	0.982	0.988	1.019	1.022	1.039	1.062	1.039	
	全体人口	H4比		0.997	0.991	0.988	0.982	0.980	0.980	0.983	0.988	0.987	0.987	
	高槻市・島本町合計(人口調整)	H4比		1.047	1.046	1.031	1.009	1.008	1.040	1.040	1.052	1.077	1.053	
指数	全体乗客数	H18比		0.969	0.962	0.943	0.920	0.916	0.946	0.949	0.964	0.985	0.964	
	全体人口	H18比		0.995	0.988	0.984	0.980	0.977	0.978	0.981	0.986	0.984	0.985	
	高槻市・島本町合計(人口調整)	H18比		0.974	0.973	0.959	0.939	0.938	0.967	0.967	0.978	1.001	0.979	

(資料 乗客数:鉄道:西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社
人口:住民基本台帳 いずれも高槻市・島本町統計書)